

様の黒色。前翅中室の二短線は紅色。後翅の外縁は黒色、内縁角の二紋は紅色。開張二寸六分内外。これは埔里地方の高原地に産すれども、その數多からず。  
分布—臺灣。

キゴマダラ.....(二六七)

*Zephus eandrea* Moor.

翅は黒色、斑紋は白色及び柿色。前翅中室中央の一紋は黒色。兩翅共に縁毛の凹陥部は白色。雌にては少しく藍色を帯び、中室に弧形の白紋。アンツロダーマス形。分布—臺灣。



♀



を装ふ。開張一寸九分内外。これは臺灣に産すれども、地方的にして餘り多からず。  
分布—臺灣、印度、(歐洲にも移入せらる)。

ダイメウキゴマダラ.....(二六八)

*Zephus diehron* Kohl.

翅は暗褐色、斑紋は柿色。前翅の中室の一紋は暗褐色、中央は廣く柿色、第二室の中央に暗褐色の圓形紋を装ふ。後翅の中央は柿色にして、暗色紋を散在す。開張二寸一分内外。これは臺灣の高

ダイメウ形 ♀ *Zephus diehron* Kohl.



同裏面



山地帯に産すれども稀なり。  
分布—朝鮮、臺灣。

ヒメキミスチ.....(二六九)

高山地帯に稀ならず。  
分布—臺灣、印度。

キベリタテハ.....(二七〇)

*Vanessa anthopa* L.

翅は黒紫色、外縁は黄色、小紋黒褐色、黒帯中の紋列は藍色、前縁及び外縁に近く黄色紋を装ふ。開張二寸三分内外。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲はドロノキ、ヤナギ等の葉を食し、時に大害を加ふることあり。  
分布—樺太、北海道、本州、滿洲、西比利亞、歐洲、北亞米利加。



♀



同裏面



♀ *Formosana protos*.

にして、幼蟲はイラクサの葉を食す。  
分布—臺灣、支那、印度。

ヘウモンマダラ.....(二七一)

*Timelaea maenata* L.

フオルモサーナ形 ♀ *Formosana protos*.



翅は柿色、斑紋は黒褐色。前翅前縁及び後縁は褐色、翅端及び外縁は黒褐色。開張二寸内外。これは埔里地方の

*Symbrenthia leucora* Moore.  
翅は黒色、紋列は柿色。キミスチに近似す。開張一寸五分内外。これは埔里地方に稀ならず。分布—臺灣、支那、印度。

スカチナ形 ♀ *Symbrenthia leucora* Moore.



同裏面



の中央に紋列を装ひ、尾状突起の遙に短かきあり。

キミスチ.....(二七〇)

*Symbrenthia hippodamus* Gram.

翅は黒色、帯紋は柿色、縁毛の凹陥部は白色。開張一寸五分内外。これは臺灣に普通なる種類

ルリタテハ ..... (二七三)

*Vanessa carnax* L.  
ノヤボニカ形 ♀  
*f. no-japonica* Fruhis.



翅は黒色、翅底は青味を帯び、斑紋は白色、帯は後翅の帯と共に藍色、中央の黒點に黒點

列を装ふ。開張二寸一分内外。これは何れの地方にも少なからず。幼蟲はサルトリイバラの葉を食す。

分布—日本全土、沖縄、臺灣、支那。

クジヤクテフ ..... (二七四)

*Vanessa io* L.

翅は美麗の朱色。前翅前縁の基部に短黄線を具へ、黄紋は黒色。眼状紋は孔雀の羽紋に似て、

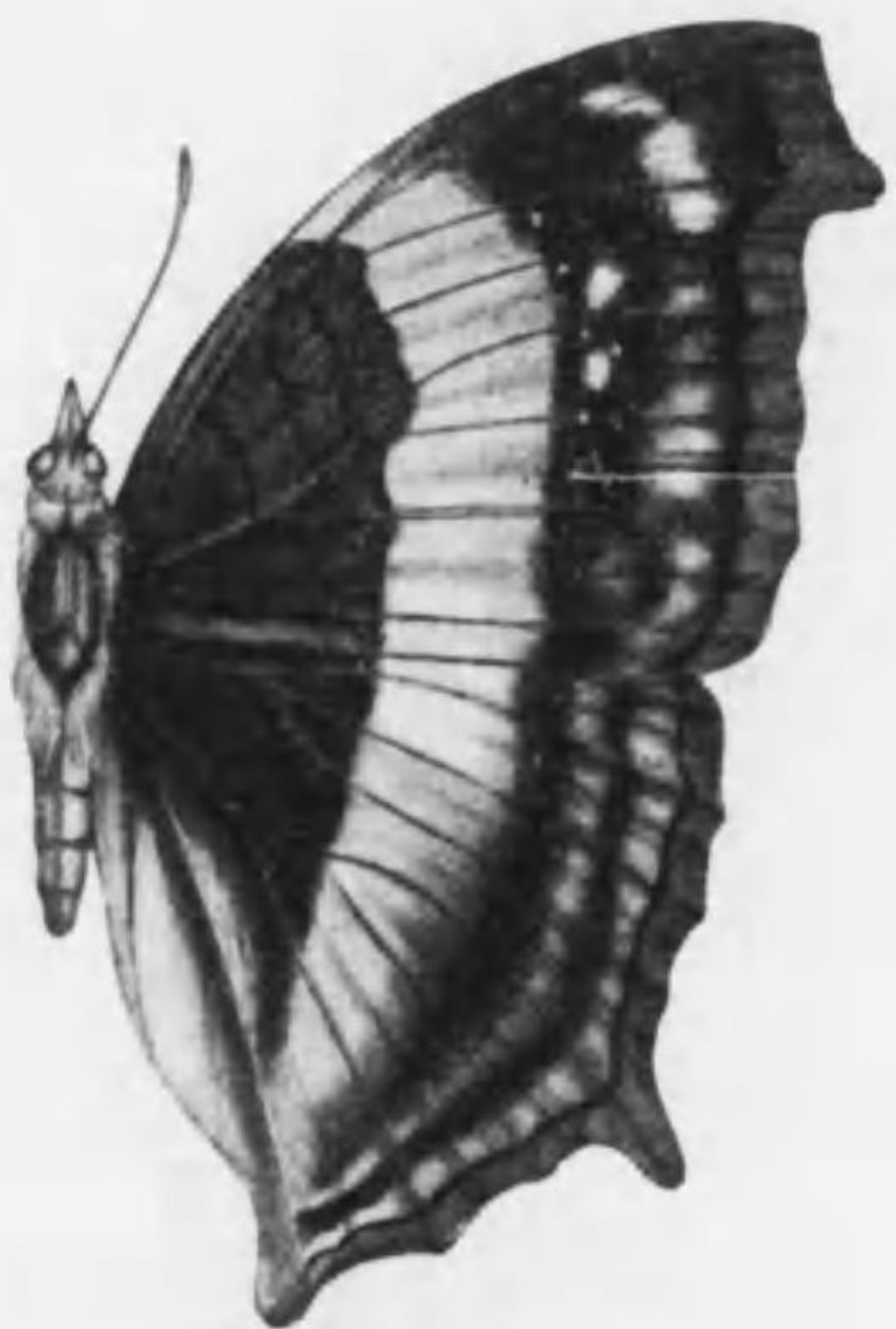
ことに依りて區別せらる。開張二寸二分内外、これは札幌地方には稀なれども、中國には普通なり。幼蟲はエノキ、ヤナギの葉を食す。  
分布—樺太、日本全土、朝鮮、臺灣、滿洲、支那、西比利亞、歐洲。

キオビテフ ..... (二七五)

*Yoma sabina* Grann.

翅は暗褐。前翅中室の波状帯は濃色。兩翅を通ずる一帯は橙黄色、外縁の波状帯は暗色、其の内側に黄白紋を装ふ。後翅外縁の波状帯は暗色。

♀



第六 鱗翅 日(蝶亞目)

ゲインヤ形 ♂

*f. geisha* Sticht.



内方は黄色、外方は黒色にして、青藍色紋を混じ、中央は赤褐、上方は黒色、これに若干の青白

點あり。後翅に孔雀様の眼状紋及び黒褐の弦月紋を装ふ。開張二寸一分内外。これは本州には少しと雖も、北海道には普通なり。幼蟲はイラクサの葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

コヒラドシ ..... (二七六)

*Vanessa nubicæ* L.

ヒツドシテフに酷似すれども、形小、後翅底の大半は黒色なることに依りて容易に區別せらる。開張一寸七分。これは高山系の蝶なれども札幌地方には普通なり。幼蟲はイラクサの葉を食す。

コンネタサ形 ♀ *f. connexa* Batt.

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。



ヒラドシテフ ..... (二七六)

*Vanessa xanthomelas* L.

エルタテハに酷似すれども、色彩は少しく濃色、前翅前縁の翅端に近く黄白紋を装ひ、外縁に藍色鱗、後翅中央に近く大黒



紋を具へ、外縁は廣く暗褐、藍色の弦月紋、更に裏面には十字形の代りに小形の黄紋を有する。

七 天狗蝶科 Lybythoidea

雄の前肢は退化し、雌にては發達す。觸角は末端にて次第に棍棒狀に膨大す。下唇鬚は互に相接し、長き口吻狀をなして突出す。翅縁には凹凸を具へ、後翅の中室は開口す。幼蟲は蛭蛉に酷似し、蛹は滑澤にして突起を缺き、垂蛹なり。本邦に産するもの一種あり。

テングテフ ..... (二七八)

*Lybythex lepta* Moor.

マツムレー形 ♂

*f. matsumurae* Fruhis.



翅は暗褐、斑紋黄色、前翅第四、五及第七室の斑紋白色。開張一寸五分内外。これは何れの地方にも餘り多からず。幼蟲はエノキの葉を食し、成蟲にて越年す。

分布—北海道、本州、九州、臺灣、歐洲。

八 小蛺蝶科 *Nemeobidae*

前科に似れども、觸角は末端にて急に棍棒状に肥大し、下唇部は延長せず。翅縁には凹凸なく、後翅の中脈の延長して尾状に突出するものあり。幼蟲は小灰蝶のそれに酷似し、側線及び背線有す。蛹は帯蛹にして、短毛を生ぜり。これは蛺蝶と小灰蝶の中間に位置するものなり。本邦に産するもの三種あり。  
附言—ザイツ氏はこの科と天狗蝶科とを合して *Eryethidae* の一科を設立す。

一寸五分内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならざれども、捕獲困難なり。  
分布—臺灣、支那、印度。

シジミタテハ……………(三八〇)

*Dolona eugenes* Bat.

翅は暗褐、斑紋は橙黄色。前翅第四、五、六室外方の各一紋は白色、四角部の縁毛は白色。開張一寸四分内外。こは臺灣桃林にて捕獲せるもフォルモサーナ形。分布—臺灣、支那、印度。



同裏面

アリサンシジミタテハ……………(三七九)

*Absara lurni* Nic.

翅は暗黄褐、底半部少しく濃色。前翅の紋列灰白。後翅の斑紋黒色、銀白色及び暗灰色。開張

エチマンデル形。分布—臺灣、支那、印度。



同裏面

稀なり。幼蟲は綠色にして、竹の葉を食す。成蟲にて越年す。  
分布—臺灣、支那、印度。

九 小灰蝶科 *Lycenridae*

觸角は細く、普通白色の輪環を有す。前肢は中後の兩肢より短小。前翅には十乃至十一脈を具へ、第七、八の兩脈は共有脈より起る。何れも眼の周圍に白鱗を有する小形の種類にして、多くは美麗なり。幼蟲は卵形にして、肥大し、脚は短かく、蛆状に近し。蛹は帯蛹若くは垂蛹なり。本領土に産するもの約百五十種あり。

りて、紋の兩側は白色。開張一寸内外。これは埔里にて朝倉喜代松氏の採集せるものなるが稀なるが如し。  
分布—臺灣、印度。

タイワンムラサキツバメ……………(三八二)

*Amblypodia bazulus* Hew.



♀



これはムラサキツバメに酷似するも、雌前翅の青藍色部狭く、稍々太き紡錘状を呈し、後翅底に青藍色部を缺く。開張一寸三分内外。これは埔里地方に稀ならず。  
分布—臺灣、印度。

ウチダシジミ……………(三八三)

*Amblypodia*

*Irbanius Moor.*

ウチダイ形。♀

*f. uchidae* Mats.



翅は暗褐。前翅の斑紋は青藍色。裏面は暗褐、線條は白色。後翅の肛角に一小黒點を裝ふ。開張一寸内外。こは臺灣埔里地方にて内田登一博士の採集せる珍種なり。  
分布—臺灣。

ルーメシジミ……………(三八四)

*Amblypodia ganesa* Moor.

ルーミー形。♀

*f. loomisi* Pry.



翅は黒色、斑紋は青藍色、縁毛は灰白、尾狀突起なし。開張九分内外。これは地方的に分布せる小灰蝶にして、奈良には稀ならず。幼蟲はカシの葉を食す。  
分布—本州、支那、カシミヤ。

アサクラシジミ……………(三八一)

*Amblypodia arhel* Doh.



翅は暗綠色、少しく紫色を帯び、前縁及び外縁アサクラレー形。♀は黒色、縁毛は白色及び *f. asakurae* Mats. 暗色。後翅に青白線を具へ、尾狀突起は暗色、末端白色、内縁は廣く暗色。裏面は灰色、前翅に一双をなせる四白帯ありて、初めの三帯は中脈に達するに過ぎざれども、第四帯は第一脈に達す、後翅の基部は暗色、殘部は灰白、暗色の三紋列あり。

ムラサキシジミ *Anthypodia japonica* Murr. (二八五)

翅は黒褐色、中室及其下方の一面は紫藍色、翅底

ホリシヤーナ形

♀

*f. horisana* Mats.



部は黒藍色、光線の工合に依りて暗色に見ゆ。開張一寸二分内外。これは九州地方に普通なる種類にして、幼蟲はカシの葉を食す。成蟲にて越冬す。

分布 本州、四國、九州、臺灣。

ムラサキツハメ *Andispeda curata* Mori. (二八六)

翅は暗褐色、帯條は褐色、斑紋は黒色及び褐色、



♂



♀

青藍色部は大にして、その外縁は稍々彎形を呈し、後翅の基部の藍色紋は楕圓形をなす。

ヒラヤマフタツハメ *Aplonome hyaryanome* Mats. (二八七)

翅は暗褐色、帯條は褐色、斑紋は黒色及び褐色、



♂

尾狀突起は黒色、基部は褐色。裏面は黄色、橙紅色の六帯ありて、帯中の斷續せる縦條は銀色、末端白色。開張九分内外。これは臺灣埔里地方にて平山修次郎氏の採集せるものなり。

分布 臺灣。

ヒメフタツハメ *Aplonome kyurarinus* Mats. (二八八)

翅は暗褐色、斑紋は暗色。後翅の肛角に橙黄紋を具ふ。ミツボシフタツハメに近似すれども、前翅裏面にて、翅底の棒線下にC字形の黒紋を有するによりて容易に區別し得べし。開張一寸内外。これは著者の始めてタヤニアにて採



♀

キマダラルリツハメ *Aplonome takemonis* Mats. (二八九)

翅は暗褐色、斑紋は暗色、黒色又は金色。前翅面の翅底に稍々C字形に近き黒紋を具へ、後翅の基部に三紋、内縁に三斜紋を装ふ。開張一寸二分内外。これは始めて鳥取にて高野鷹藏氏の發見せるものなるが稀なり。

分布 本州、支那。

ホナヘヲナガシジミ *Bimulatura phoebus* K. (二九〇)

雄、翅は天鵝絨様の黒色、後翅外縁の中央に藍色の一大紋を具へ、肛角及び尾狀突起は灰黄色。裏面は淡黄褐色、暗色の紋條を具へ、その周囲は灰黄色。翅底の一紋は圓くし



集せるものなるが、餘り多からず。

分布 臺灣。

タイワンフタツハメ *Aplonome lokita* Horst. (二八九)

翅は暗褐色、斑紋は暗色、黒色又は金色。前翅面の翅底に稍々C字形に近き黒紋を具へ、後翅の基部に三紋、内縁に三斜紋を装ふ。開張一寸二分内外。これは始めて鳥取にて高野鷹藏氏の發見せるものなるが稀なり。

♀



縁角は橙黄色、二黒紋を具へ、其兩側に金色紋を裝ひ、尾狀の附屬物は橙黄色、末端は白色。開張一寸一分内外。これは臺灣には普通なる種類なり。幼蟲はアサガホ科植物の葉を食す。三齡後はシリアゲアリと共棲す。

分布 臺灣、支那、馬來、印度。

ミツボシフタツハメ *Aplonome sylvia* Horst. (二九〇)

翅は暗褐色、斑紋は暗色。後翅は肛角に橙黄の二

第六 鱗翅目 (蝶亞目)

て、判然し、後翅の肛角に二黒紋ありて、内方のものは青藍色の鱗毛を混ず。開張一寸八分。これは南洋ボナベにて採集せるものなるが稀なり。

分布—南洋諸島、濠洲。

ウラアカシジミ *Callophrys rubi* L. (二九三)

サカリネンシス形 ♂ 翅は黒褐、縁毛は白に性標を有す。裏面唐紅様の緑色、後翅の中央に白紋を有す。開張九分。



これは樺太に産すれども稀なるが如し。幼蟲はエニシダの如き豆科植物の葉を食す。分布—樺太、西比利亞、歐洲。

クロボシルリシジミ *Camena etiosa* Hew. (二九四)

翅は青藍色、前縁及び外縁は黒色。後翅尾狀突起の末端は白色、内縁の青白紋内に黒點を具す。



モモタマナの葉を食す。分布—臺灣、支那、印度。

コウシユンルリシジミ *Chilides hains* Gram. (二九八)

コウシユンネンシス形 ♂ 翅は紫藍色、前翅前縁及び外縁は黒色、縁毛暗色、末端は白色。後翅後縁の紋列は黒色、縁毛は白色。開張九分内外。これは臺灣に普通なり。幼蟲はツゲコウジの葉を食す。分布—臺灣、支那、印度。



カウクラヴァハムチ形 ♂ *Catantopis Ernia*

ふ。開張一寸二分内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならず。分布—臺灣、支那、印度。



ゴイシシジミ *Catalus (Turakus) hamata* Druse (二九五)

翅は暗色、斑紋は黒色、縁毛は白色、脈の終點は黒色。裏面は白色、斑紋は黒色。開張七分内外。これは地方的の蝶にして、時に群生することあり。幼蟲は竹の好蟲を捕食す。



タイワンチビシジミ *Chilides trochilus* Er. (二九九)

フォルモサームス形 ♂ 翅は暗色。後翅の圓形紋列は黒色、各紋の内側は柿色、外側は多少淡色、縁毛の基部及び末端は灰色。開張六分内外。これは微小なる爲め餘り人の注意を惹かず、爲めに採集は困難なり。幼蟲はナンバンルリサウの葉を食す。分布—臺灣、支那、馬來、印度。



フタヲルリシジミ *Chibaria kina* Hew. (三〇〇)

イナリ形 ♀ 翅は黒藍色。前翅中室下方の大紋及び後翅後縁の大紋は青白色。後翅の紋列は黒色、尾狀突起の末端は白色。開張一寸内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならず。幼蟲は蘭科の植物葉を食す。



分布—日本全土、臺灣。

ヲナガウラナミシジミ *Catantopis strabo* Gram. (三九六)

翅は青白、少しく紫色を帯び、外縁線は黒色、リタルギリア形 *f. liturgaria* Moor.



縁毛は白色、中央に近き細線は灰色。後翅の紋列は黒色及び白色。雌にては暗褐、斑紋には青色、暗色、黒色及び橙黄色ありて、帯條は灰白及び白色。開張一寸内外。これは臺灣には普通なり。幼蟲は豆科植物の軟葉を食す。分布—臺灣、支那、印度。

ギンズチミツラシジミ *Catantopis elegans* Den. (三九七)

翅は淡き紫藍色、前縁及び外縁は暗色、四陷部の縁毛は灰白。後翅の外縁線は銀白色、斑紋を食す。分布—臺灣、支那、印度。

を食す。分布—臺灣、支那、印度。

テウセンベニシジミ *Chrysopaenus dispar* Hew. (三〇一)

翅紅色。前翅前縁及び外縁は黒色、紋列及び縁毛は白色。後翅の内縁は暗灰色、縁毛は白色。雌にては翅は柿色、前縁、外縁、紋列及び後翅は暗褐、後翅の外縁に近き一帯柿色、外側には黒紋を列ぬ。開張一寸三分内外。これは朝鮮、滿洲には稀ならず。幼蟲はスカンボの葉を食す。分布—朝鮮、滿洲、支那、歐洲。



ベニシジミ.....(三〇三)

*Chrysophanus pulchus* L.

ダイメウ形 ♀  
*f. daimito* Switz



翅は暗褐。前翅の中央は柿色乃至淡紅色、斑紋は黒色。後翅の弦月形紋は赤色、中央に黒點を散在す。開張一寸内外。これは本邦至る所に普通なり。幼蟲はスカンボの葉を食す。  
分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

タイワンウラギンシジミ.....(三〇四)

*Chrestis luninea* Wilem.



翅は黒褐、翅底に近く黄褐部あり。前翅の縁毛は第三脈以下にて白色、後翅の縁毛は第三脈まで白色。開張一寸四分内外。

ウラギンシジミ.....(三〇四)

*Chrestis lunis* Dtl. et Haw.

ヤボニカ形 ♂  
*f. japonica* Fribus.



翅黒褐。前翅中央は橙紅色、雌にては青白。後翅前縁及び外縁は灰白。裏面銀白、小黒點を散在す。開張一寸五分内外。これは九州地方に稀ならず。幼蟲はフヂの葉を食す。  
分布—本州、四國、九州、支那、印度。

ヲガサハラシジミ.....(三〇五)

*Cyathodotus ogasawabensis* Peyer

翅は暗色、翅底は藍色縞を呈す。雌にては裏



色、外縁は黒色、縁毛の大部は白色。開張九分内外。これは小笠原島に普通なる小灰蝶にして、幼蟲はアコウの葉を食す。  
分布—小笠原島。

ヒイロシジミ.....(三〇六)

*Dendrorix eujaricus* Moor.

メニセリス形 ♀  
*f. meniseoides* Fribus.



翅は暗褐、中室下方の一圓は柿色。後翅は柿色、脈、縁毛及び前縁の半部は暗褐、内縁は暗灰色斑紋は柿色及び藍色、尾狀突起の末端は白色。開張一寸四分内外、これは臺灣の高山地帯に稀

♂



ならず。幼蟲はゼクロの若實に蠶入して食害す。  
分布—臺灣、支那、印度。

イハカハシジミ.....(三〇七)

*Dendrorix (Tahera) eryx* L.

オキナワナ形 ♀  
*f. okinawana* Mats.



翅は黒褐。後翅後縁の紋列白色、其内に黒褐紋を具す。雄の前翅底の半部並に後翅の大部は青藍色、後翅の後縁角は暗綠色。開張一寸三分内外。これは沖繩及び臺灣にも産するが何れの地方にもその數多からず。幼蟲はクナナ

クヤニヤシジミ.....(三〇八)

*Dendrorix (Vireobola) kyuaniana* Mats.

翅は雄にては暗緑、雌にては暗色、縁毛は白



色。後翅の亞外縁線は白色、肛角の卵形突起は黒色、内側は黄色、尾狀突起の内側及び末端は白色。開張一寸一分。これは臺灣阿里山地方に産するも稀なり。  
分布—臺灣。

ラジロシジミ.....(三〇九)

*Euchrysope eucjus* F.

翅は淡き紫藍色、外縁は暗色、縁毛は灰色。前翅横脈上の短線及び後翅外縁の紋列は暗色。後翅にある天鵞絨様の黒紋の内側に橙黄紋ありて、その外側は白線にて縁取られ、尾狀突起は暗色

♂



外側及び末端は白色。開張九分内外。これは臺灣に普通なる小灰蝶にして、幼蟲はタウアツキの如き豆科植物の葉を食す。  
分布—臺灣、支那、馬來、印度、濠洲。

キヤムラシジミ.....(三一〇)

*Euchrysope kinurae* Mats.

翅は紫藍色、暗色を帯び、外縁は暗黒、縁毛は



暗色、末端は灰白。後翅後縁の紋列は黒色、内縁角紋は柿色にして、青白の一線を具す。尾狀突起は黒色、末端は白色。雌の翅は暗色、紋列は黒色及び柿色。開張一寸一分内外。

シの若實を食す。  
分布—沖繩(八重山)、臺灣、印度。

これは沖繩八重山に産すれども、その数少ないが如し。

分布—沖繩(八重山)。

ツバメシジミ *Everes argiades* Pull. (三二)

カワイイ形

*f. kawaii* Mats.

*f. jarrisius* F.



♂



♂

アムレンシス形  
*f. amurensis* Hyn.



♀

♂  
び尾状突起は黒色。雌にては全面黒色、斑紋橙黄色。開張九分内外。これには氣候により變化多し。何れの地方にも普通なり。幼蟲はゲンゲ、モクシユクノ葉を食す。

分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞、歐洲。

クロツバメシジミ *Everes Escheri* Ever. (三三)

モルツレチー形

*f. moltrachi* Oberth.



♂  
翅は暗黒色、横脈上の一紋は黒色。前翅の縁毛は暗色、後翅のものは白色。後翅後縁の紋列は黒色、尾状突起は黒色、その末端は白色。開張七分五厘内外。これは朝鮮には稀ならず。

分布—北樺太、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

タイワンクロツバメシジミ *Everes hainani* Baker (三三)

マツムレー形

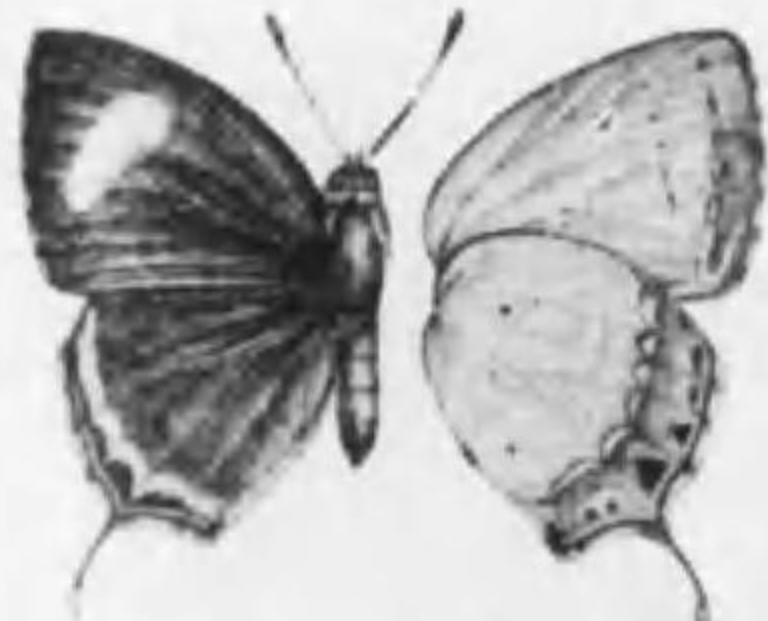
*f. matsumurae* Fruh.



♀

♂  
翅は暗黒、横脈上の一紋及び後翅後縁の紋列は黒色、縁毛は暗色。開張九分内外。これは中部臺灣に稀ならず。

分布—臺灣。



♀



♂

ウラフチベニシジミ *Matsumura* (三五)

分布—臺灣、支那、印度。

*Horaga onyx* Moor.

翅は暗褐色。前翅



を除ける第一室の全部及び後翅は青藍色。前翅の三角形紋及び後翅尾状突起の末端は白色。開張一寸内外。これは恒春地方に産するも稀なり。幼蟲はナンバンドクウツギの葉を食す。

ウラナシジミ *Lampides bocheus* Tr. (三七)

ウラナシジミ



♂

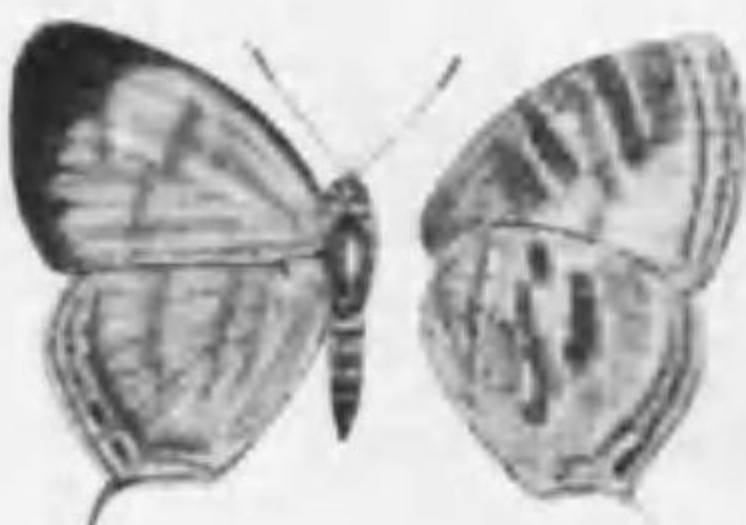
翅は青藍色。雌にては暗褐色にして中央のみ青藍色、外縁紋は灰色。後翅底に藍色鱗を散花し、外縁紋黒色、暗褐色紫色、中央の一帯灰白。開張一寸一分内外。これは小笠原島に最も普通なる小灰蝶にして、幼蟲は荳科植物の新芽、若實を食す。

分布—本州、四國、九州、歐洲、其他熱帯地方。

コシロウラナシジミ *Lampides calano* (三八)

アレキシス形

*f. alexis* Stoll



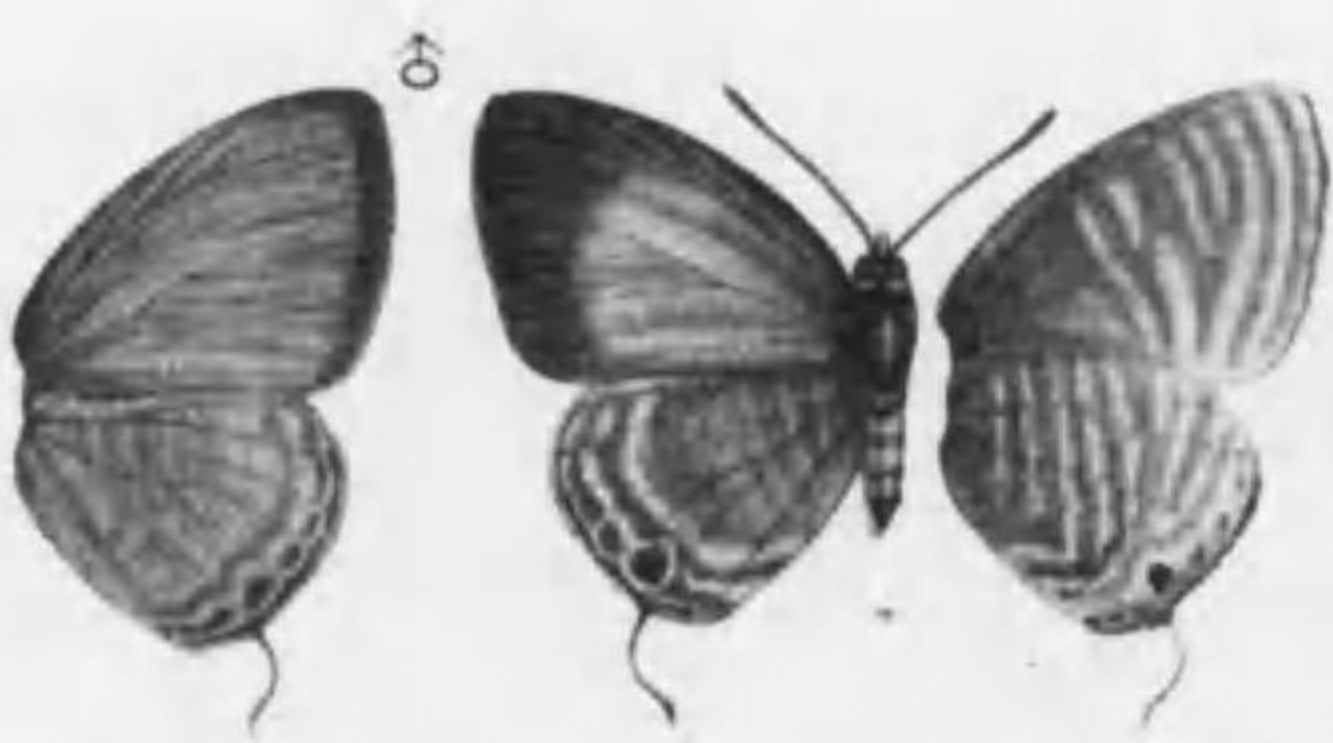
♀

翅は眞珠様の白色、少しく青味を帯び、外縁暗色。後翅後縁の紋列は暗色。雌にては帯紋は暗色、前翅の縁毛は灰色、後翅のものは白色。開張一寸一分内

シロウラナシジミ *Lampides elpis* Godt. (三九)

ツロミクス形

*f. thronicus* Fruh.



♂

翅は灰白、少しく黄色を帯ぶ。前翅前縁、外縁及び翅端は暗色。後翅外縁の二帯は暗色、斑紋は白色及び黒色。雌の翅は青白、前翅の前縁及び外縁は黒色、後翅の前縁は白色、帯紋は白色及び黒色。開張一寸二分内外。これは臺灣の中部には普通なり。幼蟲は暗んでパンウコンの芽及び實を食す。

ルリウラナシジミ *Janides loehus* Gram. (三六)

フォルモサーヌス形

*f. formosanus* Fruh.



♀



♂

翅は紫藍色、前翅の外縁、翅端及び前縁は紫黒色。後翅の外縁及び内縁は黒色。雌にては翅は青藍色、後翅眼状紋の周圍は白色。開張一寸内外。これは臺灣に普通なり。幼蟲は、ハナモツヤクの蕾を食す。

分布—臺灣、支那、馬來、印度、濠洲。

分布—臺灣、支那、印度。

シシミテフ *Lycena argus* L. (三三〇)

インシユラーリス形 ♂ 翅は青藍色、外縁は黒色、縁毛は白色。後翅の外縁に黒紋を列ぬ。開張九分内外。これは本邦最も普通なる小灰蝶にして、幼蟲はカタバミの葉を食す。



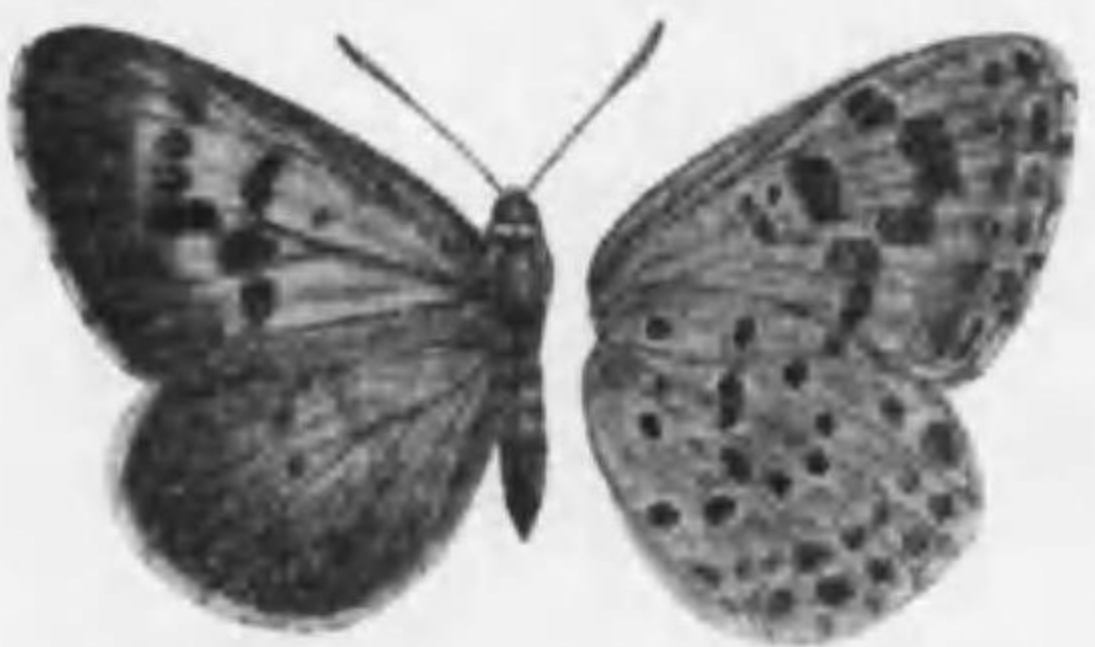
分布—日本全土、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

オホゴマダラシシミ *Lycena arionides* Stgr. (三三一)

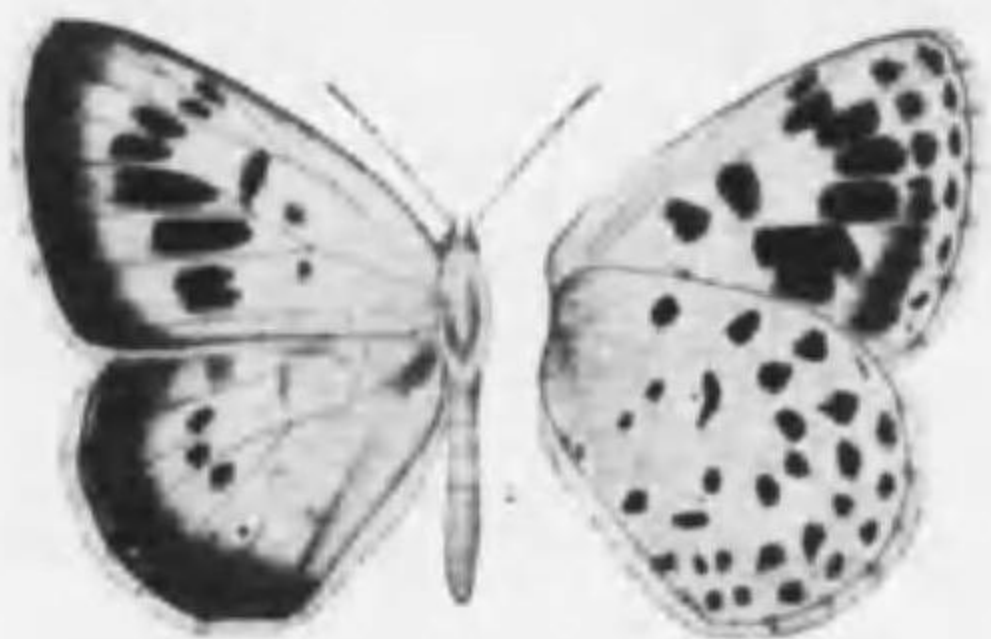
翅は青藍色、斑紋、前縁及び外縁並に翅脈は黒色。裏面は白色、少しく青味を帯び、斑紋は黒色、縁毛白色。開張一寸五分内外。これは信州地方に産すれども少なし。

分布—本州、滿洲、アムール。

タカムクイー形 ♀ *L. takamukui* Mats.



スギタニ形 ♂ *L. sugitanii* Mats.



は前翅と略々同様なれども、横脈紋を缺き、縁毛は長し。裏面は灰色、紋は黒色、周圍は白色。前翅の外縁にある橙黄帯は判然せざるも、後翅の同色帯は太く、判然す。開張一寸二分。これは一色周知氏の淺間にて發見せる珍種なり。

分布—本州(淺間)。

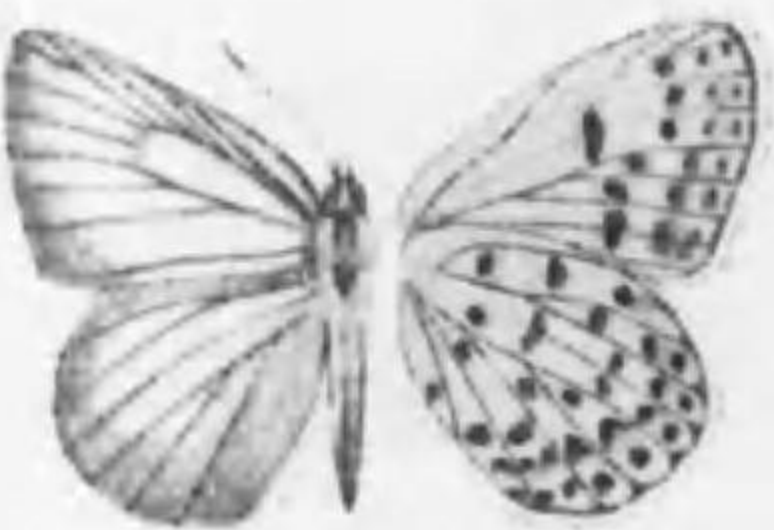
ハマシシミ *Lycena astrucule* Bgst. (三三三)

ツカリネンシス形 ♀ 翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ。前翅横脈上の一紋は暗黒色、前縁及び縁毛は白色、後者の基部は暗色、外縁の紋列は暗黒及び暗色。後翅の紋列は暗黒及び暗色。開張九分内外。これは樺太の海岸に普通なる種類なり。幼蟲はハンニチバナ、ヤグルマギク、キクバフウロの如き葉を食す。



分布—樺太、滿洲、西比利亞、歐洲、亞弗利加。

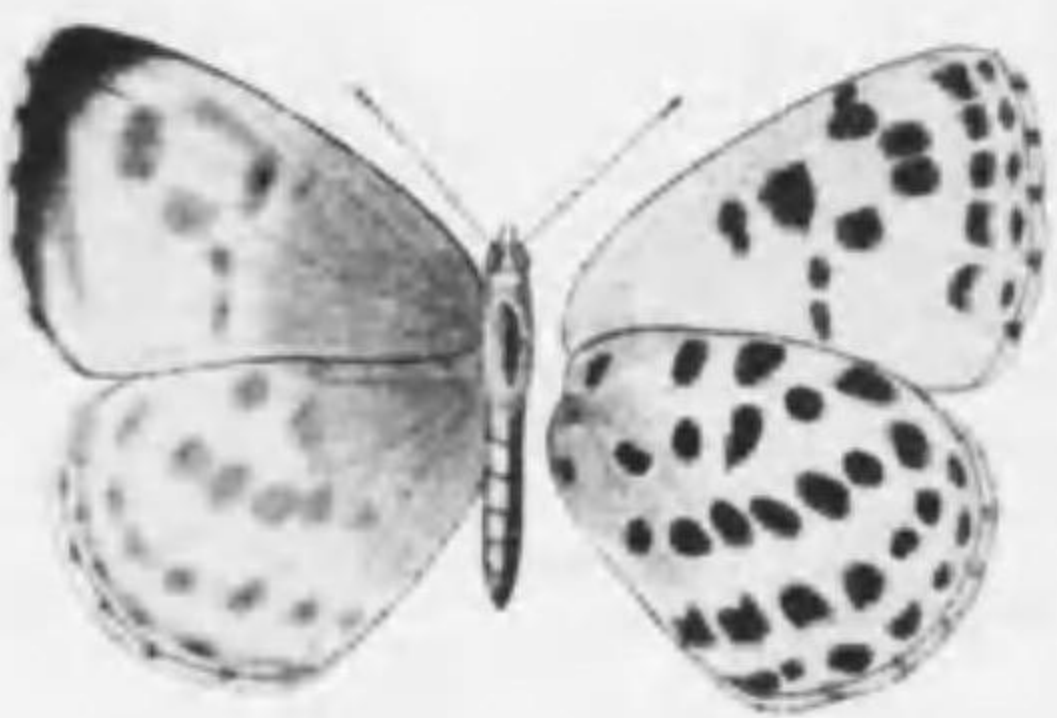
アサマシシミ *Lycena asanensis* Mats. (三三二)



雄翅は暗色、翅底の大半は淡青色、その部分の脈は暗色なれば判然せり、尚横脈紋も暗色、前縁及び縁毛は白色。後翅

ウスアヲコマダラシシミ *Lycena atropurpurea* Oberth. (三三四)

全翅は白色、基半部は青色を帯び、斑紋及び前マツムラーナ形 ♀ フオルモサーナ形 ♀ *L. nutsumurana* Kn. *L. formosana* Mats.



翅外縁は後角を除き黒色、縁毛は白色、脈の終點は黒色。裏面にては兩翅の基部及び後翅の内縁少しく青味を帯ぶ。體の背面は黒色、下面は白色。開張一寸四分内外。これは埔里地方には少からず。

分布—臺灣、支那、印度。

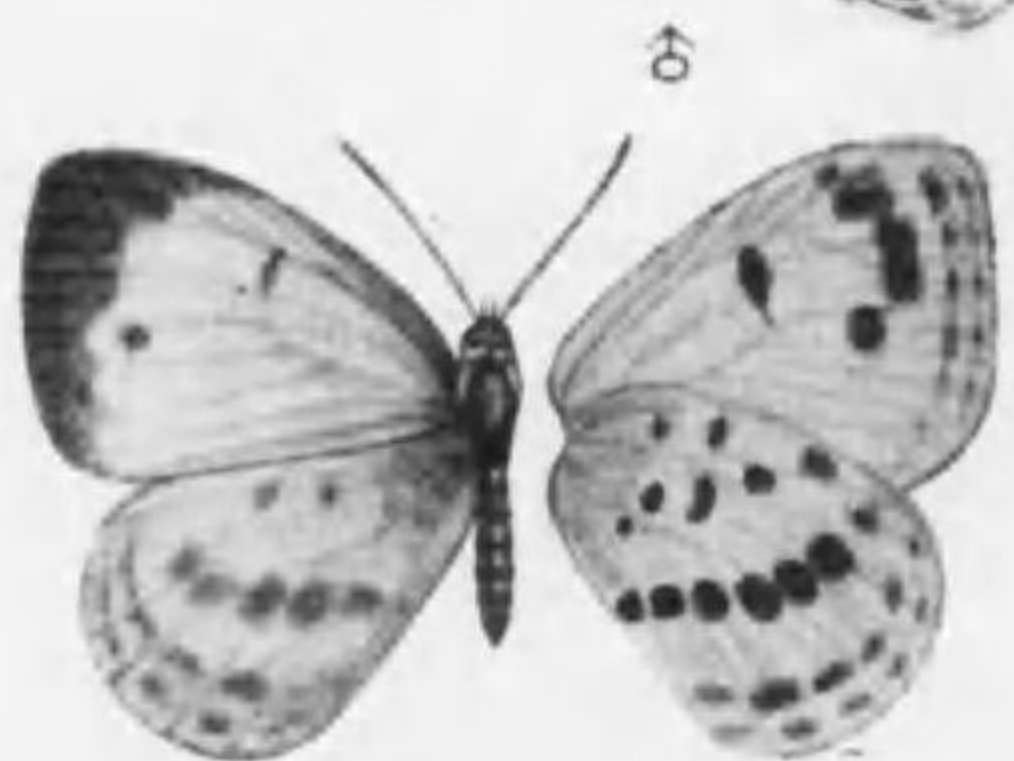
オホルリシシミ *Lycena hearni* Loew. (三三五)



翅は青藍色、前翅の外縁及び後翅の前縁は黒色、斑紋及び前翅の横脈は黒色。開張一寸二分内外。これは淺間その他岩代河沼地方には普通なり。

分布—本州、九州。

オホゴマダラシシミ *Lycena abitozana* Wilem. (三三六)



翅は白色。前翅横脈上の一紋、翅端、外縁及び第三室の一紋は黒色、後縁の紋列は判然せざる暗色。開張一寸五分内外。これは臺灣の高山地帯に

テウセンルリシシミ *Lycena eros* Dalis. (三三七)

エロチデス形 ♂ *L. eroides* Stgr.



翅は青藍色、外縁は黒色、縁毛は暗色。雌にては全部暗色。開張一寸一分内外。これは朝鮮に産するも餘り多からざるが如し。幼蟲は判然せず。

分布—朝鮮、支那、アムール。

コマシシミ *Lycena euphemus* Hb. (三三八)

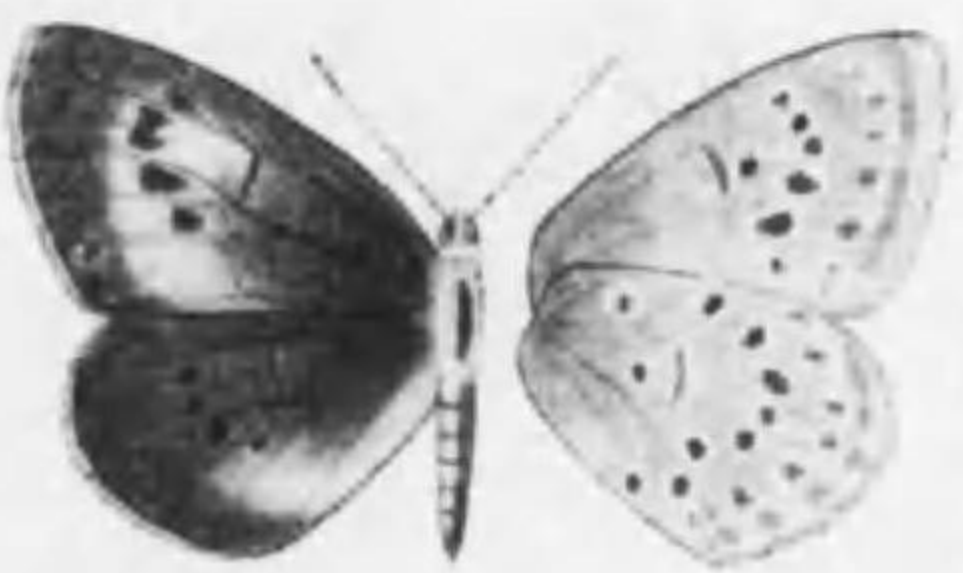
翅は青藍色、前縁及び外縁は暗色、斑紋は黒色。開張一寸三分内外。これには多數の變化あり。幼蟲はワレモツカウの葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

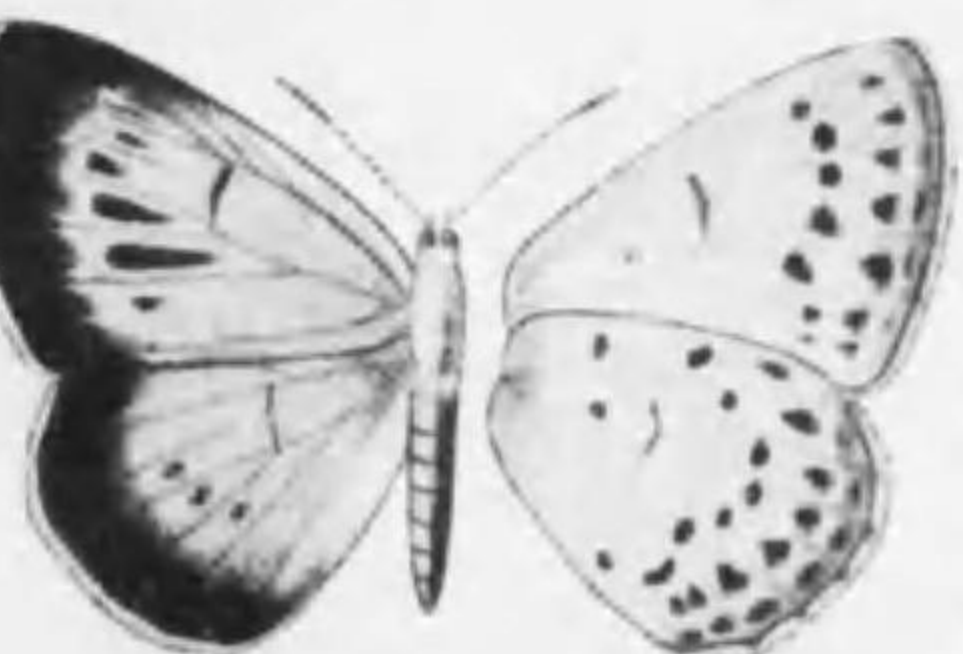
附言—これには次ぎの如き諸變形あり。



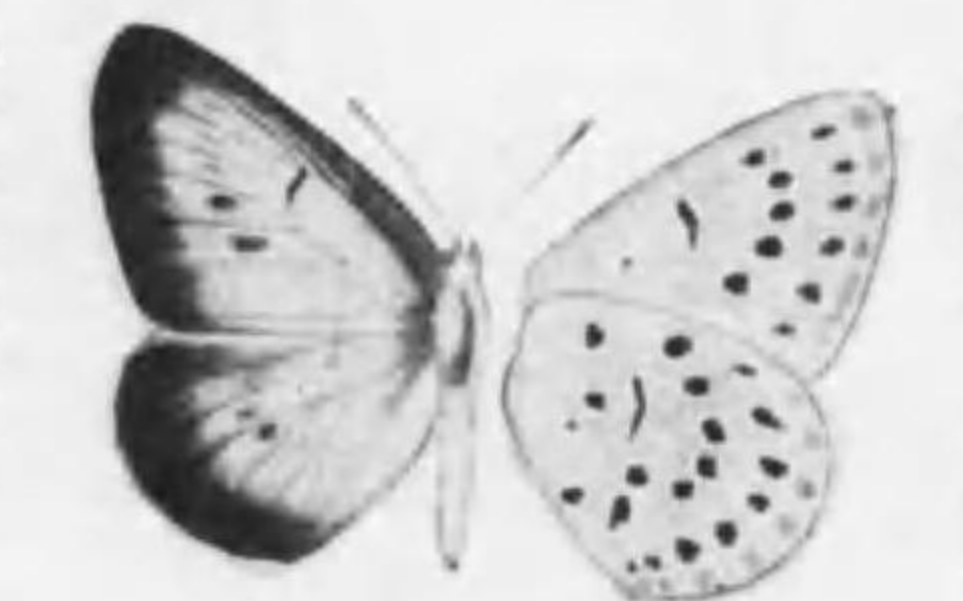
ムラテール形 ♀ *Lycena muratae* Mats.



シリエンス形 ♂ *Lycena shirrens* Mats.



テシオーニス形 ♀ *Lycena tesionis* Mats.



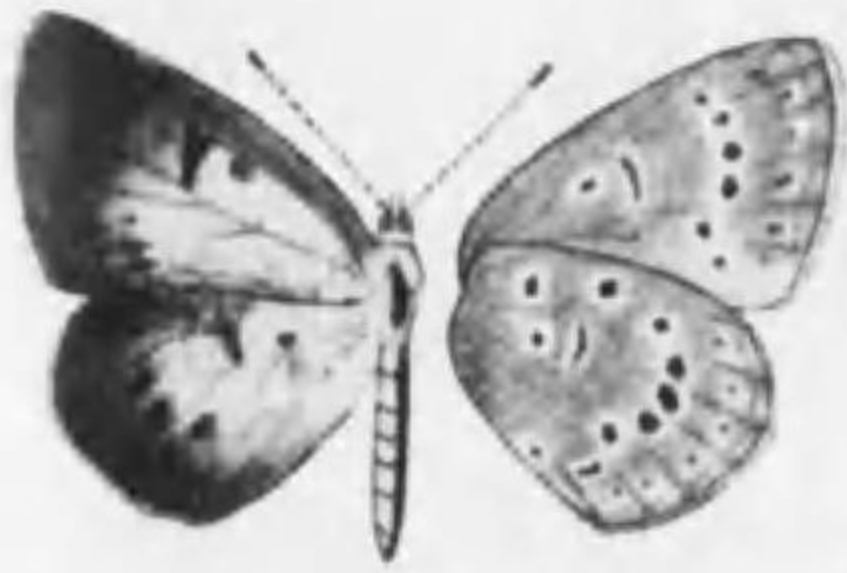
列を缺くを以て容易に區別せらる。

ハツバシジミ *Lycena hupjensis* Mats. (三三〇)



翅は暗色、縁毛は淡色。裏面は灰白、少しく青味を帯び、斑紋は黒色、その周囲は白色。開張九分五厘内外。これは北朝鮮にて発見せられたるものなるが稀なるが如し。  
分布—朝鮮。

オヒツケアーナ形 ♂ *Lycena oiwhikana* Mats.



エゾエンシス形 ♂ *Lycena jozensis* Mats.



ハクトウシジミ *Lycena hakutozama* Mats. (三三九)

翅は黒色、縁毛は白色。裏面は暗色、斑紋は黒色、其周囲は白色、外縁に近き紋列は暗色、紋の中央は橙黄色、外圍は白色。開張九分五厘内外。これは朝鮮白頭山にて発見せられたる珍種なり。



分布—朝鮮(白頭山)。附言—これはハマベシジミに酷似すれども表面に赤紋

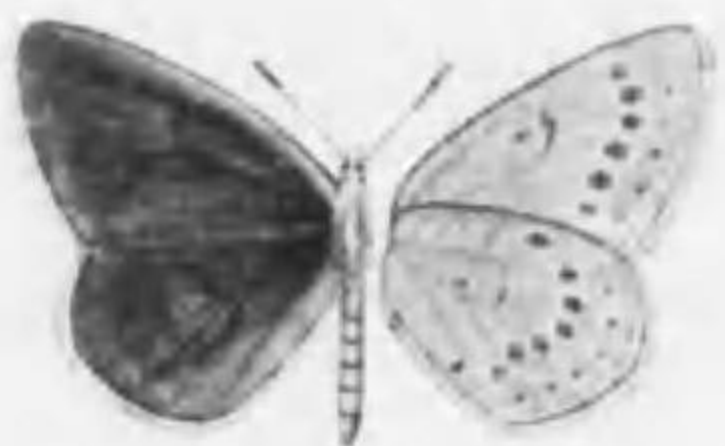
ヘイジャウシジミ *Lycena heijensis* Mats. (三三一)



雌翅は暗色、前翅の基半部は青藍色、横脈紋及びその外側の紋列は黒色、第四、五、六室にある黒紋は餘り判然せず、外縁

は細く黒色、縁毛は白色、脈の末端に黒紋、外縁に近く黒紋列ありて、藍色部にあるものは判然すれども、暗色部にあるものは判然せず、縁毛は前翅と同様。裏面は灰白、斑紋は黒色、後翅の外側に一対の黒紋列ありて、その間室は橙黄色、翅底は少しく緑色を帯ぶ。開張一寸二分。これは平壤にて発見せられたる珍種なり。  
分布—朝鮮(平壤)。

ホウザンシジミ *Lycena hozanensis* Mats. (三三二)



翅は暗色、中央部に少しく青色鱗を装ひ、後翅にては少なし。前翅中央の一點は黒色、縁毛及び周縁白色。裏面は暗灰色、卵形の黒紋を具へ、白圈を有す。開張一寸一分内外。これも亦朝鮮にて発見せられたるも稀なるが如し。  
分布—朝鮮。

カラフトシジミ *Lycena karafutonis* Mats. (三三四)



翅は淡青藍色、外縁及び翅脈は暗色、縁毛は白色。開張一寸内外。これは札幌琴似地方に産するも稀なり。  
分布—北海道。



翅は暗色、紋列は柿色及び黒色。ハマベシジミに酷似すれども、その異なる要點は、翅少しく淡色、前翅の柿色紋は弦月形にして連続し、その外側の黒紋列は判然す。後翅の後縁に近く楕圓形の黒紋列ありて、此紋は何れも内方に失る。開張八分内外。これは樺太の海岸に産すれども、餘り多からざるが如し。  
分布—樺太。

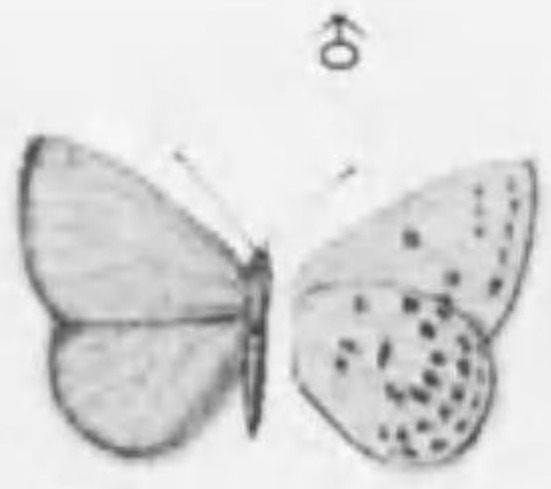
カハイロシジミ *Lycena kaioensis* Butl. (三三五)



翅は青藍色、外縁は黒色、縁毛は青白。雌にては暗褐色、兩翅は中央に少しく青藍色の細鱗を混じ、斑紋は黒色。開張一寸二分内外。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲は豆科植物の葉を食す。

分布—北海道、本州、滿洲、西比利亞、アルタイ。

カラフトルリシジミ *Lycena ophete* Knob. (三三六)



翅は紫藍色、外縁は暗色、縁毛の末端は白色。後翅の前縁及び内縁は黒色。雌の翅は暗褐色、翅底紋は紫藍色。後翅後縁の紋列は暗色、其内側に黄色の一紋あり。開張九分内外。これは樺太に普通なるが、北海道にては大

ロシシジミ *Lycena ishidae* Mats. (三三三)



シビリカ形  
*E. shibirica* Zett.

雪山の如き高山に産す。幼蟲はイヌイチゴの葉を食す。

分布 樺太、北海道。

チャウサンシジミ……………(三三九)

*Lycæna orion* Pall.

エゾエンシス形

*E. jezeusis* Mats. *E. corcella* Mats.



♀

♀

ウラゴマダラシジミ……………(三三八)

*Lycæna pyret* Murr.



♀

分布 北海道、本州、アムール。



マイケシジミ……………(三三九)  
*Lycæna fatialis* Mats.

翅は暗黒、少しく青紫色を帯び、又金綠色を現はす。前翅は前縁の基部に青白の鱗毛を具へ、縦脈は少しく綠色を帯び、縁毛は白色。後翅の基部に紫色鱗毛を有す。裏面は淡灰色、基部は青白、暗色紋を散在し、その周囲は白色。開張七分五厘内外。これは朝鮮三池淵に發見せられたるが稀なるが如し。

分布 朝鮮(三池淵)。

サツマシジミ……………(三四〇)

*Lycænoptis alboerulans* Moor.



♀

翅は青藍色、雄にては中室外側の大部分は青白、翅端は黒色、縁毛は白色、暗色部あり。後翅は青白、青色鱗毛多く、亜外縁線は黒色、縁毛は白色、暗色毛を混す。雌にては前翅の外縁は太く黒色。開張一寸内外。これ

ヘリブトルシジミ……………(三四四)

*Lycænoptis latimargo* Mats.



♀

雄、前翅前縁の黒色部中室に延長せず、外縁は廣く縦脈と共に黒色。後翅の黒縁は一層廣く縦脈は第五脈を除き黒色。翅の基部は裏面に少しく青色を帯び、後翅前縁の中央に近く大なる黒紋を裝ひ、縁毛は白色。開張八分餘。これは埔里バイバラ及びカンコウにて發見せられたり。

分布 臺灣(埔里)。

ホリシヤルシジミ……………(三四五)

*E. himalaica* Fruhs.



♀

♂

ヒミルコン形

ルリシジミ……………(三四一)

*Lycænoptis argiolus* L.

ラドニデス形

*E. latonides* Orza



翅は淡き瑠璃色、前縁は白色、外縁は黒色、縁毛は白色。雌にては暗色、鱗状紋は青藍色、横脈紋は黒色。後翅は青白、外縁の紋列は濃色。開張一寸一分内外。これは本邦何れの地方にも普通なり。幼蟲はクロウメモドキ、キツタ、ソヨゴその他種々の植物葉を食す。

分布 日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞、歐洲。

タツバンルリシジミ……………(三四二)

*Lycænoptis cantha* Feld.

翅は淡き紫藍色。前翅の中央は稍々淡色、外縁線及び縁毛は黒色、後者の末端は白色。後翅に

ヘルモンチス形……………(三四三)

*E. hermonthis* Fruhs.



♀

は白色部を具へ、外縁線は黒色。開張一寸内外。これは恒春地方に稀ならず。

分布 臺灣、支那、印度。

イシガキルリシジミ……………(三四三)

*Lycænoptis ishigakianus* Mats.



♀

翅は暗色。前翅の中央に淡青色の斑紋を具へ、それは第一脈より中室の後角に達し、中室紋黒色、端直、縁毛は暗色、末端は白色。後翅の中央及びその下方に青色鱗を裝ふ。裏面はタイワンルリシジミに似る。開張九分。これは杉谷岩彦氏の所有する珍種にして、石垣島にて發見せられたり。

分布 沖縄(石垣島)。



*Neodulha nori* Feld.



アルダーテス形  
*E. ardates* Moor.

翅は紫褐色、光線の具合にて紫色を現はす、外縁及び縁毛は暗色。後翅の尾状突起は黒色、外縁及び末端は白色。雌にては前翅基部に青藍色の楕圓紋あり。後翅の紋條は暗色及び白色。開張八分内外。これは廣く東洋に分布すれども未だこの幼蟲は判然せず。  
分布—臺灣、比律賓、馬來、印度、漆洲。

クロウラナミシジミ  
*Neodulha pectolus* Feld. (三五五)

翅は紫褐色、光線に依り藍色を現はし、外縁及び縁毛は暗色、灰色部あり、尾状突起は暗色、末端は白色。雌は暗褐、斑紋は紫藍色。開張一寸二分内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならず。幼蟲は判然せず。

ハイナニ形  
*E. hainani* Sak.



分布—臺灣、支那、馬來、印度、南洋諸島、漆洲。

アマミウラナミシジミ  
*Neodulha perusia* Feld. (三五六)

翅は暗褐、斑紋は青白。雄は紫白色、裏面の灰プロミネンス形。♀ *E. prominens* Moor.



白帯を透視し得べし、外縁は黒色、縁毛は灰色、暗色線を貫通す。後翅の第一室及び第二室は白色線を具へ、尾状突起は黒色、末端は白色。

裏面は暗灰色、帯は灰白、四双あり。開張一寸内外。これは南洋に廣く分布す。  
分布—沖繩、臺灣、支那、比律賓、南洋印度、漆洲。

タイワンウラナミシジミ  
*Neodulha taiwana* Mats. (三五七)



雄裏面

帯は白色又は灰白。開張一寸内外。これは臺灣埔里にて捕獲するものなるが、稀なるが如し。  
分布—臺灣(埔里)。

附言—これはホリシヤウラナミシジミに酷似すれども、その異なる所は、翅は一層濃色、裏面の白帯を透視するを得ず。後翅の第一及び第二室の末端に一黒紋を具へ、第一室にあるものは

少しく大、裏面の帯は灰白、細く、餘り判然せず。

タカムクウラナミシジミ  
*Neodulha takamukurana* Mats. (三五八)



翅は紫褐色、外縁及び縁毛は暗色。裏面の帯は灰白。開張八分内外。これは臺灣埔里にて高橋梯吉氏の採集せるものなるが稀なり。  
分布—臺灣。

附言—これはアマミウラナミシジミに酷似すれども、その異なる所は、前翅にては裏面の白帯を少しく透視し得べきも、後翅にては透視し得ず。裏面は灰色、帯は灰白、前翅に三双ありて廣く、第一及び第二帯は同幅、但し第一帯は後縁にて細まり、第二帯は後縁にて太く、何れも第一脈に達す。

クロシジミ  
*Niphantha fusca* Brem. et Grey (三五九)

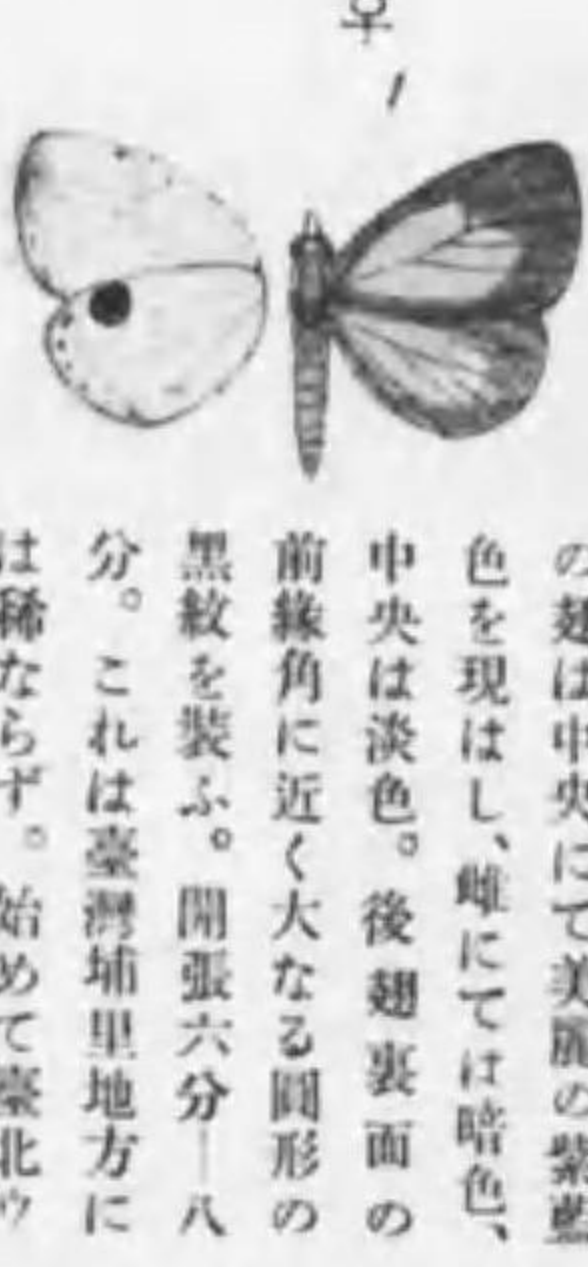
第六鱗翅目(蝶亞目)

ニフオニカ形 *E. nipponica* Mats. (三六〇)



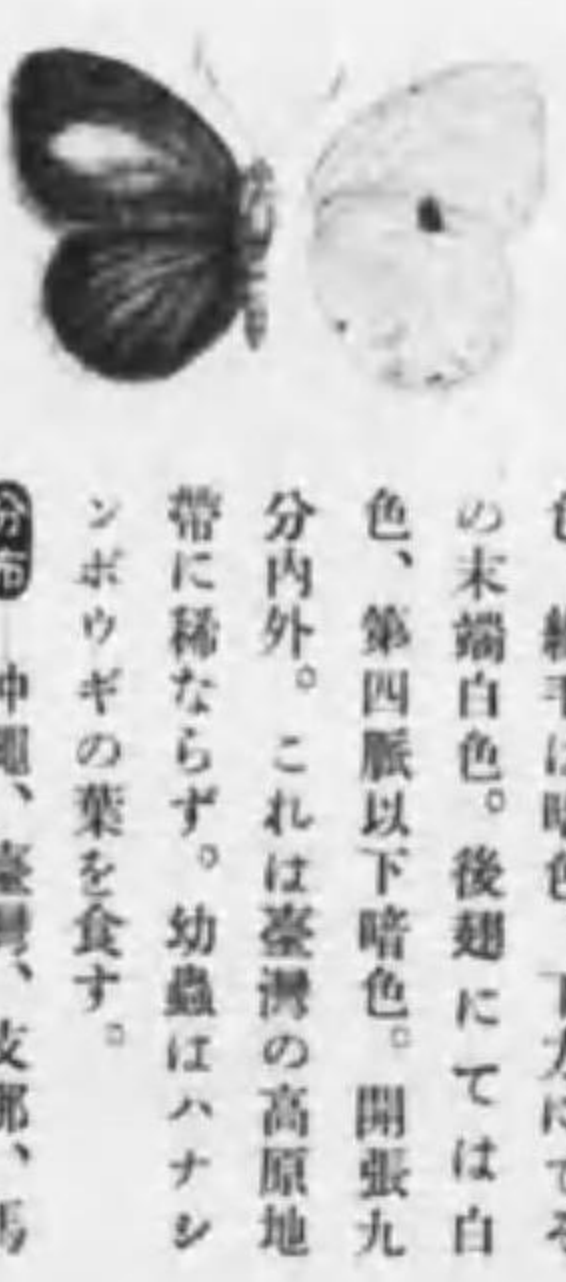
州、朝鮮、支那、西比利亞。  
分布—本州、九州。

ウライクロシジミ  
*Pithecoptis urai* Sak. (三六〇)



これはクロボシウラジロシジミに似れども、雄の翅は中央にて美麗の紫藍色を現はし、雌にては暗色、中央は淡色。後翅裏面の前縁角に近く大なる圓形の黒紋を裝ふ。開張六分—八分。これは臺灣埔里地方に稀ならず。始めて臺北ウライにて發見せられたればこの名あり。

クロボシウラジロシジミ  
*Pithecoptis (Neopithecoptis) zalmora* Burt. (三六一)



分布—臺灣。

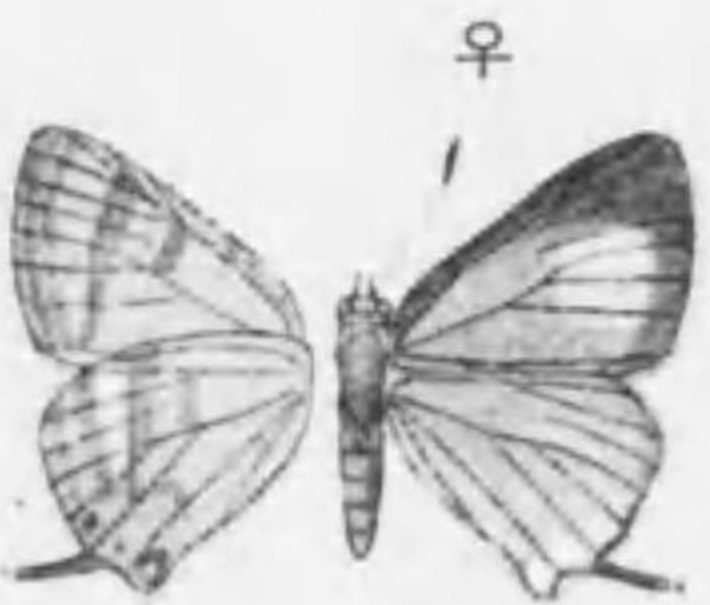
トラフシジミ  
*Rapala atrata* Brem. (三六二)



翅は黒藍色。後翅眼状紋の中央は朱色、周圍は黒色、尾状突起は黒色、その末端は白色。裏面は黄白、斑紋は暗

色、後縁角は橙黄色、四黒紋を装ひ、内縁の斜  
條は黄白。開張一寸一分内外。これは本邦普通  
なる小灰蝶なるが、年二回の發生にして、夏期  
に現はるゝものは、その裏面少しく褐色を帯  
ぶ。幼蟲はハギの葉に寄生す。尤も四齡後は蟻  
の巢に移動するにあらざるか。  
分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利  
亞。

モントラフシジミ *Rapala coreoica Mats.* (三六三)



これはアカトラフシジミに酷似すれども、その  
異なる所は左の如し。  
雌、前翅表面の赤色紋  
は小形、裏面はトラフ  
シジミのそれに似た  
り、併しながら兩翅の  
亞外縁線は淡色の縦脈  
により遮断せられず、  
第一及び第二室に白紋  
ありて、その周圍は黒  
色。雄にては赤紋を缺き、後翅の内縁に赤紋列  
を装ふ。開張一寸二分。これは朝鮮に稀ならざ  
るか如し。

分布—朝鮮(京城)。

ヒラヤマシジミ *Rapala hirayama Mats.* (三六四)



兩翅は暗青藍色、縁毛は黄褐。後翅の内縁は暗  
褐、肛角紋は赤褐、黒  
紋を藏し、尾狀突起は  
赤褐、末端は白色。裏  
面は黄褐、中央線は濃  
色、外側は白色、亞外  
縁線は判然せず。後翅  
肛角紋は表面と同じ。  
開張一寸一分内外。こ  
れは平山修次郎氏の埴  
里にて捕獲せるものな  
るが稀なり。  
分布—臺灣(埴里)。  
附言—これはワタナベシジミに酷似すれども、  
後翅肛角突起の小なること及び尾狀突起の短か  
き事にて容易に區別し得べし。

ホリシヤシジミ *Rapala horishana Mats.* (三六五)



翅は黒藍色。前翅の大部は黒褐、斑紋は赤褐、



♀ フォルモサネラ形 *F. formosanelia Mats.*



スズキイイ形 *F. suzuki Mats.*  
黄褐にして、少し  
く金色を帯び、帯  
は暗褐にして、外  
側は灰白。後翅の  
第一及び第二室に  
各一黒紋を具へ、  
尾狀突起は長し。  
開張一寸一寸二  
分。これは朝鮮及  
び臺灣に産すれど  
も稀なり。

ワタナベシジミ *Rapala nissai Moor.* (三六七)

翅は青藍色、前翅は暗色、横脈外の楕圓紋は柿  
色。後翅の尾狀突起は黒色、末端にて白色、肛  
角紋は紅色、亞外縁線は白色。雌にては中室外  
側の柿色紋を缺く。開張一寸三分内外。これは  
臺灣の高山地帯に捕獲せらるゝも稀なり。幼蟲  
はシャウマの葉を食す。北埔にて始めて渡邊龜  
作氏の採集せるものなるを以て斯く命名せり。  
分布—臺灣、支那、印度。



シヤクワウシジミ *Rapala shakojiana Mats.* (三六八)



これはトラフシジミの變形に酷似すれども、そ  
の異なる所は左の如  
し。雌、表翅は一層濃  
色、裏面の横脈紋は後  
縁に向つて尖がらず、  
殊に後翅にて後横線に  
近接す、後翅の後横線  
は下方の三分の一の處  
にて黄色、兩側に黒線  
を装ふ、亞外縁線は淡色の脈によりて遮断せら  
れず、肛角紋は小形。開張一寸。これは朝鮮釋

翅底及び後縁は青藍色。後翅の肛角紋は黄色。



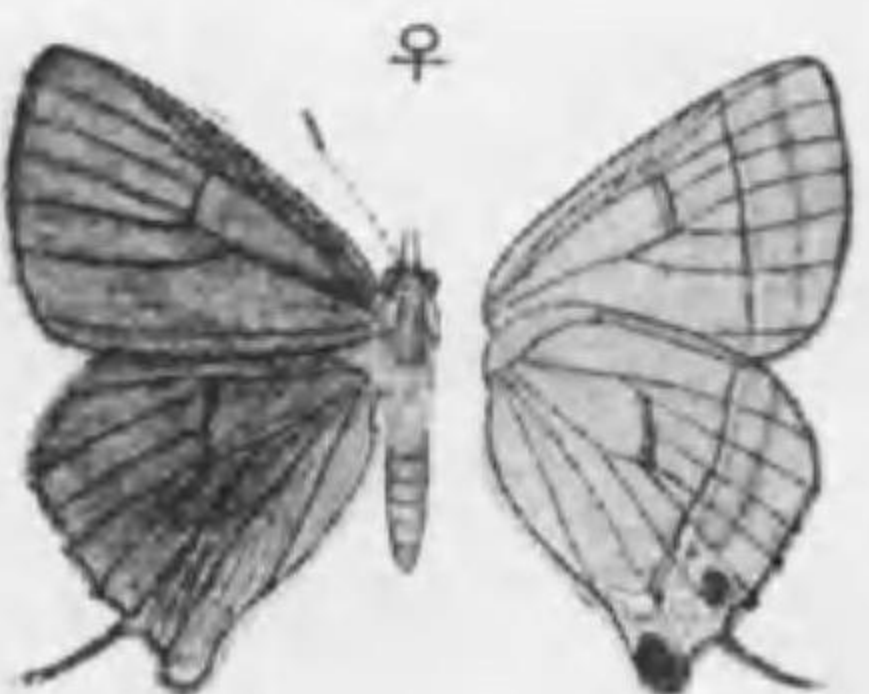
開張一寸内外。これは臺灣埴里地方にて捕獲せ  
るが餘り多からず。  
分布—臺灣。  
附言—これはクラルシジミに酷似すれども、そ  
の異なる所は、裏面赤褐、前翅横脈の外側にあ  
る横帯は端直、尙、後翅の亞外縁線も端直に  
して、第三室の黒紋上に一白點を有するによりて  
區別せらる。

アカトラフシジミ *Rapala nicaeus Brem. et Grey* (三六六)

翅表はトラフシジミに酷似するも、前翅の中央  
に赤紋を具へ、これは雌にては大なり。裏面は

王寺にて發見せられたるものなるが、稀なるが  
如し。  
分布—朝鮮(釋王寺)。

タカサゴシジミ *Rapala takasagonis Mats.* (三六九)



これはヒラヤマシジミに酷似すれども、その異  
なる所は左の如  
し。雌にては兩翅  
一層濃き藍色にし  
て、寧ろトラフシ  
ジミの方に似る、  
後翅の尾狀突起は  
長く、ヒマラヤシ  
ジミの約三倍長あ  
り、肛角圓形の突  
起は大なり。裏面  
は赤褐にして、灰白と暗色の帯を具へ、肛角紋  
は黒色、その外方に灰白紋ありて、黒點を散在  
す。開張一寸四分。これは埴里にて發見せられ  
たるも稀なるが如し。  
分布—臺灣(埴里)。

クラルシジミ (三七〇)

*Rhyakia varnana* Horst.  
フォルモサーナ形 ♀  
*f. formosana* Frihs.



翅は淡き紫藍色、前翅端及び外縁は濃色。雄にては黒藍色、前翅端及び外縁は暗色。後翅の尾状突起は黒色、末端は白色、第一室外縁の線は白色、斑紋は黒色及び黄色。開張一寸内外。これは臺灣に普通なり。

著者は始めてこれを恒春ケラルにて発見せるを以て斯く命名せり。幼蟲はナツメ、ランタナの葉を食す。

分布 臺灣、支那、印度。



コツハメ  
*Satuma ferrua*  
Buhl.

翅は暗青色、前翅底の一角は青色鱗を装ふ。後翅の尾状をなせる肛角は褐色、縁

毛は白色と黒色の斑をなす。開張七分五厘内外。これは廣く日本領上に産すれども、樺太には産せざるが如し。幼蟲は稚果を食すと云ふ。

鋭角をなして突出す。裏面は灰白、鏡物色を帯びたる暗色の小横線を散在す。開張八分—九分。これは埔里にて発見せらるゝも、その暗色にして、小形なる爲め捕獲し損ふものなり。

分布 日本全土。

分布 臺灣、支那、印度。

分布 臺灣。



タイワンゴイシシジミ  
*Shijimia moorei* Leech  
Taiwanu Mo. 雌

翅は暗色、縁毛は少しく白色を帯ぶ。裏面は灰白、斑紋は黒色、周圍は白色、前翅横脈上の一短線は太し。開張九分内外。

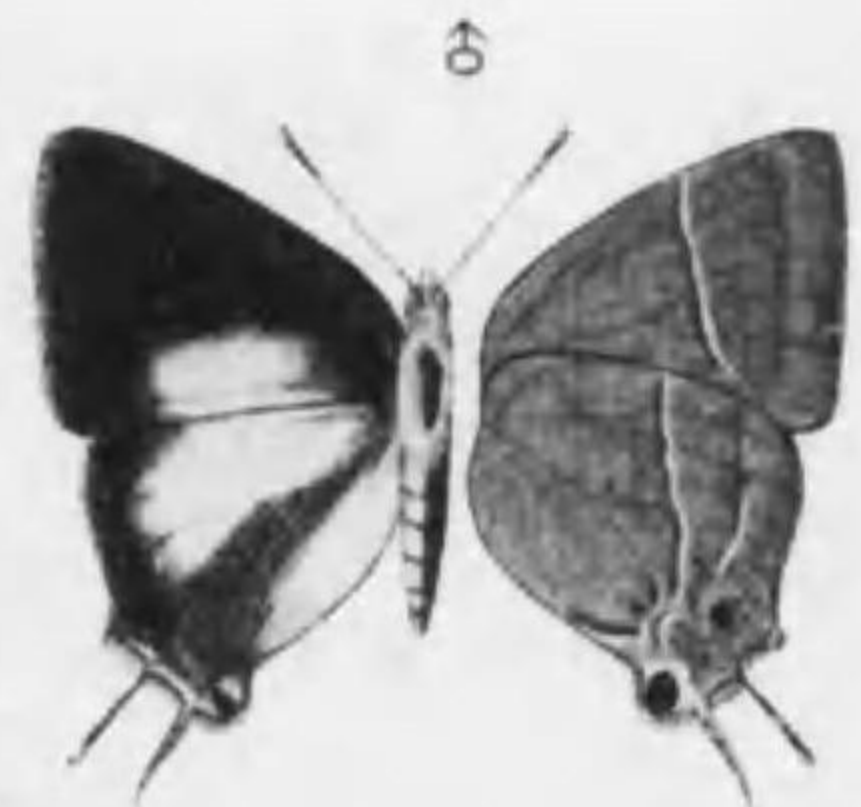
分布 臺灣。

附言 一これは一見クロツバメに似るも、尾状突起を缺くを以て容易に區別し得。



シロモンクロシジミ  
*Spalgis epirus* West.  
Taiwanu Mo. 雄

翅は暗色、雌にては前翅の中央は少しく淡色、翅端は同味を帯べども、雄にては



アサギシジミ  
*Tajuria coenula* Nir.  
Taiwanu Mo. 雄

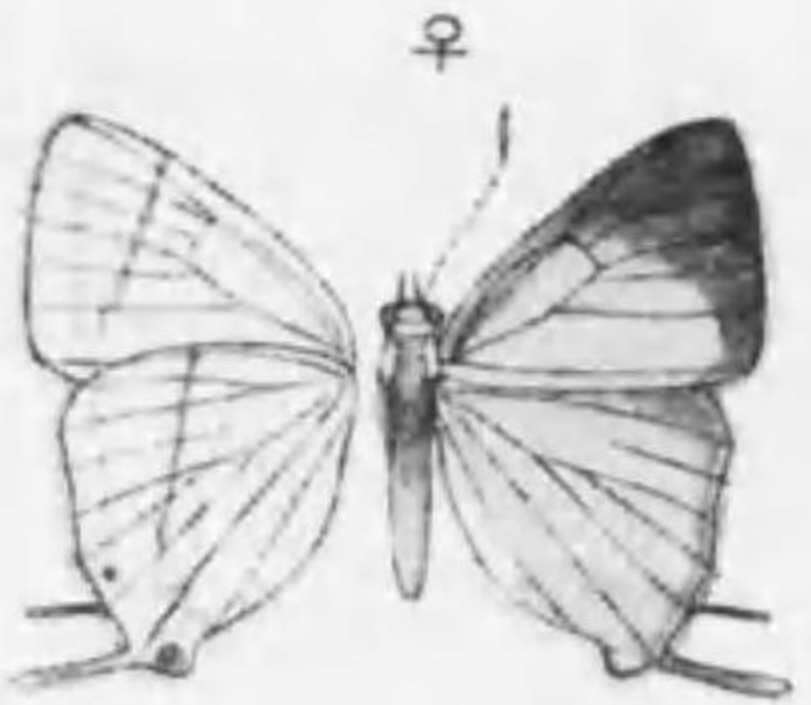
雄、兩翅黒色。前翅後縁の中央及び後翅前縁の中央に青色大斑あり。後翅は内縁少しく淡色、肛角に二個の黒紋ありて、光澤ある青色鱗を混じ、この紋の内側は黒褐、尾状突起の末端は白色。裏面は赤褐、中央線は黒色、その内側は橙黄色、外側は白色、亞外縁線は暗色。後翅の肛角は灰青色、小黒点を密布す、此部の二黒紋の内側橙黄色。開張一寸三分内外。これは臺灣埔里地方の高原に産すれども稀なり。

分布 臺灣。

これはアサギシジミに酷似すれども、その異なる所は左の如し。

雌、前翅は一層濃藍色にして、その色は後角に達す。

後翅の黒縁は細く、肛角突起は小なり。裏面は銀灰白、各翅に暗色の斜條ありて、後縁に向つて細く且つ



波状をなす。開張一寸二分餘。これは花蓮港にて発見せられたる珍種なり。

分布 臺灣(花蓮港)。

分布 臺灣、支那、馬來、印度、亞弗利加。

分布 臺灣(花蓮港)。

翅は淡き紫藍色、外縁は暗色、縁毛は灰白。後翅の亞外縁線は灰白、尾状突起は暗色、末端は白色。雌にては翅は白色、前縁及び外縁は暗色



テウセンツマアカカラスシジミ  
*Thecla eximia* Frihs. 雄

翅底より横脈まで青白色、V字紋列は黒色。後翅の脈は暗色、斑紋は黒色及び青色。開張九分内外。これは臺灣の中央部に稀ならず。幼蟲はインドマツリの花を食す。

分布 臺灣、支那、馬來、印度、亞弗利加。

分布 臺灣、支那、馬來、印度、亞弗利加。



翅は暗黒、橙黄色の斑紋を有するものあり。後翅肛角の外縁に青色部を具へ、尾状突起は黒色、末端は白色、縁毛は淡き橙黄色、裏面の紋條



テウセンカラスシジミ  
*Thecla herzi* Frihs. 雄

翅は暗褐色、雄の性標は灰白色、縁毛は灰褐。後翅にては亞外縁線は黒色、縁毛は黒色及び灰

は濃色、中央線の外側は白色、外縁に近き列紋の周縁は淡色乃至白色。後翅肛角の斑紋は黒色、内側に赤褐色部を具へ、外縁線の内側は白色。開張八分—一寸三分内外。これは何れの地方にも餘り多からず。朝鮮に産するものは形大なり。

分布 朝鮮、臺灣。

附言 一これには色々の變形あり。

翅は暗褐色、雄の性標は灰白色、縁毛は灰褐。後翅にては亞外縁線は黒色、縁毛は黒色及び灰



色。裏面は灰褐、斑紋は暗色、後翅の外縁に近く柿色帯ありて、これは第一室より第三室に達す。開張一寸一分内外。これは朝鮮に稀ならざる様なり。幼蟲はナシの葉を食す。

分布 朝鮮。

ミヤマカラスシジミ *Thecla inara Jans.* (三七九)



翅は暗褐。後翅第一室の外縁及び肛角には赤褐紋を具へ、外縁及び縁毛は暗色、尾状突起の末端は白色。裏面は黄褐、外縁に柿色帯あり。開張一寸内外。これは青森地方には普通

なれども、他には多からず。分布 本州、九州。

ムシヤカラスシジミ *Thecla musshana Mats.* (三八〇)

雄はテウセンカラスシジミに酷似すれども、その異なる所は左の如し。翅の裏面は淡灰色、前翅の外縁列は暗色紋より成り、各紋は灰白線にて縁取られ、後翅の第二室に円き紅色紋あり



て、その中に一黒点を具へ、一双の尾状突起は頗る短かし。開張一寸。これは大國督及び楚南仁博氏の採集せるものなるが、稀なるが如し。分布 臺灣(露社)。

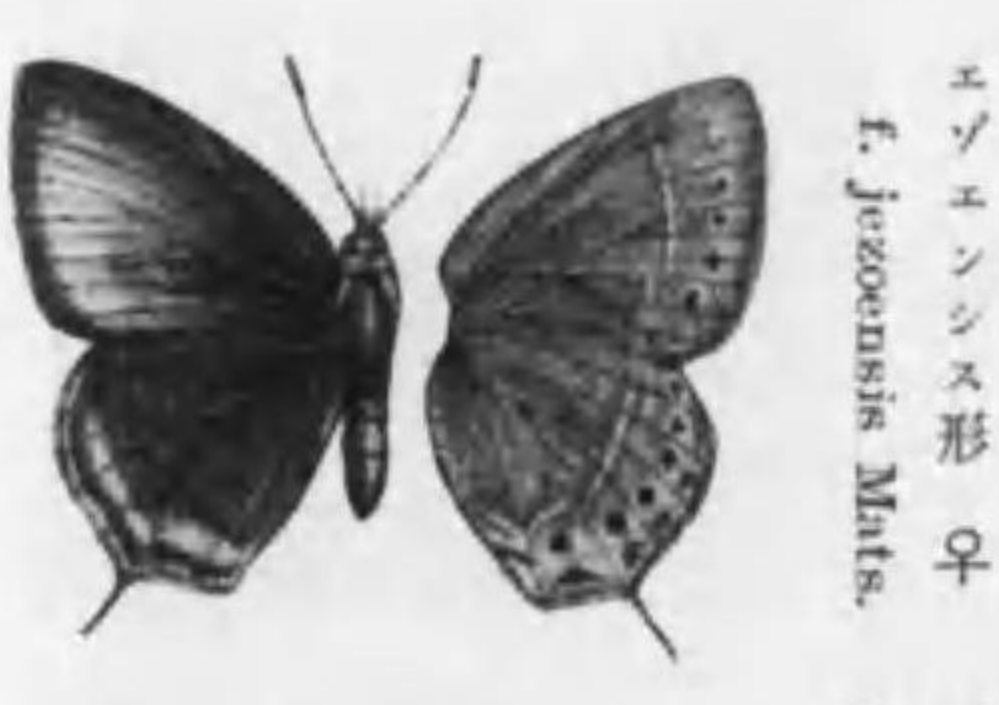
ツマアカフタラシジミ *Thecla formosana Mats.* (三八一)

翅は雌、暗褐、雄は光線の具合に依り少しく紫色を帯び、性標は楕圓形にして、灰色。後翅の内縁角は柿色、其外側は暗色、尾状突起の末端



は白色、雄にては前翅に大なる紅色紋を有す。開張一寸五分内外。これは臺灣の高山地帯に産するが稀ならず。分布 臺灣。

エゾリンゴシジミ *Thecla pruni L.* (三八二)



翅は暗色、條帯は黄色。裏面は灰褐、白帯及び黒紋列を具へ、尙、その他に黄紋及び柿色帯あり。開張一寸三分内外。野平安藤雄氏は北海道落合にて蜘蛛の巣に掛る本種を著者に送附せり。極めて稀なり。

マヘルリシジミ *Una (Orthomiella) ruitaizana Willem.* (三八六)



翅は紫黒色。後翅の前縁は紫藍色、脈は黒色、縁毛は前翅にては黒色と白色との斑をなし、後翅にては大部黒色。開張八分内外。これはワイルマン氏の始めて阿里山地方に發見せるものなるが稀なり。

分布 臺灣。

アダチシジミ *Zephyrus adachii Mats.* (三八七)



翅は暗色、横脈上の一紋及び外側の一横紋は濃色、縁毛は暗色、前翅後角の縁毛は白色。後翅の各室紋は白色、白紋中に黒紋を有するものあり、尾状突起は黒色、内側及び末端は白色。開張九分内外。これは札幌近傍にて足立元太郎氏の採集せるものなるが、極めて稀なるが如し。

るが如し。幼蟲はリンゴの葉を食す。分布 北海道、朝鮮、アムール、歐洲。

リンゴシジミ *Thecla prunoides Mgr.* (三八三)



翅は暗色。エゾリンゴシジミに酷似すれども、外縁及び肛角に赤黄色紋を缺くを以て容易に區別し得べし。開張一寸内外。これは朝鮮に産するが、少なからず。分布 朝鮮、滿洲、アムール、アルタイ。附言 一の形及び斑紋に變化あり。

ヒメツマアカカラスシジミ *Thecla spinii Schiff.* (三八四)

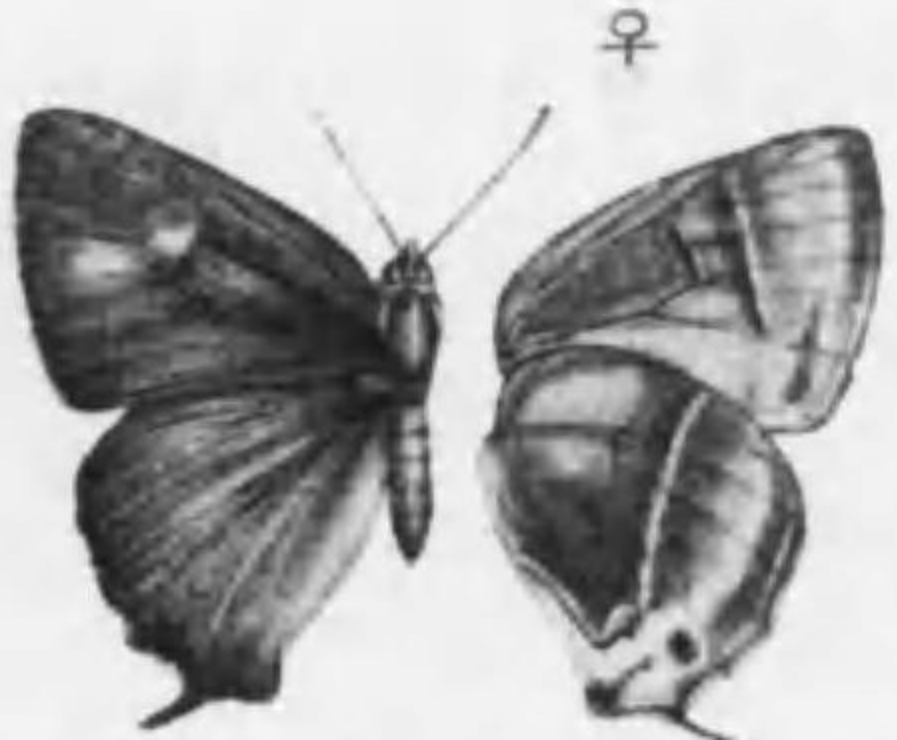
翅は黒褐。後翅の肛角に柿色紋を具へ、第二室にも同様の一紋を裝ふ。裏面は淡色、後翅の白帯はV字形をなし、第二乃至第四室に柿色紋を列ぬ。開張一寸二分内外。これは朝鮮に産する

分布 北海道。

アイノミドリシジミ *Zephyrus mino Mats.* (三九八)

*Zephyrus mino Mats.*

翅は暗褐色、雄にては鎖物性の緑色、外縁は黒色、雌の前翅紋は橙黄色。開張一寸二分内外。これは北海道に稀ならず。幼蟲は未だ判然せざるも、柵の葉を以て食するが如し。



附言 北海道、本州。

アカミドリシジミに酷似すれども、その主なる差異は、雄にては翅の外縁にある黒色部細く、雌にては前翅に二個の橙黄紋を具へ、裏面は灰色にして、横脈に細き一短線を装ひ、外側にある白帯と同幅、後翅の横脈上及び第七室の基部に斑紋を缺く。

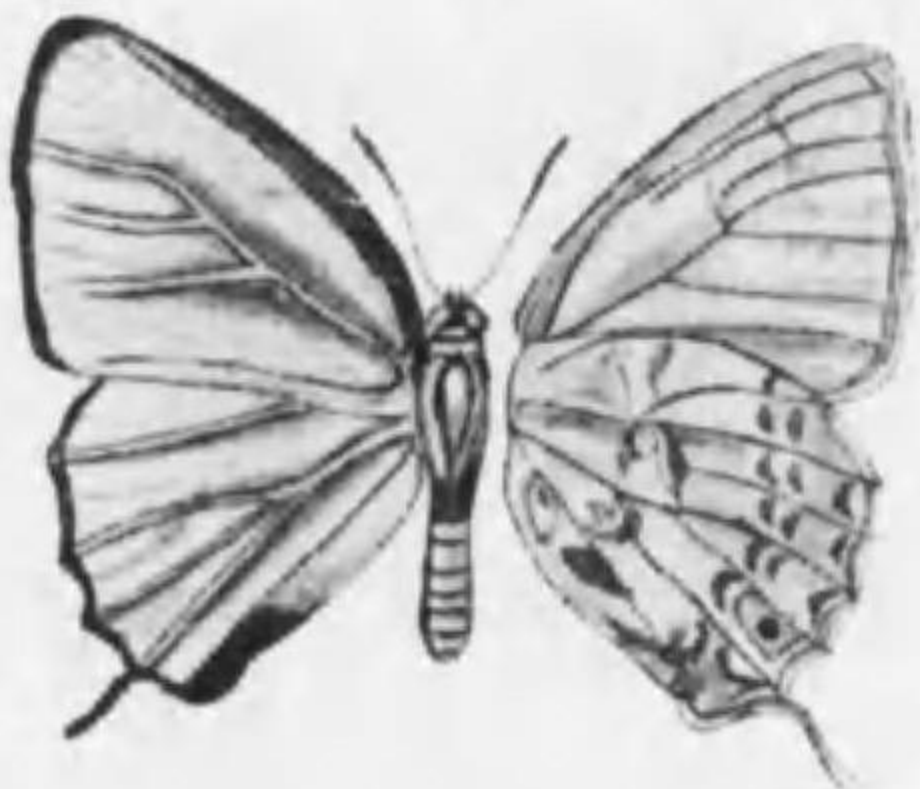
クリシマシジミ

(三九八)

クリシメンシス形

*F. kirishimensis Okaj.*

ミツイロバナガシジミ (三九〇)



*Zephyrus ataxus Dtl. et Hew.*

翅は雄、暗緑、外縁は細く黒色、裏面は灰白、後翅の紋帯は暗色、後横線一列にして、波状をかし、内方ものは判然し、外縁の紋列は枝月形をなし、肛角に三紅色紋ありて、第二室にあるものは黒色の眼点を有す。雌は前翅底に二紫色紋を具へ、外側には更に赤色の二紋を装ふ、裏面は暗褐色、帯は灰色、肛角の紅紋は雄のものより小なり。開張一寸三分—一寸四分。これは九州霧島山に産すれども稀なるが如し。

九州、沖縄(屋久島)、支那、印度。

*Zephyrus atitia Brem.*

翅は暗褐色、縁毛は白色。後翅外縁の細帯は白色、紋列は白色、尾状突起は黒色、その内縁及び末端は白色。裏面白色、紋列は暗褐色。開張一寸内外。これは何れの地方にも稀ならず。幼蟲は柵科植物の葉を食す。

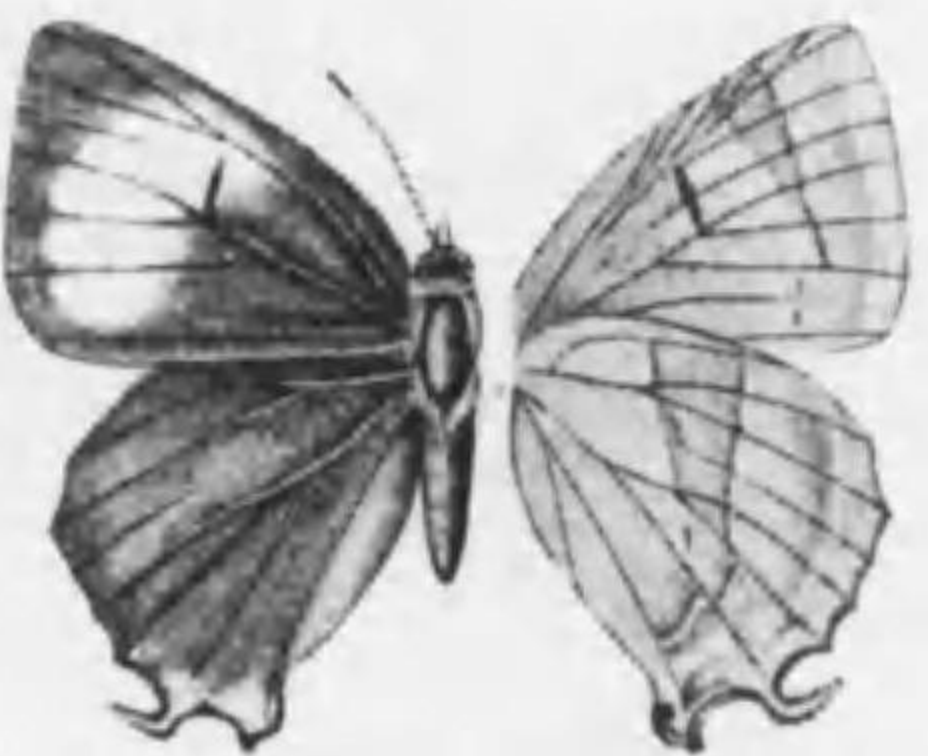
北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

テウセンメスアカシジミ (三九二)

*Zephyrus betulae L.*

翅は暗色、雄にては横脈紋黒色、肛角及び尾状

ホライーナ形 *F. aurantia Nfr.*



突起の基部に赤紋を装ふ。雌にありては前翅の中央に近く楕圓形の紅色紋を装ふ。裏面は黄褐色、後横線及び亜外縁線は灰白、その内側は暗色、横脈紋は暗色にして、後翅のものは長し。開張一寸二分—一寸三分。これは朝鮮に産するも餘り多からず。幼蟲はサクラ、モモ、カバ等の葉を食す。

朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

メスアカミドリシジミ (三九三)

*Zephyrus brilliantina Stgr.*

翅は雄にては金綠色、その周縁は廣く黒色、雌にては暗褐色、前翅の中央紋は赤黄、後翅の肛角紋は黄色。裏面は褐色、白帯は細く、斑紋は大型。開張一寸三分内外。これは樺太に少なしと雖も、北海道には普通なり。幼蟲は柵科植物

第六 鱗翅目(蝶亞目)

の葉を食す。



を有するを以て容易に區別し得べし。

ウスイロバナガシジミ (三九二)

*Zephyrus lantieri Fent.*

ツノミチアーナ形 *F. onomichana Mats.*



これは小灰蝶の内稀なる種類にして、

同裏面



札幌地方に産するものは、中國産のものに比して、小形なり。幼蟲は柵科植物の葉を食するが如し。

北海道、本州、滿洲。

タイワンアカシジミ (三九四)

*Zephyrus conus Leech.*

ワイルマニエラ形 *F. wilsoniella Mats.*



翅は黄赤。前翅端は黒色。後翅の亜外縁線黒色。裏面は灰色、外縁に近く白帯を具へ、その外側に柿色紋を列ぬ。開張一寸二分内外。これは臺灣埔里に産すれども少なし。

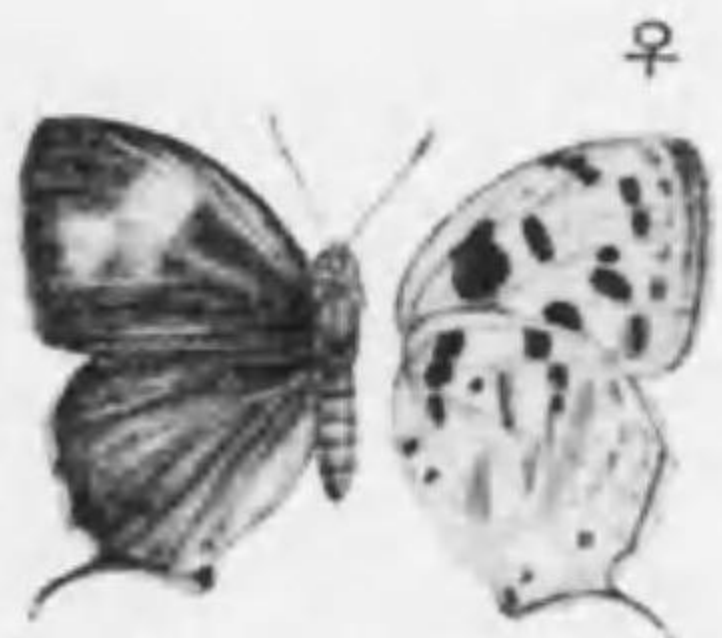
臺灣、支那。

バナガシジミ (三九五)

*Zephyrus eitha Jans.*

五七一





翅は暗色、雄は中室外側に二個の灰白紋を装ひ、縁毛は暗灰色。後翅尾状突起は黒色、末端は白色。裏面は白色、斑紋は黒色、肛角に橙黄紋あり。開張一寸内外。これは地方的の小灰蝶にして、枯桃の多き地方には普通なり。幼蟲は枯桃の葉を食とす。

分布 北海道、本州、満洲、支那

フジミドリシジミ……………(三九六)

Zephyrus fujisana Mats.

雄にては前翅金緑色、外縁は廣く黒色。裏面は灰白、四條の暗色線を装ふ。雌にては暗色。開



張一寸一分内外。これは本州の高山地帯に産すれども稀なり。著者は始めてこれを富士山の七合目にてその飛び来るものを捕獲せり、故に斯く命名したり。

分布 本州。

シラキミドリシジミ……………(三九七)

Zephyrus leucote Leach

翅は雄にては綠色、廣く黒色線を具ふ。裏面は暗灰色、前翅に二條、後翅に三條の白線を装ひ、前翅の中央には同色の一環紋あり。雌は暗色にして、前翅に二黄紋を装ふ。開張一寸一分。これは新高及び大水局にて發見せられたるが稀なり。

分布 臺灣、支那。

ウラキンシジミ……………(三九八)



翅は雄にては鐵物様の綠色、外縁は黒色、オホミドリシジミに近似す。開張一寸一分内外。雌にては前翅廣く褐色。開張一寸四分内外。これは札幌地方に普通なれども、檜の梢上に静止するを以て注意せざれば發見し難し。幼蟲は檜科植物の葉を食するもの如し。

同裏面 分布 北海道、本州。

エゾミドリシジミ……………(三九九)

Zephyrus jezoensis Mats.

翅は雄にては鐵物様の綠色、外縁は黒色、オホミドリシジミに近似す。開張一寸一分内外。雌にては前翅廣く褐色。開張一寸四分内外。これは札幌地方に普通なれども、檜の梢上に静止するを以て注意せざれば發見し難し。幼蟲は檜科植物の葉を食するもの如し。



寸一分内外。これはミドリシジミと混じて何れの地方にも稀ならず。幼蟲は未だ發見せられざるも、

分布 北海道、本州。

附言—これはオホミドリシジミに酷似すれども、その主なる差異は、翅端は一層鋭角をなし、外縁の黒色部は明瞭に太く、後翅の外縁は廣く黒色、肛角に青白の一細線を缺き、尾状突起の短きにあり。

分布 北海道、本州。

附言—これはオホミドリシジミに酷似すれども、その主なる差異は、翅端は一層鋭角をなし、外縁の黒色部は明瞭に太く、後翅の外縁は廣く黒色、肛角に青白の一細線を缺き、尾状突起の短きにあり。

分布 北海道、本州。

附言—これはオホミドリシジミに酷似すれども、その主なる差異は、翅端は一層鋭角をなし、外縁の黒色部は明瞭に太く、後翅の外縁は廣く黒色、肛角に青白の一細線を缺き、尾状突起の短きにあり。



ムモンアカシジミ……………(四〇〇)

Zephyrus jans. jans.

翅は柿色。雄の翅端に少しく褐色部を有す。後翅の尾状突起は黒色。開張一寸一分内外。これは本州の高山地帯に産すれども稀なり。著者は始めてこれを富士山の七合目にてその飛び来るものを捕獲せり、故に斯く命名したり。



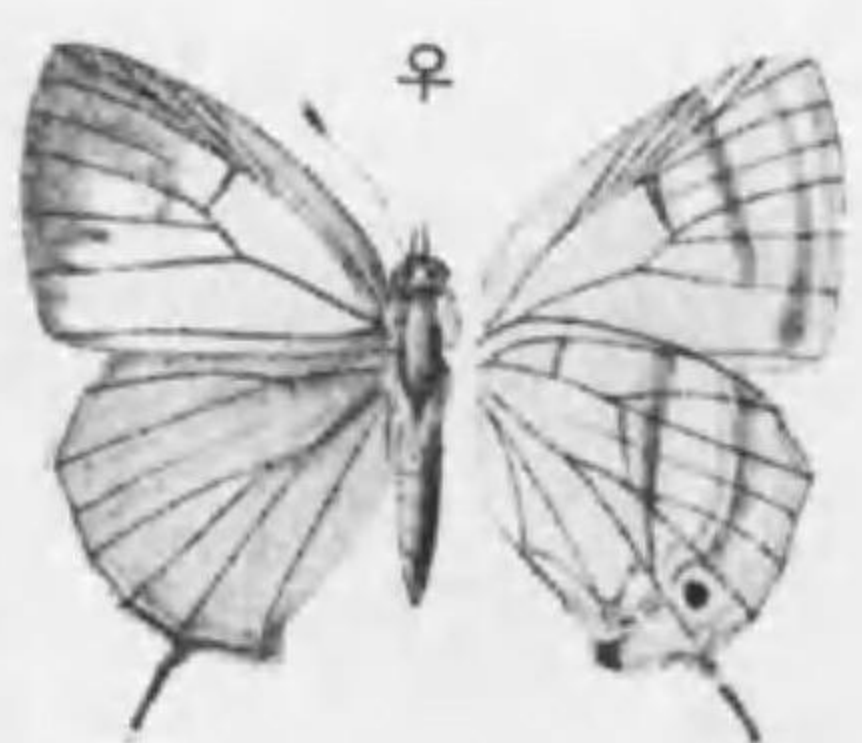
ジヤウザンミドリシジミ……………(四〇一)

Zephyrus jozana Mats.

翅は鐵物様の綠色、外縁は黒色。エゾミドリシジミに近似す。開張一寸一分内外。

分布 北海道。

附言—エゾミドリシジミと異なる要點は、後翅の尾状突起は長く、外縁の黒色部狭く、裏面にては前翅の内帯は弓状をなし、後翅の橙黄紋は連続せずと雖も、中間に同色の小紋を有するを



カノウミドリシジミ……………(四〇二)

Zephyrus kanonis Mats.

これはタイワンミドリシジミに酷似すれども、その異なる所は、雄にては表翅に一層金色強く、後翅の黒縁は第二室より第五室迄細し、裏面は灰白にして、暗色帯を有す。雌にては前翅の藍色紋は明に大形、その外側は稍や後角に連す、中室の外側に青白の方形紋を具へ、第三室の中央に更に一個の小藍色紋を装ふにあり。開張一寸三分。これは新高、達高、花蓮港に發見せられたり。

稀なるが如し。

分布 臺灣(高山地帯)。

アカシジミ *Zephyrus lutea* Hew. (EOM)

*Zephyrus lutea* Hew.



翅は黄赤色、前翅端は褐色。後翅の尾状突起及び肛角紋は黒褐色。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は柵斗科植物の葉を食す。  
分布 北海道、本州、満洲、西比利亞。

オホミドリシジミ *Zephyrus orientalis* Murr. (EOM)

*Zephyrus orientalis* Murr.

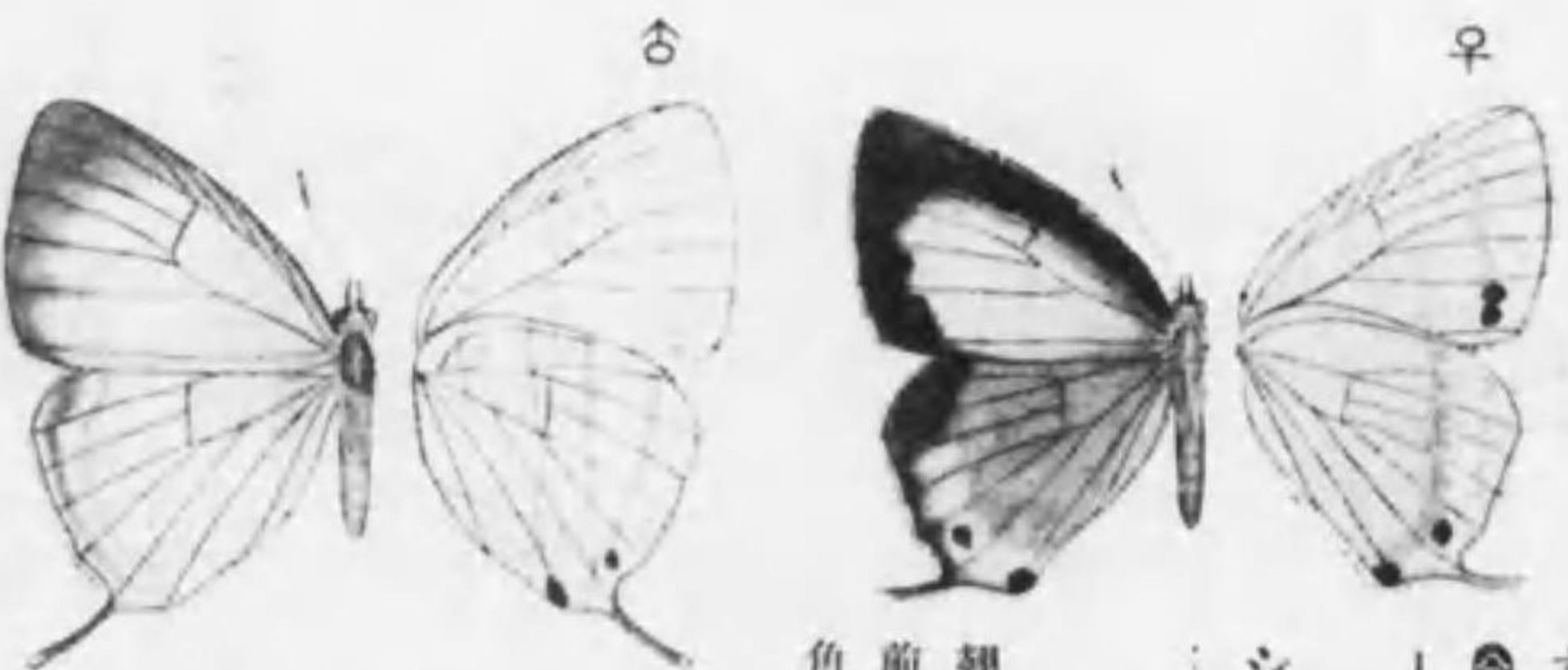


翅は鐵物性の綠色、外縁は細く黒色。後翅の内縁は暗褐色、縁毛は灰白。雌にては暗褐色、前翅中央の斜紋は灰色、縁毛は灰白。開張一寸四分内外。これは札幌地方に普通なり。

すれども稀なり。  
分布 朝鮮、アムール。

シロシジミ *Zephyrus nivea* Nir. (EOM)

*Zephyrus nivea* Nir.



翅は灰白にして、前翅の外縁及び前角并に横脈は廣く暗色。裏面は白色、灰色の横帯ありて、トラフシジミの如き觀を呈すれども、何れも細し。開張一寸二分。これは臺灣埔里地方に産すれども稀なるが如し。著者は唯一匹の雄を有するのみ。  
分布 臺灣。

ウラクロシジミ *Zephyrus orsedie* Burt. (EOM)

*Zephyrus orsedie* Burt.

翅は眞珠様の灰白、光線の具合に依り少しく藍色を帯び、外縁は暗色。前翅前縁及び後翅の斑紋并に尾状突起は暗色、末端は白色。開張一寸二分。これは日光及び鹽原地方に稀ならず。幼

幼蟲は柵の葉を食す。  
分布 北海道、本州、支那、朝鮮、西比利亞。

稀なるが如し。

分布 臺灣(高山地帯)。

アカシジミ *Zephyrus lutea* Hew. (EOM)

*Zephyrus lutea* Hew.



翅は黄赤色、前翅端は褐色。後翅の尾状突起及び肛角紋は黒褐色。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲は柵斗科植物の葉を食す。  
分布 北海道、本州、満洲、西比利亞。

ヘリクロアカシジミ *Zephyrus michaelis* Oberth. (EOM)

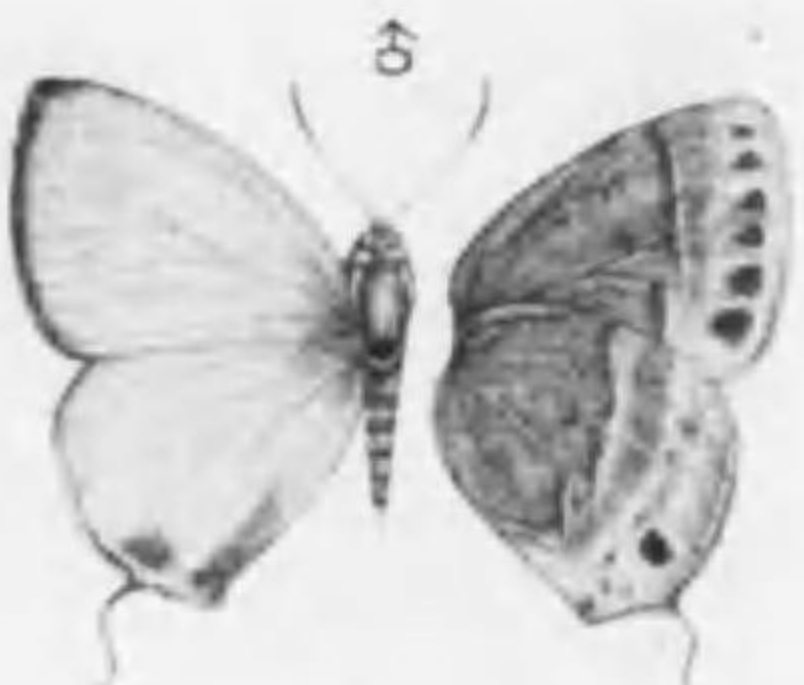
*Zephyrus michaelis* Oberth.

雌にては、前翅は柿色、前縁及び外縁は廣く暗色。後翅は暗色、外縁に柿色紋を列ね、第二室の柿色紋中には更に黒色紋あり。雄にては翅は暗色、前翅の中央に翅底に達する黄赤の大紋を有す。開張一寸一分、一寸三分。これは朝鮮に産

蟲は柵斗科の植物の葉を食するもの如し。  
分布 本州。

テウセンアカシジミ *Zephyrus raphaels* Oberth. (EOM)

*Zephyrus raphaels* Oberth.



フラメン形 ♀  
*F. Flammae* Loebch



兩翅は柿色、前縁及び外縁は黒褐色、縁毛は淡黄褐色。裏面は暗色、外縁三分の一は柿色、これに白紋列を列ね、第一、第二室には黒紋を裝ふ。開張一寸五分内外。これは朝鮮に産するもその數少なきが如し。  
分布 朝鮮、満洲。

ウラナミアカシジミ *Zephyrus saepestrata* Hew. (EOM)

*Zephyrus saepestrata* Hew.

第六 鱗翅目(蝶亞目)



翅は柿色、裏面の暗色紋を透視し得べし。前翅端は狭く黒褐色。裏面の紋列は黑色。開張一寸四分内外。これは地方的の小灰蝶にして、時に群生することあり。幼蟲は柵斗科植物の葉を食す。  
分布 北海道、本州、西比利亞。

ウラジロシジミ *Zephyrus sapirina* Stgr. (EOM)

*Zephyrus sapirina* Stgr.



翅は鐵物性の綠色、光線の具合に依り少しく紫色を帯び、外縁狭く黒色、雌にありては全面暗色。裏面灰白、少しく銀色

タイワンミドリシジミ *Zephyrus scintillans* Loebch (EOM)

*Zephyrus scintillans* Loebch



體翅暗褐色。前翅の中室及び其下方の一圓は青藍色。雄にては鐵物性の綠色、外縁は黒色。後翅第一及び第二室の部分に一青白線を裝ひ、肛角には赤紋ありて、これに黒紋を有す。開張一寸二分内外。これは臺灣阿里山地方に産すれども、その數少なし。幼蟲は未だ

判然せず。

分布—臺灣、支那。

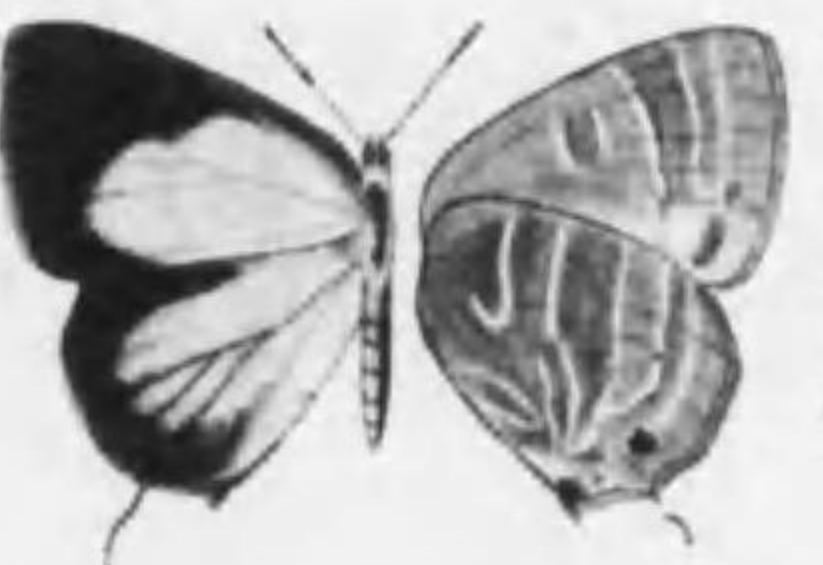
ウラムスチンジシ *Zephyrus signata* Butler (四二二)

*Zephyrus signata* Butler

翅は黒色、翅底の一面は紫藍色、後翅の縁毛は

クエルシウオラ形 ♀

*f. queleyora* Sigr.



亞種として取扱ふことにせり。

タツタカミドリシジミ *Zephyrus tatakama* Mats. (四二三)

*Zephyrus tatakama* Mats.

♂



♀



雄にては翅は緑色、外縁の黒帯は太し。後翅裏面の外側は青白。雌にては前翅に藍色紋を具へ、後翅裏面の中室並に第二及び第三室の基部に藍色鱗を装ふ。開張一寸三分—一寸四分。これは新高地方のタツタカ及びタマホにて發見せられたり。

分布—臺灣。

ミドリシジミ *Zephyrus tuxia* Bremer (四二四)

*Zephyrus tuxia* Bremer

翅は暗褐色。雄にては鎖物性の緑色、外縁は黒



♀

色、縁毛は白色、或ものは前翅の中央に淡色紋を具へ種類に依り中室及び其下方の一面は瑠璃色。開張一寸一分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はハンノ

キの葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、九州、朝鮮、支那、西比利亞。

附言—この形及び斑紋に變化多し。

ホリコシジミ *Zizera gaika* Trim. (四二五)

*Zizera gaika* Trim.

ホリイ形 ♂

翅紫藍色、前縁、外縁及び縁毛は暗色、前翅肛角に近き縁毛は灰白。後翅の縁毛は灰白にして、暗色帯を貫通す。開張五分内外。これは南洋諸島に廣く分布す。

分布—南洋、濠洲。



10 拼蝶科 Hesperidae

ヤマトシジミ *Zizera maha* Koll. (四一六)

*Zizera maha* Koll.

ハレー形 ♀

*f. haruo* Mats.



サイシウトーニス形 ♂

*f. saishuntouis* Mats.



カノニス形 *f. kanonis* Mats.

♂



翅は紫藍色、外縁及び後翅の前縁は黒色、後翅の後縁紋列は黒色。雌にては暗色、翅底に近く藍色鱗を装ひ、縁毛は灰色。開張九分内外。これは北海道を除き何れの暖地にも普通なり。幼蟲はカタバミの葉を食す。

分布—日本全土、沖縄、臺灣、朝鮮、支那、比律賓、馬來、印度、南洋諸島。

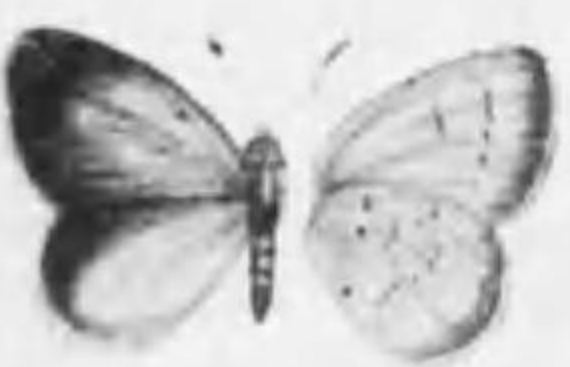
タイワンコシジミ *Zizera (Zizina) otis* F. (四一七)

*Zizera (Zizina) otis* F.

翅は紫藍色、前縁及び外縁は暗色、縁毛は暗

サンダラ形 ♀

*f. sangra* Moor.



♂



色、末端は灰白、雌の翅は暗色、翅底の半部は紫藍色。開張七分内外。これは臺灣何れの地方にも普通なり。

分布—臺灣、支那、印度。



シロセリ *Abraximorpha davidi* Mab. (四一八)

*Abraximorpha davidi* Mab.

エルマシス形 ♀

*f. ermasis* Fruhs.

翅は白色、斑紋は暗

色、外縁の波状帯は灰白、外縁は暗色。

後翅は白色、斑紋は暗色。開張一寸六分内外。これは臺灣の高山地帯に産すれども、餘り多からず。

分布—臺灣、支那。

スチグロチヤパネセリ (四一九)

*Adopaea leonina* Butler.

翅は黄褐、翅脈及び周縁は黒色、線條は黒色。開張一寸内外。これは何れの地方にも餘り多からず。この幼蟲は笹の葉を食するが如し。

分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

附言—これはヘリグロチヤ

パネセセリに酷似すれども、雌にありては翅脈黒色、外縁に暗色部を缺き、雄の前翅中室下に黒色の長き性標を有するを以て區別し得べし。



ヘリグロチヤパネセセリ……………(四二二)

*Adopaea sylvatica* Bremer.

翅は橙黄色、脈、外縁及び翅底暗色。前翅横脈外の一紋は暗色、縁毛は灰黄、基部は暗色。開張一寸内外。これは北海道に産すれども、その數餘り多からず。

分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲。



ホシチャパネセセリ……………(四二三)

*Aeromachus inachus* Méné.

翅は黒褐、斑紋は白色、縁毛は灰白。裏面には黄色鱗を密生す。開張八分五厘内外。これは微小なる爲め注意せざれば捕へ損ふこと多し。何れの地方にも餘り多からず。幼蟲は笹の葉を食するもの如し。

分布—本州、朝鮮、臺灣、支那、滿洲、アムール、西比利亞。



ヒメキマダラセセリ……………(四二五)

*Amphitia takonohi* Mats.



翅は黒褐、斑紋は黄色、縁毛は灰色と暗色との斑をなす。後翅にては斑紋灰黄。開張一寸内外。これは阿里山及び埔里にて採集せるものなるが、稀なるが如し。

分布—臺灣。

ホソバキボシセセリ……………(四二四)

*Amphitia miyakei* Mats.

翅は黒褐、斑紋は黄色、縁毛は灰色と暗色との斑をなす。後翅にては斑紋灰黄。開張一寸内外。これは阿里山及び埔里にて採集せるものなるが、稀なるが如し。



分布—臺灣。

*Amphitia nara* F.

翅は暗色、紋條は橙黄色、縁毛は暗黄、基部は裏面



暗色。開張七分内外。これは最小の弄蝶にして、廣く東洋に分布すれども、捕獲し損ふこと多し。

分布—臺灣、支那、印度、瓜哇。

カラフトセセリ……………(四二〇)

*Adopaea jinolia* Osh.

翅は橙黄色、外縁、後翅の内縁並に外縁に近き脈は黒色、縁毛は灰黄、基部暗色。開張一寸内外。これは樺太に産するも、その數少なし。幼蟲はオホカニツリその他、禾本科植物の葉を食す。

分布—樺太、滿洲、アムール、歐洲。



これはミヤケセセリに酷似すれども、その異なる所は次の如し。雄、前翅中室の前角にL字形の黄紋を具へ、中室の下方に性標を缺き、後翅に二黄紋ありて、中央に黄色部を缺く、後翅の裏面には表翅の如く二黄紋を有す。開張一寸二分。



これは臺灣阿里山にて竹内吉藏氏の採集せるものなり。

分布—臺灣(阿里山)。

ヒメキマダラセセリ……………(四二六)

リクキナ形

*F. rikuichina* Butler.

*Angitides*

*ochroreva* Bremer.



翅は黄色、外縁及び後縁は黒褐、紡錘狀の縦線及び中室外方の一紋は黒褐、雌にては黒褐、紋列は黄色。開張一寸内外。これは北海道に稀なるものと見え、著者は未だこれを捕獲せしことなし。青森地方にては稀ならず。幼蟲は笹の

第六鱗翅目(蝶亞目)

葉を食するもの如し。

分布—北海道、本州、四國、朝鮮、滿洲、西比利亞。

ウスバキマダラセセリ……………(四二七)

*Angitides subhyalina* Bremer et Grey.

體翅暗褐。前翅の斑紋は灰白、第一室にあるものは黄色。後翅の斑紋は黄色、中室下方の斜紋は黒色、縁毛は灰黄。開張一寸一分内外。これは朝鮮に産すれども餘り多からざるが如し。

アムレンシス形

*F. amurensis* Mats.

チムット。



コキマダラセセリ……………(四二八)

*Angitides sylvanus*

翅濃黄色。前翅の性標は黒色、外縁は暗黄、斑紋は黄色。後翅は暗黄、紋列は黄色。



タイワンアヲハセセリ……………(四二九)

*Isodonta eximiationis* F.



色。雌にては黒褐、斑紋は黄色。開張一寸二分内外。これは北海道に最も普通なる弄蝶にして、幼蟲は竹、ハマムギ、シラケカヤの葉を食す。

分布—北海道、本州、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。



翅は紫色、外半は少しく暗色を帯び、斑紋は黄緑。開張一寸七分内外。これは廣く東洋に分布する種類にして、幼蟲は緑色、黒色の縦線及び廣帯を有し、笹の葉を食す。

コモンセセリ.....(四三〇)

*Celaenorrhinus asmara* Butler.



ゴトウ形 ♂ 翅は暗褐、斑紋は白色。前翅の中央紋の外側に一突起を具へ、末端には三小紋を列ぬ。開張一寸二分内外。これは九州及び沖縄に産すれども稀なり。幼蟲は緑色にして、縦線は淡色、頭は褐色、クサギの葉を食す。

分布—九州、沖縄、支那、馬來、印度。

キコモモンセセリ.....(四三一)

*Celaenorrhinus consanguinea* Leech



體翅は暗褐。前翅の斑紋は白色。後翅には橙黄紋を散在し、縁毛は暗色、後翅のものは黄白と暗色の斑をなす。開張一寸六分内外。これは臺灣に産すれども、その数少なきが如し。

に廣く黒色。開張一寸二分内外。これは信州地方に稀ならず。  
分布—本州、四國、九州。

キスチヤバナセセリ.....(四三五)

*Halpe submacula* Leech



裏面



翅は暗褐、少しく緑色を帯び、斑紋は白色、半ホリシヤナ形 ♂ *E. horishama* Mats.

透明。後翅の第二及び第三室に各一個の灰黄紋を帯び、縁毛は暗色と灰黄との斑をなす。開張一寸二分内外。これは臺灣埔里地方に産すれども、地方的にして、その數も亦多からず。  
分布—臺灣、支那。

コチヤバナセセリ.....(四三六)

*Halpe varia* Murr.

翅は黒褐、少しく緑色を帯び、斑紋は白色。裏面に黄綠鱗を密生す。後翅の三紋は黄白。開張

分布—臺灣、支那、チベット。

附言—オホキコモモンセセリに酷似すれども、その異なる要點は第二室の紋の長く、後翅の黄紋の小なるにあり。

ホシキコモモンセセリ.....(四三二)

*Celaenorrhinus maculicornis* Ehw.



フォルモサリス形 ♀ 翅は暗褐、翅底の半部は淡色。前翅の斑紋は白色、半透明。後翅に黄斑を缺き、中央に近く淡色の太き帯を具へ、縁毛は黄色と黒色の斑をなす。開張一寸四分。これは類似のものより、觸角の末端は白色にして、これに黒點を散在することに別せらる。臺灣にては稀なり。  
分布—臺灣、シヤム、瓜哇。

オホキコモモンセセリ.....(四三三)

*Celaenorrhinus maculosus* Leech

翅は暗褐、斑紋は白色及び橙黄色、縁毛は黄色

♂



一寸二分内外。これは廣く分布する種類にして、至る所に普通なり。幼蟲は笹の葉を食す。  
分布—樺太、日本全土、朝鮮、臺灣。

タイワンビロウドセセリ.....(四三七)

*Hesora alexis* F.

グアイラカーナ形 ♂ *F. vaitucana* Fruhs.



翅は天鵝絨様の暗褐、縁毛は灰色、基部は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸四分内外。これは臺灣埔里地方に産すれども、その數多からず。  
分布—臺灣、支那、馬來、印度。

テツイロビロウドセセリ.....(四三八)

タイワニス形 ♀

*F. taiwanus* Mats.



と黒色との斑をなし、内縁の縁毛は橙黄色。開張一寸六分内外。これは臺灣にては稀なり。  
分布—臺灣、支那。

アカセセリ.....(四三四)

*Erynis florida* Butler.



翅は雌にては暗褐、斑紋は黄色。前翅に二紋列ありて、外側にあるものは第七脈の處にて彎曲す。後翅に一紋列を具へ、中室には一紋を裝ふ。雄にては橙黄色、中室下方の性標は黒色、基部にて太く、末端にて尖り、外縁は前後翅共に

ゴダーナ形 ♂ *E. godana* Fruhs.

*Hesora maltra* Moor.



翅は天鵝絨様の暗褐。裏面は銅鐵色、紋は白色。開張一寸七分内外。これは臺灣地方に普通なり。幼蟲はクロヨナの如き豆科植物の葉を食す。  
分布—臺灣、支那、印度。

ビロウドセセリ.....(四三九)

*Hesora inornis* Ehw.

翅は黒褐、斑紋白色、前翅に三紋ありて、その内二個は稍々中央に位し、半月形を呈し、末端に近きものは小にして、圓形。裏面に同様の紋ありて、前外側に灰白の一條あり。後翅の裏面に白色の一條を裝ふ。開張一寸六分内外。これは沖縄地方に産すれどもその數多からず。



♀

ミヤマチャマダラセセリ.....(四四〇)

*Hesperia maenulata* Bremer et Grey

これはチャマダラセセリに酷似すれども、その異なる所は斑紋大にして、前翅は細く、後翅に二紋列を有するにあり。開張一寸内外。これは岩手地方に少なからず、幼蟲は緑色、頭黒色、シモツケ、ミヤマ、

りの葉を食す。

分布 本州、朝鮮、支那、滿洲。

チャマダラセセリ.....(四四一)

*Hesperia zona* Mab.



♀

翅は暗褐。前翅に約十三个の白紋を散在し、前縁角に近き五紋は黄白。後翅に三白紋ありて、一列をなし、縁毛は暗色と黄色との斑をなす。開張一寸内外。これは信州地方に稀ならず。幼蟲はイチゴ、シモツケの葉を食す。

分布 本州、朝鮮、滿洲、支那。

テウセンキボンシセセリ.....(四四二)

*Heteroplerus moriensis* Dall.



♀

裏面



♂

キハネセセリ.....(四四三)

*Ismene aquilina* Mgr.

翅は暗褐、斑紋は黄色、縁毛は暗色。後翅の裏面は黄色、三列の黒色環紋を並列し、内列のもの二紋より成る。開張一寸二分内外。朝鮮に産すれども稀なり。分布 朝鮮、滿洲、歐洲。

翅は黄褐、少しく緑色を帯び、雄にては前翅の中央部は淡色。雌にては紋列は黄白。開張一寸四分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、時に馬糞上に多数集まり居るを見る。幼蟲

は笹の葉を食す。分布 北海道、本州、西比利亞。

トビイロセセリ.....(四四四)

*Ismene jaina* Moor.



♂

翅は黄褐、縦條及び後翅の縁毛は橙黄色。前翅の縁毛は白色。開張一寸七分内外。これは臺灣埔里地方に

は稀ならざれども、雌は少なし。分布 臺灣、支那、印度。

ホソバセセリ.....(四四五)

*Isoteinon lamprospilis* Feld.



翅は黒褐、斑紋は白色。裏面には黄色の鱗を密生せる部分あり。

り。開張一寸三分内外。これは日光地方に普通なり。幼蟲は笹の葉を食す。

分布 本州、四國、九州、沖繩、臺灣。

キンイチモンジセセリ.....(四四六)

*Leptothia nubicolor* Bremer et Grey



♀

翅は黒褐。裏面、前翅の前縁及び外縁は暗黄、後翅は暗黄にして、翅脈は淡色、銀色帯を具ふ。開張一寸一分内外。これは北海道に稀なるも、日光地方には普通なり。幼蟲は竹の葉を食するもの

如し。分布 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲。

マヘキセセリ.....(四四七)

*Ialocla bifasciata* Bremer.



♀

翅は暗褐、少しく蒼色を帯び、

斑紋は白色、少しく銀色を帯び、縁毛は灰白、前翅にては暗褐と斑をなす。開張一寸五分内外。これは朝鮮に産するもの數少し。分布 朝鮮、支那、アムール。

レスツリツクタ形 ♂ *f. restricta* Moor.

クロセセリ.....(四四八)

*Notoerytha curvifascia* Feld.



♂

翅は黒褐、斑紋は白色。前翅中央の白紋は少しく銀色を帯ぶ。開張一寸四分内外。幼蟲緑色にして、キャウワウ、ゲツトウ等の葉を食す。

分布 九州、沖繩、臺灣。

キヘダラセセリ.....(四四九)

*Patriana dana* Koll.

翅は黄色、帯條及び後翅は黒色。後翅中央の一



フラーヴァ形 ♀ 帯及び翅底に近き一紋は黄色。開張九分内外。これは北海道を除く何れの暖國にも普通なり。幼蟲は竹その他禾本科植物の葉を食す。  
分布 本州、四國、九州、朝鮮、支那、臺灣、馬來、印度。

タカネキマダラセセリ……………(四五〇)  
*Parnaphia takemonon* Fall.

翅は暗黒、斑紋は橙黄色。前翅の中室は橙黄色  
サタケイ形 ♀ *f. satakei* Mats.



裏面

にして、黒色の圓紋を裝ひ、縁毛は灰黄、基部暗色。開張九分内外。これは高山地帯に産し、幼蟲はイヌムギ、ヤマカヅラの如き禾本科植物の葉を食す。  
分布 樺太、千島、本州、歐洲。



カラフトタカネキマダラセセリ……………(四五二)  
*Parnaphia silvius* Knoch  
イツシキイ形 ♀ 翅は黄色、斑紋及び後翅の内縁は黒色。樺太及び千島には左程稀ならざるが如し。開張九分内外。これは千島に普通なり。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。  
分布 樺太、北海道(千島にも産す)。

パイバラチャバネセセリ……………(四五三)  
*Parnara kuharuna* Mats.



これはイチモンジセセリに酷似すれども、その異なる所は、前翅の内側にある三白紋は斜に一直線をなし、後翅の四紋の内、第四室にある一紋は最大にして、透内方に偏在するにあり。開張一寸四分。これは臺灣埔里パイバラ地方に産すれども稀なり。  
分布 臺灣(埔里)。

ムモンセセリ……………(四五六)  
*Parnara graana* Mats.



翅は暗黒、少しく綠色を帯び、斑紋は白色、縁毛は灰黄、基部は暗色。開張一寸五分内外。これは宜蘭にて発見せられたるものなるが稀なるが如し。  
分布 臺灣(宜蘭)。

ミヤマチャバネセセリ……………(四五七)  
*Parnara jansoni* Butl.



裏面

翅は暗綠色、斑紋は白色、外縁線は暗色、縁毛は灰色。開張一寸三分内外。これは御殿場その他桔梗ヶ原に稀ならず、然れど他の方面には少なきが如し。  
分布 本州、四國、九州。



コモンチャバネセセリ……………(四五三)  
*Parnara bowani* Moor.  
翅は暗黒、少しく蒼色を帯び、斑紋白色、縁毛は灰白、基部は暗色。開張一寸一分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。幼蟲は甘蔗、スズメノヒエその他の禾本科植物の葉を食す。  
分布 臺灣、支那、印度。  
附言—これは後翅に白紋を欠き、裏面には四白紋ありて、第二、三、四室紋は一直線に横置せられ、第五室紋は離れて内方に位す。

イチモンジセセリ……………(四五四)  
*Parnara guttata*



アツサメシス形 ♀ *f. assumensis* Mas. et Nic. Brem.  
翅は黒褐、斑紋は白色、半透明。後翅の四紋は一字形に配列す。開張一寸四分内外。幼蟲は有名なる稻の

クヤニヤチャバネセセリ……………(四五八)  
*Parnara kuyanihana* Mats.



翅は暗褐少しく蒼色を帯び、斑紋は灰黄、第一室にあるもの金色、縁毛は暗灰色、基部は暗色。開張一寸二分内外。これは臺灣阿里山地方に産すれども、その數多からず。  
分布 臺灣。

チャバネセセリ……………(四五九)  
*Parnara nathus* F.



翅は黒褐、少しく綠色を帯び、斑紋は白色。開張一寸三分内外。これはオホチャバネセセリに酷似すれども、後翅に白紋を欠き、雄は斜傾せる一字形の姓標を有するを以て容易に區別し得べし。幼蟲は稻その他の禾本科植物の葉を食す。



パーダ形 ♀ *f. Indis* Moor.



害蟲なり。  
分布—日本全土、琉球、朝鮮、臺灣、支那、西比利亞、印度。  
附言—これには變形多し。

モンキチャバネセセリ……………(四五五)  
*Parnara elola* Hew.



タイワナ形 ♀ *f. Taiwana* Mats.  
翅は暗褐、翅底及び内縁の長毛は蒼色、斑紋は白色、縁毛は灰黄、其基部にて暗色を帯ぶ。開張一寸二分内外。これも臺灣埔里地方に産すれどもその數少なし。  
分布—臺灣、支那、印度。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、比律賓、馬來、印度。

アトムモンセセリ

*Parnara hiwama* Elix.

アウステニ形 雌 翅は黒褐色、斑紋は白色、半透明、縁毛は灰色、基部は暗色。開張一寸二分内外。これは臺灣埔里地方に産すれども稀なり。幼蟲は未だ判然せず。  
分布—臺灣、支那、印度。



ヲガサハラセセリ

*Parnara ogasawarenis* Mats.

翅は黒褐、斑紋は白色、半透明。後翅の縁毛は灰白。開張一寸内外。これは小笠原島に産すれどもその數餘り多からず。  
分布—小笠原島。

オホチャバネセセリ

*Parnara pellucida* Murf.

翅は黒褐、斑紋は白色。裏面には黄褐鱗を寄生せる部分あり。開張一寸三分内外。これは本邦最も普通なる挿蝶にして、幼蟲は稻その他禾木科植物の葉を食す。



分布—樺太、日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

タイワンチャバネセセリ

*Parnara sinensis* Mab.

翅は暗褐、少しく營色を帯び、斑紋は白色、縁毛は暗灰色。開張一寸五分内外。これはチャバネセセリに酷似すれども、後翅に白色の四紋を有するを以て容易に區別し得べし。  
分布—臺灣、支那。



タツパンチャバネセセリ

*Parnara taiwana* Mats.

翅は暗褐色、斑紋は黄白、縁毛は灰色、基部は暗色。開張一寸二分内外。  
分布—臺灣(達邦社)。



附言—これは前翅の後縁中央に一白紋を具へ、後翅の第四室にあるものは甚だ大なるにより類似のものゝ區別せらる。

アラハセセリ

*Rhopobocampa benjamini* Guér.

翅は黒、軟、雄にては翅底の一間は暗青白。後翅後縁角の長縁毛は橙黄色。開張一寸八分



内外。これは臺灣には稀ならざるも、本邦には少なし。幼蟲はアワブキの葉を食す。  
分布—本州、四國、九州、琉球、臺灣、印度。

タイワンオホシロシタセセリ

*Zitaranga geyala* Moor.

翅は暗黒。斑紋は白色、半透明、後翅の大部分は白色、紋列は黒色。開張二寸一分内外。これ



るも餘り多からず。  
分布—臺灣、支那、印度。

タイワンダイメウセセリ

*Zitaranga sinica* Feld.

翅は黒、斑紋は白色。後翅の中央に白色の廣帯ありて、其外側の紋列は黒色。開張一寸三分内外。これは臺灣埔里地方に産す



は臺灣産最大の挿蝶にして、何れの地方にも餘り多からず。  
分布—臺灣、支那、印度。



スギタニセセリ

*Zitaranga suginonis* Mats.

翅は黒褐、紋列は白色。前翅の中室紋は三角形、中央帯は後縁より中脈迄端直。後翅の帯は太く、前縁の中央に一黒紋を裝ひ、尙、帯の外側に黒紋列あれども、餘り判然せず。開張二



寸。これは杉谷岩彦氏の朝鮮金剛山にて採集せる珍種なり。  
分布—朝鮮(金剛山)。

ダイメウセセリ

*Zitaranga (Dainio) tollys* Mén.

翅は黒褐、斑紋は白色にして、透明、縁毛には





白色部あり。開張一寸四分内外。これは中國地方には普通なり。幼蟲はカシハ、カタバミの葉を食すと云ふ。  
分布—本州、四國、九州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

オホクロボシセリ.....(四七〇)  
*Xeseria nigroguttata Mats.*



翅は暗褐、少しく鶯色を帯び、斑紋は黄白。後翅に黒紋を裝ひ、縁毛は暗黄及び黒色。開張一寸五分内外。  
これは臺灣埔里地方に産すれども、餘り多からず。  
分布—臺灣。

クロボシセリ.....(四七一)  
*Sinusius arenatus F.*



翅は暗褐、少しく鶯色を帯び、斑紋は白色、縁毛は灰白、基部は暗色。開張一寸一分内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならず。  
分布—臺灣、支那、馬來、印度。  
附言—これは後翅の裏面に五個の黒紋を有するを以て他と區別すること容易なり。

シロマダラセリ.....(四七二)  
*Tyriades menaka Moor.*



翅は暗黒色、斑紋は白色、中央に近き帯狀紋は濃色。縁毛は暗色。後翅の中央帯内縁の短帯及び縁毛は白色。開張一寸四分内外。これは臺灣の高山地帯に産するもその数少なし。  
分布—臺灣。

タイワンアカセリ.....(四七三)  
*F. formosana Mats.*



翅は橙黄色、斑紋及び外縁は黒色。後翅は黒色、斑紋は橙黄色。開張一寸一分内外。これは黄色挿蝶の内最も大形なるものにして、暗んでランタナの花に集まる。幼蟲は竹の葉を食す。  
分布—沖繩、臺灣、支那、馬來、印度。

タケアカセリ.....(四七四)  
*Peliocla bambusae Moor.*



これは前種タイワンアカセリに酷似すれどもフォルモサーナ形。その異なる所は、前翅黒色の外帯は黄色の縦脈によりて遮断せられざるにより容易に區別し得べし。開張一寸一分。これは前種と同様に臺灣に産す。  
分布—北海道、支那。

きたるも少なし。

分布—北海道、支那。



キヤウワウ及びゲツトウの葉を食す。  
分布—沖繩、臺灣、支那、馬來、印度。

トカチセリ.....(四七五)  
*Hesperia bieli Oberth.*



翅は暗褐、中央の斜帯は灰色、波狀線は黒褐、犬牙狀の紋列は灰色。後翅の斑紋は黄白。開張一寸一分内外。これは早春何れの地方にも稀ならず。幼蟲は緑色にして、笹の葉を食す。  
分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

オホシロモンセリ.....(四七六)  
*Thaumos montanus Brem.*

Udaspes folius Gram.

翅は暗色、斑紋は銀白色。後翅の裏面は白色、前縁、外縁及び弦月紋は暗色。開張一寸五分内外。これは恒春地方に稀ならず。幼蟲は緑色、



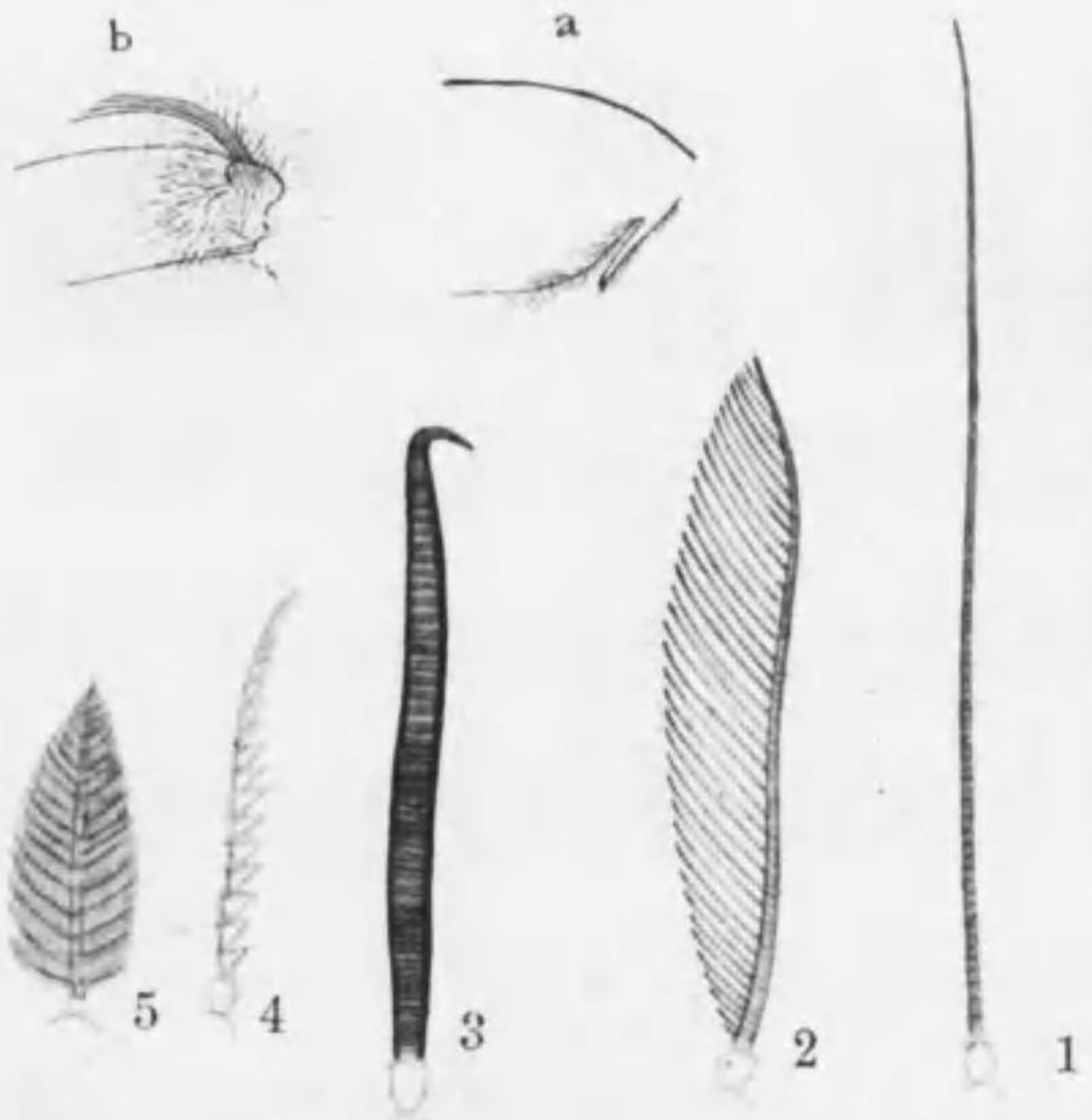
體翅黒色、少しく緑色を帯ぶ。翅の斑紋は白色。前翅の中間横線に七紋ありて、その内第四、五室にあるものは外縁に近接す、横脈紋は短線となる、縁毛は黒色と白色の斑をなし、前縁の基部に近く一長紋あり。後翅の横線上に三紋、亜外縁線上に六紋ありて、第六、七室にはこれを缺く。後頭には灰白鱗多し。開張一寸。これは十勝にて捕獲せら

トカチセリ.....(四七六)  
*F. tokuchiana Mats.*

其二 蛾亞目 Heterocera

觸角は種類によりてその形状を異にし、鞭狀、絲狀、羽狀、櫛齒狀、鋸齒狀、紡錘狀等あり。普通、夜間飛翔し、静止の時は翅を屋斜狀に疊む。後翅前縁の基部に普通一本乃至十數本の抱刺あれば、これによりて其雌雄を區別し得べし。幼蟲に種類多く、十脚乃至十八脚を有し、第一節に臭角を有するものなし。多く食草性にして、農林業に有害なれども、時に食肉性のものもあり。蛹は多く繭中若くは被蓋下にあり。本邦學名を有するもの約四千種あり。

蛾觸角の種類並に翅垂及び抱刺



- (1) 鞭狀 (夜蛾)
- (2) 櫛齒狀 (天社蛾)
- (3) 鐘狀 (天蛾)
- (4) 鋸齒狀 (天社蛾)
- (5) 羽狀 (天蠶蛾)
- (a) 蝙蝠蛾前翅の翅垂
- (b) 木蠹蛾後翅の抱刺 (雌)

一 天蛾科 Sphingidae

觸角紡錘狀にして、太く、末端にて鎌狀に曲る。口吻は長大。下唇鬚は細鱗にて蔽はれ、第三節は隠れて見えず。翅細厚、飛翔甚速なり。前翅に一内縁脈ありて、其基部分支す。後翅は小、前縁脈は獨立して翅底より出で、抱刺を裝ふ。腹部の末端は尖り、圓錐形をなす。幼蟲は裸にして、尾角を有す。何れも喬木若くは本草の害蟲なり。蛾は夕刻飛翔し、暗んで燈火に飛來す。本邦學名を有するもの約百種あり。

クロメンガタスズメ *Acherontia lachesis* K. (一)

これは次ぎのメンガタスズメに酷似すれども、その異なる所は、頭及び胸背は暗褐、胸背の觸體様の紋は長く、その周囲は赤褐、腹部黒色、第二乃至第五節の兩側に黄紋を具へ、第三節以下各背上に藍色を帯びたる灰白帯を裝ひ、後翅の基部に太き黒帯を有するにあり。開張三寸五分内外。これは九州地方に産すれども、多からざる如し。幼蟲はゴマの葉を食するが如し。分布九州、支那、印度。

第六 鱗翅目 (蛾亞目)

ソシメー形 ♀ *E. soejimae* Mats.



メンガタスズメ *Acherontia atys* West. (二)

前翅は黒色若くは黒褐、白色及び黄色の鱗毛を散在し、中央に一黄紋を具へ、濃色の横線あれども、餘り判然せず。後翅は黄色、二黒帯を有す。胸背に觸體に似たる大紋あり、爲めにガイコックスズメとも云ふ。開張三寸三分内外。これは中國及び九州に稀ならず。幼蟲はゴマ、ナ

♀



ス、ジャガイモの害蟲なり。分布本州、四國、九州。

ブドウスズメ *Aossmeryx castanea* Rothsch. (三)

體翅は褐色、斑紋は濃褐。前翅底に近く三四個の濃色帯ありて、外縁にあるものは判然し、孤線狀をなす、中室の一紋は黄褐、中央より外縁の

五九一



中央に向ひ太き斜條を出し、これは第五脈の處にて屈折して後縁角に達し、その内方に細帯ありて、波狀を呈し、外縁には灰色帯あり。これは次ぎのハネナガブダウスズメに酷似すれども、翅は太きを以つて容易に區別し得べし。開張二寸八分内外。これは餘り稀ならず。幼蟲はブダウの害蟲なり。

分布—北海道、本州。

ハネナガブダウスズメ……………(四)



♂

♀

ノコギリスズメ……………(五)

分布—北海道、本州、四國、九州、沖縄、支那、馬來、印度。

Amorpha amurensis Stgr.

體翅は灰色、少しく青味を帯ぶ。前翅に濃色の五帯ありて、約同距離に排置せらる、縦脈及び横脈は黄白、外縁の上方に灰色の一大紋を具へ、その内方に灰白帯ありて、これは外縁にて増幅して大紋となる、外縁は弓狀に列らる。後翅に二帯ありて、その外側は何れも灰白、脈は黄白。開張二寸八分—三寸六分。これは北國に



く多数褐色條を具へ、後縁にて相合す、中央に近く天鷲絨様の黒紋ありて、これは前縁の約中央より外縁の中央に向つて斜走す、この帯の中央より波狀の黒き一雙の細線を後縁の中央に斜走す、第二及び第三室に灰黄紋を具へ、翅端には一灰黄紋あり。後翅は暗色、中央の後方は褐色。開張三寸五分。これは臺灣バイバラにて捕獲せられたり。

分布—臺灣(バイバラ)。

タイワンスズメ……………(七)

Ampelophaga formosana Mats.

これは次ぎのホリシヤズズメに酷似すれども、



バイバラズズメ……………(六)  
Ampelophaga  
hagga  
hainanana  
Mats.  
前翅は暗灰色、翅底に近

第六鱗翅目(蛾亞目)



♂

ホリシヤズズメ……………(八)

分布—臺灣(埔里)。

その異なる所は、前翅灰褐、少しく青色を帯び、各線は不明瞭、唯だ中脈上に於てのみ判然す、中室外に不明なる廣き暗色帯ありて、これは前縁の中央より後縁角に向つて斜走す、亞外縁線は前縁にて太く、漸く第六脈に達するに過ぎず。後翅の基半部は前翅と同色、外縁は暗色。開張三寸九分。これは埔里にて捕獲せるも少なし。



タカムクイー形 ♂ ♀ *Takamukui Mats.*



*Amphelophaga horishana Mats.*

前翅は灰褐、少しく紫色を帯び、横線及び縦脈は褐色、後横線は縦脈の處にて甚だしく齒状をなして突出す、中室の外側に前縁に近く雲様の褐色紋を装ひ、褐色の短線は外角を二分し、その内側にも雲状の褐色點あり。後翅は黒色、外縁及び肛角紋は淡褐。開張三寸五分。これは臺灣埔里に産するもその數多からず。

分佈—臺灣(埔里)。

クルマスズメ *Amphelophaga rubiginosa Heron. et Gray* (九)



♀

♂



*Crochelia rubror. Guhl.*

前翅暗黄、前縁は黄線、中室に紫褐の一點を具す。後翅暗色、中央は灰黄白。開張三寸二分。これは臺灣地方に稀ならざるも、九州には稀なり。



へ、外縁には同色の小紋を散在し、太き六個の紫褐條を装ひ、一は前縁に近く、一は外縁に位置し、殘餘の四條は後縁に出で、前縁角にて相合す。後翅暗色、中央は灰黄白。開張三寸二分。これは臺灣地方に稀ならざるも、九州には稀なり。

分佈—九州、沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

體翅は褐色。前翅に濃色の四帯ありて、その内中央にあるものは太く、前縁角に近く大なる濃色の三角紋を装ひ、其直下に長楕圓形の一紋あり。後翅は暗色、中央より少しく下方に當り紫褐を呈する部分あり。開張二寸二分内外。これは最も普通なる天蛾にして、幼蟲はブドウの葉を食す。

分佈—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、支那、印度。

附言—これに次の一形あり。

マージナリス形 *f. marginalis Mats.*

原種と異なる所は前翅後横線外は廣く赤黄、外縁は廣く暗色なるにあり。これは朝鮮に産するも少なし。



♂

イブキスズメ *Celerio Gull. L.* (一三)

體翅は暗緑、胸背の兩側は白色、腹部の兩側に



♀

灰白紋を列ぬ。前翅の中央に太き灰黄の一縦條を具へ、これは末端にて尖り、その下方に黒褐の斜條ありて、後縁にて廣く、外縁に至りて尖小す。後翅灰白、翅底及び外縁の横線は黒色、中央に紅色部あり。開張二寸六分内外。これは樺太、千島に普通なり。幼蟲はカハラマツバの葉を食す。

分佈—樺太、北海道、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。

ウンモンズズメ *Callanobolus tartarivovi Bremer. et Grey* (一〇)

體翅灰色。頭、胸背の三角紋、後胸背の圓紋並



♀

色、翅底に近く濃色の一帯、翅端に同色の三角紋あり。後翅は紅色、外縁は灰白、内縁角は暗色、これに灰白の横紋を有す。開張二寸五分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はケヤキの葉を食す。

分佈—北海道、本州、支那、滿洲。

タカサゴズズメ (一一)

アカオビスズメ……………(一三)

*Celerio lineata* F.

これはイブキスズメに酷似すれども、その異なる所は、體は小(開張一寸四五分内外)、前翅中央の脈は白色、黄白の中央紋は細く(イブキスズメの約二分の一に過ぎず)、後翅の外縁の黒帯は遙に太く、淡紅色の部分の小、腹背の中央に三紋の白紋列を有するにあり。これは本州にては稀なるが如し。幼蟲はカハラマツバの葉を食す。



分布 本州、九州、臺灣、支那、印度、歐洲。

オホスカシスズメ(オホスカシバ)……………(一四)

*Cephonodes hylas* L.

體は綠黄。腹部の中央に黒帯を具へ、更にその



中央に赤色の一帯あり。翅は透明、前縁及び外縁は細く黒色、翅底に綠黄毛を密生す。開張一寸八分。これは中國地方に普通なり。晝飛行にして、殊にクサギの花上に捕獲し得べし。幼蟲はクチナシの葉を食す。

分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

リウキウオホスカシスズメ……………(一五)

*Cephonodes xanthus* Rehnshch.

これは前のオホスカシバに酷似すれども、其異なる所は、濃色にして一層黄味勝ちなること、

前翅脈黄色にして、翅端黒色部の廣きこと、腹



背は黒色、第五節に赤帯を有せざること、體下及び脚の橙黄色なるにあり。開張二寸四分。これは沖縄に産すれども稀なり。

分布 沖縄。

トビロスズメ……………(一六)

*Uanis bilineata* Wk.

體翅は黄褐、個體により少しく青味を帯ぶ。前翅に濃色の六波状線を斜走し、翅底にて稍々半圓形をなし、その外側に二帯ありて、これは前縁にて判然せず、中央より外縁に接して斜走せる三條は稍々同距離、内方の二線間は地色より濃色、前縁角に褐色の三角紋を具へ、翅底の二分

の一の處より外縁角に向ひ濃色帯を送る。後翅



♂

雌、體翅は灰褐、紋條は黒褐。前翅の前横線は



♂

トモエスズメ……………(一八)

*Deilephila hypothous* Grmn.

前翅は紫褐、少しく綠色を帯び、三分の一の處



♂

は濃褐、翅底の中央は黒褐、内縁は黄褐。開張四寸内外。これは九州、朝鮮地方に多し。幼蟲は大豆の葉を食す。

分布 本州、九州、朝鮮、支那、臺灣。

テウセンズズメ……………(一七)

*Uanis undulosa* Moor.

第六 鱗翅 目(蛾亞目)

三本、後横線は四本ありて、何れも波状を呈し、亞外縁線の處に紋列ありて、第二、三、四室にある紋はスカロップ状をなす、翅端は尖り、これに近き前縁に當り三角形の大紋を裝ひ、翅底には二、三の棒状紋を有す。後翅は黒褐、内縁及び外縁は黄褐、後縁に近く一波状線ありて、後縁に平行す。開張五寸。これは朝鮮にて捕獲せるが稀なるが如し。

に帯紅灰白の太き一斜帯を具へ、これは三分の二の處にある同色斜帯と相連りて稍々巴狀の斑紋を現はし、翅端に白色の一紋を具へ、その下方に三角形の褐紋を裝ひ、翅底は帯紅灰白。後翅は黒褐、内縁角の直上に一黄白帯ありて、その終止する所の一圓は赤褐。開張三寸八分内外。これは臺灣にては稀なり。

〔分布〕臺灣、馬來、印度。

ユミササナミスズメ……………(一九)

*Dolbina curvata* Mats.

ササナミスズメに酷似すれども、前翅後横線の



内方の一線は前縁より第二脈迄弓状に曲り、波状を呈せず、胸背は褐色、少しく緑色を帯び、斑紋は判然せず。開張二寸六分内外。これは本州に産するも少なし。

〔分布〕本州(東京、越後)。

ヒメササナミスズメ……………(二〇)

*Dolbina exarata* Zeller.

〔分布〕臺灣(埔里)。

ヘリグロササナミスズメ……………(三三)

*Dolbina lateralis* Mats.

これはヒメササナミスズメに酷似すれども、前翅底に白紋を



翅底に白紋を缺き、後横線の部分にある二波状線は紋列をなし、第三、四室に剣状の長紋を装ふ、後翅は暗色、前縁の三分の一は灰色、第一脈の末端に一黒紋を具ふ、胸背暗褐色、兩側紋は判然せず、腹部は暗褐、尾端に黄褐毛多し。開張二寸一分内外。これは札幌地方に産するも稀なり。

〔分布〕北海道。

コササナミスズメ……………(三三)

*Dolbina parva* Mats.

ササナミスズメに酷似するも、その異なる所は

第六鱗翅目(蛾亞目)

體翅は灰色。前翅の中室に白紋を具へ、その内

側に暗色帯あれども、判然せず、中室紋の外側に三條の波状線ありて、第二室より内方に剣状の一線を出し第六室にも同



様紋あり。後翅は暗色。これはササナミスズメに酷似すれども、腹面の黒紋列は小なり。開張二寸四分内外。これは餘り多からず。幼蟲はト

ネリコ、ハシドイの葉を食す。

〔分布〕本州、朝鮮、滿洲、支那。

附言—これは千蟲、續一。二五頁にクロテンケンモンズズメとせるものなるが、誤なれば爰に訂正す。

タイワンササナミスズメ……………(三一)

*Dolbina formosana* Mats.

これはササナミスズメに似るも、その異なる所

は、前翅は細く、翅端にて一層細き鋭角をなし、外縁は端直、後横線は波状、外側は白線にて縁取られ、第六及び七室に黒色の各一縦紋を具へ、時に翅の中央に黄線部を有するものあり。後翅の外縁は端直、肛角は一層延長せり。開張三寸五分内外。これは埔里地方に産するも少なし。



帶ありて、波状を呈し、中室にある白紋の周圍は黒褐、その外側に犬牙状をなせる四黒帯を装ひ、外縁の脈上に褐色の各一紋を具へ、その中間の縁毛は白色。後翅は黒褐、内縁は少しく淡色。開張二寸六分内外。これは普通なり。幼蟲はイボタ、トリネコの葉を食す。

〔分布〕北海道、本州、朝鮮、アムール。

ヒメホウジヤク……………(三五)

*Garelica lujna* Wk.

これは次ぎのホシヒメホウジヤクに酷似すれども、その異なる

所は、體小なること(開張一寸一分内外)、腹背に灰白紋を缺くこと、後翅外縁の黒褐部の同幅なること、體色の灰褐なること等にあり。これは臺灣に普通なる種類なるも、未だ本邦に發見せられず。



〔分布〕臺灣、支那、馬來、印度。

ホシヒメホウジヤク……………(三六)

*Gnathea nasuriensis* Butl.

♂  
サンガイカ形  
*G. saugata* Butl.



體翅は暗褐。前翅底に黒褐の三帯ありて、横脈紋は灰色、その外側に八字形の黒褐條を具へ、その一邊は外縁の下方に達す、外縁には濃色の紋條あり。後翅は橙黄色、外縁は廣く暗色。腹背の中央に二灰白紋あり。開張一寸三分内外。これは中國に稀ならず。晝間花上に捕獲し得べし。幼蟲はヘクソカツラの葉を食とす。

分布 本州、四國、九州、支那。

クロスキバホウジヤク……………(三二)



♂  
*Haemorrhagia fuiformis* L.  
翅は透明、少しく黄色を帯び、周圍及び脈は黒色、外縁の黒色部より内

方の透明部に向つて黒色の放射線を出すことなし。體は黒色、頭頂及び前胸には黄毛を混ぜず。開張一寸五分内外。これは餘り多からず。幼蟲はセンノウ、ヤエムグラ等の葉を食す。  
分布 樺太、歐洲。  
附言 これに次の二形あり。  
アツフイニス形 ♂ *G. atkinsi* Butl.

原種と異なる所は前翅外縁の帯は一層暗色を呈し、横脈紋の細きにあり。



♀  
*G. alternata* Butl.  
原種と異なる所は形大にして、體背部黄色、前翅外縁の鋸状の切目を有するにあり。これは夏性に於て、北海道に産せ

アルタナータ形 ♀ *G. alternata* Butl.



原種と異なる所は形大にして、體背部黄色、前翅外縁の鋸状の切目を有するにあり。これは夏性に於て、北海道に産せ

ず。  
分布 本州、四國、九州、朝鮮。

スキバホウジヤク……………(三八)

*Haemorrhagia radians* Wk.



翅は透明、前縁及び基部に黄色鱗を裝ひ、脈及び外縁は黒褐、前翅の外縁より内方に向ひ放射状の黒褐紋を出す。後翅の基部并に内縁は黄色。體黄色、前頭、

腹背の中央、第二、三腹節の兩側、尾端の掃狀毛、初めの四腹面節は黒色。開張一寸六分内外。これは中國に稀ならず。幼蟲はアカネ、スヒカツラの葉を食す。

分布 本州、四國、九州、朝鮮、沖縄、支那、滿洲、アムール。

エビガラスズメ……………(三九)

*Horse convolvuli* L.

前翅は灰褐、黒色若くは灰色の紋條を具へ、灰



色の腎狀紋を具へ、その中央は暗色、尙、少しく外縁に近き處に犬牙狀の黒帯ありて、その内側は灰色。後翅は暗灰色、四黒帯あり。各腹部の兩側に蛇色及び黒色の斑紋あり。開張二寸—三寸三分。これは何れの地方にも稀ならず。この幼蟲はサツマイモ、アサガホ、ヒルガホ等の葉を食す。  
分布 世界共有。

ヒメシタバニスズメ……………(三〇)

第六 鱗翅 目(蛾亞目)

*Hypoptoon taerhaviae* F.  
♂  
體翅は黄褐。前翅の中室點は黒褐、その外側の一圓は暗黄褐、中央に暗褐の太き一斜條ありて、これは翅端にて判然せず。その外側に約五條の細き斜條ありて、外側にあるものは判然せり、外縁は灰褐、その中に褐色の一帶を裝ふ。後翅は紅色、外縁は黒褐、縁毛は灰黄。開張一寸八九分内外。これは九州に稀なるも、臺灣には普通なり。



分布 九州、沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

シタバニスズメ……………(三一)

*Hypoptoon celeris* L.

體翅は黄褐。前翅内縁の稍々中央より前縁角に向ひ白色の弧線を出し、その直上は黒褐、その直下に暗色の一線ありて、これに平行し、更に



♀  
その下方は灰白、外縁に近く濃淡ある三條の弧線ありて、翅端にて相合す、尙、外縁角に近く黒褐の一紋を裝ふ。後翅灰黄、内縁は淡紅色、中央に太き黒帯を具へ、その直下の脈は黒色、これは外縁を横走する黒線と相合するが爲め恰も六個の灰黄紋を有するが如し。開張二寸内外。これは餘り多からず。  
分布 臺灣、支那、印度。

ヲバナワスズメ……………(三二)

*Hypoptoon velox* F.

前翅の前半は少しく緑色を帯びたる黒褐、前縁に小褐紋を散在し、中室點は黒色、後半は灰白、外縁は暗灰色、後縁角に近く黒褐紋を裝ふ。後翅は暗灰色、後縁に近く黒褐色を裝ひ、その上方は黄白。開張一寸八分。これは臺灣に



♂

は稀なり。  
分布—臺灣(臺南)。  
附言—臺灣に一變形あり。  
タイナンシス形 ♀ *f. taiwanensis* Mats.



原種と異なる所は、前翅は少しく鶯色を帯び、前縁に黒褐帯中央に白帯を缺き、後縁角に近く

黒紋を装ひ、一対の黒き亜外縁線は翅端より第五脈に達す。これは臺南にて捕獲せられたり。  
分布—臺灣(臺南)。

ケンモンズズメ *Kentrochrysalis consimilis* Roth. (三三)



前翅は灰色、中室紋は白色、其周囲は黒色、波状線は暗色、翅端の短線は黒色、縁毛は黒、白の斑をなす。

後翅は暗色、翅底及び後縁は少しく淡色、胸背は灰色、兩側の縦條は黒色。腹背に黒色の三紋列を裝ふ。開張二寸内外。これは日光地方に稀ならず。遅く燈火に飛來す。  
分布—本州(日光)。

オホケンモンズズメ *Kentrochrysalis sinensis* Alph. (三四)



♀

太き黒縦線ありて、末端にて細まり、之より斜に太き一波状線を後縁に送る。第二、三、六、七並に八室に太き黒縦條を具ふ。開張三寸二分内外。これは朝鮮に産すれども稀なり。  
分布—朝鮮、滿洲。

オホシモフリズズメ *Tangia zenzoides* Moor. (三五)

前翅は灰白、前縁は灰色、少しく藍色を帯び、中室の部分は暗色、その外側に一黒紋を具へ、四黒線ありて、一は中央を斜走し、次線は淡色、外縁にある一線は下方にて判然し、これ等の線は前角にて合して一線となる、後縁の中央に

ケンモンズズメに酷似すれども、前翅の外半にある波状線は太く且つ判然せり、中室白點の内側に

灰色の大紋を具へ、全面に黒點を散在し、外縁ナウエー形 ♀ *f. nauae* Kothsch.



は弦月形に刻らる。後翅は暗灰色、外縁は白色、外縁に弦月形の五黒紋を列ぬ。開張四寸五分—五寸三分内外。これは日本最大の天蛾にし

て、少なからず。幼蟲はウメ、アジツの葉を食とす。  
分布—本州、九州、臺灣、印度。

キスヂズズメ *Leucophaea lineata* West. (三六)

前翅は淡桃色、中央に黄色の太き一縦條あり



♀

て、これは翅底にて細まり、その直下は暗色、第三及び第四脈は黄白、外縁は紅色、後縁は灰白。後翅は暗黄。開張二寸四分内外。これは臺灣に普通なり。幼蟲は甘蔗その他禾本科植物の害蟲なり。  
分布—臺灣、支那、馬來、印度。

アカシタホウジヤク *Macroglossum helis* L. (三七)

♂



體翅は赤褐。前翅底に近き帯は暗褐にして、廣く、その中央は淡色中央にく字形の二帯ありて、第五脈の處にて屈折す、外縁に近く二帯あれども判然せず。翅端紋は暗褐。後翅は暗褐、黄帯は中央にて少しく縮らる。開張一寸七分内外。これは臺灣には稀ならず。  
分布—沖繩、支那、馬來、印度。

ヒメクロホウジヤク *Macroglossum borniense* (三八)



bylans Boisduval



前翅は暗褐、三分の一の處に太きL字形の黒褐帯を具へ、翅底には半横線あれども判然せず、中央に黒褐の二條ありて、外側のものは太し、尙、外縁に近く黒褐條ありて、これは翅端紋に連続す。後翅黒色、翅底の大部は橙黄色。開張一寸五分内外。これは晝飛行にして、花上に捕獲し得べし。幼蟲はアケビ、アカネの葉を食す。

分布—北海道、本州、四國、九州。

オキナハクロホウジヤク……………(三九)

Macroglossum corythus Boisj.



體翅は黒褐。前翅に四、五條の濃色帯あれども、餘り判然せず、外縁に近づくに随ひ少しく淡色となる。後翅の黄帯は廣く、前縁にて増幅し、殆んどその全長を占む。開張一寸九分内外。これは沖縄地方に稀ならず。

分布—九州(大島)、沖縄、臺灣、支那、印度。

フリツチエホウジヤク……………(四〇)

Macroglossum fritzei R. et J.



これはオビホウジヤクに酷似すれども、中央の黒帯は一層斜傾し、その前縁は横脈に達す、後横線は一双にして、オビホウジヤクの如くL字形を呈せず、後翅の橙黄帯は内縁にて透に廣し。これは沖縄に産するが稀なるが如し。

分布—沖縄。

イチモン

ジホウジヤク(四一)

Macro-  
glossum  
heliophi-  
la Boisj.  
タロホウジ



褐、黄帯は中央にて極る。開張一寸六七分内外。これは本邦に廣く分布す。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、小笠原島、支那、印度。

イハサキホウジヤク……………(四二)

Macroglossum iwasaki Mats.



體は蒼色、少しく褐色を帯び、尾端暗褐、第二乃至第四腹節兩側に橙黄紋に橙黄紋第五、六節に黄褐紋を裝ふ兩側の毛塊は末端黄褐、第二、三腹節の兩側に白色の小毛塊あり。前翅は褐色、帯は濃色、中室に近き黄褐の大紋は判然せず、翅端は淡色、外縁中央の大紋は濃色。後翅は黒褐、帯及び前縁は橙黄色。開張二寸内外。これは石垣島にて發見せられたるが、稀なるが如し。

ヤクに酷似すれども、頭胸の中央を縦走する黒條は太く、短かく、肩部にある黒色の三角紋は判然し、前翅中央の黒帯は太くL字形を呈し、その外側は灰白、少しく紅色を帯ぶ、亞外縁線は淡色、後翅の橙黄帯は中央にて溢れ、前角に達す。開張一寸九分内外。沖縄、臺灣に産すれども稀なり。

分布—沖縄、臺灣、支那、印度。

セスチホウジヤク……………(四三)

Macroglossum imperator Butl.



前翅は灰色、翅底に近く暗色帯ありて、前縁より後縁に向つて斜走し、中央に近く稍ヤ三角形の大黒紋を具へ、その外側に灰黄帯を裝ひ、翅端より波状をなせる太き黒條を後縁に送り、第一室の處にて弓状に内方に彎曲す、外側は灰

分布—沖縄(石垣島)。

シロオビホウジヤク……………(四五)

Macroglossum melovittia R. et J.



體翅暗褐。前翅の中央に灰白帯ありて、少しく紫色を帯び、外縁に近く暗色紋及び亞外縁線あれども判然せず。後翅の橙黄帯は中央にて少しく溢れ、随つて肛角部の暗褐帯は細し。開張一寸七分。これは石垣島に産すれども少なし。

分布—沖縄(石垣島)。

バラウホウジヤク……………(四六)

Macroglossum palanensis Mats.

前翅は暗灰色、翅底に近く約四條の暗褐帯あれども餘り判然せず、中央にも三條の同様帯ありて、内方のものは少しく離る、外縁角は廣く暗褐。後翅の橙黄帯は中央にて少しく溢れ、これ

オビホウジヤク……………(四三)

Macroglossum insipida Butl.



體翅は灰褐、斑紋はヘーシルス形。前翅底に細き二條の半横線ありて、その外側に太き斜帯を具へ、これは内縁にて増幅す、外縁の中央より少しく外縁に近き處より二帯を出し、これは第六腹の處にて弓状に曲り、尙、外側に二帯を具へ、第六、七室の斑紋は大、第六室の斑紋を貫きて前縁より後縁角に向ひて一帯を出す。後翅は黒



は前縁角に延長せず。イワサキホウジャクに似たれども、黄帯の細きにより容易に區別せらる。開張一寸七分。これは南洋パラウに少なからず。  
分布—南洋(パラウ)。(四七)

ネグロホウジャク  
*Macroglossum pussalus Drury* (四七)



一は黒色、前縁の中央に黒褐色を装ひ、その下方に一二の細線あれども判然せず。後翅は黒褐色、黄帯は中央にて少しく縮む。開張一寸九

分内外。これは沖縄及び臺灣に稀ならず。  
分布—沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。  
ホシホウジャク  
*Macroglossum pyrrhosticta Butler* (四八)  
前翅は暗褐色、少しく緑色を帯び、三分の一は黒



褐色、その黒褐色の中に濃色の二帯あれども餘り判然せず、その外側は少しく桃色を帯びたる灰白、翅端にく字形の濃色紋を認め得べし。後翅は黒褐色、黄帯は中央にて少しく緊縮す。開張一寸八分。これは餘り多からず。幼蟲はヘクソカツラの葉を食す。  
分布—北海道、本州、臺灣、支那、印度。  
クロホウジャク (四九)



體翅は暗褐色。前翅底に近く黒色の細き斜線を具へ、その外側に黒色の廣帯を装ひ、これは内縁

にて増幅し、且つ曲る、中帯は太く、兩側は一層濃色を呈し、これは前縁にて少しく屈曲す、翅端及び第六室紋は濃色。後翅は黒色、黄帯は縮れず。開張二寸内外。これは晝間飛行し、花上に捕獲し得べし。幼蟲はユヅリハの葉を食す。  
分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣、支那、馬來、印度。  
クロオビホウジャク  
*Macroglossum sterna Wlk.* (五〇)

體翅は灰褐色、斑紋は暗褐色、前翅底の一帯は判然せず、三分の一の處にある



帯は殊に内縁にて太く、直角をなして内方に曲る、中央に二帯ありて、これは第六脈の處にて

外方に彎曲す、外縁に近く灰白の一帯ありて、その内側は少しく濃色、第六室に稍々長方形の大紋ありて、其直下に灰白の一線を装ひ、外縁角の三角紋は判然す。後翅は黒褐色、黄帯は太く、中央にて縮む。開張一寸八分内外。これは臺灣に稀ならず。  
分布—沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

ホウジャク  
*Macroglossum stellatarum L.* (五一)

體翅は暗灰色。前翅の二黒帯の内、外方にあるものは判然すれども、後方にては不明、中室點は黒色、外縁は少しく濃色。後翅は黄褐色、外縁及び翅底は濃色。開張一寸七分内外。これは晝



にも普通なり。  
分布—樺太、北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、印度、歐洲。

トビモンクチバズメ  
*Marumba cristata Butler* (五二)

前翅は褐色、後縁は暗色、横脈紋は暗褐色、弦月形、第二脈上の圓紋は暗褐色。後翅は褐色、翅底及び脈は淡色、肛角紋は暗褐色。腹背の中央に暗褐色の一縦線を走らす。開張二寸九分内外。これは埔里地方に産するもその数少なし。  
分布—臺灣、支那、印度。



モモズメ  
*Marumba gasciawitsch Brem. et Grey* (五三)

體翅暗褐色若くは赤褐色、黒褐色の紋あり。前翅底に接して短線を横走し、その外側にく字形の一線を具へ、その次ぎに三帯ありて、各後縁にて相合す、中室に弦月形の一紋を具へ、外側に二帯ありて相平行す、外縁に近く二細帯ありて、これは第二脈の處にて彎曲す、後縁は暗色、後縁角に黒褐色の二紋あり。後翅は桃色、外縁は暗褐色、内縁角に二暗褐色あり。開張二寸八分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は



♀

モモ、サクラの葉を食す。  
分布 北海道、本州、四國、九州、支那、滿洲。

ヒメクチバスズメ  
*Marumba jankowskii* Oberth. (五四)

前翅は灰色、三分の一の處に黄褐帯ありて、その内に三濃色線を派走し、翅端の外半は黄褐、



♀

灰色部との境界に濃色の一斜線ありて、その外

側に弓状の一斜線を裝ひ、後縁角に大なる暗褐紋あり。後翅は黄褐、内縁角に暗褐の二大紋を裝ふ。開張三寸内外。この紋條には變化多し。札幌にては燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はシナノキの葉を食す。  
分布 北海道、滿洲。

タイワンクチバスズメ  
*Marumba spectabilis* Wk. (五五)

翅は黄褐。前翅の横帯は暗褐、第三脈の末



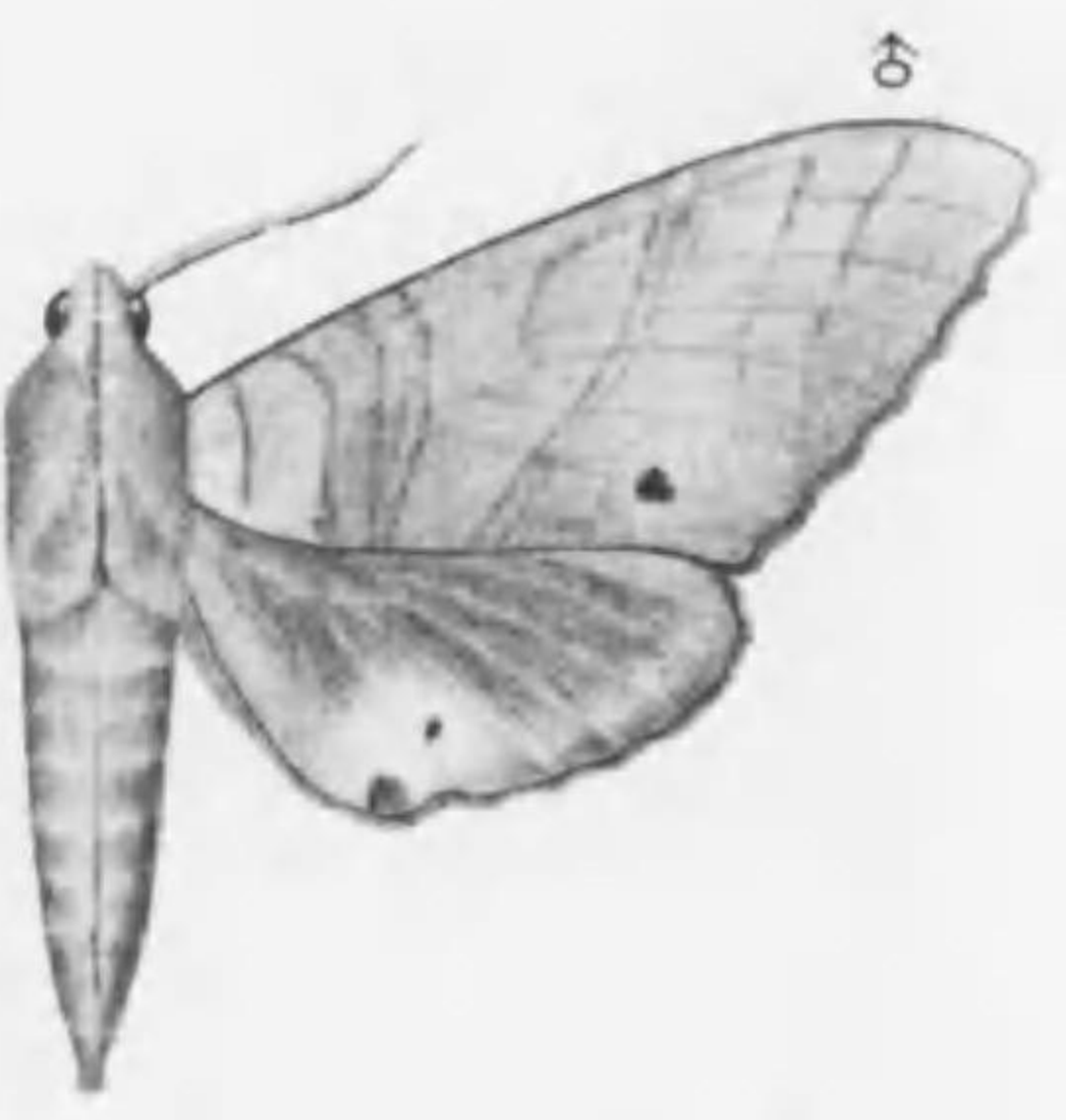
フォルモサーナ形 ♀ *f. formosana* Mitsu.

端に近く一黒紋ありて、その周囲に大なる褐色の圓環を具へ、その上方に弓

狀帯ありて、第三脈以下にては不明、外縁角は廣く天鷲絨様の黒褐。後翅の肛角に近き二紋は黒褐、翅端に近く褐色の二帯あり。開張三寸—三寸五分。これは埔里にて捕獲せるが稀なるが如し。  
分布 臺灣、支那、印度。

クチバスズメ  
*Marumba speerchius* Mén. (五六)

體翅淡褐。頭及び胸腹背の一縱條は褐色。前翅に九條の褐色帯ありて、第四、五并に第六、七帯は近接し、第一脈末端に近く褐色の一圓紋を



♂

具へ、外方の一圓は灰色。後翅は褐色、内縁は淡色、これに二褐色紋を裝ふ。開張三寸二分—四寸二分。これは北海道に産せざるが如し。幼蟲はカシ、シヒ、クリの葉を食す。  
分布 本州、四國、九州、沖繩、印度。

エゾシモフリスズメ  
*Meganoton scribae* Anst. (五七)

これはシモフリスズメに酷似するも、その異なる所は、前翅第二及び第三室にある黒縱條は太くして、同室を充實し、翅端に稍々卵形の黒環



♂

紋ありて、その環太く、その内側の前縁に對し

て直角をなすにあり。開張四寸—四寸三分。これは札幌地方に多く、暗んで燈火に飛來す。その幼蟲はドロノキに寄生するが如し。  
分布 北海道、本州。

ヒサゴスズメ  
*Minus christophi* Star. (五八)

前翅は茶褐色、光線の工合にて紫色を現はす、外縁に三個の列られたる部分ありて、その内第

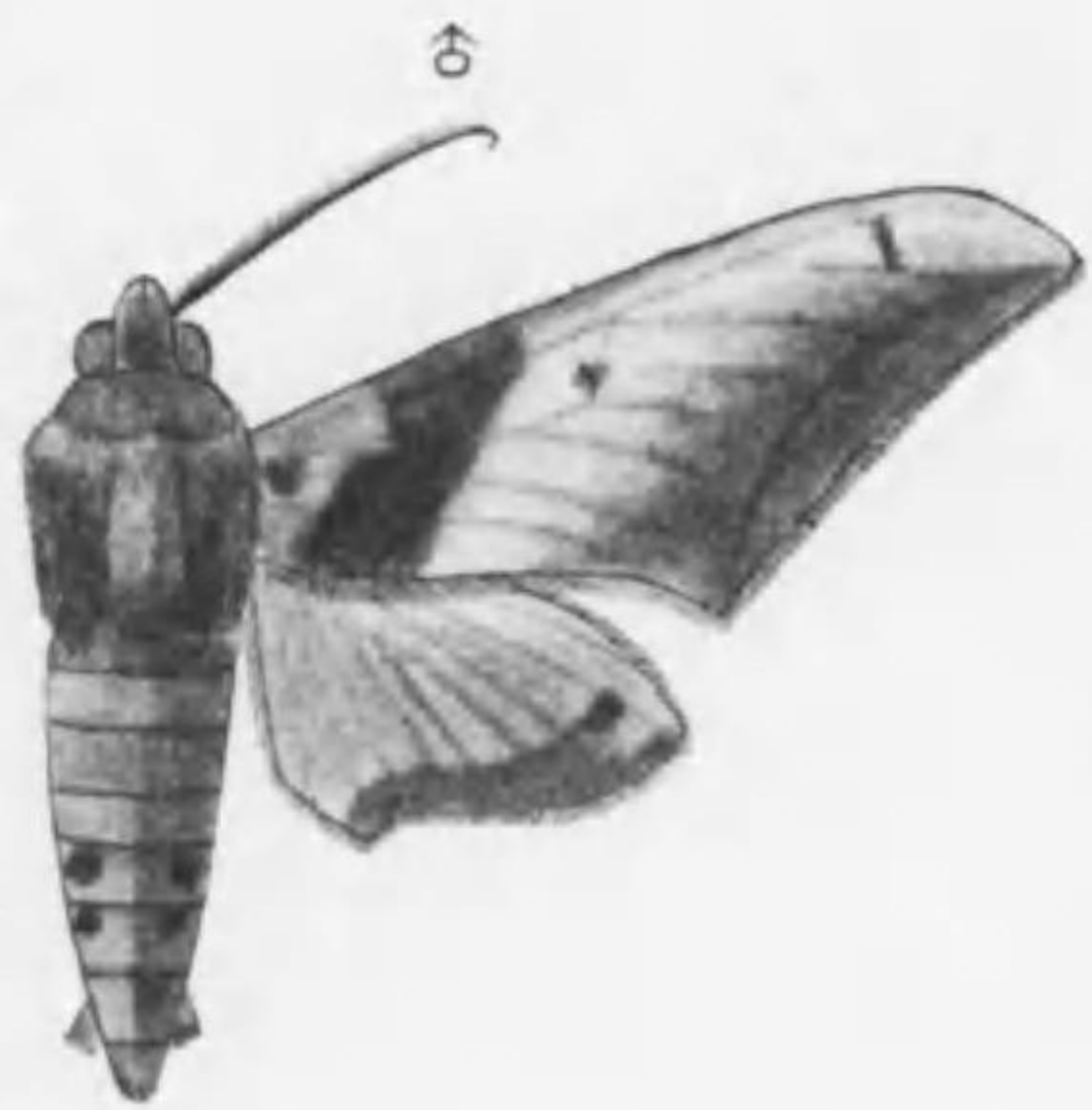


♂

二の列れは小、中央に稍々瓢形に近き黒紋を裝ひ、外縁は濃色、翅端に鈎狀の灰白紋を有す。後翅は暗灰色、後縁は暗褐。開張二寸内外。これは札幌地方には稀なり。幼蟲はシナノキを食するが如し。  
分布 北海道、本州、滿洲。

フトオビホソバスズメ  
*Oxyamblyx japonica* Kothsch. (五九)

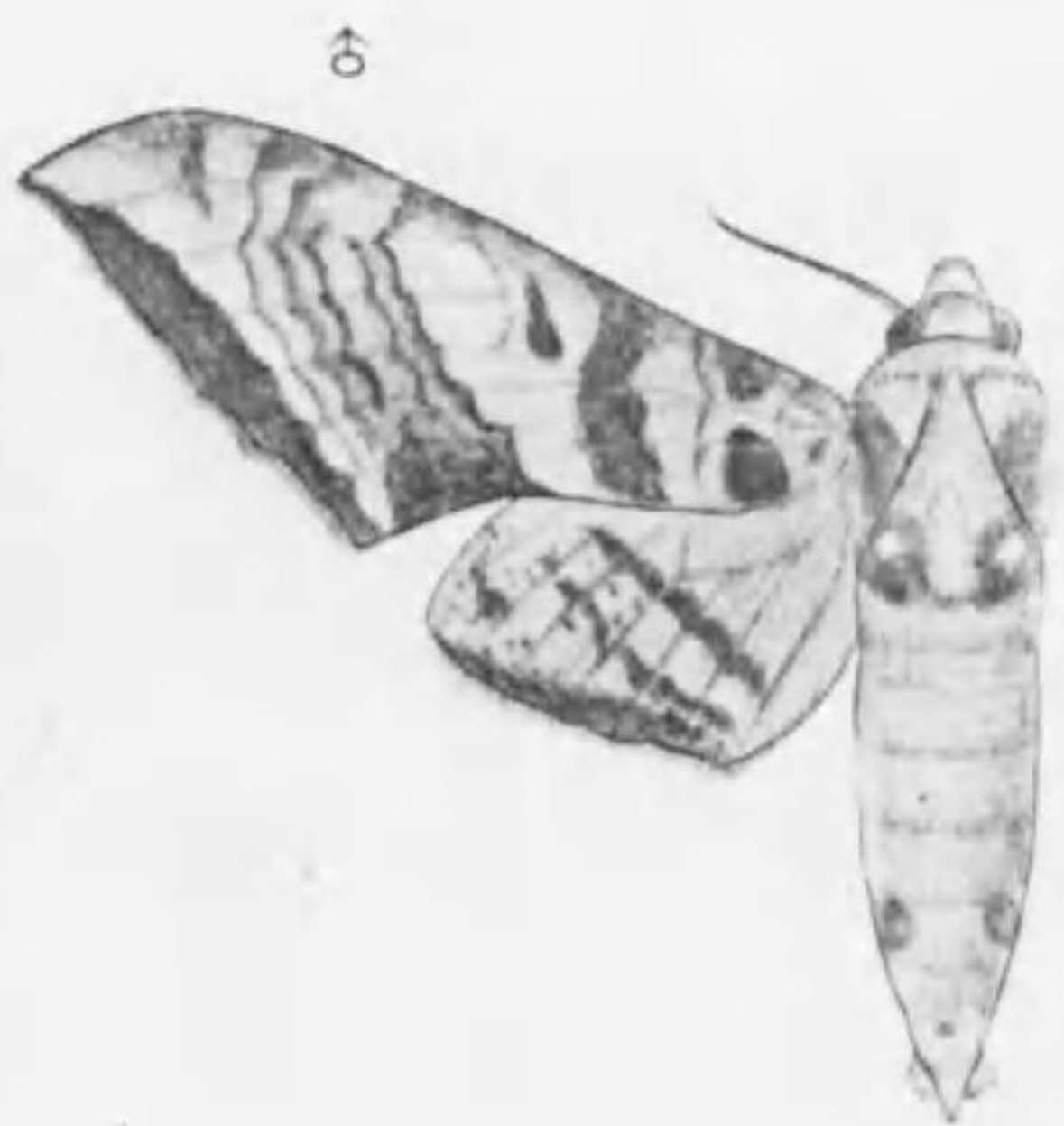
體翅は灰黄。前翅の底紋、其外側の斜帯、横脈紋及び外縁帯は線褐、外縁の弓狀線は黒褐、第六室の中央紋及び外縁の脈は暗色。後翅の外縁は暗色、中央に暗色點を散在す。前頭は灰白、後頭及び腹部は灰黄、第五、六節の兩側に各一個の暗褐紋を具へ、第七節兩側に黄褐の毛塊を裝ふ。開張三寸内外。これは本州には稀なり。  
分布 本州、朝鮮。



ホソハスズメ *Oxyamblyx ochracea* Hndt. (六〇)

體翅は淡黄褐乃至黄褐。前翅は細く、外縁にある弧状の一紋、翅端に近き前縁の三角紋、中室外にある三波状線、横脈上の一紋、その内側にある波状線、翅底の一紋、内縁角に近き圓紋、その直上の三角紋并にその外側にある一波状線は褐色。後翅は黄色、外縁、第六室の一紋、二帯及び散在せる點紋は褐色。開張三寸—三寸四分。これは餘り多からず。

分布 本州、九州。



モンホソハスズメ *Oxyamblyx schaufelbergeri* Brem. at Gray (六一)

體翅灰黄、少しく緑色を帯ぶ。前翅底及び前縁に近き斑紋は茶褐色、横脈紋は褐色、その外側に三帯ありて、第三室にては一回の淡色なる爲め判然せず、外縁に弦月形の大褐紋を具へ、翅端に近く淡褐紋を散在す。後翅は黄色、外縁は褐色、褐色の二帯ありて、褐色の小紋を散在す。開張三寸五分内外。これは餘り稀ならざる。



雌

も、黄昏早く燈火に飛來するを以て注意せざれば捕獲すること難し。  
分布 北海道、本州、支那、滿洲。  
タカムクホソハスズメ *Oxyamblyx takamuki* Mats. (六二)  
前翅の内部黄褐、少しく紫色を帯び、翅底の二紋及び前縁の三紋は天鷲絨様の黒色、中横線は

一対にして、暗灰色、横脈紋はく字形にして、



雄

黒色、その中央線は淡色、後横線は廣く營色、内方は黒線にて縁取られ、これより外縁のスカロップ列は黄色、これに暗色紋を散在す、後縁角の内方には天鷲絨様の大黒紋あり。後翅は黄色、四條の黒波状帯ありて、中央の黄色部に暗色紋を散在す、後縁は廣く黒色。開張三寸八分。これは埔里にて捕獲せられたるも稀なり。

分布 臺灣。

キンホソスズメ *Parua coligata* Wk. (六三)

前翅は綠褐、翅底に三角形の灰白紋ありて、廣



雌

底を前縁に有す、稍々三分の一の處に灰白の一帯ありて、その中央に判然せざる淡褐の一線を并走し、その外縁には判然せる一帯ありて、灰白帯の分界を顯著ならしむ、中脈上に褐色の縦條ありて、その中央に銀色の一紋を裝ふ。後翅の内縁角に近く黒褐の太き一帯ありて、その前後の兩側は白色。開張一寸三分—一寸七分。この幼蟲はカジキ及びコウゾの葉を食す。

分布 北海道(?)、本州、臺灣。

ヒメスズメ *Pergesa asakoidensis* Oberth. (六四)

體翅は黄褐。前翅底の外側にあり一斜條、中室外の一紋、その外側の斜條、更にその外



雄

側の斜條並に外縁は黄褐、前縁角の下方は少しく灰色を帯ぶ。後翅は暗色、中央に太き黄褐帯あり。開張一寸八分内外。これは餘り多からず。幼蟲はアダウの葉を食す。

雌



ベニスズメ *Pergesa* (六五)

分布 北海道、本州、滿洲、西北利亞。

*clivator* L.

體翅は黄緑。前翅前縁の外半、外縁、中央の二帯は暗紅色。後翅は暗紅色、翅底に太き黒帯を具へ、縁毛は白色。開張二寸三分内外。これは少なからざるも、燈火には餘り多く飛來せず。幼蟲はカハラマツバ、ミツハギの葉を食す。

分布 樺太、北海道、本州、四國、九州、臺灣、支那、歐洲、印度。

エゾスズメ……………(六六)



*Phyllosphinxia abstrusalis* Brem.

at Grey

前翅は灰色、光線の工合にて少しく紫色を帯び、前縁の中央に暗色の三角紋ありて、その中に更に楕圓形の黒輪を裝ふ、翅底暗色、前横線は濃色にして、く字形に折れ、中横線は斜傾し、外縁は暗色、その中央に淡色線を貫通す。後翅は暗色、前縁の一紋及び中央の二帯は暗色、前後兩翅の外縁は何れも波状をなす。開張三寸内外。これは北海道にては多し。嗜んで燈火に飛來す。

分布 北海道、本州、九州、臺灣、アムール、西比利亞。

ハガタスズメ……………(六七)

*Polytehus trilineatus* Moor.

體翅は灰褐。前翅に三黒帯を斜走し、中央帯最も太く、外縁にあるものは中央にて彎曲し、各帯の外側は何れも暗色、外縁は弦月形に刻られ、前縁に近く黒褐の大紋ありて、稍々三角形をなす。後翅は暗色、中央帯は淡色、その内縁は白色。開張三寸七分内外。これは臺灣に稀ならず。

分布 臺灣、支那、南洋諸島、印度。



シモフリスズメ……………(六八)

*Psilogramma menephron* Gram.

體翅は灰色、白毛を混じ、胸背の兩側に黒條を縱走す。前翅の中央に二黒條を縱走し、その外側に暗色の波状線を具へ、前縁角に大黒紋を裝ふ。後翅は暗色。開張三寸七分内外。これは燈火に飛來すれども餘り多からず。幼蟲はイボタ、キリの葉を食す。

分布 臺灣(北埔)。

ヒロウドスズメ……………(七一)

*Khagastis hongohana* Hantl.

體翅は黒褐。前翅の基部に近くく字形に屈折せ



分布 北海道、本州、九州、支那、印度。

オホヒロウドスズメ……………(六九)

*Khagastis aurifera*

Hantl.

前翅は蒼色、外半は淡色、翅底の一紋は黒色、前横線の彎曲部に黒



第六 鱗翅目(蛾亞目)

フタツメヒロウドスズメ……………(七〇)

*Khagastis haenulata* Mats.

體翅は暗褐、少しく緑色を帯ぶ。前翅の中央に灰色の二大紋を具へ、外紋中に褐色の二點を裝ふ、中室點は黒色、外縁は灰色、翅端に三角紋を具へ、その内側は黄褐。後翅は黒褐、中央は黄褐、縁毛は白色。開張二寸内外。これは臺灣に産するも餘り多からず。

分布 臺灣(埔里)。



側は黄褐。後翅は黒褐、中央は黄褐、縁毛は白色。開張二寸内外。これは臺灣に産するも餘り多からず。



る黒色の二帯あれども餘り判然せず、中室の一帯は黒色、その外方の一帯は少しく黄褐色を帯び、中央より少しく外縁に

接したる處に點線の三帯あれども餘り判然せず、翅端に三角形の黒褐紋ありて、その内側に灰黄の大紋を裝ふ。後翅の中央に濃色の二帯あれども餘り判然せず。開張二寸内外。これは餘り多からず。この幼蟲はブドウの葉を食す。  
分布 本州、四國、九州。

ミスチヒロウドスズメ.....(七三)

*Rhagothis trilineata* Mats.



フタツメヒロウドスズメに酷似するも、その異なる所は、前翅の後横線は三條より成り、その内中央にあるものは第六脈より前縁に渡りて判然し、後縁にて稍々合して一  
大紋となり、暗灰色の外縁を分界する暗色の亞外縁線ありて、これは翅端より第五脈に達し、第二及び第三室に跨がる所及び翅端に近く灰黄の一大紋を裝ふ。後翅は暗色、肛角紋は黄色。  
開張一寸。これは臺灣に止するも稀なり。

分布 臺灣。

マダラヒロウドスズメ.....(七三)

*Rhagothis varia* Wilem.



前翅は緑褐、前縁は淡色、約三分の一の基部は濃色、前中の兩横線は黒褐、後横線は黒褐の三波状線より成り、點線となりて後縁に達す、  
中室點黑色、第五及び第六脈間に黒褐紋を裝ひ、後縁角に近き一紋及び翅端に近き三角紋は黒褐。後翅は暗褐、外縁は濃色、前縁は淡色。開張一寸八分内外、これは埔里地方に産すれども餘り多からず。  
分布 臺灣。

コホウジャク.....(七四)

*Rhycolobus sibiricus* Kollt.

色、内縁角の眼状紋は黒色、中央は淡き藍色。開張二寸二分内外。これは札幌地方に普通なる種類にて、燈火に飛來す。幼蟲は柳の葉を食す。  
分布 樺太、北海道、滿洲。

ジャマイカスズメ.....(七五)

*Smerinthus jamaicensis* Drury



前翅は淡褐、基部の三分の一は灰色、前横線は濃褐、中横線は淡色、其外方の三波状線は灰色、外方の二線間は濃褐、横脈紋は灰褐、褐灰環を有す、第七及び八脈間の半則紋は黒褐、周縁は灰色、後縁角の紋は暗褐。後翅淡紅色、前縁は淡色、後縁及び内縁の下方は廣く灰黄、肛角の眼状紋は黒色、中央に淡藍色の二紋を有す。開張二寸一分内外。これは臺灣にて發見せられたれども果してその地



前翅は灰褐、斑紋は暗褐、前横線は太く、後縁にて少しく内方に曲り、中央に三帯ありて、中央のものは判然せず、翅端に近く四角形の褐色紋を裝ふ。後翅は黒褐、黄帶廣し。開張一寸四分内外。これは臺灣には稀なり。  
分布 臺灣、支那、印度。

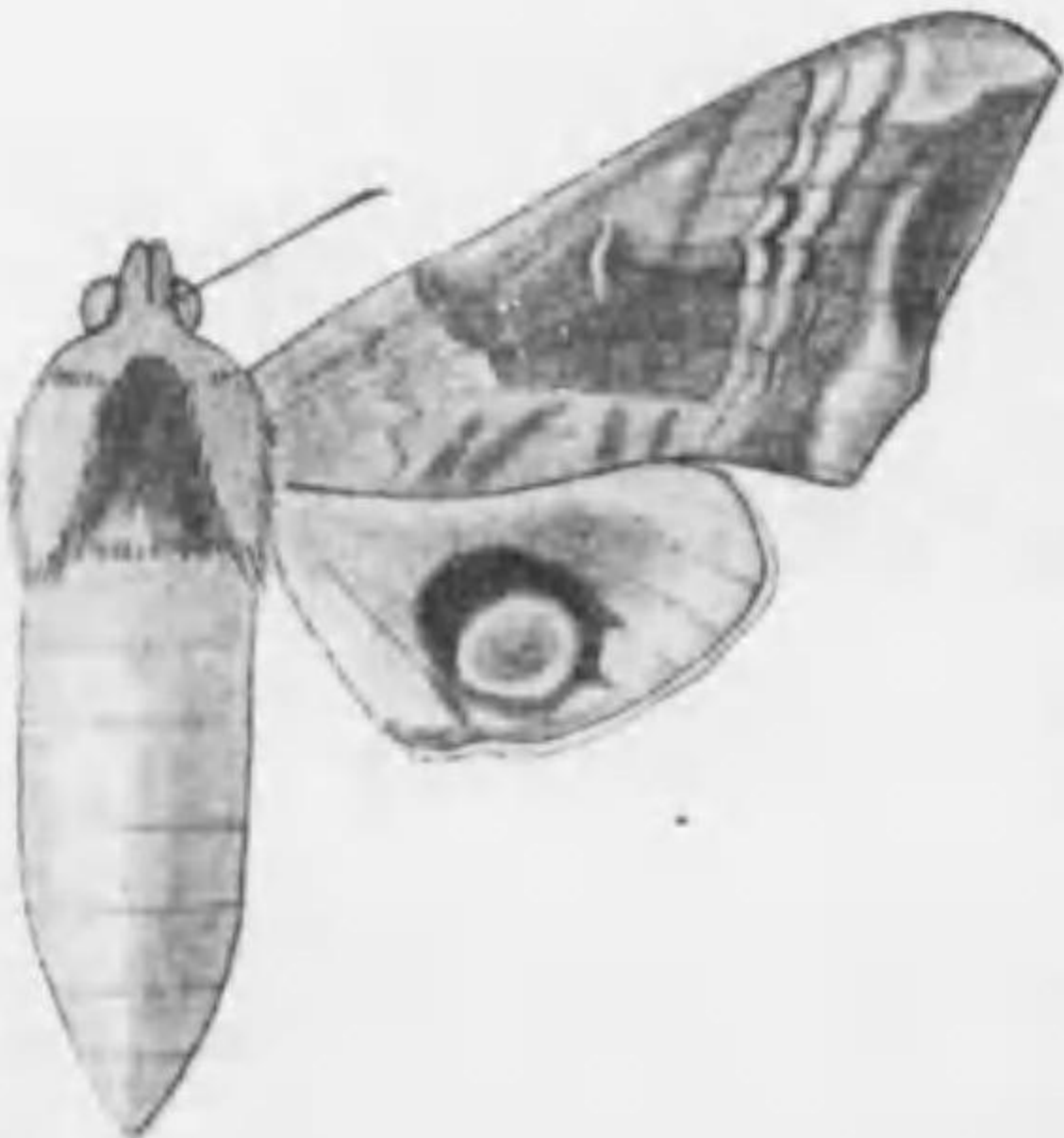
ミドリスズメ.....(七五)



に發生するや否や不明なり。  
分布 臺灣、南米。

ウチスズメ.....(七八)

*Smerinthus planus* Wk.



前翅は暗灰色、少しく緑色を帯ぶるものと、褐色を帯ぶるものとあり。翅底及び前縁は灰色、  
内縁に濃色の二大紋を具へ、中央部は濃色、これに弦月形の灰色紋を裝ひ、その外側に濃色の二帯を並走し、外縁に濃色の雲状紋あり。後翅

ヒメウチスズメ.....(七六)

*Smerinthus caecus* Mén.



體翅は灰白、少しく紅色を帯ぶ。前翅に判然せざる暗褐の四帯ありて、中央に同色の一紋を具へ、中央の二帯に連

一、ウニコロール形 ♂ *S. unicolor* Mats.



二、テウセンシス形 ♂ *S. chiosensis* Mats.



の中央は桃色、黒輪を有する大形の眼状紋ありて、藍色を呈し、その中央は暗色。開張三寸内外。これも燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はサクラ、リンゴ、ヤナギ、シラカバの葉を食す。  
〔分佈〕北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、滿洲。  
附言—これに上の二變形あり。

コウチスズメ *Smerinthus tokyonis* Mats. (七九)

ヒメウチスズメに酷似すれども、前翅底に近く暗色の一紋を具

へ、其外側に灰白

紋を装ひ、翅端の

濃褐紋を穿する灰

白紋はN字形をな

す、外縁に近き灰

白帯は第六より

後縁に達す。後翅

の紅色部は少なく、眼状紋は卵形にして、其中

にある弦月形の二紋の外方ものは細くして判

然せず。開張二寸内外。これは東京地方に産す

るも少し。

〔分佈〕本州(東京、信州)。



タイワンヒメスズメ *Sphinxgulus chinensis* R. et J. (八〇)

體翅は褐色、前翅は少しく紫色を帯び、帯は濃

色。後翅は少しく淡

色、判然せざる濃色の

一帯を装ひ、肛角附近

の縁毛は灰白。開張一

寸六分内外。これは臺

灣臺北地方には稀なら

ず。

〔分佈〕臺灣(臺北)。



クロスズメ *Sphinx caliginens* Hottl. (八一)

體翅は暗灰色

前翅底の下方

に黒褐の毛塊

ありて、彎曲

せる縦紋をな

す、尙その直

上に縦線あれ

ども、餘り判

然せず、前縁

の中央に近く



コンスツリツクダ形 ♂  
*S. constricta* Hottl.



マツクロスズメ *Sphinx pinastri* L. (八四)

クロスズメに酷似すれども、その異なる所は、前翅の第六室にある白紋は長く、その下方の黒紋と同様に内方に向つて尖小す。雄の尾端に圓形の凹陥を缺き、總狀毛は短かく、陰具の末端は尖り、稍々鉤狀となる。後肢の距は第一跗節の三分の二以上に達するも、クロスズメにありて

一、黒紋を具へ、横脈上に、白紋あり、第一室及び第二室には各一條の黒縦條ありて、稍々相平行し、外縁に近くく字形をなせる暗色帯を装ひ、その内側の前縁には同色の一紋を有す、前縁角に劍狀の一黒線ありて、その前側に白色の部分あり。後翅の中央に淡色の一帯あり。開張二寸内外。これは北海道に普通なり。  
〔分佈〕樺太、北海道、本州、滿洲、歐洲。

オビグロスズメ *Sphinx crassistriga* R. et J. (八三)

體翅は灰褐。前翅の紋條は黒褐、前縁より中室の末端を横斷して後縁に達する二斜條を具へ、尙、中央に不明瞭なる細線數多あり、第二、第三及び第四室に棍棒狀の縦條ありて、第三室のもの長く、第二室のものは第三室のものより短かく、第四室のものは遙に短し、縁毛は灰白と黒色との斑をなす。後翅は暗褐。肩部に廣き黒條あり。開張二寸六分。これは本州に産すれども稀なり。

コエビガラスズメ *Sphinx ligustri* L. (八三)

前翅は淡灰黄、前縁に判然せざる二黒帯を斜走し、中央に約五黒條を縱走し、中央にあるものは長く、中室の中央に達す、横脈は黒色、翅の中央は黒褐、二條の弧狀線を装ひ、これは前縁にて淡色、外縁に近く黒波狀線ありて、翅端の三角紋に連続す。後翅は帯紅黄白、黒色の三帯あり。腹背はエビガラスズメの如く蛇色の斑紋を有す。開張三寸三分内外。これは千島に普通なり。幼蟲はイボタ、トネリコ、シモツケ、ハシドイの葉を食す。

〔分佈〕北海道(千島)、本州、滿洲、歐洲。



モリオ形 ♀ *f. morio* R. et J.

は三分の一に達せず。開張一寸九分。これは多からず。



分布—北海道、本州、歐洲。

シタベニスズメ *Theretra albata* J.

前翅は縁褐、翅底は少しく灰色を帯び、約七個



♂

の濃色斜線ありて、第一及び第五の兩線は太く、中室の一點は黒褐。後翅は紅色、翅底及び外縁は黒色、内縁角の大部は灰白。開張二寸八分内外。これは臺灣地方に普通なり。

然し、中室の一點は黒色、全面に小黑點を散在す。後翅は暗色、後縁の中央に灰黄褐の部分あり。開張二寸四分内外。これは東洋の半熱帶地方に普通なり。

分布—臺灣(臺北、臺南)。

分布—沖縄、臺灣、支那、印度。

クロホシズメ *Theretra boishivahi* Bagn.

前翅は灰黄褐、外縁は少しく桃色を帯び、翅端

ハスチズメ *Theretra clotho* Drury

體翅は灰青色。前翅の中央に黒褐の一斜線あり



♂



♂

より後縁に向ひ、濃色の判然せざる六條を斜走し、その内、中央及び内側にあるものは最も判

て、翅端より後縁の中央に向つて斜走す、横脈點は黒色、その外方に暗灰色の雲狀紋あり、前

分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣。

分布—臺灣(埔里)。

シタグロスズメ *Theretra jugurtha* Boisat.

體翅は青色。前翅は黒線を散在し、六條の暗色

ムスチズメ *Theretra latreillei* Mac.

前翅は灰黄褐、外縁線は桃色を帯び、翅端

コスズメ *Theretra japonica* Orza

♀



體翅は灰褐、少しく綠色を帯ぶ。前翅の中室點は黒色、中央の斜線は暗色、その下方は灰黄、その中に暗色の一線を認め得べく、尙、外縁に暗

♀



線ありて、第五條は點線より成り、第六條は第四脈の處にて膝狀を呈して外方に折る、横脈點及び中室の中央點は黒色。後翅は黒色、前縁、肛角并にその内方の一紋は灰黄。腹背に黒紋の二列あり。開張三寸二分。これは埔里にて捕獲せるも少なし。

分布—臺灣(埔里)。

♀



六一九



者は翅端にて黒色を帯び、中室點は暗色。後翅は暗色、前後の兩縁及び肛角紋は灰黄褐。開張二寸四分内外。これは臺灣には稀ならず。  
〔分布〕臺灣、印度、馬來。

キイロスズメ  
*Theetra nussim Drury*.....(九)

體翅は黄褐、胸側は灰白。前翅底の前方は暗



縁、後方に黒色及び白色部あり、中室に一黒點を具へ、外縁には五對帶を具へ。最も外方にあ

るものは波狀をなす。後翅は黒色、内縁角に廣き黄色部あり。開張三寸五分内外。幼蟲はヤマノイモ、アヲイモ等を食す。これは北海道に産せざれども本州には普通なり。  
〔分布〕本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

セスチスズメ  
*Theetra okenhurdiae F.*.....(九二)

前翅は灰褐、少しく綠色を帯び、後縁の中央より



り斜に前縁角に達する灰白條を裝ひ、その内側に太き黒褐條ありて、前縁の中央に更に濃色の細線を有す、尙この外側に黒色の細線あり

て、更にその外側に灰白の一線あり。これはコスズメに酷似すれども、腹背の中央に二條の銀白線を縱走するを以て、容易に區別し得べし。開張二寸五分内外。これは中國に普通なり。幼蟲はアヲイモ、カラスビシヤタの葉を食す。  
〔分布〕本州、四國、九州、支那、馬來、印度。

イツホンセスチスズメ  
*Theetra pinastriana Marty.*.....(九三)

體翅は灰褐。前翅の中央に黒褐の廣き縱帶あり



これは翅端にて相合す。後翅暗色、前縁及び中帯は淡色。本種はセスチスズメに酷似すれども、腹背に一本の白線を縱走するを以て、容易に區別し得べし。開張一寸九分内外。これは九

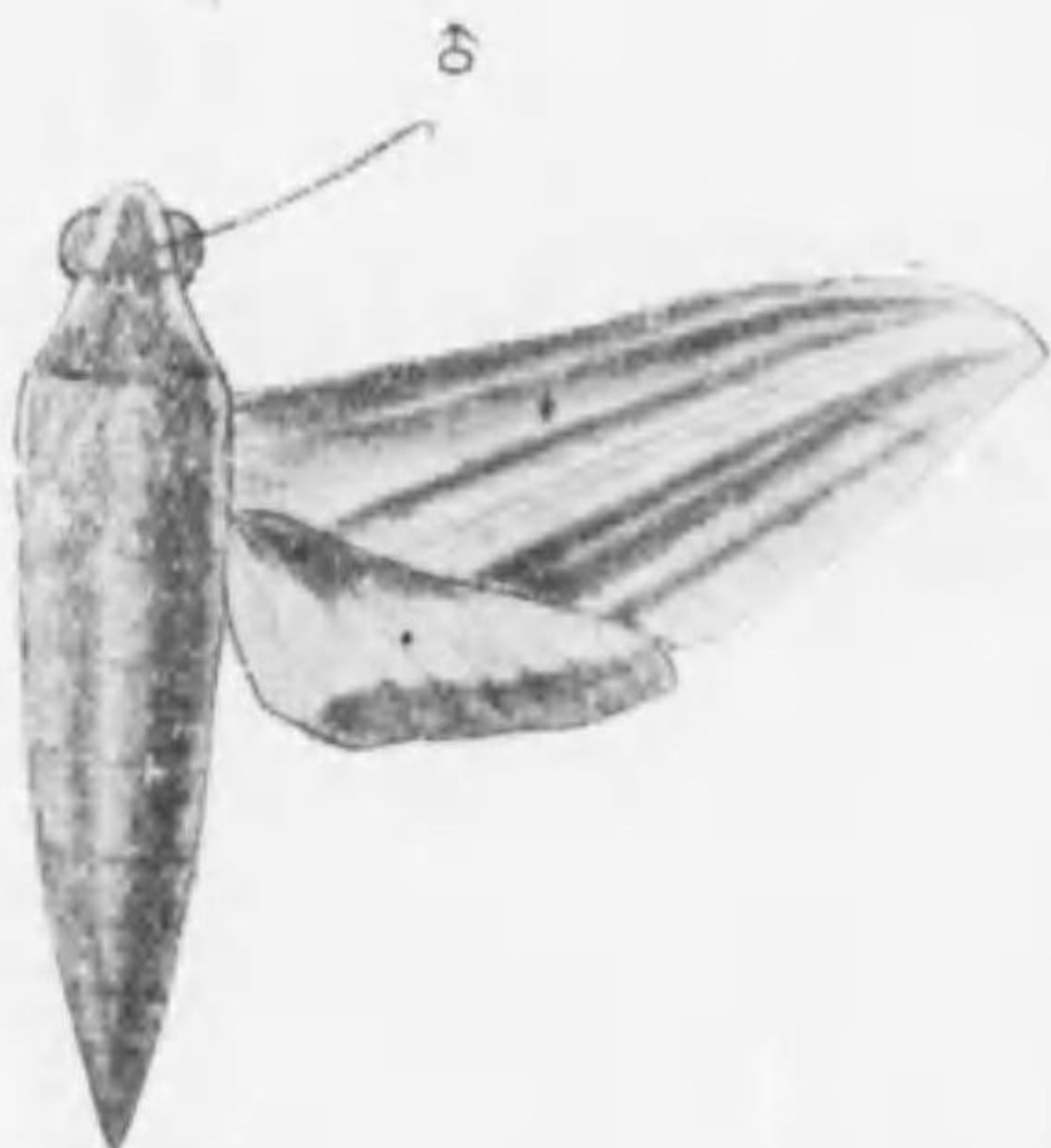
## 二 天社蛾科

### Zotodontidae

州、沖縄等に稀ならず。幼蟲はサトイモの葉を食す。  
〔分布〕九州、沖縄、臺灣、支那、印度。  
附言—學者により本種を前種の變種となすものあり。

タイワンヘニスズメ  
*Theetra suffusa Wlk.*.....(九四)

前翅は灰色、前縁は暗褐、中室點は黒色、暗褐の六帶ありて、前縁角を等分せるものは太く、



これは二線より成り、中央にある二帯は細く、餘り判然せず。後翅は紅色、翅底の一大紋並に後縁は暗褐。開張二寸七分内外。これは餘り多からず。  
〔分布〕臺灣、支那。

發達せる口吻を具ふ。脚は短かく、軟毛を密生す。觸角は羽狀、鋸齒狀若くは櫛齒狀、時に鞭狀なるものあり。前翅に一個の内縁脈を具へ、これは基部にて分支す、第五脈は横脈の中央若くは第六脈に近接して出づ。後翅には二個の内縁脈ありて、第八脈は獨立して翅底より出づ。幼蟲は尾脚を缺き、普通尾端に二個の長き附屬物を有す。本邦學名を有するもの二百十餘種あり。何れも農林業に有害なり。蛾は暗んで燈火に飛來す。

ネジロキシヤチホコ  
*Achrydina albicaulis Mats.*.....(九五)

雌、前翅は翅端にて甚だしく尖り、汚黄褐、外



縁は黄色、翅底の三分の一は灰白、横線を缺く、但し外縁に斜條ありて、暗灰色、外縁には黄色の紋列ありて、縁毛は褐色。後翅は白色、外縁に

近く金色の光澤を有す。開張一寸四分。これは臺北にて捕獲せられたれども稀なり。  
分布—臺灣。

トガリキシヤチホコ……………(九六)

*Acheperda formosicola* Strand

雄、前翅黄白、後縁は黄褐、同色の二縦條ありて、一は翅底より翅端に出で、他はこれに相平行して第一脈の中央より第四脈の末端に達す、中室の上下に黄褐の一縦條を具へ、後横線の處



♀

に黄褐紋あり。後翅は暗色。雌は翅端甚だしく尖小す。開張一寸六分—一寸九分。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。  
分布—臺灣。

アクメシヤチホコ……………(九七)

*Amushuebia takamukoi* Mats.

前翅は赤褐、前翅の中央部は灰色、これに二、色、翅底に於ける中脈下に淡黄褐の大紋あり、前横線は淡黄、中脈下の外側は黒線にて縁取られ、第一室に於てその内側には大黒紋を裝ふ、環狀紋及び腎狀紋は黒色、後横線は一、波状、外側のもは灰黄線にて縁取られ、その前縁の處には同色の一紋あり。後翅は灰褐、外縁に暗色線あり。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。  
分布—臺灣。

ナカホシネグロシヤチホコ……………(一〇〇)

*Allodonta hiscoialis* Mats.

前翅は暗灰色、前後の兩横線は濃色、波状をなす、中室點及び横脈紋は黒色、前縁には後横線の外側に灰白紋を具へ、第二脈の分岐點の下方に一黒紋を裝ひ、外縁線は濃色。後翅は灰色、中央の一帯は淡色。開張一寸六分内外。これは臺灣埔里地方に普通なり。  
分布—臺灣。



♂

三の暗色紋あり、中室前角に彎曲せる一暗褐線

♂



ありて、これは第六脈の中央に達す、第七室に同様線あり、尙、同色の膝狀線を中室端に裝ひ、中脈上下に亘りて大褐紋を具へ、各横脈は餘り判然せず。後翅は淡き灰褐、前縁は廣く、横脈紋及び不明の中帯は暗色。開張三寸。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。  
分布—臺灣。

シロネホシシヤチホコ……………(九八)

*Allodonta leucodera* Stgr.

ツマジロシヤチホコ……………(一〇一)

*Allodonta leucodera* Stgr.

前翅は淡褐、前縁末端の楕圓紋は灰白、前縁及び中央の縦條は暗褐、中室の二點及び横脈は濃色、外縁の點列は灰白、縁毛は暗褐、後縁の突起は黄褐。後翅は暗灰色。開張一寸四分内外、これは何れの地方にも普通なる種類にして、暗んで燈火に飛來す。  
分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、臺灣、滿洲。



♂

ハガクシヤチホコ……………(一〇二)

*Antoxya combusta* Wlk.

前翅橙黄色、前縁の脈は大部暗色、中室の縦條は暗色、第二及び第三室は暗褐、前縁角を除き外縁帯は紫黒色、外縁は各室



♀

*Allodonta basimaculata* Mats.

雄、前翅は褐色、細様の光澤を有し、基部に雪白の一紋を具へ、環狀紋は黒色、第二脈の基部に暗色の大紋あり、横脈は褐色、暗色の後横線は一、波状にて白色、W字形を呈し、その内側



♀

は黒線にて縁取られ、更にその内側に暗色の大紋あり。後翅は淡灰色、末端の三分の一は暗色、開張一寸九分。これは埔里にて捕獲せられたるも稀なり。  
分布—臺灣。

マヘシロモンシヤチホコ……………(九九)

*Allodonta costiguttata* Mats.



♂

前翅は暗褐、少しく鉛色を帯ぶ、横線は黒

に弦月形の二黒紋を具へ、縁毛の大部は黄色。後翅は暗黄、内縁の大半及び外縁は淡色。開張二寸内外。これは臺灣に稀ならず。  
分布—臺灣、支那、印度。

アヲシヤチホコ……………(一〇三)

*Aosluebia virescens* Mats.

前翅は淡黄、細線の光澤を帯び、脈は黄色、前縁は白色、縁毛は軟白。後翅は白色、少しく紫色を帯ぶ。開張一寸六分—一寸八分。これは埔里にて捕獲せるも稀なり。  
分布—臺灣(埔里)。



♂

ウスグロホソシヤチホコ……………(一〇四)

*Betulaehia angustipennis* Mats.

雌、體翅暗灰色。前翅の前縁に暗色紋を列ね、横脈の外方に灰白紋あり。翅底は黒色、前横線は細く暗色、中室の後角に一黒點を具へ、後横線は細く暗色、波状をなし、後縁の中央に終る、亞外縁線は暗褐の紋列より成る、後縁は後



角を除き灰白。後翅の中央及び外縁に暗色帯あり。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。  
分布—臺灣。

ホリシヤキシヤチホコ……………(105)

*Ceitra horishana Mats.*



前翅は暗黄、紋線は暗色、翅端より中室紋に達する斜線は太く、中室紋は楕圓形、横脈上の一帯は黒色、翅底縁は前縁にて判然し、前横線及び中横線は細く、波状、亜外縁線は紋列より成り、これは稍々後縁の中央に在る、第六室基部の一紋は暗

色、縦脈は何れも暗色、翅端は直角より稍々狭し。後翅は暗褐、少しく紫色を帯ぶ。開張一寸六分—一寸八分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。  
分布—臺灣。

ホシナカグロモクメ……………(106)

*Cerura hianspis Ishi.*



これはナカグロモクメに酷似すれども、前翅は一層淡色にして、中央の黒帯は判然し、これは前方にて細く、中室外側の三條の波状線は判然し、前縁の内側に橙黄色あり。開張一寸二分内外。これは中國地方に産すれども少なし。幼蟲はカバ、ドロ、ハシノキ等の葉を食すなり。  
分布—樺太、本州、朝鮮、ウスリ、歐洲。

オホナカジロモクメ……………(107)

*Cerura hirta Hb.*

前翅は灰白、翅底の一紋及びその外側の四點、



その外側の一帯は黒色、限界部に少しく黄鱗を混じ、内部に小黒點を群在す、前縁の四紋は黒色、中室の下方にある一帯は暗色、これは下方にて二條の波状線となる、横脈、その下方の一横紋及び外縁の紋列は黒色。後翅は灰白、横脈紋、その外方の一帯及び外縁の紋列は暗色。開張一寸四分内外。これは朝鮮に分布する様なれども不明。日本には産せざるが如し。  
分布—朝鮮(2)、支那、アルタイ、歐洲。  
附言—これは續千蟲一五二頁に分布として北海道、本州とあるは誤りなり。

ナカグロモクメ……………(108)

*Cerura lanigera Burt.*

前翅は灰白、光線の工合により紫色を現はす、紋線は黒色、中帯の両側は黄色の點線にて縁取られ、暗色の三波状線の外側のものは第四脈以



上にて長三角形の暗色紋となり、その内側は黄色線にて縁取らる。後翅の中央帯は暗色、横脈紋は暗色、外縁の點列は黒色。開張一寸四分内外。札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲は白楊及び柳の葉を食す。  
分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、滿洲。

テウセンネグロシヤチホコ……………(109)

*Chadisroides ussuriensis Ping.*



前翅は暗灰色にして、少しく縁味を帯び、翅底は灰白、前縁中央のn字形紋は暗色、横脈紋は黒色、弦月形、翅端に近き外縁に楕圓形の大黒紋を具へ、外縁線は黒色、波状、後縁に暗色紋あれども餘り判然せず。後翅は灰白、外縁に暗色紋を列ぬ。開張一寸一分。これは朝鮮釋王寺にて捕獲せるが少なし。  
分布—朝鮮、滿洲、ウスリ。

ハイハラシロシヤチホコ……………(110)  
*Cheuthontia hainanensis Mats.*  
雄はシロシヤチホコに酷似すれども、その異なる所は、前翅には暗色鱗少なく、横脈上には暗色紋を缺き、前後の兩横線及び亜外縁線は判然せず、縁毛は白色、これに黒點を列ね、翅面に疣状突起を缺き、後翅の縁毛の白色なるにあり。開張一寸二分。これは埔里ベイバラにて發見せられたるも少なし。  
分布—臺灣。



シロシヤチホコ……………(111)

*Cheuthontia erisocens Stgr.*

雌翅灰白、前翅に小黒點及び疣状突起を散在し、前横線は黒色、波

テウセンシヤチホコ……………(112)  
*Coreodonta coreana Mats.*  
前翅は暗褐、前縁の三分の一は廣く淡色、前横線は高き波状を呈し、中脈の下方に當り翅底に近く暗色の一縦線を具へ、波状の前横線と共にW字形紋を現はし、その内側は淡灰褐、後横線は黒點より成り、第四、五及び六脈の間室は淡色、その中の一縦線は暗灰色、脈及び後縁突起は暗色。後翅は暗灰色、帯は判然せず。開張一寸五分。これは朝鮮釋王寺にて捕獲せるが少なからず。  
分布—朝鮮。



クロモンシヤチホコ……………(一一三)

*Danata longipennis* Wlk.  
♀ フオルモシコラ形 ♂ 前翅は白色、翅端は黒色、外縁に接する部分に少くは暗色を帯び、全面には黒褐色を散在し、外縁各脈の間には小紋、前縁の三角紋、小点及び後縁の二大紋は黒褐、縁毛は赤褐、脈の終點は白色。後翅は白色、後縁は褐色、縁毛は銅色と白色との斑をなす、肛角紋は褐色、其直上の短線は褐色。開張二寸三分内外。これは埔里地方にて捕獲せるが餘り多からず。



分布—臺灣、印度。

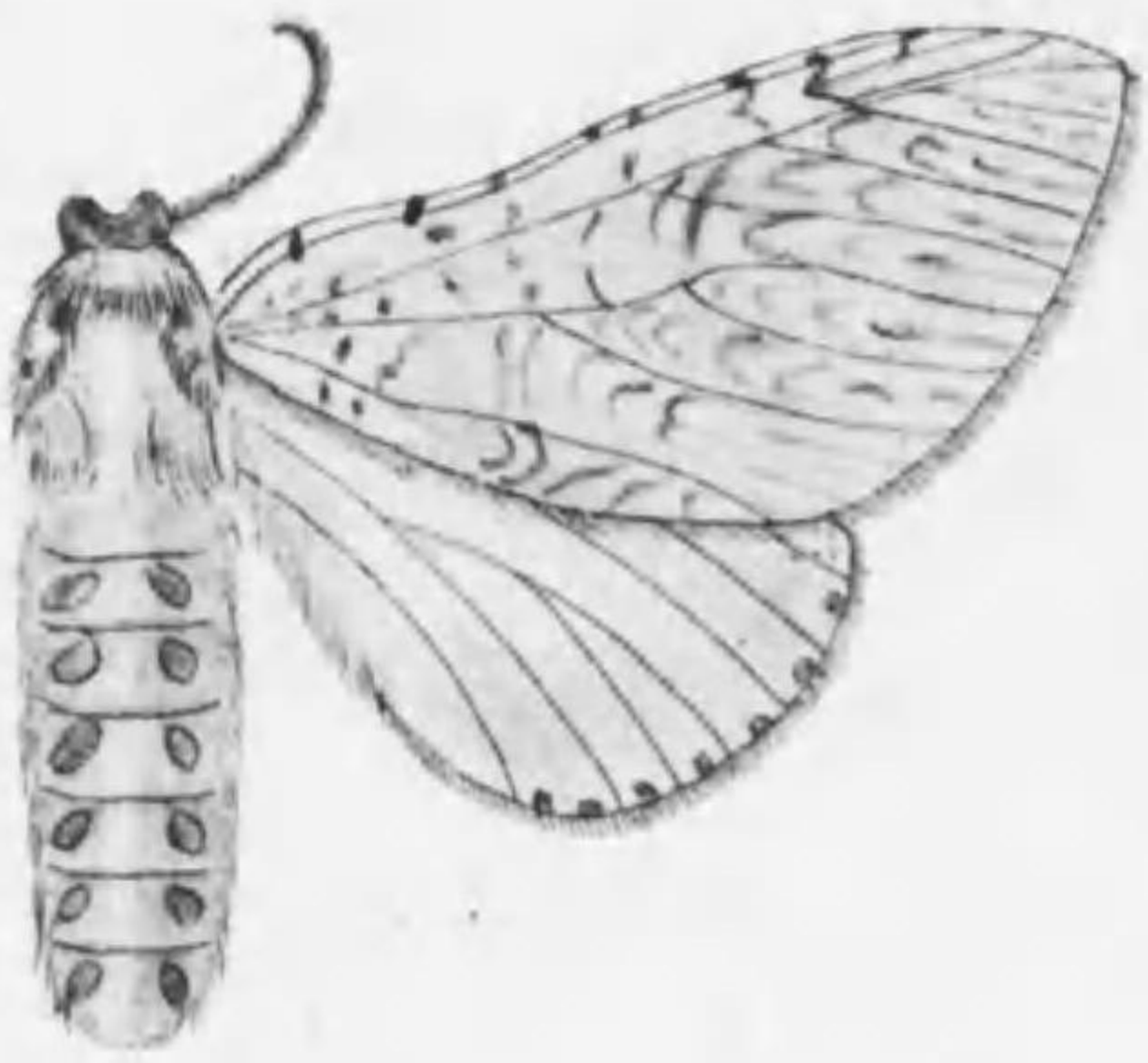
ココロモンシヤチホコ……………(一一四)

*Danatorides barbarana* Mats.  
前翅灰白、後翅は黒色、各横線は暗色、前横線

これは臺灣埔里にて捕獲せるが稀なり。  
分布—臺灣。

モクメシヤチホコ(モクメガ)……………(一一七)

*Dicranura vinula* L.  
♀ フェリナ形 ♂ *f. felina* Butl.  
體翅は灰白。前翅に黒色木目様の斑紋を裝ひ、



殊に外縁室にあるものは判然と、脈は黄色。後翅に木目様の斑紋を缺き、横脈上にく字形の暗

は細く、波状、前縁中央に近く楔状の大紋を具へ、前縁にて横



るものは大、各脈上にあるものは短線状となり、外縁は廣く暗灰色、その中に白色の亞外縁線あり、縁毛は暗色、白点を縦列す。後翅は灰白、外縁に近き縦脈は暗色、肛角に黒紋を具へ、その中に一淡色線を有す。これはバイバラにて捕獲せるが稀なり。  
分布—臺灣。

オホモクメシヤチホコ(オホモクメ)……………(一二五)

*Dicranura erminia* Esq.  
モクメガに酷似すれども、胸背の全部は灰白、黒色の八紋を二列に横裝す。背腹は黒色、中央に一白條を縦走し、尾端の二節は白色、之れに黒色の六線を縦走す。前翅第一室に一双のく字紋を具ふ。後翅の肛角紋は暗色、外縁の黒点

色紋を具へ、外縁にも八個の黒紋を列ぬ。開張二寸二分内外。これは暗んで燈火に飛來するも餘り多からず。幼蟲はヤナギ、ドロキキの葉を食す。  
分布—北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。

オホネグロシヤチホコ……………(一二八)

*Disparis nipponica* Wilem.



前翅は灰白、紋線は黒色、翅底線及び前横線の間は暗色、二條の後横線間は灰白、其外側の一帯は暗色。後翅は灰色、濃色の二帯あり。頭及び胸背灰白。肩板は暗色。中胸背の基部の一紋黒色。腹部は灰黄。開張一寸六分内外。これは日光地方に産するも、その數少なし。  
分布—本州。

ヘリホシシヤチホコ……………(一二九)

*Disparis serripunctata* Mats.

雌、前翅は暗褐、中央に淡黄褐の大紋ありて、

メンキアーナ形 ♀ *f. menclana* Moor.

は小。開張二寸四分内外。札幌地方にては七月中旬現はるゝも、その數餘り多からず。  
分布—北海道、本州、臺灣、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。



タイワンモクメシヤチホコ……………(一二六)

*Dicranura formosana* Mats.

モクメシヤチホコに酷似すれども、其異なる所は、前翅の斑紋餘り判然せず、後横線は波状、これは後縁に至りて波高く、後角の前方に開口す、而して第一室の波最も高く、稍々圓柱形を呈す、後横線外に四縦紋を横列し、各紋は外縁と一棒線によりて相連絡す。開張一寸八分。



その内側は前横線にて限られ、外縁線は第三室の半に達す、尙翅底も淡黄褐にして、その外縁に暗褐線あり、横脈紋は弦月形にして、黒色、小なり、亞外縁線は黒点列より成り、各點の内側は白線を具へ、更にその外側に淡色の一紋を裝ひ、外縁に沿ひ黒点を列ぬ。後翅は暗色。開張一寸三分。これは臺灣埔里にて捕獲せるが少なし。  
分布—臺灣。



ネグロホソバシヤチホコ……………(一三〇)

*Disparis variegata* Wilem.

前翅は灰色、光線の工合にて少く紫色を帯び、前横線は黒色、其内側は暗色、其内方は黒線にて縁取らる、前縁の六紋は暗色、此内五個は中央より外方に位し、黄紋と斑をなす。後翅は暗色、縁毛は淡色。開張一寸六分内外、これ



は燈火に飛來するも少なし。

分布—本州。

ワイルマンネグロシヤチホコ……………(二三)

*Disparis wilemani* Mats.

これはネグロホソバシヤチホコに酷似するも、



その異なる所は、雄、前翅の中央は灰白、少しく綠色を帯び、前横線は一層斜にして、高き波状をなし、

外縁の三分の一は紅褐、前縁に近き後横線の外側に暗色の太き斜帯あり。觸角の齒は長く、約二倍長あり。開張一寸七分内外。これは埔里にて捕獲せるも多からず。

分布—臺灣。

ノヒラシヤチホコ……………(二三)

*Drymonia basalis* Wilem. et South

前翅は灰白、紋條は暗色、翅底線より前横線迄の一圓は暗色、後横線の外側は白線にて縁取ら



れ、縁毛は灰白。後翅は灰色、中央の二帯は淡色、縁毛は灰白。開張一寸六分内外。これは信州地方にて燈火に飛來するも少

なし。分布—本州。

トビモンシヤチホコ……………(二三)

*Drymonia chaon* Hk.

前翅は暗灰色、中央の二帯は暗色、前横線の内側は灰白線にて縁取られ、中室外側の弦月形紋は白色、波状線は暗色、後翅は暗灰色、末端に近く判然せざる一濃色帯あり。開張一寸三分内外。

これは信州地方の高原に産するも少なし。分布—本州、滿洲、歐洲。

ダイセンシヤチホコ……………(三四)

*Drymonia daisensis* Mats.

前翅は灰黄褐、中央の弓状線は淡色、前縁の三、四紋及び外縁に近き各室の波状紋は黒褐、



外縁三條は淡色、中央の淡色條の内側に暗褐紋あり。後翅は暗褐、横脈紋は濃色、外縁に近き二帯及び肛角は淡色、尾端の房状毛塊は黒褐。開張二寸九分内外。これは日光にて發見せられたるも稀なり。分布—本州、朝鮮、支那、印度。

ウスグロフサシヤチホコ……………(三六)

*Dudusopsis fumosa* Mats.

雄、これはオホフサシヤチホコに酷似すれど



前翅は灰白、紋條は暗色、縁毛は灰色と暗色との斑をなす。後翅は暗灰色、中央の二帯は淡色。頭暗褐。胸背灰色、肩板灰白、其末端暗褐。腹部暗灰色。開張一寸三分内外。これは伯耆大山にて捕獲せるが稀なり。分布—本州(伯耆大山)。

ミツボシシヤチホコ……………(三五)

*Drymonia trimacula* Kap.

前翅は暗灰色、紋條は黒色、翅底、中室外方の一圓及び後横線の外側は白色、翅底線の外側一圓は暗色、前横線は第一脈の外方にて暗色、後横線及びその外側前縁の三角紋は暗色、外縁線は暗色、縁毛は灰白及び暗色の斑をなす。後翅は暗灰色、中央の二帯は暗色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少なし。幼蟲は柞の葉を食す。



も、その異なる所は、雄は暗褐、前翅前縁より後縁角に向へる黒帯は餘り判然せず、その内側にある前縁線は暗黄、第三脈の基部にある銀色紋は小なれども判然するにあり。開張二寸七分内外。これは埔里に産するも少なし。分布—臺灣(埔里)。

オホフサシヤチホコ……………(三九)

*Dudusopsis horishana* Mats.

これはシロオビフサシヤチホコに酷似すれども



縁には白紋を具へ、その下方に灰色の圓紋を裝ひ、これは褐色線にて横断せられ、第四脈の處にある銀色紋は小。後翅は暗色。開張二寸七分。これは埔里地方に少なからず。分布—臺灣。

フサラシヤチホコ……………(三九)

*Dudusoides sphingiformis* Moor.

その異なる所は、觸角末端の六分の一は白色(背部)、前翅は黄褐色にして、灰白の部分を除



き、暗色の中斜帯は細く、後縁角にて太し。後翅は黒色。開張三寸二分—三寸七分。これは本邦領土に於ける最大の天社蛾なり。埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

ラーギヤシヤチホコ……………(一二〇)

*Egria chinanomea* Yasui

前翅は黄褐色、紋條は褐色、中脈下の翅底部及び外縁の中央部は黄色、横脈紋は暗色、縁毛は黄色、其基線は暗褐色。



後翅は暗灰色、縁毛は灰白。開張一寸一分内外。これは京都地方に稀ならず。分布—本州。

トビイロエグリシヤチホコ……………(一二一)

*Egria ornata* Oberth.

前翅は灰褐色、少しく紫色を帯ぶ、前縁は灰白、翅底—大紋、横脈下の二紋及び後縁の突起は



橙黄色、褐色鱗を密布す、翅底紋の外側の一紋は褐色。雄にては其外側に一銀色紋あり、後横線は第四脈の外側に一褐色紋を装ひ、前縁の末端に近く同色の一紋あり、外縁は灰白、亞外縁線は褐色、其内方は灰白線にて縁取られ第五室の縦線は灰白、縁毛は淡褐色、其基線は黒色。後翅は灰白。開張一寸三分内外。これは本州には稀ならず。

分布—本州、四國、九州、滿洲。

ウスグロシヤチホコ……………(一二二)

*Egriolobata fumosa* Mats.

前翅は暗褐色、紋條は黒色、翅底の中脈下及び後縁の縦線との間は灰



黄、波状の後横線は各脈の處にて犬牙状をなし、其末端は灰白點を冠し、これより外縁に達する三分の一は淡色、第二、三及び六室

に暗色紋を具へ、外縁の點列は灰黄。後翅は暗灰色。開張一寸五分内外。これは始めて信州八ヶ岳にて發見せられたり。

分布—樺太、北海道、本州。

チャウザンシヤチホコ……………(一二三)

*Epizarranga permagna* Butl.

前翅は暗黒、外縁及び前縁に少しく藍色を帯べる白鱗を装ひ、斑紋は黄色及び白色、外縁は黒色、縦脈の終止する處及び後縁に黄毛あり。後翅は灰白、周縁は暗黒、中央に近き一帯は暗色。開張二寸三分内外。これは燈火に飛來する

♀



も少なし。分布—北海道、本州。

ヤスチシヤチホコ……………(一二四)

*Egriolobata*

*lineata*

*Oberth.*

前翅は灰色、八九條の暗色帯ありて、三分の一の處にある二帯は太

第六鱗翅目(蛾亞目)

く、相平行す、横脈紋より二條を下方に送るを以て、又狀線を有するが如し、中室の外方には三條ありて、何れも後縁角の方向に斜走す、外縁に二條ありて、これは外縁に平行す、外縁は黒色。後翅灰白、帯は淡色、判然せず。開張一寸二分。これは札幌地方に普通なり。

分布—北海道、本州、滿洲、ウスリ。

セダカシヤチホコ……………(一二五)

*Euhampsonia cristata* Butl.

雌にては體翅黄褐色、胸背に鶏冠様の一毛塊を直



アラセダカシヤチホコ……………(一二六)

*Euhampsonia splendida* Oberth.

前翅は黄色、前縁及び翅端に近き楕圓紋は灰白、横脈前の二紋は白色、其外側に黄紋を装ひ後縁の楕圓紋は黄色、前後の兩横線は黄褐色、外縁の四角部は白色。後翅は暗色、縁毛は黄色。開張一寸九分内外。これは札幌地方に稀ならずも、雌は頗る稀なり。

分布—北海道、本州、滿洲、支那。

キンイロシヤチホコ……………(一三七)

*Eunuchia auripennis* Mats.



前翅は橙黄色、前縁に赤褐の短かき三斜紋ありて、何れも後縁角の方に向ひ、中脈の下方に赤褐の二縦線を具へ、第二脈の基部より翅端に向つて暗色の一弓状帯を送る、横脈紋は暗褐、その後方に赤褐の一斜紋ありて、後縁の中央に環状の暗褐紋を装ふ。後翅は暗色。開張一寸三分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。  
分布—臺灣。

一寸六分内外、これは瓣斗科植物の害虫にして普通なり。  
分布—北海道、本州、滿洲、印度。

オホマルモンシヤチホコ……………(一四〇)

*Formofentonia rotundata* Mats.



雌、前翅は暗褐、翅端に近く稍々楕圓形の縁褐紋ありて、その周囲は灰白、翅端縁褐、翅底三分の一は前縁を除き灰色、稍々三角形を呈し、その暗褐部に相接する所は黄色。開張一寸三分—一寸六分。これは臺灣に産すれども少なし。  
分布—臺灣(埔里)。

シロヘリボシシヤチホコ……………(一四一)

*Formotensha marginalis* Mats.

雄、前翅は灰白、中室に少しく褐色の部分ありて、波状をなせる白色の後横線はその部分にて断絶す、中室の一紋は暗色、亜外縁線の處に暗色

ども、その異なる所は、雌、前翅の一双の横線は甚だしく波状を呈し、その間室は中央以下にては白色、第一脈の處にて内方に彎曲し、その外側に大なる灰白紋を装ふ、中央に大なる暗色紋ありて、その中に太き一及の後横線あれども、餘り判然せず、その外側に白色の弓状線ありて、これは點線となり後縁に達す、横脈紋は灰色、亜外縁線は褐色にして、太く、その外側は灰白、後翅は暗色。開張一寸二分内外。これは埔里地方に稀ならず。  
分布—臺灣。

ホソバシヤチホコ……………(一三九)

*Fentonia ocyptea* Brem.



前翅灰褐、少しく紫色を帯ぶ、翅底に近き縦線は黒色、外縁に近き弧状線は暗褐、中室及び第四室の内半は黄褐、弧状線の外側は灰白、外縁は縁暗色。後翅は灰黄、中央に近き横線は淡色、内縁角に暗色線を装ふ。開張

キンイロシヤチホコ……………(一三七)

*Eunuchia auripennis* Mats.



前翅は橙黄色、前縁に赤褐の短かき三斜紋ありて、何れも後縁角の方に向ひ、中脈の下方に赤褐の二縦線を具へ、第二脈の基部より翅端に向つて暗色の一弓状帯を送る、横脈紋は暗褐、その後方に赤褐の一斜紋ありて、後縁の中央に環状の暗褐紋を装ふ。後翅は暗色。開張一寸三分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。  
分布—臺灣。

タイワンホソシヤチホコ……………(一三八)

*Fentonia crenulata* Mats.



これはホソバシヤチホコに似れ

シロツエグリシヤチホコ……………(一四三)

*Fusapteryx ludislati* Oberth.



前翅は暗黄褐、前縁は黒色、中室直上の一紋は白色、横脈外方の小紋及び翅端に近き點列は白色、中横線は黒色、移横線は犬牙状を呈し、其各前縁に白點を冠す、外縁は白色、暗色鱗を散在し、外縁線は黒色、縁毛は白色、各脈の終點に暗色毛を具へ、第四室の黒縦線は稍々外縁に達す。後翅は灰色、肛角の二短線は白色、其間室は黒色、縁毛灰、白の斑をなす。開張一寸五分内外。これは高山地帯に産する種類にして、少なからず。  
分布—北海道、本州、滿洲。

カギバシヤチホコ……………(一四四)

*Gangarides puerariae* Mell.

體翅灰黄。前翅の紋は暗色、翅底線は中央にて遮断し、前横線は前縁にて内方に曲り、中横線は波状をなし、同じく内方に曲る、後横線は中室の外方にて矢の根状に終り、亜外縁線波状に

アカイロシヤチホコ……………(一四五)

*Gangaridopsis citrina* Wilm.

前翅は赤褐、中室紋及び中脈下の一回は紅褐、前後の兩横線は暗褐、中脈及び第一脈上に白紋を具へ、前縁の末端に近く灰黄の三角紋を具ふ。後翅は淡褐、中央の一帯は暗色、内縁の長毛は

して断絶し、翅端角を二分する短かき一斜線あり。後翅に雄に限り紅色を帯びたるものあり。



これは朝鮮釋王寺にて捕獲せるが稀ならざるが如し。  
分布—朝鮮、支那。

ネズチシヤチホコ……………(一四二)

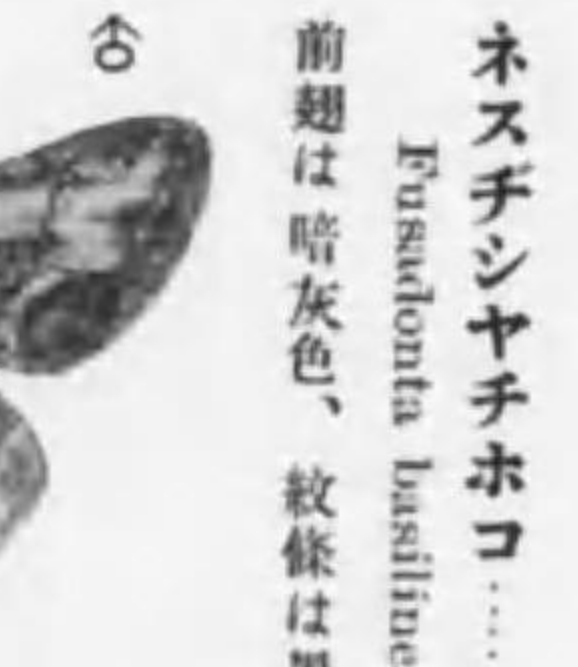
*Fusadonta basilinea* Wilm.



前翅は暗灰色、紋線は黒色、外縁の縁毛は黒色と灰色との斑をなす、後縁の毛塊は黒色。後翅は灰白、前縁は暗色、灰白の三紋を具へ、亜外縁線及び外縁線は暗色、縁

ネズチシヤチホコ……………(一四二)

*Fusadonta basilinea* Wilm.



の一致列、各脈の終點に暗色紋あり、前縁に近く四白點を列ね、その周囲は暗色を帯ぶ。後翅は灰白、外縁は暗色。開張八分。これは埔里にて捕獲せるが、多からず。  
分布—臺灣(埔里)。



紅褐。開張一寸四分内外。これは京都高雄山に稀ならず。  
分布—本州。

ナガギンシヤチホコ……………(一四六)

*Gnathochia elongata* Mats.

前翅は褐色、基部に四角形の銀色紋ありて、その外側は暗色にて境せられ、第一室には銀色の三角紋を具へ、その内側に一対の暗色線あり、中室の前角に一黒點を具へ、後横線は白色、波状、第一室及び第二室の基部に暗色紋を具へ、外縁の中央より後横線に暗色線を出す。後翅は淡灰黄。開張一寸七分。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。  
分布—臺灣(埔里)。



コフタオビシヤチホコ……………(一四七)

*Graphis crenata* Esp.

前翅は暗灰色、紋は黒褐、亞外縁線の外方はヤポニカ形。暗色。後翅は暗色、翅底の半部は淡色、



濃色の二帯を具へ、肛角は濃色、其上方に灰白點あり。開張一寸二分内外。札幌地方に普通なる種類にして、電燈に飛來す。幼蟲はドロノキの葉を食す。  
分布—北海道、本州、滿洲、歐洲。

クハゴモドキシヤチホコ……………(一四八)

*Gonoiolestra timonides* Brem.

前翅は灰褐、中央に大なる三角形の黒褐紋ありて、その外側は灰白、その内方に暗色の二帯を裝ひ、その内側は何れも灰色、外縁は地色よりも濃色、紫色を帯び、これに判然せざる灰白の波状線を斜



走す。後翅は暗灰色、判然せざる淡色帯を有す。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。  
分布—朝鮮、支那、滿洲。

ハガタエグリシヤチホコ……………(一四九)

*Hagapteryx admirabilis* Stgr.

前翅は赤褐、少しく紫色を帯び、斑紋黒色、白色及び褐色、翅底線は黒色、黒色なる環状紋及び腎状紋の中央黄色、外圍は灰白、外縁の一圓は暗灰色、此部分の各脈は灰白、縁毛は褐色、基部に暗色毛を裝ふ。後翅は暗褐、中央に濃色波状帯を具へ、縁毛は灰黄。開張一寸五分内外。これは札幌地方に稀ならず。  
分布—北海道、本州、滿洲。



クロボシシヤチホコ……………(一五〇)

*Hexafrenum maculifer* Mats.

體翅暗色。前翅の中央にある縦線は淡色、横脈は黒色、第二脈の基部に一対の黒紋ありて、外方のものは半月形をなす。後横線は黒色、第三



脈以上にては點線となる、第三室の基部より翅端に黒帯を縱走し、これは外縁にて波状を呈し、灰色線にて縁取らる、横脈外の前縁紋は黒色、

トリゲシヤチホコ……………(一五一)

*Higena plumigera* Mats.



雌、前翅暗褐、鉛色と黒色の斑紋を裝ひ、翅底線は黒色、その外側は黄色、前横線は暗色、波状、中室及び第一室の處にて外方に彎曲し、そ

キエグリシヤチホコ……………(一五三)

*Himeropteryx miraoulas* Stgr.

前翅は橙黄色、前後の兩横線は褐色。雄にては紫褐色の大紋の爲め横線は判然せず、中室の中央紋、横脈紋及び中室下の一圓は紫褐色、縁毛の四角部は淡色。後翅は淡色。開張一寸五分内



外。これは秋季現はるを以て、捕獲し損ふものなり。幼蟲はイタヤの葉を食す。  
分布—北海道、本州、滿洲、アムール、浦鹽。

タカラシヤチホコ……………(一五二)

*Hirudonia taconis* Mats.

前翅は暗褐、後角及び翅端は淡灰褐、前横線及び後横線は黒色、波状、後横線は犬牙狀に近



し、尙後縁に於ける前横線と後横線との中間は暗色、外縁と第四及び第五脈との中間は淡色。後翅は暗灰色、中央帯は淡色。開張一寸四分。これは武州高尾、秩父等に發見せられたれども少なし。  
分布—本州(武州高尾、秩父)。

ギンシヤチホコ……………(一五四)

*Hoplitis milhauseri* F.

前翅は銀白色、中室外の一圓金光ある灰黄色、外縁脈及び後縁は黒色、其中央の大半は灰黄色、其外側の白斜線は判然せず。後翅は暗色、内縁角は黒色、其前後に白色紋あり。前





翅縁毛は黒色、白色の斑をなし、後翅にては白色、基部黒褐。開張一寸七分内外。これも燈火に飛來すれど多からず。幼蟲はカシハ、ブナ、ニレ、カバ、ドロ等の葉を食す。

分布—北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。

ホリシヤスグロシヤチホコ……………(一五)

*Horsiaclachia infusca* Mats.

前翅は暗灰色、暗色紋を散在し、中央部は稍々

網目状を呈し、判然せる横線を有せず、横脈紋は白色、中央は褐色、外縁の六分の一は淡色、黒點を列ね、縁毛は暗色、末端は脈端を除き白色。後翅は暗色。開張一寸七分。これは埔里に稀ならざるが如し。



分布—臺灣。

スチカパイロモクメ……………(一五)

*Hypodontia nigra* Mats.

第四脈迄端直、之れより後縁の中央に向ひ斜走し、第二脈の處にて少しく内方に曲り、其外方に三暗色帯を具へ、外縁線は暗色、波状をなす。開張一寸二分内外。これは京都、高雄山にて發見せられたるも稀なるが如し。

分布—本州。

クヌギシヤチホコ……………(一五)

*Hyperaschra biloba* Olerth.

前翅の内半暗褐、外半は灰色、後横線は灰色、其

外縁は淡色線にて縁取られ、更に其外側の波状線は暗色、第一室に楕圓形の綠黄紋を具へ、その外方に一黒點あり、横脈紋及び其内側の一點は黒色、後者内側の一帶は淡色、亞外縁線は暗色、中央部の脈は暗色と灰白の斑をなし、縁毛は灰色と暗色の斑をなす。後翅は暗灰色、中帯は濃色、其外側の一帯は淡色。開張一寸四分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はクヌギの葉を食す。



分布—北海道、本州、滿洲。

コルチカリス形 合  
*C. corticalis* Burt.



暗褐、其外側に黒色横線あり、外縁は灰色、其中央に暗黒線、前縁角に近く黒褐紋を具

カパイロモクメに酷似すれども、前翅灰色、翅底及び後縁は綠黄を帯ぶ、第四室中央の細線は黒色、淡色の亞外縁線は第一乃至第四脈の處にて深く内方に屈折し、外縁線は黒色、波状をなす、外縁線は細き黒色、各脈の處にて何れも遮断せられ、第一及び第二室の末端に近き褐紋は判然せず。後翅には帯を缺き、肛角上の褐紋は判然せず。開張一寸八分内外。札幌地方に稀ならず。

分布—北海道、本州。

カパイロモクメ……………(一五)

*Hypodontia pulcherrima* Moor.

前翅は淡褐、赤褐若くは暗褐を呈する部分あり翅底は暗黄、中央の大紋は暗色、外縁の一帯は

ホソバネグロシヤチホコ……………(一五)

*Hyperaschra angustipennis* Mats.

クヌギシヤチホコに酷似すれども、前翅は細く、第一室の楕圓紋は短く、其内部に棍棒状をなせる暗褐色の二縦線ありて、下方のもの短かく、後横線は前縁より

タイワンクヌギシヤチホコ……………(一六)

*Hyperaschra basalis* Moor.

クヌギシヤチホコに酷似すれども、その異なる所は、前翅後横線は第三脈下にて著しく内方に彎曲し、亞外縁線は一

双にして波状を呈し、外方のものは紋列となり、殊に第六脈上にあるものは大、外縁の新月紋は黒色にして判然す、横脈紋は黄褐、中央は濃色。開張一寸七分内外。これは埔里にて捕獲せるが多からず。

分布—臺灣。

マヘグロシヤチホコ……………(一六)

*Hyperaschra nigricosta* Mats.

これはホソネグロシヤチホコに酷似すれども、雄の前翅は灰色、前翅の中央線は暗色に



クビワネグロシヤチホコ……………(一六)

*Hyperaschra nigricollaris* Mats.

クヌギシヤチホコに酷似すれども、前翅は長く、後横線は前縁より第四脈迄少しく外方に斜走し、第一室に楕圓環ありて、其外側に一黒點を裝

ひ、後横線より前縁迄は暗灰色、脈は白色と暗色の斑をなし、外縁線は暗色。後翅は暗灰色、濃色帯あれども、淡色帯を缺く、縁毛は灰白と暗色の斑をなさず。頸板は黒色。開張一寸四分内外。これは札幌地方に稀ならず。

分布—北海道(札幌)。

ハガタネグロシヤチホコ……………(一六)

*Hyperaschra serrata* Mats.

クヌギシヤチホコに酷似すれども、前翅は暗灰





色、外半は少しく淡色、後横線は細く波状、前縁より第四脈迄端直にして、後縁に向つて稍々直角をなし、亜外縁線は淡色、外縁に平行し、外縁線は黒色、少しく波状をなす、横脈紋は灰黄。後翅は前翅基部と同色。開張一寸四分内外。これは京都にて發見せられたるも稀なるが如し。

分布—本州(京都)。

スズキネグロシヤチホコ……………(一六四)

Hyperbaena suzukiana Mats.



クヌギシヤ ホコに酷似すれども、前翅は狭く、後横線は前縁より第四脈迄少しく内方に斜走し、第四脈の處にて少しく外方に屈折し、其後縁に終る處は内方の二短線と相平行し、亜外縁線は第三及び第四室の處にて犬牙状、第二脈より後縁角迄は端直、横脈上の黒紋及び其内側の黒點を缺く。後翅の淡色帯は判然せず。開張一寸五

分内外。これは京都に産するも稀なり。

オホウスグロシヤチホコ……………(一六五)

Hyperbaena tenuirostris Strand



體翅は暗褐、前翅の後縁及び外縁は淡色、横脈上方の前縁より翅端迄は淡色、後横線及び亜外縁線は少しく濃色。後翅は淡き暗褐。開張二寸内外。臺灣に産するも稀なるが如し。

分布—臺灣、印度。

キクチシヤチホコ……………(一六六)

Kikuchina infusca Mats.

前翅は暗褐、各横線は黒色、翅底縁はW字形を呈し、外側は灰黄にて縁取らる、前横線は中室にて判然し、中脈にて遮断せられ、後縁に至りて不明、後横線は一及、波状、中脈にて遮断、各脈に白點を具へ、亜外縁線は紋列より成り、



モンキシロシヤチホコ……………(一六七)

Leucopontia bicoloria Schiff.



ニッポニカ形 體翅は白色、斑紋は黒色、第一室中央及び其外方に存する紋は橙黄色。觸角及び胸背黄色。下唇體及び其下方の一圓黒色。開張一寸三分内外。これは六月中旬日光地方に稀ならず。

分布—北海道、本州、滿洲、歐洲。

附言—本邦に産するものは變形にして、*L. nipponica* Mats. と云ひ、前翅の赤黄の縦紋は太く、翅底の黒紋は判然す。

ウスバシヤチホコ……………(一六八)

Lophopteryx formosana Wilem.



前翅は灰白、翅底の三分の一及び外縁の下半部は暗色、前後の横線は一双にして、暗色、その一及をなせる線の間は灰白、横脈點は白色、亜外縁線は灰白、下半部にて消失す、前縁の外半に暗色紋を列ぬ。後翅は灰白、外縁に近く暗色の二帯ありて、内方のものは細し。開張一寸二分。これは埔里に稀ならず。

分布—臺灣。

クロスチシヤチホコ……………(一六九)

Lophocossma atriplaga Stgr.



前翅は灰色、基部及び前縁は灰白、條線は黒色、後横線の外方に當り各脈上に暗色の一紋を裝ふ。後翅は暗色。開張一寸八分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—北海道、本州、滿洲。

第六 鱗翅目(蛾亞目)

ヒザモンシヤチホコ……………(一七〇)

Lophocossma geniculata Mats.



これはクロスチシヤチホコに酷似すれども、其異なる所は、前翅は暗灰色、前縁及び翅底にて灰白、前縁には四黒紋ありて、中横脈上の一紋最大、第四室に黒縦條ありて、横脈より外縁に縦走し、これは第五室に開口す、横脈は黒色、縦線にしてく字形を形成す。後翅は暗色。開張一寸八分。これは埔里に捕獲せられたるも稀なり。

分布—臺灣。

ハスチエグリシヤチホコ……………(一七一)

Lophopteryx enculus Stgr.



翅は暗褐、紋條は濃色、外縁線は灰白、縁毛は灰色、その中央線は淡色、脈の終點に暗褐毛を裝

ひ、後縁の突起は黒色、其外側に白紋あり。後翅は暗色、第一室の斜條は黒色、其内の二紋は白色。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、滿洲。

エグリシヤチホコ……………(一七二)

Lophopteryx camelina L.



ジラフアータ形 體翅は黄褐乃至暗褐。前翅の各横線は黒褐、第一室並に外縁に近き一帯は暗色、少しく紫色を帯び、外縁の脈は黒色を帯ぶ。後翅は灰黄乃至灰色、内縁角は褐色、中央は少しく藍色を帯ぶ。開張一寸三分内外。これは燈火に集まる普通種なり。幼蟲はシナ、カバの葉を食す。

分布—北海道、本州、朝鮮、支那、歐洲。

エゾエグリシヤチホコ……………(一七三)

Lophopteryx japonensis Mats.

雄、前翅は暗黄褐、中脈下の一圓、殊に後縁の



♂ 半部は暗色、前後  
兩横線は黒色、外  
縁は暗色、後横線  
と外縁線との間に  
淡色線を斜走す、  
縁毛は黄褐、その  
基線は暗褐。後翅  
は灰色、判然せざ  
る暗色の二帯を具へ、縁毛は黄褐。開張一寸六  
分内外。これは札幌地方にて捕獲せるも稀なる  
が如し。  
分布—北海道。



ニツクワウエグリシヤチホコ……………(一七五)  
*Lophophteryx nikoensis Mats.*  
これはエゾエグリシヤチホコに似たれども、其  
異なる所は、前翅  
の中央に近く太き  
暗色の二帯を具  
へ、これは後縁の  
中央より前縁角の  
前方に終る、この  
帯の内側に判然せ  
ざる細き暗色線を縦走す。後翅は淡き灰黄、内  
縁角には暗色紋ありて、その縁毛は褐色、淡色  
の棒線は少しく弓状に曲る。開張一寸二分餘。  
これは日光にて捕獲せるが少なし。  
分布—本州(日光)。

クハヤマエグリシヤチホコ……………(一七四)

*Lophophteryx kuwajima Mats.*



♀ 前翅は黄褐、紋線は暗  
褐、縫線下方の一圓は暗  
褐、後縁は翅底より約翅の  
半ば迄淡色、後縁突起は暗  
色。後翅は灰黄、肛角は暗  
色、其直上の二帯灰黄、暗  
褐線にて縁取らる。開張一寸二分内外。これは  
札幌地方に産すれども少なし。  
分布—北海道。



♀ フトエグリシヤチホコ……………(一七六)  
*Lophophteryx robusata Mats.*  
これはクハヤマエ  
グリシヤチホコに  
酷似す。前翅の後  
縁と翅底に暗色の  
鱗毛を疎に散在  
し、中央に近く太



♂ トビエグリシヤチホコ……………(一七七)  
*Lophophteryx sakurata Wk.*  
雄、エグリシヤチホコに酷似すれども、その異  
なる所は、前翅の後横  
線は一層傾斜して翅端  
に近く開口し、その外  
側は廣く淡色、亞外縁  
線は判然せず、前縁の  
中央及びその直下の少  
しく外側に一暗色紋を具へ、中脈及び第二脈以  
下の一圓は暗色を帯ぶ。後胸背に淡黄褐の毛塊  
あり。雌は一層淡色。開張一寸二分。これは札  
幌地方に普通なり。  
分布—北海道、本州、印度。  
クロスチオホシヤチホコ……………(一七八)

♀ *Macroschistia himuka Mats.*  
雌、翅は灰褐。前翅は少しく紅色を帯び、前縁  
は灰白、中央に近き二紋は黒色、外方に黒短線



を列ね、第六、七、九室に黒縦條ありて、後縁  
に近く太き縦條を具へ、これは稍々後縁と相平  
行す。後翅の後縁に近く暗色の二帯ありて、波  
状を呈す。開張二寸九分。これは埔里に捕獲せ  
るが稀なるが如し。  
分布—臺灣。

♂ *Macroschistia takamukama Mats.*  
前翅は淡褐、外縁は白色、その中に赤褐及び暗  
色の細線を併走し、第四脈下に銀色の一縦線を



具へ、これは兩端にて尖り、その下方は天鵝絨  
様の黒線にて境せらる、第一室の縫線の處に銀  
色帯ありて、これは外縁にて太し、各室には暗



♂ ツマアカシヤチホコ……………(一八〇)  
*Melolopha sauchoreta F.*  
體翅灰色。前翅に灰白の四條を斜走し、何れも  
その外側は濃色、第三  
者は短小、甚だしく斜  
傾し、第四者は翅底に  
向つて傾斜す、翅端は  
灰褐にして、大なる三  
角紋をなし、その中央  
は赤黄、その下方に暗  
褐紋あり。後翅は灰  
色、中央に判然せざる  
濃色帯あり。開張一寸  
二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。  
幼蟲は柳の害蟲なり。  
分布—樺太、北海道、本州、支那、滿洲、歐  
洲、印度。

デカシヤチホコ……………(一七九)

第六 鱗翅目(蛾亞目)

セグロシヤチホコ……………(一八一)

*Melalopha anastomosis* L.



♀ 體翅は暗黄褐。前翅の横帯は灰白、斑紋は暗褐、外縁の中央に赤褐帯ありて、其内方に暗色の四紋を具へ、各紋の中央は灰色。後翅中央に淡色帯を装ふ。開張一寸三分内外。これは燈火に飛來する普通種にして、幼蟲はヤナギ、ドロの葉を食す。

♂ 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐洲

ツマアカシヤチホコモドキ……………(一八二)

*Melalopha eurtulipes* Ersch.



♀ ツマアカシヤチホコに酷似すれども、前翅は廣く、灰褐、五條の灰白帯は其外側暗色線にて縁取らる、翅端の黒褐紋は短く、其内側は白線にて縁取られ、第二室に黒紋を缺き、第五帯は其地位を

テウセンツマキシヤチホコ……………(一八三)

*Melalopha pigra* Hb.



♀ 前翅は暗灰色、翅底に近き二横紋、後横線(内方にて一枝を出す)は廣く暗色、その中央に灰白線を縦貫し、その外側に當り前縁に朱色の一紋を具へ、黒色なる亞外縁線の外側に同色の一帯あり、縁毛は暗色。後翅暗色、翅底は淡色。開張八分内外。これは朝鮮釋王寺にて捕獲せるが稀なるが如し。

♂ 北海道、本州、滿洲。

ニトベシヤチホコ……………(一八四)

*Mesodontia albina* Zieg.



♀ 體翅は暗灰色。前翅底に紫髻様の二黄紋ありて、兩者何れもその中に更に同様の濃色紋を裝ひ、下方のものより黒褐の縦線を外方に出し、中脈と相平行す、横脈紋は白色、その直上に暗色紋を具へ、翅端に近き前縁に暗色の大紋ありて、その中に電光様の赤紋を具へ、これより下方に白

テウセンハガタシヤチホコ……………(一八五)

*Mesodontia corparia* Mats.



♀ 體翅暗灰色。前翅底の半部は黄褐、前縁は灰白、これに翅底にて分又せる褐色の縦線あり、外縁には褐色の一孤線ありて、黄褐部を昇し、又その下方に暗褐の二大紋を具へ、更に其下方にあるものは稍々楔状を呈し、その尖端に接して黄褐の部分あり。後翅は灰白、二三條の判然せざる暗色帯あり。開張一寸五分内外。これは餘り多からず。

♂ 本州、九州、ウスリ。

アカネシヤチホコ……………(一八八)

*Mesodontia luteivitta* Wlsm.



♀ 前翅は暗灰色、紋線は黄褐、前縁は灰白、中脈下の一圓は黄褐、其中央に褐色一縦線を具へ、其外縁の横線は褐色、第一脈の上室黄褐、下室及び横脈上の一紋は暗灰色、周圍は白色、後横線は濃色、外縁は暗色。後翅は白色、前縁は暗色、二白帯を具へ、内縁はははしく灰黄。開張一寸八分内外。これは高山地帯に産するも稀なり。

♂ 北海道、本州。

ルリモンシヤチホコ……………(一八九)

*Mesodontia monetaria* Oberth.



♀ 斜條あり、外縁に近く黄色の一斜條ありて、第二脈の處にて屈折し、中斜條に連続す。後翅の三條は灰白。翅底鱗の内側は黒色、後胸背の環

ナカキシヤチホコ……………(一八六)

*Mesodontia gigantea* Paul.



♀ 體翅は暗褐、前翅底に近く黄色の一條ありて、く字形に屈折す、前縁の中央は灰白、その下方に三角形の黄紋を具へ、その外方に黄色の方のものより黒褐の縦線を外方に出し、中脈と相平行す、横脈紋は白色、その直上に暗色紋を具へ、翅端に近き前縁に暗色の大紋ありて、その中に電光様の赤紋を具へ、これより下方に白

♂ 朝鮮(水原)。

イシダシヤチホコ……………(一八七)

*Mesodontia ishidae* Mats.



♀ 體翅灰色。前翅底に紫髻様の二黄紋ありて、兩者何れもその中に更に同様の濃色紋を裝ひ、下方のものより黒褐の縦線を外方に出し、中脈と相平行す、横脈紋は白色、その直上に暗色紋を具へ、翅端に近き前縁に暗色の大紋ありて、その中に電光様の赤紋を具へ、これより下方に白

♂ 本州。

アカネシヤチホコ……………(一八八)

*Mesodontia luteivitta* Wlsm.



♀ 體翅は暗褐、前翅底に近く黄色の一條ありて、く字形に屈折す、前縁の中央は灰白、その下方に三角形の黄紋を具へ、その外方に黄色の方のものより黒褐の縦線を外方に出し、中脈と相平行す、横脈紋は白色、その直上に暗色紋を具へ、翅端に近き前縁に暗色の大紋ありて、その中に電光様の赤紋を具へ、これより下方に白

♂ 本州。

ルリモンシヤチホコ……………(一八九)

*Mesodontia monetaria* Oberth.



♀ 斜條あり、外縁に近く黄色の一斜條ありて、第二脈の處にて屈折し、中斜條に連続す。後翅の三條は灰白。翅底鱗の内側は黒色、後胸背の環

♂ 本州。

體翅暗灰色。前翅前縁の中央は白色、波狀紋及び斑紋は黒



黄。雌にては外縁暗色、腹部暗黄。開張一寸七分内外。これは札幌地方に稀ならず。

分布—北海道、本州、ウヰスリ。

ハネナガシヤチホコ……………(一九〇)

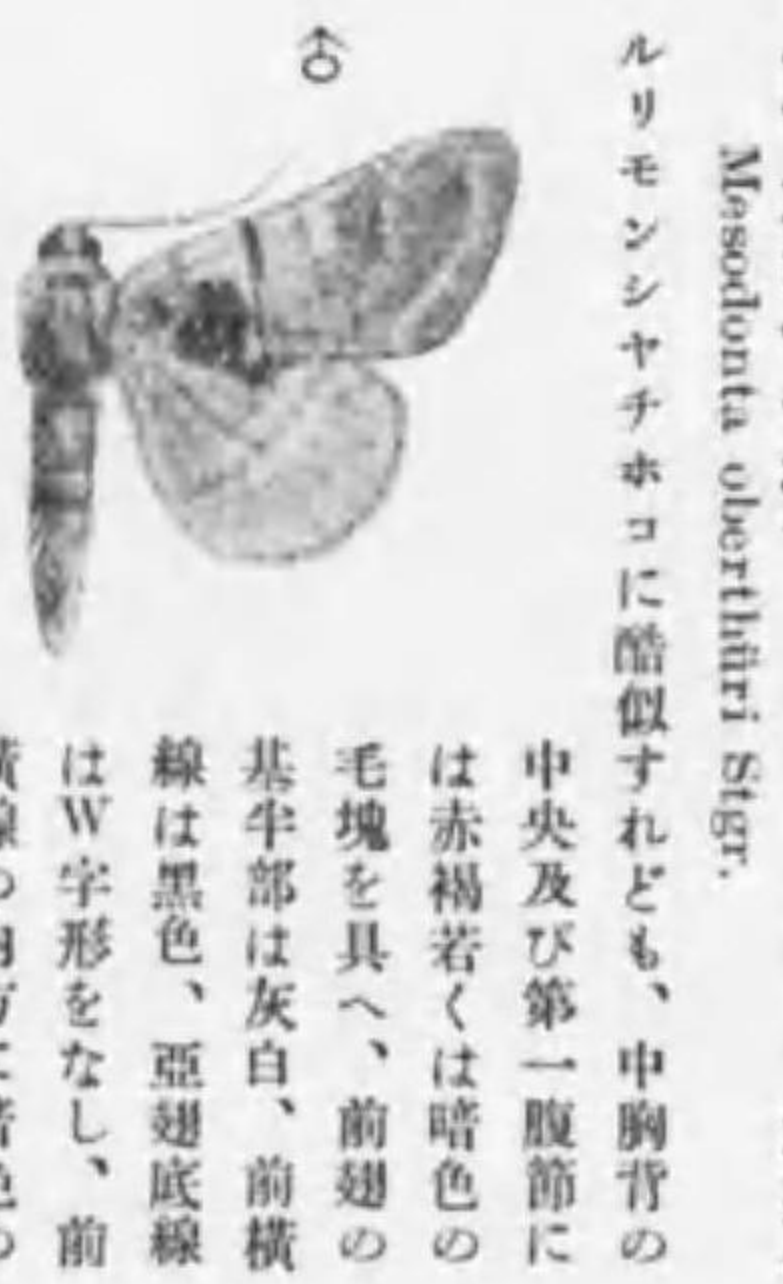


前翅は灰色、紋條は暗色、翅端に近く三個の

小白紋あり。後翅は灰白、中帯は淡色、前縁紋は暗色。開張二寸三分内外。これは臺灣に産するもその數少なし。

分布—臺灣、支那、印度。

セアカシヤチホコ……………(一九一)



一大紋あり、腎狀紋は淡色、稍々八字形をなし、これを堺としその外半は暗色。開張一寸八分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、嗜んで燈火に飛來す。

分布—北海道、本州、滿洲。

タマゴシヤチホコ……………(一九二)



褐色。後翅は暗褐、外方は濃色、内縁は暗黄。開張二寸内外。これは櫛斗科植物の害虫なれども、餘り多か

黄、其周圍は黒色、前



黄、其周圍は黒色、前縁線の内側は黄、横脈黒色、中横線は暗色、後縁の縁毛は灰褐。後翅は灰色、中央帯は暗色。開張一寸三分内外。これは翅底に近く灰黄の卵形紋を有するを以て類似のものと容易に區別せらる。秩父に發見せられたるも少なきが如し。

分布—本州。

マルモンシヤチホコ……………(一九三)



前翅は灰色、翅底に近く圓形紋及び其内外の弓狀帯は黒色、兩者との間は灰黄、中室及び前縁は灰白、後横線は暗色、其外側は灰色、前縁に暗色紋及び灰色と暗色の斑あり、外縁線は暗色。後翅の前半灰白、後半は暗色、濃色の三帯を具へ、縁毛は灰白。開張一寸六分内外。これは本州の高山地帯に産する

らず。

分布—北海道、本州。

ネトビシヤチホコ……………(一九六)



雌、前翅の基半部は暗褐、末端の殘部は灰白、少しく綠色を帯び、その限界は波狀を呈し、前縁の中央より後縁角の前方に向ひ斜走し、翅底に近く中脈下には卵形の黒紋ありて、其周圍は黄褐、後縁の中央に淡褐の稍々四角形をなせる大紋を裝ひ、前縁の基部黒白、横脈黒色、外縁に近き前縁紋は楕圓形を呈し、その内に黒條あり。後翅は暗色、肛角に白色の弦月紋ありて、その直上は黒紋にて縁取らる。開張一寸七分—一寸八分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。

分布—臺灣。

パイバラヒナシヤチホコ……………(一九七)

黄、其周圍は黒色、前



黄、其周圍は黒色、前縁線の内側は黄、横脈黒色、中横線は暗色、後縁の縁毛は灰褐。後翅は灰色、中央帯は暗色。開張一寸三分内外。これは翅底に近く灰黄の卵形紋を有するを以て類似のものと容易に區別せらる。秩父に發見せられたるも少なきが如し。

分布—本州。

マルモンシヤチホコ……………(一九三)



前翅は灰色、翅底に近く圓形紋及び其内外の弓狀帯は黒色、兩者との間は灰黄、中室及び前縁は灰白、後横線は暗色、其外側は灰色、前縁に暗色紋及び灰色と暗色の斑あり、外縁線は暗色。後翅の前半灰白、後半は暗色、濃色の三帯を具へ、縁毛は灰白。開張一寸六分内外。これは本州の高山地帯に産する

らず。

分布—北海道、本州。

ネトビシヤチホコ……………(一九六)



雌、前翅の基半部は暗褐、末端の殘部は灰白、少しく綠色を帯び、その限界は波狀を呈し、前縁の中央より後縁角の前方に向ひ斜走し、翅底に近く中脈下には卵形の黒紋ありて、其周圍は黄褐、後縁の中央に淡褐の稍々四角形をなせる大紋を裝ひ、前縁の基部黒白、横脈黒色、外縁に近き前縁紋は楕圓形を呈し、その内に黒條あり。後翅は暗色、肛角に白色の弦月紋ありて、その直上は黒紋にて縁取らる。開張一寸七分—一寸八分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。

分布—臺灣。

パイバラヒナシヤチホコ……………(一九七)

も稀なり。

分布—本州。

タカサゴシヤチホコ……………(一九四)



雄、セアカシヤチホコに酷似すれども、その異なる所は、前翅は暗褐、白色の中横線及び綠色帯を缺き、前横線は波狀、その末端は外方に曲る(セアカシヤチホコにては内方に曲る)、腎狀紋を缺く。後翅の中帯は遙に細し。開張一寸六分。これは臺灣にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

分布—臺灣。

クロシタシヤチホコ……………(一九五)

前翅は白色、黒色、褐色及び黄色の部分を具へ、中室に白鱗を裝ひ、其外側のY字形紋は褐色、後横線の處に白紋列ありて、これより灰色帯を出す、外縁に近きM字形紋列及び前縁の數紋は

*Micromelalopha tsukurama Mats.*

前翅に酷似するも、前翅に三白線を具し、第一線(前横線)は第一及び第二脈の處にて外曲し、第二線(中横線)は縫線の處にて屈折し、其屈折したる部分より灰黄の一線を出し、これは第一脈の處にて屈折す、第三線(後横線)は斜走し、中室内にて三紋に分れ、波状をなして後縁に達す、外縁の暗色紋列は判然す。開張一寸。これは埔里バイバラにて発見せられたり。  
分布—臺灣。



♀ **コウノヒナシヤチホコ**……………(一九八)

*Micromelalopha kononis Mats.*

前翅は紅褐、四白線を具し、前二線は外側にて黒線にて縁取られ、第三及び第四線は後縁角の處にて合して三角形を造り、その尖端は暗色、第二及び第三線は中脈の處にて殆んど相接し、第四線は斜走し、兩側にて黒線にて縁取らる。開張八分。これは青森にて捕獲せられたり。



♀ **ハヒイロシヤチホコ**……………(二〇〇)

*Microphleba kiseni Butl.*

前翅は灰色、紋線は黒色、縁毛は暗色と灰白の斑をなす。後翅は暗色、内半は少しく淡色。頭及び胸背は灰色。腹部は淡黄褐。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來するが、本州にては七月中旬より八月上旬に渡りて稀な



♀ **マヘジロシヤチホコ**……………(二〇一)

*Mimodonta albivesta Mats.*

前翅は赤褐、前縁は基部及び外縁を除き白色、少しく紫色を帯ぶ、中室の縦線、横脈、第一、七脈よりの條線は黒褐、第七室中央の縦線は暗褐、亞外縁線は灰黄、外縁線は暗色、前中後



♀ **ウスキシヤチホコ**……………(二〇二)

*Mimopygma pallida Butl.*

横線は淡色、後縁の縦線は黒褐、其内側に灰白線を具し、縁毛は暗色、灰白毛を混ず。後翅は暗褐、外縁に近き弓状帯は灰黄。開張一寸七分内外。これは日光及び秋夕に発見せられたるが稀なり。  
分布—本州。

たるが稀なるが如し。

分布—本州(青森)。

らず。

分布—北海道、本州、滿洲。



♀ **オホトビモンシヤチホコ**……………(二〇三)

*Naginoca manleyi Jaech.*

前翅は灰白、紋線は黒色、縁毛は暗色と灰白の斑をなす。後翅は暗色、濃色の一帯を帯び、外縁線は濃色。開張一寸五分内外。札幌地方にては九月下旬乃至十月上旬に現はれ、中國地方にては十二月上旬に現はる。幼蟲は槭の葉を食す。  
分布—北海道、本州、九州。



♀ **タイワンナカグロシヤチホコ**……………(二〇四)

*Neocerura liturata Wk.*

體翅は白色、少しく銀色を帯ぶ。前翅底に近きアリカーナ形。♀

*N. arikana Mats.*



♀



紋を具し、前横線は連続状を呈し、後縁に至つて太し、中横線は波状、縦脈の處にて遮断せられ、横脈は指環状にて閉まれ、前縁に一黒紋を有し、後横線は四本、中央の二本を除き波は甚だ高く、最外のもの最も太し、外縁に近く四黒紋列を具し、外縁にも黒點列あり。後翅は灰白、外角及び内縁暗灰色、横脈紋及び後横線は暗色。開張二寸一分。これはバイバラにて捕獲せられたり。  
分布—臺灣(埔里)。

♀ **タツタカナカグロシヤチホコ**……………(二〇六)

*Neocerura tatakana Mats.*

雌、前翅は銀白、外縁にて三角形の黒紋列を横列し、初めの三室にあるものは他より長し、前横線は中室及び縫線の處にて鋭角をなして外方に突出し、三本の亞外縁は高き波状をなし、第二三室の波は高く、圓錐形を呈す。後翅の横脈



分。これは達高にて發見せられたり。  
分布—臺灣。

テウセンフタジマシヤチホコ……………(二二七)

Neotrymonia corana Mats.



これはフタジマシヤチホコに酷似すれども、その異なる所は、前翅は灰色、少しく紫色を帯び、翅底にY字形の黒紋を具へ、これは雌にては短かく、その直上に黒線ありて、これは翅底の前縁より斜走して

紋は暗色、外縁の三紋は前翅のものより小、外縁に近く暗色の二帯あり。開張二寸四

前横線に達す、後横線は弓状、第二脈の處にて少しく内方に曲る、外縁線はフタジマシヤチホコの如く高き波状をなさず。開張一寸三分。これは朝鮮釋王寺及び水原にて捕獲せられたるが少なからず。  
分布—朝鮮。

フタジマシヤチホコ……………(二二八)

Neotrymonia delia Leach



開張一寸三分内外。これは信州の高山地帯に稀ならず。  
分布—本州。

トガリネボシシヤチホコ……………(二二九)

Neofontonia acuminata Mats.

雄、ネボシシヤチホコに酷似するも、一見その觸角は鋸齒状を呈し、腹部の長きによりて容易に區別し得。前翅は灰色、暗色紋を具へ、少し

前翅は灰色、光線の工合に依り紫色を現はす、紋條は暗色、褐色を帯び、中央部は少しく鉛色を混ず。後翅は暗灰色。

く紫色を現はす、前縁の基部に近く二黒點を具へ、前横線は縫線の處にて甚だしく彎曲し、その内側に當り前縁及び後縁に暗色紋あり、中横線は波状、前縁の内側に十紋を



有す、横脈紋は細く、弦月形を呈し、後横線の前縁の外側に當り三角紋を裝ふ。後翅は暗色、縁毛は白色。開張一寸二分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。  
分布—臺灣。

ウスズチシヤチホコ……………(二三〇)

Neophrosia fasciata Moor.



前翅は灰黄白、翅底、翅端、外縁の紋列及び中央に近き二紋は暗色、第一、二、四及び五室の縦條は淡黄褐色。後翅は灰白、眞珠様の光澤を放つ、外縁及び内縁は暗色、前縁は黄褐色、

毛は白色、暗色の斑をなす。雌、後翅は暗灰色肛角紋は濃色。開張一寸七分内外。これは信州の高山地帯に産するも少なし。  
分布—本州、滿洲。

バラボラシヤチホコ……………(二三一)

Neoshaehia parabolica Mats.



雌、前翅は灰色、少しく紫色を帯び、翅底の中央より外縁に太き黒條を縱走し、その末端に連續して黒色の弓狀帯ありて、バラボラ形をなし、その内部は灰白、前縁の外半部は翅端を除き黒褐。後翅は暗色。開張一寸三分。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。  
分布—臺灣。

シロスチシヤチホコ……………(二三二)

Nerioe davidiis Oberth.

前翅の前半は暗褐、前縁は灰白、二褐紋を具へ、後半は白色、縦條は黒褐、其下方の四角形紋は褐色、中室基部下方の一紋は黒褐、後縁は少しく灰色を帯ぶ。前翅前縁の一紋及び後翅中央の



一紋は黒褐。後翅は灰色。開張一寸三分内外。ナカスチシヤチホコに近似す。  
分布—北海道、本州、支那、滿洲。

ナカスチシヤチホコ……………(二三三)

Nerioe bipartita Burt.

前翅の前半は暗褐、前縁は灰白、これに二褐紋を具へ、その内方にあるものは往々判然せず、後半は白色、前半と相界する所に黒褐の一線を縱走し、その下方に廣底四角形の褐色紋を裝ひ、後縁は少しく灰色を帯ぶ。後翅は灰色。開張一寸二分内

オホアラシヤチホコ……………(二三四)

外。これは餘りに多からず。  
分布—北海道、本州、朝鮮、支那。



は波狀にして暗色、環狀紋及び腎狀紋は淡色。後翅は暗褐。雌にては前翅の基部、中央部及び前後の兩横線間に暗灰色の一紋を裝ふ。開張一寸七分—三寸三分。これは埔里地方に稀ならず。  
分布—臺灣、馬來、印度。

フタホシシヤチホコ……………(二三五)

*Notolonta himantigera* Mats.



前翅灰色、前縁の大部は灰白、中室に二黒點ありて、其の横脈紋は圓く、その内側にあるものは半圓形を呈し、翅底に接して前縁に近き縦條は黒色、横脈は何れも暗色にして波状、中横脈は横脈の處にて外方に屈折し、第二室の處にて一雙となる、第五、六室紋及び縁毛の紋列は黒色、後翅は暗灰色、横脈紋は暗色。開張一寸四分一寸六分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。

分布—臺灣。

ミミモンシヤチホコ……………(二二六)



チホコに酷似するも、其異なる所は、胸部黒色、灰色毛を混じ、前翅は判然せる波状の前横線及び後横線を具へ、前者は内側に、後者は外側に灰白線を有す、横脈紋は弦月形、灰色輪を有す。開張一寸五分。これは信州檜峠に捕獲せられたるが稀なるが如し。

分布—本州(信州)。

フタナミシヤチホコ……………(三三〇)

*Notolonta tritophus* Esq.



前翅は暗灰色、紋條は暗色、腎状紋は灰白、其中央の一縦紋は黒色、縁毛の末端は白色、暗色紋と斑をなす。後翅は灰色、横脈紋は灰色。開張二寸内外。これは札幌地方には稀ならず。幼蟲はカバ、ドロの葉を食す。

分布—樺太、北海道、滿洲、歐洲。

シーヴェルスシヤチホコ……………(三三一)  
*Odontosia sieversii* Men.

第六 鱗翅目(蛾亞目)

*Notolonta griseotincta* Wilem.

前翅は暗灰色、翅底及び外縁の一圓は褐色、横脈紋は黒色、其前方は淡灰色、亞翅底線は黒色、前横脈は暗色、内側は褐色線にて縁取られ、後横脈は暗色、前縁は淡灰色線、後縁は褐色線にて縁取られ、各脈上には淡灰色の一點を裝ひ、亞外縁線は暗褐、その中に黒紋あり。後翅は暗色。開張一寸四分内外。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

タテスチシヤチホコ……………(三二七)

*Notolonta rothschildi* Wilem. et



トビスチシヤチホコに酷似すれども、前翅は暗褐色を缺き、内縁及び前横線の外側は黄色、前縁の三分の二にある弦月形短斜線の外側に黄白紋を裝ふ。後翅は灰白、外縁は暗灰色、肛角は濃色。開張一寸六分内外。これは次種トビスチシヤチホコに酷似するも、黄色の大紋を翅底に近く裝ふを以て

區別せらる。

分布—樺太、北海道、本州。

トビスチシヤチホコ……………(三二八)

*Notolonta stigmatica* Grüb.



前翅は暗褐、翅底の一線は褐色、前縁は青白を帯び、三分の一及び三分の二の處に褐色の短線あり、波状線は褐色、中室の内半及び下方の一圓は暗色、亞外縁線は暗褐、外縁は黒色、内側は青白、縁毛は暗色、後縁中央の齒状突起は黒色。後翅は暗灰色、中央の一帯淡色、肛角紋は暗色、青白鱗を混す。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布—樺太、北海道、本州。

スギタニシヤチホコ……………(三二九)

*Notolonta sugitani*



Mats. これはフタナミシヤチ

ヤゴニピア形 *Japonitina* Mats.



前翅は暗灰色、中横線及び後横線は黒色、其間室は暗色、後縁にて相近接し、前横線は不明にして、前縁に近く其内側に黒紋を具へ、外縁には暗色の四紋を列ね、下方の二紋は相近接す。後翅は暗色、脈は一層濃色、帯は灰白。開張一寸五分内外。これは札幌にて四月上旬捕獲せる

が稀なり。幼蟲は樺の葉を食す。

分布—北海道。

ホソツマキシヤチホコ……………(三三二)

*Phalera angustipennis*



Mats.

體翅は灰白。前翅の前縁角は淡黄白、その内側は少しく下方に突出す、半横線、前横線は判然し、その外方にある細線は判然せず(但し黄白紋下にあるものは多少判然す)、縁毛は黄褐。後翅は灰色、濃色の二帯を有す。開張一寸四分一寸八分。これは燈火に飛來すれども餘り多からず。幼蟲は樺の大青蟲なり。

分布—本州、四國、九州。

附言—これは續千蟲一、五二頁に *Phalera azemilis* Brem. et Grey とせるも、*P. angustipennis* Mats. の誤なるを以て爰に訂正す。

テウセンツマキシヤチホコ……………(三三三)

*Phalera assimilis* Brem. et Grey



前翅は灰色、後縁の半部は銀色を帯ぶ、翅底線及び前後の兩横線間に暗色點を散在し、其後縁に一暗色紋を裝ふ。雄にては横脈紋は白色、翅端の三角紋は黄色、其内側は縁褐線にて縁取られ、之れに連続して弦月形の黒紋列を具へ、其



外側の一帯は暗灰色、末端は灰白、各室の中央に一黒點を裝ひ、外縁は黄褐、これに五褐紋を列ね、凹陥部にある縁毛の末端は白色。後翅暗色、判然せざる中帯は灰色、縁毛は灰白。開張一寸七分内外。幼蟲は櫟、楡の葉を食す。幼蟲は赤色にして黒條あり。前種の幼蟲よりも細し。

分布 朝鮮、滿洲。

モンクロシヤチホコ……………(三二四)

*Phalera flavescens* Brem. et Grey

體翅黄白。前翅底に近く稍々圓形の暗色紋ありて、これは少しく藍色を帯ぶ、暗黄の四帯あれども、判然せず、外縁に沿ふて暗色の大紋を裝ひ、これも亦藍色を帯ぶ。後翅の後縁に近く灰色の太き一帯あり。開張一寸七分内外。燈火に飛來す。幼蟲はサクラ、リンゴ、ナシ、その他の薔薇科植物の葉を食す。時に大發生をなすことあり。



分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、ウスリ。

タイワンツマキシヤチホコ……………(三二五)

*Phalera flaviventris* Wilem.

前翅は暗色にして、少しく灰色鱗を混じ、縦線の下は翅底の半部にて灰白、前横線及び後横線は細く、黒色、波状、横脈紋は灰黄、その兩側に暗褐の細き帯あれども、判然せず、後角に近く後縁に暗褐の一紋を具へ、外縁線は細く黒色、翅端の黄紋は内側にて少しく弓状、赤褐線にて縁取られ、下方は黒線にて縁取らる、縁毛は赤褐、基線は黄色。後翅は暗灰色、中央は淡色、縁毛は黄色、脈末は赤褐。開張二寸二分。これは埔里にて捕獲せるも稀なり。

分布 臺灣。



ツマキシヤチホコ……………(三二六)

*Phalera fuscescens* Butl.

他のツマキシヤチホコ屬のものとは異なる所は、雌、前翅端にある黄紋の後角は鋭角をなし、その内側の褐條は前縁にて膝状に曲り、末端にてテウセ



シツマキシヤチホコの如く細まり、横脈紋は白色にして長し。開張二寸五分内外。幼蟲はムク



の葉を食す。東京地方には稀ならず。

分布 本州(東京)。

エゾツマキシヤチホコ……………(三二七)

*Phalera jezoensis* Mats.

ツマキシヤチホコに酷似すれども、前翅灰白、銀色を帯び翅端の大紋は黄白、其内側は黄縁線にて堺せられ、翅の中央に三條の波状線を具へ、翅底には黒鱗を散在せず、



外縁のく字形紋列及び後縁の基部に暗色紋を缺き、後翅は灰白、暗色の二帯を具へ、縁毛は黄白、各脈の終點に黄褐毛を裝ふによりて區別せらる。開張一寸九分内外。これは札幌地方に産するも稀なり。

分布 北海道。

ウスグロツマキシヤチホコ……………(三二八)

*Phalera obscura* Wilem.

これはテウセンツマキシヤチホコに酷似すれど

も、その異なる所は、前翅前縁の中央に灰白の三紋を具へ、

翅端の黄紋は内方にて圓形を呈し、黒線にて縁取らる、前横線は太く、黒色、黄紋下の波状線は一双にして、外方のもは暗色、後翅は黒褐、中帯は少しく淡色、外縁は赤褐、黄毛を混ずれども、判然せる斑をなきざるによりて區別せらる。開張二寸。これは埔里にて捕獲せるが稀なり。

分布 臺灣。

ツマトビシヤチホコ……………(三二九)

*Phalera sanguana* Moor.

體翅暗褐。前翅の紋條は黒色、前横線は一双にして、中央にて遮断せられ、後横線は波状を呈し、中室の外側において細き弦月形の長紋となり、この兩横線の間には不明なる暗色の四帯を具へ、横脈紋は灰白、中央は褐色、亞外縁線の部分に三黒帯ありて、何れも波状を呈し、



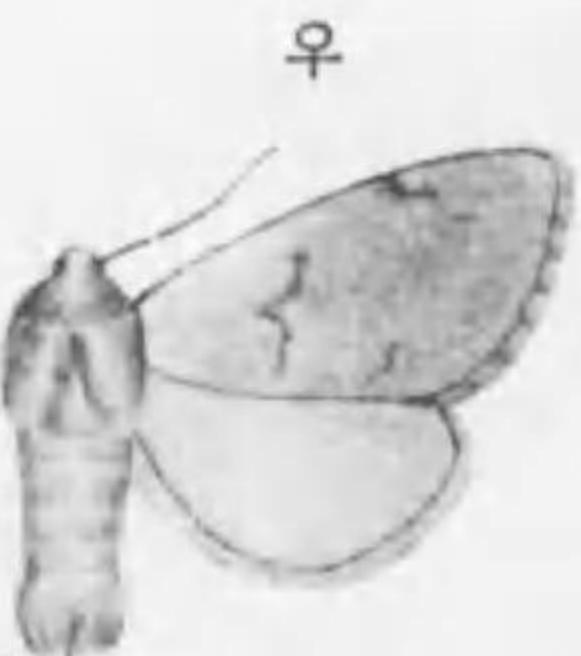
内方の二條は灰黄線にて縁取られ、翅端紋は黄褐を呈す。後翅暗色。各節節の後縁は黄白。開張二寸六分内外。これは朝鮮釋王寺に稀ならず。

分布 朝鮮、支那、印度。

キレオビシヤチホコ……………(三三〇)

*Phalerodonta homolyetna*

*Oberth.*  
體翅灰黄。前翅の中



横線及び後横線は暗褐、前者は中央にて遮断せられ、後者は中室の外方にてく字形に彎曲し、外縁に沿ひ暗色點を列ね、外縁は暗色と灰黄の斑をなす。後翅の帯は判然せず。開張一寸四分。これは朝鮮水原にて捕獲せられたれども、稀なるが如し。幼蟲はカシハの葉を食す。

分布—朝鮮、ウスリ。

オホシロジマシヤチホコ……………(三三二)

*Pheosia dictyonoides* Kaga.

これは次種シロジマシヤチホコに酷似すれども、フウシフォルミス形。♀ その異なる所は、翅は廣く、

*P. fustiformis* Mats.

前翅第一室の末端に紡錘状の白條を具へ、翅端より第四室迄外縁に平行する廣き白帶を横走し、第六、第七室に黒線を平行せしめ、シロジマシヤチホコの如く一線上に位せず、後翅は一層暗色、外縁線及び縁毛は暗色、第五、六、七脈の末端は暗色を帯ぶるにあり。開張二寸四分。これは樺太及び北海道に産するも餘り



多からず。

分布—樺太、北海道。

シロジマシヤチホコ……………(三三三)

*Pheosia tremula* Olerok.

前翅は灰色、中央の一帶は灰白、第六及び第七室に各一黒線を具へ、第一室に白縦條を具ふ。後翅は灰白、外縁線を缺く、雄にては、後翅の肛角に灰白の短線を横走す。開張一寸七分

内外。これはドロノキの葉を食す。燈火に飛來するも少なし。

分布—本州(上高地)。



タイワン  
ギンモン  
スズメモ  
ドキ……………(三三三)  
Pheosia  
Taiwan

Wilem.

前翅は灰黄、外縁は濃色、斑紋は銀色。後翅の外縁に近き波状線は淡色。觸角は黄褐。頭部褐色。肩板に藍色毛多く、暗褐色にて堺せらる。尾端の刷状毛は淡色。開張二寸内外。これは臺灣埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

附言—この屬はギンモンズメモドキ屬に酷似するも、雌の觸角は鞭狀を呈し、前翅の第六脈は小室の中央より出づ。

テウセンエグリシヤチホコ……………(三三四)

*Pterostoma griseum* Bremer.

前翅暗色、後縁の基部は暗褐なるも、後縁突起の内側に當り黄色部あり、兩横線は黄色、後者は後縁にて判然し、その外側に黒點を列ね、縦脈に沿ひ暗褐色を有するものあり、外縁は黒色。後翅は暗色、中帯は褐色、その内側は暗褐色にて縁取らる。開張一寸八分。



これは朝鮮釋王寺にて捕獲せるも稀なり。

分布—朝鮮。

セグロエグリシヤチホコ……………(三三五)

*Pterostoma palpium* Tr.

體翅は灰黄色。前翅中室内外の縦條及び斜條は暗色、四分の一の處に暗黄波状線ありて、其脈上に小黒紋を裝ひ、外縁は暗色、黒點を列ぬ。後翅は灰黄、外縁は暗褐。開張一寸三分内外。幼蟲はヤナギ、ドロノキの葉を食す。



分布—朝鮮(江)、滿洲、歐洲。

附言—これは本州に産する様報告せられたるも誤なり。朝鮮には産するもの如し。

オホエグリシヤチホコ……………(三三六)

*Pterostoma sinuatum* Moor.

體翅灰褐。前翅後縁の三分の一は淡黄褐、此中の二三の濃色縦線は判然せず、脈の一部は黒褐、前縁の縦紋は暗褐、外縁に近き灰白斜條の

♀



外側に黄褐波状線ありて、其外側に灰白線を裝ふ。後翅は暗色乃至暗黄中室黒紋の判然せざることあり。開張二寸内外。これは札幌地方に稀ならず。幼蟲はイヌエンジュの葉を食す。

分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、アムール。

エゾクシヒゲシヤチホコ……………(三三七)

*Phliophoroides jezoensis* Mats.

前翅は黄褐、前後兩横線は白色、後者の外方濃色。後翅は前翅よりも淡色、半透明、中央の一帶は白色。觸角黒色、羽狀枝は淡黄褐、其の基部の毛塊は黄白。腹部は多少金色を帯ぶ。開張一寸四分



内外。これは札幌地方に普通なるも、晩秋現はるゝを以て、その捕獲は時に困難なり。幼蟲はイタヤの葉を食す。

分布—北海道。

クシヒゲシヤチホコ……………(三三八)

*Phliophoroides nohirae* Mats.

前翅は淡黄褐、前後の兩横線は濃色、前者の内側、後者の外側は淡色、横脈紋は淡色。後翅は半透明、前翅よりも淡色、中帯は暗色。觸角灰白、羽狀枝黒色。開張一寸二分内外。これは本州の高原に産するが、その出現の晩秋なるが爲め、捕へ損ふことあり。幼蟲はイタヤの葉を食するが如し。



分布—本州。

ネジロキシヤチホコ……………(三三九)

*Pydus albifusa* Wilem.

前翅は黄褐、基部は少しく白色を帯び、外方は黄色を呈す、脈は淡褐、翅端よりの縦線は暗褐、外縁に暗色線を具へ、外縁線は淡褐、縁毛





前縁にて判然す。開張一寸七分。これはパイバラにて発見せられたり。  
分布—臺灣(埔里)。

クスクスシヤチホコ……………(三五〇)

Quadricleastera kusukusana Mats.



これはシモフリシヤチホコに酷似すれども、その異點は、前翅前縁端に近き紋は三角形を呈せず、翅底及び外縁に緑色鱗を欠き、外縁は廣く暗色、中央に三角形の暗色紋を欠き、亞外縁線は波状、外縁に平行す。後翅は褐色、中室にて淡色ならず。開張一寸六分。これは恒春にて発見

せられたるも稀なるが如し。  
分布—臺灣(恒春)。

ツマオビシヤチホコ……………(三五二)

Quadricleastera marginalis Mats.



これはテウセンシモフリシヤチホコに酷似すれども、其異なる所は、雌の觸角は長く、翅は一層濃色、前翅の中央にある暗褐色は判然せず、外縁帯は黒色、その外側に緑色鱗多きあり。開張一寸七分内外。これは埔里に産す、少なからざるが如し。  
分布—臺灣(埔里)。

サイトウシヤチホコ……………(三五三)

Quadricleastera nigrihastis Wilem.

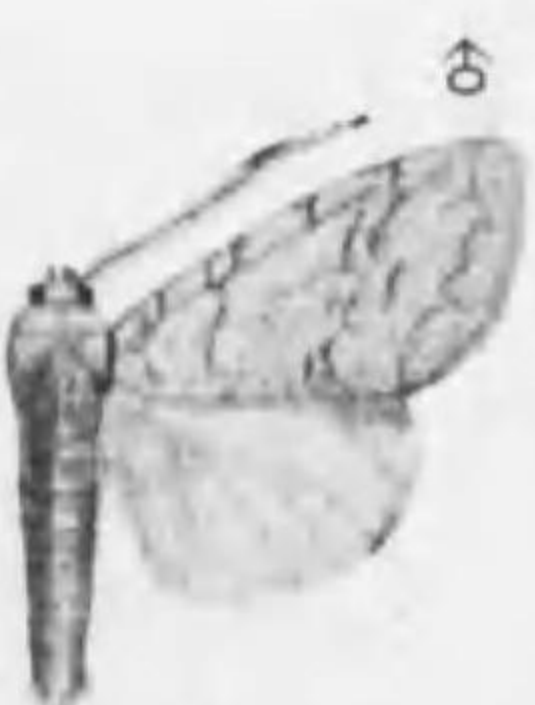
これはテウセンシモフリシヤチホコに酷似すれども、其異なる所は、雌の觸角の觸節は遙に長く、前翅底の中脈下に暗色の大紋を具へ、他の



一紋は第一室にありて、その外側は黒白の兩線にて堺せらる、後横線は波状、白色、その兩側は黒線に堺せられ、横脈紋は白色、中央の灰色なるにあり。開張一寸七分。これはパイバラにて捕獲せられたり。  
分布—臺灣。

ブライヤシヤチホコ……………(三五三)

Quadricleastera peritix Moor.



前翅は灰色、翅底及び前縁は灰白、少しく緑色を帯ぶ、紋條暗色、縁毛に灰色紋を列ぬ。後翅は暗灰色、前縁角に近き一紋は暗色、縁毛は淡色。雌の前翅は灰白、後横線の外側に暗色紋を列ぬ。開張一寸六分内外。札幌地方に普通な

る種類にして、幼蟲は樹の葉を食害す。

分布—北海道、本州、印度。

附言—本種には左の一變形あり。

ニグログツタータ形 ♀

f. nigroguttata Mats.

雌、前翅の後縁中央に大なる一黒紋を裝ひ、緑色鱗を帯びず。

分布—北海道(定山溪)。

スキタニシヤチホコ……………(三五四)

Quadricleastera sugitani Mats.



前翅は灰色、少しく緑色を帯ぶ、前縁及び翅底は灰白、紋條は緑黒。後翅は暗褐、前縁は廣く灰白、外方の二紋は黒色、頭頂は白色、胸背は灰白。開張一寸五分内外。これは信州の高原地に産するも稀なるが如し。  
分布—本州(信州)。

ウンモンシヤチホコ……………(三五五)

Quadricleastera umbrosa Mats.



雌、前翅は白色、暗色及び緑色の鱗毛を具へ、横脈外の前縁に三角形の暗色紋を裝ひ、これは第六、七室に延長す、亞外縁線の部分に黄緑色の三紋を横列し、

外縁は黄緑、第五、六室に延長し、後縁の基部及び後角に近く黄緑の各一紋を具へ、中室に黄緑の三紋を縦列す。後翅は暗灰色、中室及び亞外縁線は淡色、前縁端の斑紋は暗色。雌は灰色、斑紋は暗色、黄緑色の鱗毛を有せず。開張一寸六分 一寸七分。これは埔里にて捕獲せられたり。  
分布—臺灣。

アヲネシヤチホコ……………(三五六)

Quadricleastera viridipada Wilem.

前翅は灰褐、翅底に緑色鱗毛を密布し、他の部分には同色毛を粗布す、横脈紋は暗色、縦横線は黒色。後翅は暗色、前縁は廣く濃色、縁毛は



淡色、その基線は暗色。開張一寸二分内外。これは埔里地方に普通なり。暗んで燈火に飛來す。  
分布—臺灣。

アヲモンシヤチホコ……………(三五七)

Quadricleastera viridimulosa Mats.



雌、前翅白色、黒鱗を散在し、翅端、後縁及び前縁の外半にある大紋は暗緑、横線は黒色、判然せず、前縁の暗緑紋上にある後横線は波状をなし、第七

脈上にあるもの大牙状をなす、亜外縁線は黒色、波状、外縁線及び縁毛は暗色、脈の終點は灰白。後翅は灰色、外縁線は暗色。開張二寸二分。これは埔里にて捕獲せるが稀ならず。

分布—臺灣。

ホリシヤシロシヤチホコ……………(三五)

*Quadridentaria wienami* Mats.

前翅は灰白、中室紋は暗色にして、少しく緑色を帯ぶ、横線は暗色にして、縁毛は暗灰色。

♂



後翅は暗褐。腹背は暗灰色。開張一寸三分内外。これは臺灣埔里地方には少なからざるが如し。

分布—臺灣。

オホカバイロシヤチホコ……………(三五九)

*Ramesa albistriga* Moor.

前翅は淡褐、第四乃至第七脈間並に中室は暗色、翅端は少しく黄色、第二及び第四脈は少しく赤暗を帯ぶ、前横線暗色、四五條の横線並に外横線は褐色より成る、中室紋、其内方にて

ニツクワウシヤチホコ……………(三六一)

*Stactia circumscripta* Huth.

前翅は紫灰色、翅底は白色、中脈下の楕圓紋は黒色、その外側の斜線は紫灰色、更に其外方の紋は黒色。後翅は中央にて一淡色帯を有すれども列然せず、胸背の後縁毛は黒色、

♂



中後の兩胸背は灰白。腹部灰黄、尾節の長毛は灰白。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。

分布—北海道、本州。

カバイロシヤチホコ……………(三六〇)

*Ramesa toshi* Wl.

前翅は黄褐、翅底、前後兩縁及び中室よりの縦



中室を挟める二點及び翅底の二紋は黒褐、翅端の一條は褐色。後翅は暗褐色。開張一寸五分内外。これは臺灣に産するもその數少なし。

分布—臺灣、印度。

♂



條暗褐、後横線の處に暗色の點線を具へ、亜外縁線の部分にも暗色の點紋列ありて、各紋の内側に黄點を裝ひ、縁毛は暗色。後翅は暗灰色、翅底は少しく淡色、横脈紋は少しく濃色。開張一寸二分内外。これは本州に産するも稀なるが如し。

分布—本州、臺灣、印度。

♂



シロツエグリシヤチホコ……………(三六三)  
*Stacta hihooka formosana* Mats.

♂



す。後翅には斑紋を缺く。觸角は鋸齒状にして黄色。開張一寸二分。これは樺太の澤にて捕獲せられたるが稀なるが如し。一見毒蛾に似たり。

分布—樺太。

ミドリシヤチホコ……………(三六六)

*Zonera viridifusca* Wl.

前翅は綠色、紋條は暗色、中室の下方に暗色の大紋ありて、後横線の内側に暗色紋を列ね、縁毛は暗色と灰色の斑をなす。後翅は暗色。開張一寸八分内外。これは臺灣に稀ならず。

♂



分布—臺灣、印度。

ギンスチシヤチホコ……………(三六七)

*Spatalia argentifera* Wl.

雌、前翅は暗褐、少しく鉛色を帯び、前縁及び後縁は淡色、横線は淡色、翅底線は列然せざるも、その外側に白線を具へ、更に其外側に灰白の部分あり、前横線は一双の點紋より成り、前縁にて大紋となる、横脈紋は橙黄色、圓形、その内側に褐色紋ありて、横脈紋を蝕す、後横線は三線より成り、波状、外縁の刻られたる部分の縁毛は白色。後翅は栗色、縁毛は白色、黄褐毛も混ず。開張二寸一分内外。これは埔里に産するも少なし。

分布—臺灣。

クビワシヤチホコ……………(三六四)

*Stacta atrovilata* Bremer.

雌、體翅は暗灰色。前翅の條帶及び斑紋黒色。後翅横脈上の一紋は暗色。前胸背の末端及び翅底縁の中央は黒色。開張一寸八分内外。之は燈火に飛來するも餘り多からず。

分布—北海道、

♀



ムシヤクロスチシヤチホコ……………(三六四)

*Stacta muscaria* Mats.

これはクビワシヤチホコに酷似すれども、その異なる所は、雄、前翅廣く、中横線は黒色にして、廣く、第一室縦線の處にて白線にて縁取られ、環紋、腎状紋は灰黄、各外側に暗色紋を具へ、外縁には太き暗色の一線を有するにあり。開張二寸一分。これは埔里にて捕獲せられたるが少なし。

♂



分布—臺灣。

シロシヤチホコ……………(三六五)

*Stactia nivea* Mats.

體翅白色、少しく赤味を帯び、絹様の光澤を有す。前翅の第一脈の中央に近く十數個の暗色鱗を集合せしめ、尙中室にも少しく暗色鱗を有



前翅は淡褐、翅底近く赤褐部あり、中室下方の縦紋銀白、其外側の一紋白色、翅端及び外縁の中央に黒褐を呈する部分あり、中室外方は淡色、外縁の波状線は暗褐。後翅暗色。開張一寸三分内外。  
分布—本州(？)、印度。  
附言—從來日本産として記載せられあれども、著者は未だこれを捕へたることなし。

キンモンシヤチホコ……………(二六八)

*Spantia alvea Oberth.*

體翅は紫褐色、斑紋は銀色。前翅後縁の縁毛はヲカモトニニス形。黒褐。後翅は淡灰色。胸背の中央にある毛塊は白色。腹部は灰黄、尾端は紫褐色、尾前下に黄毛を装ふ。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。



ある毛塊は白色。腹部は灰黄、尾端は紫褐色、尾前下に黄毛を装ふ。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、滿洲。

オホキンモンシヤチホコ……………(二六九)

*Spantiodes doerriasi Guenee.*

前翅の前縁は灰黄、其中央に暗色紋を具ふ、外縁及び中脈下の一紋は黄褐、中脈下の三紋は銀色、第二、三室の基部及び第一室に銀色小紋を装ひ、横脈上の一線及び外方の三斜帯は暗色、外縁脈は灰黄、第一乃至第五室に渡れる波状線は灰黄、後縁中央乃至突起は黄褐、外縁線は暗色、縁毛黄褐、各脈の終點は暗色。後翅暗色、縁毛は灰黄。開張一寸四分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、暗んで燈火に飛來す。



分布—北海道、本州、滿洲。

ナントシヤチホコ……………(二七〇)

*Stauropus alternus Wlk.*

前翅は暗灰色、少しく緑色を帯び、基部に近き一紋は黒色、其部の脈は赤褐、後横線は黄白乃至灰白、外縁線及び外縁線は赤褐、縁毛は白



色。後翅は灰白、前縁角は暗褐、前縁は灰黄、赤褐の小點を散在し、後縁及び外縁線は淡褐、縁毛は白色。開張一寸三分内外。これは埔里地方に産するも、その數多からざるが如し。  
分布—臺灣、印度。

ヒメシヤチホコ……………(二七一)

*Zhanropus basalis Moor.*

前翅底の三分の一は灰白、外側は褐色の波状線にて縁取らる、中央は黄白、外半は灰褐、其内側に褐色の二波状線ありて、灰白線にて縁取らる、外半は灰褐にして、これに褐紋を列ね、外縁の紋列は褐色。後翅灰褐、前縁の二紋は褐色。開張一寸四分内外。これは中國地方に産するもその數少なし。



分布—本州、四國、支那。

ウスグロシヤチホコ……………(二七二)

*Stauropus confusus Wilem.*

これはヒメシヤチホコに酷似す。前翅は暗褐、翅底の半部は淡色、前後の兩横線は赤褐にして、波状、前者は内側、後者は外側に淡色線によりて縁取られ、亜外縁線の處には黒褐の紋列ありて、その内側は灰白線にて縁取らる、外縁には黒褐點を列ぬ。後翅は暗色、外縁線は黒色、翅底は淡色。開張一寸二分。これは埔里にて捕獲せるが稀ならず。



分布—臺灣。

ナミシヤチホコ(シヤチホコガ)……………(二七三)

*Stauropus flagi L.*

雄の前翅底二分の一は灰黄、少しく褐色を帯び、波状の横帯及び環状紋は赤褐、外縁の二分の一は暗褐、其中央の點線は黒褐、其内側は白色、外縁の弦月紋は黒褐、其内側は白色。後翅は灰黄、前縁の大紋は黒褐、外縁の弦月紋は暗



地方に稀ならざるが如し。  
分布—本州(廣島)。

コマダラシヤチホコ……………(二七四)

*Stauropus obliterata Wilem.*

前翅は灰色、斑紋暗色、亜外縁線の部分及び外縁に黒紋あり。後翅は灰色、前縁の二紋は暗色、中央の一帯は淡色、縁毛は灰白、その基線は暗色。開張一寸三分内外。これは廣島



雌の體翅は灰色。開張一寸九分内外。燈火に飛來する普通種なり。幼蟲は柳の葉を食す。  
分布—北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。

分布—臺灣。

タカムクミドリシヤチホコ……………(二七五)

*Stauropus takamikanu Mats.*

雄、前翅は緑色、横線は褐色、前横線は中脈の處にて内方に屈折し、後横線は一雙にして、その間室は灰色、これは第三脈の處にて彎曲す、亜外縁線は點線より成り、前縁にある紋は大、内縁に褐紋を列ぬ。後翅は暗褐、前縁



は緑色、外縁に暗色紋あり。開張一寸二分内外。これは埔里に稀ならず。  
分布—臺灣。

タイキチシヤチホコ……………(二七六)

*Stauropus teigichiana Mats.*

これはシヤチホコガに酷似するも、その異なる所は、前翅中脈の下方に白紋を具へ、更に前縁の基部に小白紋を有するものあり、前横線、環状紋及び腎状紋は暗褐色、環状紋は楕圓形、腎状紋は耳形、白色鱗を混ぜず、後横線は褐色、第七室には白色の圓紋を装ひ、後翅脈の暗色なるにあり。開張二寸内外。これは埔里にて捕獲せるも稀なり。



分布—臺灣。

ネウスシヤチホコ……………(二七九)

*Zenosiphia bifurcata* Mats.



雄、前翅底の過半は灰黄、黄褐の中横線は後縁の三分の一の處より出で、第一脈の中央迄斜走し、それより弓状の斜線を畫きて横脈紋に合し、後、波状をなして前縁中央に出づ、横脈紋は外側にて灰白線にて縁取らる、後横線黒色、細く、波状を呈し、亞外縁線は黒點より成り、その外縁は綠色を帯び、第六及び第八室に黄褐の縦條を裝ふ。後翅は灰白。開

張一寸三分。これは埔里にて捕獲せるが稀なるが如し。  
分布—臺灣。

エゾギンズチシヤチホコ……………(二七八)

*Zenosiphia jezoensis* W. et Z.



前翅は黄褐、中央下の長三角形紋及び外方の小紋は銀色、其下方及び内方の楕圓形紋は暗灰色、中室の縦條は暗色、中横線及び外縁線は暗色。後翅は灰色、基部は淡色。開張一寸四分内外。これは札幌地方に産するも稀なり。  
分布—北海道、本州。

スズキシヤチホコ……………(二七九)

*Suzukia punctata* La. Motsch. (suzuki Mats.)



前翅は灰色、紋條は

黒色、劍狀紋は白色、横脈は黒色、縁毛は灰色と黒色の斑をなす。後翅は暗色。開張一寸五分内外。これは札幌地方の高原に普通なる種類にして、暗んで燈火に飛來す。  
分布—北海道、本州。

ウグヒスシヤチホコ……………(二八〇)

*Suzukia sikima* Moor.



オリバセア形。スズキシヤチホコに酷似すれども、前翅全面に多数の綠色鱗を散在し、中脈下の棍棒線を缺き、後横線は綠色、後翅は一層濃色、尾端に黒色鱗を缺く。開張一寸五分内外。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなるが稀なるが如し。  
分布—本州。

タカムクシヤチホコ……………(二八一)

*Takadonta takamukai* Mats.

前翅は暗灰色、前後の兩横線は暗色、横脈紋は黒色、後横線外方の一回は灰色、前縁に一白紋

附言—これは前種の一種形なるやも知れず。

タテジマシヤチホコ……………(二八四)

*Tensha striatella* Mats.



雄、前翅灰色、中室は暗黄、これより同色の一帯を翅端に送り、これは次第に太し、脈の大部はその上に黒線を併走す、第三室に暗色の一紋を具へ、後



を具へ、第四乃至第七の縦條及び第一乃至第三室の斑點は黒色、翅端に近き點列は灰白、外縁線は濃色、後縁の總狀毛は黒色。後翅は灰色、外縁線は濃色。縁毛は兩翅共灰色。開張一寸五分内外。これは伯耆大山に稀ならず。  
分布—本州。

ギンモンスズメドキ……………(二八二)

*Tarsolopis sumneri* Hb.



第六鱗翅目(蛾亞目)

前翅は暗褐、中央に近く三角形の銀白紋ありて、尖端は上向し、その内方にある同線紋の尖端は下向す、何れもその周圍赤褐なり、外縁は灰褐、これに波状の一縦線を裝ふ。後翅は暗色。胸背に三暗色條を縱走す。後肢の腿節に紅色の長毛を簇生す。開張二寸七分内外。これは臺灣に多く、暗んで燈火に飛來す。  
分布—臺灣、馬來、印度。

ヤマトギンモンスズメドキ……………(二八三)

*Tarsolopis japonica* W. et Z.

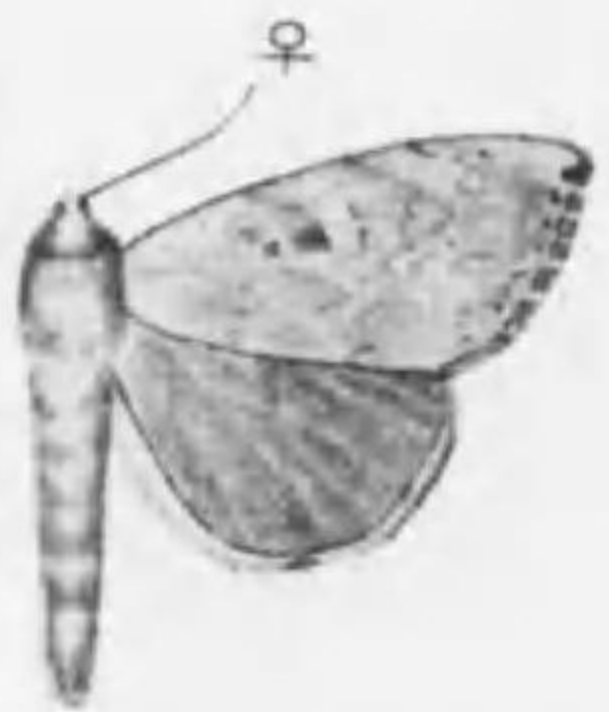


前種に酷似すれども、その異なる所は、前翅内方にある銀色紋は内方にて短かく、後翅は暗色にして、縦脈の處にて濃色を呈せず、裏面第二及び第三室の中央に黄紋を具へ、横脈紋の大なるにあり。開張一寸餘。これは何れの地方にても少なし。  
分布—本州(函根、箕面)。

トガリシヤチホコ……………(二八五)

*Togarisiphia argentopicta* Mats.

雌、前翅は灰黄、少しく綠色を帯び、中室の末端に二黒紋ありて、内方のものは小にして二分す、翅底線は黒色、點紋より成る、前横線は前



後翅は暗色。開張一寸六分。これは埔里に産すれども稀なり。  
分布—臺灣。

スチトガリシヤチホコ……………(二八六)

*Togarihana aenta Muta.*



前翅は灰黄褐、紫色を混す、横脈紋はく字形、その内側に黄紋を具へ、尙第三室の基部にも黄紋を装ひ、後縁の突起には橙黄色の斑紋ありて、その中央に楕圓形の暗色環を装ふ、翅端より後縁中央に廣き暗色線を斜走し、翅端部は暗色を呈す。後翅淡色、縁毛は黄色、絹様の光澤あり。

縁にて列然し、外方に屈折す、後横線三本にして、暗色の點紋より成る中室の後角より淡黄褐の一條を縱走し、第三室に銀白の一縱條を装ふ。

タテスチエグリシヤチホコ……………(二八七)

*Togasterix velutina Oberth.*



前翅は灰白、少しく紫色を帯ぶ、前縁基部よりの斜線は暗褐、其後方は褐色線にて縁取られ、前方は黄白、中央に近く前縁に一黒點を具へ、外縁の三分の一は褐色、之れに暗色の三點を列ね、外縁は白、褐の斑をなし、後縁の突起は白色。後翅は暗灰色、不明の暗色帯を具へ、縁毛は白色、脈の終點に暗色毛を混す。開張一寸四分内外。これは札幌地方に普通なり。  
分布—北海道、本州。

トリゲキシヤチホコ……………(二八八)

*Torigea phinosa Brit.*

前翅は淡灰黄、紋線は暗褐、中室外に稍々四角形の火紋を具へ、中室下及び中室後角に紋あり。



ども小、翅端及び外縁の上方より各一斜條を後縁に透り、外縁には點列あり、後横線は一双にして、外方にあるものは紋列となる。後翅は黄白、絹様の光澤を具へ、少しく紅色を帯ぶ。開張一寸七分。これは日光地方に産するも少ない。  
分布—本州(日光)。

ユミモンシヤチホコ……………(二八九)

*Urolontopsis arcuata Alph.*



前翅灰褐、翅底、前横線、前縁の外半及び後縁角に黄緑の鱗毛を散在す、翅底線は暗色、其外側の一枚

は暗色、中室末端の弦月形紋及びその内側の一枚は黒色、第四室にも黒紋を具へ、翅端に近く弓状の暗色紋あり。後翅は暗色、弓状線及び内側の一枚は黒色、縁毛は暗色及び白色の斑をなし。開張一寸五分内外。これは東京附近に捕獲せらる。

分布—本州(東京)。

シロテンシヤチホコ……………(二九〇)

*Drotonta viridimixta Brem.*



前翅は暗灰色、前縁の二分の一は暗色、翅底の一枚は褐色若くは黒褐、中室紋は蒼色、其上下は灰褐、之れより黒褐の波状線を出す、横脈外側、前縁の四紋及び後縁角の波状線は白色、外縁は黒褐。後翅淡灰色。開張一寸二分内外。これは暗んで燈火に飛來す。札幌地方には普通なり。  
分布—北海道、本州、朝鮮、ウズリ。

クロホシシヤチホコ……………(二九一)

*Urolontopsis laramieki Oberth.*

第六 鱗翅目(蛾亞目)



前翅は灰色、光線の工合に依り少しく紫色を帯ぶ、斑紋は暗色、横脈紋は黒色、其内外に二黒線あり、亞外縁線は白色、其内側の第四室に黒紋を具へ、後縁に四黒紋あり。後翅は暗灰色、肛角の二線は暗色。開張一寸七分内外。これは高山地帯に稀ならず。  
分布—北海道、本州、ウズリ、西比利亞。

ムラサキシヤチホコ……………(二九二)

*Tropia metaculohina Oberth.*

體は灰褐、少しく紫色を帯ぶ。前翅の前縁及び後縁は廣く淡黄線、中央に灰白の一線を縱走し、數條の暗色線を横走し、翅底

には黒紋を具へ、中室紋は暗色。後翅は灰黄。開張一寸七分内外。これは餘り多からず。燈火に飛來す。幼蟲はクルミの葉を食す。  
分布—北海道、本州、西比利亞。

フタバシヤチホコ……………(二九三)

*Wiemanns bifidatus Wilm.*



前翅は灰白、中央に近き大紋は黒色、前縁の外縁に近く長三角形の黒紋を具へ、其内外の兩端より白色の波状線を出す、外縁線は暗色。後翅は灰白、肛角は暗色。開張一寸三分内外。これは京都及び奈良地方に稀ならず。  
分布—本州。





すも、前翅前横線は白色にして、橙黄條を缺き、翅底の白條と癒合して半環をなし、亞外縁線は弓状を呈し、外縁線細く、波状を呈す。後翅中央の淡色帯は不明。開張一寸三分。これは樺太一の澤にて捕獲せるが稀なるが如し。  
分布—樺太。

ウスベニアヤトガリバ……………(三〇七)

*Hanyia dieckmanni* Graes

前翅は暗褐、翅底の斜線は白色、其上方の三角紋は桃色、其外側及び下方は黒褐、これより桃色の一細線を出



す、外側の波状線は黒色と黒褐、腎状紋及び環状紋は濃色、其外側は桃色を帯べる灰白、外縁は桃色、暗褐

帯あり、前縁は桃色、二黒紋を具へ、弦月紋は桃色、翅底に一銀色紋あり。後翅は暗灰色、一淡色帯を具ふ。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。  
分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲、ウスリ。

アヲトガリバ……………(三〇八)

*Hanyia olivacea* Fxss.

前翅は青色、中央は暗褐、紋條は黒色、翅底に黒紋を具へ、その外側に銀白紋あり、前横線は



縋線の上方にて切斷せられ、後横線は一、外方のものは甚だしく波状を呈し、前縁にて翅端に近き所に灰白紋を装ひ、その内側に銀色の大紋あり、縁毛に黒紋を列ね、外縁に近く翅端より灰色の一斜條を後角に送り、その内側に黄褐紋あり。後翅は暗灰色。開張一寸二分。  
分布—朝鮮、支那。

サカハチトガリバ……………(三〇九)

*Kurama muradobis* Batt.



前翅は灰褐、前縁の半部は銀白色、其前縁の八字形紋は暗褐、亞外縁線は灰白、第六室の斜線及び外縁線は暗色、翅底の一

ひ、横脈紋の外側にく字形をなせる黒色の後横線あり、亞外縁線は灰白、其外側に暗色帯を具へ、第六脈の末端に黒紋あり、翅端及び前縁の外方は白色。後翅は暗灰色、中帯は淡色。開張一寸一分内外。これは秩父にて捕獲せられたり。  
分布—本州。

ネグロトガリバ……………(三〇九)

*Mimopsestis kasahis* Wilem.

前翅は灰白、少しく銀色を帯び、翅底は廣く暗褐、横脈點は黒色、後横線は暗褐、此線は第二脈の處にて内方に屈曲して後縁に達し、その外側には



太き褐色帯あり、内側は白色の波状線にて堺せられ、翅端よりの短斜線及び外縁線は黒色、縁毛は灰白、脈端に暗色毛を装ふ。後翅は灰白、中帯及び外縁は灰色。第三、四腹節に暗褐の毛塊あり。開張一寸七分内外。これは燈火に飛來するも餘り多からず。  
分布—北海道、本州。

後翅は灰白、外縁は灰色、縁毛は灰白。頭暗褐。胸背灰褐。腹部灰黄。開張一寸五分内外。これは京都鞍馬山にて捕獲せられたるが少なし。  
分布—本州。

ウスベニトガリバ……………(三〇六)

*Kurama pygma* Batt.



前翅は暗灰色、少しく褐色を帯び、前縁廣く、淡き桃色、基部に黒點を装ひ、前縁に沿ひ基部に長き劍状の暗褐紋あり、下方は黒線にて堺せられ、中室の下方に弓状の白帯ありて、その下方は黒線にて縁取られ、その前方に黄褐の毛塊あり、中横線及び後横線は黒色、前者は中脈以上にて判然せず、翅端に淡色の大紋を具へ、内外側に黒線あり、後縁角に黄褐紋を装ふ。後翅は前翅と同色、中帯は判然せず。開張一寸三分。これは武州高尾には稀ならず。  
分布—本州。

ナカトガリバ……………(三〇九)

ウスジロトガリバ……………(三〇九)

*Nemaeorota albidula* Suzuki



前翅は灰白、一、二の前横線の間室は暗色、更に其中の一線は濃色、後横線は第四脈の處にて外方に彎曲し、これより外縁迄は暗色を帯び、脈は白色と暗色の斑をなす、前縁に白點を列ね、亞外縁線は白色、外縁線は暗色、縁毛は灰白、脈の終點は暗色。後翅は灰色、中央に淡色帯を具へ、縁毛は前翅と同色。頭暗褐色、肩板は白色。腹部灰白。開張一寸二分内外。これは日光に産するも少なし。  
分布—本州。

フタスチトガリバ……………(三一〇)

*Nemaeorota bimaculata* Mats.



前翅灰白、少しく紫色を帯び、暗色の二帯を具へ、外方のものは其外側に白點を列ね、亞外縁線は白紋より成り、翅端の斜線は暗



前翅は灰色、翅底の一帯は灰白、外縁は灰黄線にて堺せられ、前縁は稍々灰黄を帯び縦脈上には暗色紋を具へ、前縁角よりの細線は灰黄、外縁線は白色、縁毛は灰黄、末端は灰白。後翅は灰黄、外縁及び中央の太き一帯は暗色。開張二寸内外。これは本州の高山地帯に産するも少なし。  
分布—本州。

ネジロトガリバ……………(三〇八)

*Mesopsestis nudosa* Wilem.



前横線は一層外方に位置し、中横線は一、二に於て、稍々端直、其内側に判然せざる暗色帯を具へ、横脈紋の上方より一短線を前縁に出し、其内側の前縁に一短線を装

色、縁毛の中央線は暗色。後翅は灰色、中央の  
一帯は暗色。頭及び胸背褐色、肩板白色。腹部  
灰白。開張一寸三分内外。これは日光にて捕獲  
せられたるが少なし。

分布—本州。

マユミトガリバ……………(三三)

*Neoloca archipennis* Butl.

前翅は灰色乃至暗灰色、紋線は暗色、前横線よ  
り翅底迄は濃色、横線  
點は黒色、亞外縁線は  
灰白、其外側に黒紋を  
列ね、第七脈よりの斜  
線は黒色、外縁に沿へ  
る紋列は黒色、縁毛は



灰色、各脈端は暗色。後翅は灰白、外縁は廣く  
暗色、縁毛は白色。頭及び胸部は灰色。後胸  
背、頸板並に腹部は灰白。開張一寸二分内外。  
これは早春札幌地方に捕獲し得べきも少なき種  
類なり。

分布—北海道、本州。

サイトウトガリバ……………(三三)

*Neotargia sattonis* Mats.

前翅は灰色、翅底の約半部は暗褐色にして、これ  
に四黒條を具へ、



其外方の二條は中  
横線に相當し、前  
縁にて相續する、  
後横線は黒色、一  
双、各前縁にて擴  
がり、中室外側に  
て外方に曲る、亞  
外縁線は一雙にして、廣く離れ、餘り判然せず、  
翅端直下より黒色の短線を斜走す、外縁の列り  
は深く、黒色の新月紋は可なり高し。後翅は暗  
灰色、中帯及び外縁は細く淡色。開張一寸三  
分。これはバイバラにて捕獲せるが稀なり。

分布—臺灣。

オホバトガリバ……………(三四)

*Palimpsestis amplata* Butl.

前翅は灰色、紋線は  
暗色、前横線及び中  
横線の間は暗灰色、  
其中に暗色線を並走  
す、腎状紋の下端に



分布—北海道(大雪山)

フタテントガリバ……………(三六)

*Palimpsestis duplaris* T.

前翅は灰色、紋線は暗色、翅底線は一層濃色、中  
横線の外方の一帯は灰白、各脈上より一犬牙  
狀の突起を出し、これは  
前縁にて暗色の大紋とな  
る、後横線より外縁迄は  
暗灰色、其中に灰白の亞  
外縁線あり、外縁黒色、縁  
毛灰色、暗色鱗を混じ、横脈は黒色。後翅灰白、  
横脈黒色、中央及び外縁に暗色帯あり、縁毛は灰  
白。開張一寸二分内外。これは中國地方に稀な  
らず。幼蟲はカバ、ハンノキ等の葉を食す。



分布—本州。

ヒトテントガリバ……………(三七)

*Palimpsestis*

*finetosa* Hb.

前翅は灰白、中央は暗  
色、その兩端は白線にて  
縁取らる。翅底に一黒點



第六鱗翅目(蛾亞目)

一黒點を裝ひ、翅端よりの斜線及び外縁線は黒  
色、縁毛は暗灰色、中央の一線は暗色。後翅は  
暗灰色、中央の一帯、翅底及び縁毛は灰黄色。  
頭及び頸板は灰黄褐色。胸背灰白、後胸背に暗色  
毛塊あり。腹部暗灰色。開張一寸五分内外。こ  
れは何れの地方にも少なからず。暗んで燈火に  
飛來す。

分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲。

ダイセツトガリバ……………(三五)

*Palimpsestis daisetsuzana* Mats.

前翅は暗褐色、翅底は灰黄、外側は弓狀をなせる  
地色にて堺せらる、前横線は一雙、少しく弓狀  
をなして外方に曲り、  
相平行す、環状紋は楕  
圓形、腎状紋は耳形、  
何れも暗色、中央は淡  
色、後横線は三本、何  
れも波狀をなして外方  
に彎曲す、翅端よりの  
短黒線は判然す、外縁に黒點列あり、縁毛は灰  
黄。後翅灰色、中帯及び外縁は廣く暗色。開張  
一寸二分。これは大雪山にて捕獲せられたる  
も稀なり。



分布—北海道(千島)

ヒロトガリバ……………(三九)

*Palimpsestis kurilensis* Mats.

雄、前翅は暗灰色、暗色帯を具へ、前横線は三  
條より成り、波狀、前  
縁にて太し、後横線は  
同じく三條より成り、  
波狀、第五脈の處にて  
膝狀に曲る、横脈は  
暗色、中央にて淡色、  
翅端に近く暗色線を具  
へ、前角を二分す、亞外縁線及び外縁は暗色、  
縁毛は灰色。後翅の中央に淡色帯を有す。開張  
一寸餘。これは千島にて發見せられたり。



分布—北海道(千島)。

ヒロトガリバ……………(三九)

*Palimpsestis latipennis* Mats.

雌、前翅は灰白、波狀線は黒色、其間室は暗色、腎  
状紋の外側にく字形の  
暗色線を具へ、第三、  
四、五脈は白色と暗色  
との斑をなす、外縁に  
近き波狀線は白色、外  
縁の弦月紋列は暗色、  
前縁角に暗色條あり、



六七三

縁毛は灰白、暗色線を具ふ。後翅の中帯は淡色、縁毛の基部は暗色。開張一寸四分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—北海道。

ムシヤトカリバ

*Palimnestes mushana Mats.*

(三三一)



♀

雌、體翅灰褐、紋條は黒色。前翅の翅底は灰黄、亞底線一、外方にあるものは波状を呈し、内方のもは短かく、中間は暗色、前横線は一、翅底線に相平行し、前縁にて廣く開く、環状紋は楕圓形、淡色、外側は暗色の短線にて縁取らる、腎状紋は灰白、長楕圓形、中央の短線は暗色、中横線は前縁にて判然す、後横線一、稍々相平行し、第四脈の處にて外方に曲折す、亞外縁線は淡色、前縁角に短黒條あり、外縁は脈にて遮断せらる。後翅は前翅よりも淡色。開張一寸二分。これは霧社にて捕獲せられたり。

分布—臺灣(霧社)。

ススキトカリバ

*Palimnestes suzuki Mats.*

これは一見キンモントガリバに酷似す。前翅は暗色、四條の前横線あれども、餘り判然せず、後横線と前横線との距離は遙かに狭く、第一室の縫線の處にて稍々相接近す、腎状紋及び環状紋は相接し、第一室の基部に黒



♂

點を缺き、白點を有す。後翅は少しく褐色を帯び、第二、三室の外縁は明瞭に刻らる。開張一寸六分内外。これは京都にて發見せられたるが稀なり。

分布—本州。

ワタナベトガリバ

*Palimnestes watanabei Mats.*

(三三三)



♂

前翅は暗淡色、前縁は灰白、紋條は黒色、亞底線は判然し、前

太き暗色線を有す。開張一寸三分。これは群馬にて捕獲せるが少なし。

分布—本州。

キンモントガリバ

*Parapsostis argenteoflata Oberth.*

(三三五)



♂

前翅は灰白、紋條は暗黒、前横線は三線より成り、其間室は多少暗色を帯ぶ、環状紋及び腎状紋の内部は白色、後横線は第一脈の處にて内方に屈折し、其外方の脈は暗色の斑をなす、亞外縁線は白點列より成り、その外側は暗色、縁毛は暗灰色、中央の一線は暗色、翅底の三點は白色、第一室の基部に一黒點あり。後翅は灰色、中央の一帯は灰白、其兩側は濃色、縁毛は白色、開張一寸四分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。

分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲。

パイバラトガリバ

*Parapsostis latipennis Mats.*

(三三六)

第六 鱗翅目(蛾亞目)

ヘリジロトガリバ

*Parapsostis albomarginalis Mats.*

(三三六)



♀

前翅は暗色、外縁は廣く白色、その外側に細き暗色の波状線あり、翅底は黒色、前横線は一、より成り、縫線及び中脈の基部並に中室の末端に近く一白點を有す、横脈紋及び後横線は濃色、前者の内側は白線にて縁取らる、前角を二分する暗褐色を具へ、翅端に近く三角形の白紋を具ふ。後翅は灰白、外縁に近く

キンモントガリバに酷似すれども、その異なる所は、前翅中室の外方には灰白紋を具へ、その外側には四條の黒紋列を裝ひ、更にその外側に太き黒色帯ありて、その兩側は白點列にて縁取られ、翅端の黒斜條は長く、外縁の新月紋は遙に高く、縁毛の中央に一暗色線を貫く。後翅外縁帯は廣し。開張一寸七分。これは埔里にて捕獲せるが少なきが如し。

分布—臺灣。

マヘジロトガリバ

*Xyronaga albicoستا Brenn.*

(三三七)



♂

底は一、二にして、短かく、前縁にて判然す、亞翅底線を缺き、前横線は前縁より中脈迄頗る太く、之より弓状をなして後縁に達し、其内側に判

分布—臺灣。



♂

抱き、腎状紋は稍々×字形を呈し、何れも灰黄白にして、その周圍は細く黒色。後翅の外縁は廣く灰黄白なるにあり。開張一寸五分。これはパイバラにて捕獲せるが稀なり。

分布—臺灣。

オホマヘニトガリバ

*Xyronaga callum Mats.*

(三三八)

六七五

*Saranga commifera* Warr.



雌  
體翅は暗色。前翅の  
前縁は白色、少しく  
桃色を帯ぶ、紋條は  
灰白、後横線は濃色、  
外縁の波状線は灰  
白、外縁は濃色。後  
翅中央の一帯は淡  
色。開張一寸六分内外。これは高山地帯に稀な  
らず。

分布—北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲。

マヘベニトリガリバ……………(三三〇)

*Saranga consimilis* Warr.



雄  
前翅は暗灰色、斑紋は暗色、前縁は廣く桃色、  
環状紋及び腎状紋は灰  
白、其周圍は黒色、兩  
紋内には更に一、二個  
の暗色紋あり。後翅は  
暗灰色、中央の一帯及  
び縁毛は淡色。開張一  
寸三分内外。これは岩手地方にて捕獲せるが稀  
なり。

分布—本州。

タイワンマヘベニトリガリバ……………(三三一)

*Saranga taiwana* Mats.



雌  
オホマヘベニトリガリバに酷似すれども、前翅前  
縁は黄綠色を帯  
び、紅色部は少な  
し、中室の基部に  
黒色の二大紋を具  
へ、亞外縁線は黒  
色、波状、前角よ  
り一黒線を出し、  
これはその角を二  
分す。後翅は灰黄、二黒帯ありて、外方のもの  
は太し。開張一寸七分。これは埔里に稀ならざ  
るが如し。

分布—臺灣。

ヒメウスベニトリガリバ……………(三三二)

*Thyatira ancorina* Batt.



雄  
前翅は褐色、紫色を帯  
び、翅底の圓紋は灰褐、  
其周圍及び之れを二分す  
る横線は淡桃色、環状紋  
及び腎状紋の周圍は淡き  
桃色、後者上方に淡き桃

色の一紋ありて、其内側に暗色の三線を裝ふ、  
後縁角の圓紋は紫褐色、其周圍は白色、少しく  
桃色を帯び、前縁の末端に近き一紋及び外縁は  
廣く淡桃色、後者の中に褐色紋列あり、外縁線  
褐色、外縁は淡褐。後翅は暗色。開張一寸二分  
内外。これは京都地方に稀ならず。

分布—北海道、本州。

モントガリバ……………(三三七)

*Thyatira latis* Tr.



前翅は暗褐、斑紋は桃色、後縁のものは中央に  
て灰色、外縁角のもの  
は中央にて暗灰色、波  
状線は黒褐。後翅は灰  
色、中央の濃色帯は判  
然せず。體淡褐、桃色  
を帯ぶ、腹部淡色。開  
張一寸三分内外。燈火  
に飛來するもの多し。幼蟲はスグリ、イチゴの  
葉を食す。これは何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐  
洲。

タカムクトガリバ……………(三三四)

アリサントガリバ……………(三三五)

*Thyatira oblonga* Foni.



アリザーナ形 雌  
前翅は暗褐、翅底の圓  
紋、後縁の中央にあ  
る四角形紋、横脈上の  
圓形紋及び翅端の楕圓  
形紋は黄色、横線は黒  
色、前横線は三條にし  
て、内方のものは内側  
に黄線を有す、後横線  
は三條、兩側線の内側  
は黄線にて縁取られ、  
亞外縁及び外縁の紋列は  
黄色、前縁の中央に五短線を横走し、何れも黒  
線にて堺せらる。後翅は淡き灰黄、中帯は暗色。  
開張一寸六分。これは臺灣に産するも稀なり。

分布—臺灣、支那。

フォルモサーナ形 雄

*Formosina* Mats.



ミツモントガリバ……………(三三八)

*Thyatira trimacul-*  
*lata* Bremer.

前翅は暗褐、楕圓形をな  
せる灰黄の三紋ありて、

タカムクタイー形 雄

*Takamukui* Mats.



前翅は細長、緑色を帯び、  
斑紋は小形、帯桃白色、  
中央の半圓紋は第一脈の  
處にて白色、其内外の波  
状線は暗色、其間室は白  
線にて縁取られ、外縁の  
弦月形紋は白色、小形、  
其外側に同様の黒紋を具へ、  
外方に紅褐紋を缺  
く、縁毛は灰褐、其末端は白色、  
各脈の終點に  
暗色毛あり。後翅は淡色、  
第一室の末端に灰黄  
紋を裝ふ。開張一寸三分内外。  
これは臺灣に産するもその數少なし。

分布—臺灣。

キマダラトガリバ……………(三三五)

*Thyatira flavida* Batt.

モントガリバに酷似すれども、  
前翅基部の白紋  
は長形、内縁に連せず、  
末端に黄色部あり、前  
縁の中央及び末端に各一  
紋を具へ、翅端にある  
ものは外側に引狀に列ら  
れ、其中にある紋は黄色、  
後縁角にある紋は小、其  
中の紋は黄色、

カハムラトガリバ……………(三三六)

*Thyatira kawamurae* Mats.



後縁紋は後角紋に近  
接す、全面に互り數  
多暗色の波状帯あ  
り。後翅は灰黄、中  
央及び外縁に近く暗  
色帯あり。開張一寸  
四分内外。これは信  
州地方の高原には普通な  
れども、北海道には  
稀なり。

分布—北海道、本州。

カハムラトガリバ……………(三三六)

*Thyatira kawamurae* Mats.



前翅は褐色、少しく桃色を帯べる灰白紋を散  
在し、此紋の周圍は  
白色、後角に存する  
一紋の周圍は桃色、  
更に其周圍は白色。  
後翅は褐色、中央の  
一帯は淡色、頭及び  
胸背は淡紫褐。第二  
及び第三下唇節の末端  
白色。開張一寸三分内  
外。これは熊本にて發見  
せられたる珍種なり。

分布—九州。

翅底にあるものは最大、その中央に褐色鱗を密在す、他は前後の兩角にあり。後翅は灰黄、脈は暗色。開張一寸一分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。

分布—朝鮮、臺灣、アムール。

タカヲトガリハ……………(三三九)

*Togaria takozana* Mats.

雌雄、前翅は灰白、紋線は褐色、亞底線は波状、前横線は太く、兩側には暗色線を具へ、後横線は太く、内部は暗色線にて縁取らる、亞外線は波状、縁毛は灰色、その中央に褐色線あり。後翅は淡灰色、中帯は暗色。開張九分



一寸。これは千島に少なからず。初めは武州高尾にて捕獲せられたればこの名あり。

分布—北海道(千島)、本州(武州)。

ナカジロトガリハ……………(三四〇)

*Togaria suzukiana* Mats.

前翅は灰白、三條の前横線の間室は暗色、翅底及び中央に少しく黒鱗を散在し、外縁の四分の一は暗色、黒線にて堺せられ、翅端の一紋は灰白、外縁線は黒色。後翅は灰白、暗色の判然せざる一帯あり。觸角黄褐。頭及び胸背灰白。前胸背に暗色輪あり。腹部灰白。開張一寸一分内



外。これは大坂箕面地方に稀ならず。

分布—本州。

四 枯葉蛾科

Lasiocampidae

口吻を缺く。下唇鬚は大にして突出す。觸角は羽狀。中後の脛節に一双の距を具へ、軟毛を裝ふ。前後翅の第五脈は第四脈に近接し、前翅の内脈は二個、稀に三個あり、外方のものは甚だ短、前翅抱刺を缺き、第七及び八脈の中間に短脈なし。體は大。翅の小なるものあり。本邦に産するもの約六十種あり。何れも喬木の害蟲にして、殊に森林に大害を加ふるもの多し。

マダラカレハ……………(三四一)

*Argema flavovittata* Moor.



雌、體翅は黄褐色、前翅の横線は暗色、前横線の内側、後横線並に亞外縁線の外側等は黄色、但し亞外縁線は暗

列より成る、横脈紋は黒色、翅端は少しく暗色を帯ぶ。後翅は紫褐色、中帯及び外縁の大部は灰黄、外縁は波状に列らる。裏面の斑紋は判然し、後翅は暗色の波状線にて斑をなす。開張一寸七分。これは埔里に少なからず。

分布—臺灣。

タイワンアカカレハ……………(三四二)

*Argema formosae* Wilcm.

雄、體翅赤褐、前翅の中横線、後横線並に外縁は暗色、横脈



點は白色、其兩側は暗色線にて縁取らる。後翅の外半は暗褐、外縁線は灰色。裏面の斑紋は濃色にして、判然す。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せるが少なし。

分布—臺灣。

ドロカレハ……………(三四三)

*Bhima fohota* Graes.

第六 鱗翅目(蛾亞目)

雌、前翅は暗色、横脈紋及び外縁は黄色、黄色の横線は細くして判然せず、後横線は淡色、亞外縁線は濃色。後翅は黄色、前縁、内縁及び肛角の一紋は黒色。雌、體暗灰色、横脈紋は灰白、其上方の一圓は暗色、亞外縁線は暗色の紋列より成り、各紋の外側は灰白線にて縁取らる、縁毛は脈の終點にて暗色を帯ぶ、後翅は前翅と稍々同色、中帯は淡色、其外側は濃色、尾端の毛塊は灰黄。開張二寸内外。これは朝鮮に産するも少なし。幼蟲はスモモ、白楊の害蟲なり。

♀



トビイロタケカレハ……………(三四四)

*Cosmotripha albomaculata* Bremer.



斑紋はタケカレハと異ならずれども、常に赤褐色にして、中央にある斜條の外側は白色なり。開張二寸一分内

♀

外。幼蟲はタケの葉を食す。

分布—北海道、本州、支那、滿洲。

ヒメタケカレハ……………(三四五)

*Cosmotripha divisa* Moor.



トビイロタケカレハに酷似すれども、體翅は一層濃色、雌にては黄色、下方の白紋は大にして、褐色

鱗を散在し、其上方の紋は小、翅端より後縁に達する暗褐色は端直、其外側に雄にては暗褐色を並列し、鋸齒状をなさず。開張一寸七分—二寸二分内外。これは稀なる種類と見え、著者は本邦にて捕獲せしことなし。朝鮮及び臺灣には稀ならず。

分布—本州、朝鮮、臺灣、アムール、支那、印度。

附言—從來この學名に *Cosmotriche lueta* Wk. を用ひ來たれども、前出の學名なれば茲に訂正す。

ソトムラサキタケカレハ……………(三四六)

*Cosmotriche nigropunctata* Wilem.

翅は灰黄色。前翅の横脈紋は黒色、前縁の基部は暗褐色を帯び、後横線及び外縁は紫褐色、前者の外側に暗褐色を列ね、後縁及び後角の一間に白鱗多く、縁毛は紫褐色、末端は濃色。後翅は灰黄褐色、縁毛は灰色、基縁は淡色。開張一寸九分内外。これは臺灣に産す、少なからざるが如し。



♂

寸九分内外。これは臺灣に産す、少なからざるが如し。

分布—臺灣。

タイワンタケカレハ……………(三四七)

*Cosmotriche formosana* Mats.

翅は紫褐色。前翅に暗褐色の二帯を具へ、後縁の中央より斜走せる一帯の外側は青白線にて縁取られ、亜外縁線は暗色、斜帯の外側一間、縦脈並に外縁線は淡色。後翅の基部、縦脈及び外縁線は淡色、中央は少しく暗色を帯ぶ。開張一寸五分内外。これは奮氣湖畔に發見せられたるが稀なるが如し。



♂

モンキタケカレハ……………(三四八)

*Cosmotriche ochreipuncta* Wilem.

これはタケカレハに酷似すれども、その異なる所は、前翅の横脈紋は小にして、淡黄色を呈す。



♂

すも一斜條は暗色、少しく外方に曲る、横脈紋は灰白、弦月形、外方は暗褐色、亜外縁線は波状をなせども、判然せず。後翅は少しく紫色を帯ぶ。裏面に暗色の一帯ありて、後翅のものに相連続す。開張一寸四分。これは臺灣タマホにて發見せられたり。

分布—臺灣。

カラフトマツカレハ……………(三五三)

*Dendrolimus alboineatus* Mats.

エゾマツカレハに酷似すれども、前翅の横線はニグリセンス形。♂



♂

黒色、前横線は唯中脈下の内側のみ白線にて縁取られ、後横線太くして前横線に相平行す、亜外縁

し、斜條は黒褐色、その内方は紫灰色線にて縁取られ、これは翅端に近き前縁より後縁の中央に斜走す、これより外方は淡色、亜外縁線は黒色、稍々鋸齒状をなす。後翅は褐色。開張一寸六分—二寸。これは臺灣高山地帯に産するも少なし。

分布—臺灣。

タケカレハ……………(三四九)

*Cosmotriche petatoria* L.



♀

線と後横線の間は灰白、赤褐色の斑紋を有するものあり。後翅は暗色、基部は淡色、中央には暗色の判然せざる一帯あり。開張二寸一分内外。これは皆て樺太に大發生せるものなり。幼蟲はトドマツ、エゾマツの大害蟲なり。

分布—樺太、北海道(宗谷、千島)。

附言—これはツガカレハに酷似するも、遙に小にして、その雄の生殖器及び幼蟲によりて容易に區別せらる。翅色及び斑紋には變化多し。

エゾマツカレハ……………(三五三)

*Dendrolimus jezoensis* Mats.

翅は灰白。前翅の横線は暗色、前横線は内側に白紋を帯び、後横線の外側は白線にて縁取られ、亜外縁線は黒褐色、其内側は白線にて縁



♀

タイワンヒメタケカレハ……………(三五〇)

*Cosmotriche pyriformis* Moor.

翅は黄色。前翅の中央に近き二線銀色、帯條は褐色若くは暗色。後翅の外半は暗色。開張二寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はタケ、ヨシの葉を食す。

分布—北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。



♀

これはヒメタケカレハに酷似すれども、前翅は濃褐色、下方にある白紋は小にして、普通梨形を呈す、斜線は灰色。後翅は赤褐色、不明瞭なる暗色帯を裝ふ。開張一寸五分内外。臺灣に産すれども稀なるが如し。著者はこれを大坪にて捕獲せり。

分布—臺灣、印度。

タマホタケカレハ……………(三五二)

*Cosmotriche tamahonis* Mats.

雄、翅淡褐色。前翅後縁の中央より翅端に開口

エゾマツの害蟲にして日本松を害せず。  
分布—北海道、本州。

附言—これも亦ツガカレハに酷似すれども、形小にして、雄の生殖器及び幼蟲の色彩及び斑紋にて區別せらる。然れども成蟲の色彩及び斑紋には變化多く、大小の外、容易に區別することを

横脈上の白點は判然せず、前翅の第九及び第十脈は前縁に開口す。開張二寸二分内外。これは臺灣埔里地方に普通なり。幼蟲は松の害蟲なり。  
分布—臺灣、支那。  
附言—これは普通のマツカレハに酷似し、前翅の外縁に近き紋列の内、後縁にある三紋は一斜線上にあり。幼蟲は全く異なりて、粗に黒毛塊を有す。

セグレガータ形 雌  
*L. segregata* Bntl.



タイワンマツカレハ (三五四)  
*Dendrolimus pancratus* Wlk.



マツカレハに酷似すれども前翅は廣く、五條の濃色帯を具へ、第四室以上の各室に暗色點を裝ひ、外方三帯の間室は淡色、

マツカレハ…………… (三五五)  
*Dendrolimus spectabilis* Bntl.

雌イフアシア形 雌  
*L. bifascia* Grünh.



體翅に灰白、灰褐、淡黄褐、黄褐、暗褐等の諸色ありて一定せず。前翅の後縁線及び亜外縁線は濃色、亜外縁線の内側は灰白、横脈紋は白

色。開張二寸五分内外。これは本邦に廣く分布せる種類にして、幼蟲は有名なる日本松の害蟲なり。  
分布—日本全土、朝鮮、支那、アムール。  
附言—前翅の外縁に近き波狀線紋の内、後縁の三紋は一斜狀線上にあるを以て、ツガカレハ、エゾマツカレハ、カラフトマツカレハ等と容易に區別せらる。

ツガカレハ…………… (三五六)



*Dendrolimus superans* Bntl.  
體翅に灰色、灰褐、淡褐、淡黄褐、黄褐、暗褐等の諸色ありて一定せず。前翅の横脈紋は白色、前横線、後横線及び亜外縁線は濃色若くは黑色、其内外側は淡色。後翅に濃色の一、二帯を有するものあり。開張三寸内外。これは大形の種類にして、北海道に産せざるが如し。幼蟲はツガの害蟲にして日本松を害せざるが如し。  
分布—本州、四國、九州。  
附言—これはマツカレハに酷似すれども、外縁に近き黒紋列の内、後縁の二紋は一直線上にあるにより容易に區別せらる、但しこの三紋はマツカレハにありては一斜線上にあり。

ギンボシカレハ…………… (三五八)  
*Eriogaster brevispinis* Bntl.



前翅は黄色、後横線より外縁迄は灰色乃至灰黄色、横線は褐色、中室紋は銀色、縁毛は褐色。後翅は褐色にして、少しく紫色を帯び、中央に判然せざる濃色帯あり。開張一寸四分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、暗んで燈火に飛來す。  
分布—北海道、本州。  
附言—ザイツ氏の大蛾類二、第四十圖にあるものは誤れり。而して彼れはアルキユータ屬に掛るものなるが如し。

タイワンギンボシカレハ…………… (三五九)  
*Eriogaster catacochus* Zigr.



雌ヤボニカ形 雌  
*L. japonica* Leach  
ヒメカレハ…………… (三五七)  
*Epithemia litofolia* L.  
體翅は赤褐、灰白を帯べる部分あり。前翅の三帯は暗色、間室の中央は白色。後翅は濃色、中



ギンボシカレハに酷似すれども、前翅は赤褐、翅底及び前横線と後横線との中間は後縁にて橙黄色、横脈上の銀色紋は小形、その後端は圓く、前翅は尖る。後横線より外縁迄は灰色、少しく紫色を帯び、縁毛は亞外縁線よりも濃色なり。後翅は前翅外縁と同色なれども、少しく赤味を帯び、横帯を缺く。開張一寸三分内外。これは臺灣埔里地方に稀ならず。

〔分布〕臺灣。



ダイセンキンボシカレハ……………(三六〇)  
*Eriogaster daisenensis* Mats.  
 これはギンボシカレハに酷似するも、前翅の銀色紋は小、圓形、前方に少しく突出す、後横線は端直、中室外にて彎曲せず、亞外縁線は稍々端直、脈は地色と同色。後翅に帯を缺く。開張一寸一分—一寸四分。これ



翅に帯を缺く。開張一寸一分—一寸四分。これ

は伯耆大山にて捕獲せられたるが少なからず。

〔分布〕本州(伯耆)。

キブネキンボシカレハ……………(三六一)  
*Eriogaster kibunensis* Mats.  
 これはダイセンキンボシカレハに酷似すれども、前翅は栗色、翅底の半部は稍々淡色、銀色紋は卵形、外側にて細まり、後横線第五室にて内方に曲り、亞外縁線は少しく波状、翅端に近く内方に曲る。後翅に不明瞭なる濃色の二帯を装ふ。開張一寸一分。これは本州鞍馬貴船にて捕獲せられたるもその數少なし。

〔分布〕本州(貴船)。



タカムクキンボシカレハ……………(三六二)  
*Eriogaster takamuki* Mats.  
 ヤツガダケキンボシカレハと異なる所は、前翅前横線は銀色紋に接近し、その部分甚だしく膝状に屈折し、銀色



紋は小、卵形、外側にて細まる。後翅に濃色帯なし。開張一寸一分。これは柳河にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

〔分布〕九州(柳河)。

ヤツガダケキンボシカレハ……………(三六三)  
*Eriogaster yatsugadakeensis* Mats.  
 これはキブネキンボシカレハに酷似すれども、前翅は灰黄、翅底及び後縁にて少しく金光を放ち、脈は褐色を帯ぶ、銀紋は大、圓形、前方にて少しく細まる。後翅に濃色の二帯を装ふ。開張一寸二分。これは信州八ヶ岳にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

〔分布〕本州(信州)。



マヘキカレハ……………(三六四)  
*Estigena parvialis* Wlk.  
 雄、前翅は灰黄、眞珠様の光澤を帯び、黒鱗を散在す、横脈點は黒色、外縁に近く暗色の點紋列あれども、餘り判然せず、後縁の中央は淡黄褐。後翅は前翅よりも少しく濃色、前縁の中

尖に灰黄の大紋ありて、その内に黒色の一波状線を装ふ。開張一寸六分。これは埔里に少なからず。嗜んで燈



テウセンカレハ……………(三六五)  
 火に飛來す。



第六 鱗翅目(蛾亞目)

雌、前翅は紫褐色、前横線、後横線及び亞外縁線は暗褐、何れも波状を呈し、亞外縁線は點紋より成る。後翅も前翅と同色なれども、前縁の基半部は廣く金黄色、中央の二帯は暗褐。開張一寸一分—一寸七分。これは朝鮮釋王寺にて捕獲せられたるが、少なきが如し。

〔分布〕朝鮮。

ホソホシカレハ……………(三六六)  
*Gastropacha horisana* Mats.  
 これはハラダロカレハに酷似すれども、雄の前翅は細く、翅端にて尖り、暗色の波状線は細くして判然せず、亞外縁線は點紋より成る、後縁は黄褐、後翅の前縁は黄褐、金色の光澤あり、縁毛の末端は灰白、胸部よりも腹部淡色にして、灰黄褐、黒味を帯びず。開張一寸四分。これは埔里にて捕獲せるも少なし。



雄、前翅は黄褐、暗色の波状線あれども判然せず、横脈點及び亞外縁線は黒色、後者は點列となり、前半にて判然せず、前縁は暗褐。後翅は赤褐、前縁は廣く銅色を帯び、中央には暗色の三帯あれども判然せず。開張二寸八分。これは埔里に稀ならず。

〔分布〕臺灣、支那、印度。



ホソハホシカレハ……………(三六七)  
*Gastropacha khasiana* Swinh.  
 雄、前翅は黄褐、暗色の波状線あれども判然せず、横脈點及び亞外縁線は黒色、後者は點列となり、前半にて判然せず、前縁は暗褐。後翅は赤褐、前縁は廣く銅色を帯び、中央には暗色の三帯あれども判然せず。開張二寸八分。これは埔里に稀ならず。

〔分布〕臺灣、支那、印度。

ホシカレハ……………(三六八)  
*Gastropacha japonifolia* Esp.  
 體翅は黄色。前翅に約六條の波状線ありて、何れも暗色を呈し、相斷續せる紋列より成る、外縁の各室は少しく弓状に刻らる。後翅は稍々卵形、中央に三條の暗色帯ありて、これは前縁にて判然し、何れも點紋となる。開張二寸—二

ヤボニカ形 ♀ *T. japonica* Loebch



ケリチイフォリア形 ♀  
*T. certhifolia* Fald.



五、六室の處に灰色紋を装ふ、下唇鬚、頭及び胸背上の背線並に腹背暗色。開張一寸九分内外。これは札幌地方に稀ならず。

分布 北海道、本州、支那。

ハヒマツカレハ……………(三七一)

*Konomia pinivora* Mats.



前翅は灰色、紋線は暗褐、前横線は中央に一齒を内方に出す、後横線の外側にて中室外に當り、一鋭齒を出し、この兩線の間は暗褐、横脈紋は白色、亞外縁線は斷續し、外縁は廣く暗褐、縁毛は白色と暗色の斑をなす。後翅は

に近く黒色の一大紋を装ふ。後翅の中央に黒色の一帯ありて、前縁黄褐。翅を疊む時は枯葉の如き觀を呈す。幼蟲は半樹の葉を食す。  
分布 北海道、本州、支那、滿洲、歐洲。

ハラグロホシカレハ……………(三七〇)

*Gastropacha tsingtaica* Grünb.

ホシカレハに酷似すれども、體翅は一層暗色、前縁は黒色、五列の黒紋は列然し、中室以下翅底の一間は黄褐色、後翅の前縁は廣く黄褐、第

ナミカレハ(カレハガ)……………(三六九)

*Gastropacha querefolia* Tr.

體翅赤褐。前翅の外縁は著しく波狀に列られ、前翅に二條の黒き波狀線ありて、一は太くして外縁に近く、他は細くして中央にあり、外縁角

暗褐、中帯は淡色、其外側に一淡色線あり。開張一寸四分。これは大雪山ハイマツ間に捕獲せられたる珍種なり。  
分布 北海道(旭岳)。

オホカレハ……………(三七三)

*Lebeda nobilis* Wlk.

體翅は灰褐色。前翅に四條の灰色帯ありて、第二及び第三帯の間は暗褐、中室紋は白色、第三帯と第四帯との間は淡黄褐、翅端に近き一紋及び第四脈の中央よりの一條は淡色、後縁角に近き二紋は褐色。後翅の二帯は灰色。開張三寸七



♀



分内外。幼蟲は臺灣にては相思樹の葉を食す。  
分布 臺灣、支那、印度。

キレオビカレハ……………(三七三)

*Malacosoma interrupta* Mats.

體翅はオビカレハと同色。前翅中央の一帯は紫褐色、外縁の四分の一は少しく紫褐色を帯び、縁毛は暗色、末端及び中央にある縁毛は黄白。

♂



後翅の縁毛は紫褐色。頭紫褐色。腹部は少しく紫褐色を帯ぶ。開張一寸二分内外。これは定山溪にて發見せられたるが

稀なり。  
分布 北海道(定山溪)。

オビカレハ……………(三七四)

*Malacosoma nevadensis* Tr.

雌の體翅は赤褐、前翅中央の斜帯は淡色、其兩側は黄色。雄の體翅黄色。前翅二本の斜條及びテスタシア形

*T. testacea* Motsch.

♀



縁毛は赤褐。開張一寸三分内外。幼蟲は梅、苹果、梨、櫻、桃、柳等の葉を食す。この幼蟲を

テンマクケムシと云ふ。

分布—日本全土、朝鮮、支那、歐洲。

アリサンカレハ……………(三七五)

*Metanastria arizana* Wilem.

前翅は赤褐、外半は少しく淡色、前後の兩横線は暗褐、波状、其外縁は灰黄色にして細く縁取られ、横脈紋は白色、亞外縁線は濃色にして、紋列より成り、外側は灰色線にて堺せられ、後縁の中央に暗褐の雲状紋あり。



♀

後翅は淡赤褐、中帯は暗色。開張一寸八分内外。これは阿里山にて發見せられたるが稀なるが如し。

分布—臺灣(阿里山)。

シロホシオビカレハ……………(三七六)

*Metanastria brunnea* Wilem.

雄、體翅は暗褐。前翅は外縁の三分の一を除き天窓様様の紅褐、亞外縁線の處に灰白紋列あり。



♂

一、フラウオバリダ形 *F. flavopallida* Mats. 原種と異なる所は灰黄、横帯は暗色、翅底に近



♂

て、少しく青色を帯び、後縁にあるものは最大、外方の三紋は第一、二室にありて斜線上



♂

に、内方の五紋は第三、四、五、六、七室にありて、一斜線上に位す、中央の二帯は暗色なれども、餘り判然せず、横脈紋は白色。後翅に斑紋なし。開張二寸二分。これは埔里にて捕獲せるが少なきが如し。

分布—臺灣。

タカサゴカレハ……………(三七七)

*Metanastria formosana* Mats.

體翅に種々の色ありて、雌は灰黄、横帯は暗色、横脈紋白色にして、小、雄にては暗褐色なるもの多く、亞外縁線は紋列より成り、外方の

き中脈の下方及び外縁は廣く暗色、後翅に暗色の一帯あり。

分布—臺灣(埔里)。

二、フスコバサリス形 *f. fuscobasalis* Mats. 原種と異なる所は、前翅暗黄、翅底暗色、黄帯の



♂

餘り判然せざるにあり。

分布—臺灣(埔里)。

キクチカレハ……………(三七八)

*Metanastria kikuchi* Mats.

前翅は暗褐、前横線、後横線及び亞外縁線は橙黄色、但し前者は後縁の中心にて判然し、後者は點紋となり、其紋の周圍は赤褐、尙、翅底に近

三紋は第一、二室にありて一斜線上に、内方のものは第三、四、五室にありて、前紋と相平行す、尤もこれ等の紋の判然せざるものあり。開張二寸五分—四寸。これは埔里にて捕獲せるが餘り多からず。翅色には變化多し。

分布—臺灣(埔里)。

♀



♂

分布—臺灣(埔里)。

サイトウニス形 *f. zaitonis* Mats.

原種と異なる所は、前翅は淡褐、第七、八室に黄紋を具へ、横帯は後帯の外、餘り判然せず、前縁の中央に暗色紋を缺き、中室外に暗色部あり。これは臺灣パイバラにて捕獲せられたり。



分布—臺灣。

スカシカレハ……………(三七九)

*Metanastria subpapatunra* Butl.

日本昆虫大圖鑑

前翅は栗色、少しく紫色を帯び、灰色鱗を散在



し、中央の前後に黄色の波状線を装ひ、横脈紋は黒色後縁は基部より外横線迄黄

色の長毛を密生す。後翅は淡褐。開張二寸二分内外。これは地方的の蛾にして、樺太及び北海道に稀ならず。

分布—樺太、北海道、本州、西比利亞。

タカムクスカシカレハ……………(三八〇)

*Metanastria takamukuna* Matz.

これはスカシカレハに酷似すれども、前翅は赤褐、前横線と後横線の間は透に廣く、後横線は黄色にして、第七脈の處にてく字形に屈折し、その内側は濃色線にて縁取られ、翅端は一層鋭角をなす。開張二寸二分。これは信州八ヶ岳にて捕獲せられたり。極めて稀なるが如し。

分布—本州(信州)。

六九〇

エキセレンス形 ♀ *E. excellens* Butl.



黄色、外縁は黄褐。後翅は淡黄褐。開張二寸九分内外。札幌地方にては燈火に飛來すれども少なし。幼蟲は樺、楡、柳の葉を食す。

分布—北海道、本州、印度。

ヤマダカレハ……………(三八二)

*Metanastria yamadai* Matz.

雌雄、前翅は灰褐、翅底に近き一紋及び横脈點は黄白、中横線は濃色、其外側は淡色線にて縁

取られ、これより内側は紫色を現はし、外縁の一回は少しく淡色、亞外縁線は褐色、點紋列より成り、この紋の上方にあるものは黄鱗を混



ず、縁毛は淡色。後翅は前翅よりも少しく淡色、縁毛は淡色。開張三寸—三寸五分。これは東京地方にてクヌギの害蟲なれども、餘り多からず。

分布—本州(關東)。

リンゴカレハ……………(三八三)

*Olonestis pruni* L.

體翅は赤褐。前翅横脈上の一紋は銀白色、其内方の横線は褐色、外方の斜線は黒褐、外縁に近

第六 鱗翅目(蛾亞目)

♂



も、雌は稀なり。幼蟲は薔薇科植物の葉を食す。

分布—北海道、本州、滿洲、歐洲。

セジロカレハ……………(三八四)

*Pachyasaoides albispura* Wilem.

雄、前翅は淡紫褐色、眞珠様の光澤あり、脈は黒色、白鱗を混じ、外縁にては白色、横脈點は白色、第一室は白色、これ



色、これ

分布—臺灣(埔里)。

ナカモンカレハ……………(三八五)

*Paraloboda nagitera* Wlk.

前翅は灰褐、外縁の上半は廣く暗色、中央に於ける三角形の大紋は黒色、其外方は淡色、其後



縁を除くの外は藍灰色線にて細く縁取られ、其内縁及び外縁の兩端より同色の横線を出し、これは後縁に達す、亞外縁線は黒褐、後縁に達す

六九一

る處に黒圓紋を裝ふ、縁毛は暗色。後翅は淡灰  
褐。頭、胸及び腹は灰褐。開張二寸七分内外。  
これは臺灣に稀ならず。この幼蟲はシコロ、カ  
シハ、ドロ、シナ等の葉を食す。

分布—朝鮮、臺灣、支那、アムール、印度。

タカムクカレハ……………(三八六)

*Zelenophera lunigera* Esq.

タカムクアーナ形 〇 前翅は暗色、紋條  
は黒色と白色、横  
脈紋及び後縁は白  
色、前横線の内側  
及び後横線の外側  
は銀色を帯び、縁  
毛は暗色、白毛を  
混ず。後翅は暗  
色。觸角灰黄。頭、  
胸及び腹部黒褐。



開張一寸三分内外。これは日光地方に産するも  
稀なり。原種は樺太に産す。幼蟲はトドマツ、  
マツの葉を食す。

分布—樺太、本州。

フタスチトカリカレハ……………(三八七)

*Syrastrena minor* Moor.

雄、體翅は淡赤褐。前翅の二帯は灰白にして、  
その兩側は暗褐線に  
て縁取らる、翅端角  
を二分する暗色紋あ  
るも、餘り判然せ  
ず。後翅に帯を缺  
く。開張一寸一分。

これは埔里にて捕獲せるが稀なるが如し。  
分布—臺灣(埔里)。



ホリシヤカレハ……………(三八八)

*Syrastrenoides horishiana* Mats.

體翅紫褐色。前翅の二斜條は暗褐、外縁は一雙  
にして、中間は淡  
色、亞外縁線は波  
狀、第四室の處に  
て内方に突出し、  
第二室の處にて外  
方に突出す、横脈  
點は黒色。後翅は  
天鷲絨様の光澤を帯び、一層紫色多し。開張一  
寸四分。これは埔里にて捕獲せるが稀なるが如  
し。



分布—臺灣(埔里)。

アリサンカレハ……………(三八九)

*Takanua eximia* Wilem.

雄、前翅褐色、中央は赤味を帯び、殊に灰色の鱗  
毛を紋狀に散  
在す、横脈點  
は黒色、亞外  
縁線は波狀、  
淡色、中横線、  
後横線並に外  
縁は暗色。こ  
れはタカネカレハに酷似すれども、後翅の前縁  
に白紋を具へ、その内側に黒紋を裝ふを以て容  
易に區別し得べし。開張一寸五分。阿里山にて  
發見せられたるも稀なり。

分布—臺灣(阿里山)。



ミヤケカレハ……………(三九〇)

*Takanua*

*miyakei*

Wilem.

兩翅は暗褐、少し



く紫色を帯ぶ。前翅の前横線は黒色、これより  
翅底線灰白、此線の外側にある脈は後横線迄白  
色、亞外縁線は灰白、縁毛は暗色。後翅の中央  
に判然せざる白帯を具へ、外縁は少しく淡色、  
縁毛は暗色。開張一寸五分内外。これは樺太に  
は普通なり。幼蟲はトドマツの葉を食するが如  
し。

分布—樺太、北海道、本州。

モンクロカレハ……………(三九一)

*Metanastria (Trugama) lyrtica* Grun.

體翅は暗褐。前翅の翅底線、前横線、中横線及  
び後横線は灰白、中後の兩横線の間天鷲絨様  
の大黒紋ありて、前縁  
より第一脈  
に連し、其  
中間に黄褐  
の中室點を  
裝ふ、後横  
線の外側は  
太き褐色帯  
にて縁取ら  
れ、亞外縁



分布—臺灣、支那、印度。

キイロカレハ……………(三九二)

♀



線は黄褐、後  
縁の終點に一  
暗色點を具  
へ、縁毛は暗  
灰色。開張一  
寸四分—二寸  
四分。これは  
臺灣埔里には稀ならず。幼蟲は想思樹の葉を食  
す。

タマヌキカレハ……………(三九三)

*Trichura tamanukii* Mats.

體翅は暗色。前翅の帯は白色、外帯は點列より  
成る、縁毛は黒、  
白の斑をなし、横  
脈紋は黒色。後翅  
の中帯及び脈端の  
縁毛は白色。開張  
一寸五分。これは  
九月樺太小沼にて  
捕獲せられたる  
が、少なからざる  
が如し。



分布—樺太(小沼)。

ナカグロカレハ

*Wimalia discitheta* Wilem.

前翅は灰色、翅底、前横線と後横線の間、亜外縁線及び縁毛は暗色、後横線及び亜外縁線は、



横脈の外方に當りてく字形に屈折し、何れも後縁にて黒色となり、横脈紋は白色。後翅は暗褐色、中央に濃色の一帯あり。縁毛は兩翅共白毛を混じ、斑をなす。開張一寸三分。これは臺灣の高山地帯に少なからず。  
分布—臺灣。

五 樺蛾科 *Endromididae*

これは枯葉蛾科に酷似すれども、其異なる所は、後翅第七及び第八脈の間に翅底に近く一棒線を具へ、第一脈間の後縁の中央に開口するにあり。これは日本にては樺太に産するのみにして、未だ他に発見せられず。本邦に産するもの左の一種あり。

カバガ

*Endromis versicolor* L.

雄、前翅は淡黄褐色、紋條は黒色、前横線は縫線の處にて内方に曲り、其外側は白色、後横線は縫線の處にて内方に甚だしく彎曲し、外側は灰黄線にて縁取らる、横脈紋は弦月形、翅端に半透明の斑ありて、



雌、前翅は淡黄褐色、紋條は黒色、前横線は縫線の處にて内方に曲り、其外側は白色、後横線は縫線の處にて内方に甚だしく彎曲し、外側は灰黄線にて縁取らる、横脈紋は弦月形、翅端に半透明の斑ありて、

一斜線上に併列す、外縁脈の兩側は淡色。後翅黄褐色、二帯は黒色、中央にて外方に彎曲し、外側のものには前縁にて大紋となる。開張二寸二分。これは樺太小沼に発見せられたり。幼蟲はカバの葉を食す。  
分布—樺太、アムール、西比利亞、歐洲。

六 毒蛾科 *Lynantiridae*

口吻を缺く。脚は軟毛を密生す。觸角羽狀。後翅に抱刺を有す。前翅の内縁脈は二個、外方にあるものは甚だ短、第五脈は中室の下角に近く出づ。後翅には二個の内縁脈あり。雌は普通尾端に毛塊を裝ひ、これを以て卵塊を蓋ふ。幼蟲は疣狀突起に長毛塊を生ず。その幼蟲の毛は有毒にして、時に成蟲の鱗毛にも有毒なるものあり。本邦に産するもの百數十種あり。

ヒメシロドクガ

*Arctornis alba* Brem.

體翅雪白。前翅の中室に黒褐紋あれども、種類に依り判然せざるものあり。觸角枝は灰黄。前肢脛節の基部及び附節の基部紋は橙黄色。開張一寸一分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。  
分布—北海道、本州。



エルモンドクガ

*Arctornis lunigrum* Mill.

體翅白色、少しく黄色を帯び、天鵝絨様の光澤あり。前翅横脈は黒色、く字形をなす。觸角は淡黄色。脚に黒輪と白輪との交互斑あり。開張二寸内外。これは稀ならず。幼蟲はシナノキ、ブナ、ドロノキ、ニレ、ヤナギ等の葉を食す。  
分布—北海道、本州、朝鮮、支那、歐洲。



コウスグロドクガ

*Arca nigrifascia* Wilem.

前翅は灰黄、紋條は暗色、縁毛は少しく暗色を帯び、基線は淡色。後翅は暗黄色。觸角、



カバイロドクガ

*Arca scorus* Gey.

雄、體翅は黄褐色。前翅の前縁中央及び外縁は濃色。後翅は淡黄。觸角は白色、羽狀の小枝は暗色。腹部は淡黄褐色。脚は黄白、前肢濃色。雌、體翅は黄褐色。前翅の前縁中央及び外縁は濃色。後翅は淡黄。觸角は白色、羽狀の小枝は暗色。腹部は淡黄褐色。脚は黄白、前肢濃色。雄にては翅は灰白。開張一寸一分—一寸三分。  
分布—臺灣、支那、馬來、印度。



キアシシロドクガ

*Caragola niyanta* Wlk.

雄、體翅白色。下唇鬚、前肢、中後脛節は黄色。雌にては額、前翅の前縁及び翅端の少しく暗色を帯ぶることあり。前



翅網様の光澤を帯び、鱗毛の隆起により三條の斜線を現はす。開張一寸二分—一寸四分内外。これは臺灣に産する普通種なり。  
分布—臺灣、支那、印度。  
附言—この屬は *Leucoma* に酷似するも、後脛節に一双の距を有するを以て容易に區別し得べし。

クロアシシロドクガ.....(四〇一)

*Caragaha sericea* Moor.

體翅は白色。前翅に不明瞭の黄色點を散在し、



縦脈の末端は黄色、縁毛は脈の終點にて黄色。後翅には黄色點少なく、縁毛は脈の終點にて黄色。觸角は不明瞭にして、廣

白色、羽狀枝灰色。下唇鬚黒色、下面白色。脚白色、脛節及び跗節は暗色、後脛節灰黄、其末端及び距は暗色。開張一寸三分内外。これは埔里地方に産するも少なし。  
分布—臺灣、印度。

ブタウドクガ.....(四〇二)

*Olfana eurydice* Butl.

雌雄、前翅は暗緑色、紋線は黒色。後翅は黒色、雌にては外縁は灰白、縁毛は灰黄、少しく緑色を帯ぶ。頭、胸部暗緑色、腹部黒色。後胸背に



黒毛あり。開張一寸六分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲は葡萄の害蟲なり。  
分布—北海道、本州。

マメドクガ.....(四〇三)

コンフーサ形 雌

*Olfana loeuples*

*F. confusa* Freeman.

Wk.



雄の體翅は黄色。前翅底外縁に近き一廣帯並びに腎狀紋は黄褐。雌にては黄褐乃至暗褐、斑紋は濃色。開張一寸五分—一寸七分。幼蟲は大豆、蕎、

ウツギ等の葉を食す。

分布—北海道、本州、朝鮮、印度。

ネジロドクガ.....(四〇四)

*Dasychira albiavasis* Mats.

雄、前翅灰色、紋線は暗色、翅底の大紋は白色、これに三條の暗色帯ありて、その外側にく字形の太き前横線を裝ひ、中横線は細く波狀、横脈點は白色、その下方の一圓は暗色、後横線は波狀、その内外は灰白線にて縁取られ、その外方の一圓は暗色、亞外縁線は白色、波狀、その外側に暗色の波狀線あり、縁毛は灰色と暗色の斑をなす。後翅は暗色、縁毛は灰色。下唇鬚と咽喉は黒色、胸部灰白。腹部一寸二分。これは花蓮港にて捕獲せられたり。  
分布—臺灣(花蓮港)。



カドバリドクガ.....(四〇五)

*Dasychira angulosa* Hampé.

雄、前翅は灰黄、横線は不明、環狀紋は暗色、



直上の前縁に同様の暗色紋あり、腎狀紋は稍々クローバ形、後横線は一双、雌にては判然し、雄にては不明瞭にして、廣まる、外縁の紋列の内第六、七室にあるものは大。後翅は暗色、前縁及び中央は淡色、雌にては廣き外縁線あり。開張一寸二分—二寸。これは埔里にて捕獲せられたるが稀なり。  
分布—臺灣、印度。

アラカハドクガ.....(四〇六)

*Dasychira arakawa* Mats.

リンゴドクガに酷似すれども、前翅の中央は少しく暗色を呈し、斑紋は判然せざれども、横脈紋及び其外側の一短斜線は黒色、翅底線、各横線は細くして判然す。後翅は暗色、縁毛灰白にして、黒紋を缺く。下唇鬚の末端及び下面白色。頭、胸及び腹は



灰白。後胸背の毛塊及び尾節の掃狀毛は暗色を帯ぶ。開張一寸内外。これは伊豫にて捕獲せら

れたるが少なし。  
分布—四國。

ウスイロドクガ.....(四〇七)

*Dasychira atomaria* Mats.



雌、前翅灰白、多数の暗灰色の鱗毛ありて帯狀となり、亞底線は暗色、前縁にて判然、中横線は傾斜し、横脈紋は大、淡色、その外側に暗色帯あり、後横線は白

バイバラドクガ.....(四〇八)

*Dasychira baharana* Mats.

雌、前翅は栗色、外縁の三分の一は淡色、底部



に黒線線を具へ、細形となりて前横線に達す、前横線は波狀、暗色中室外にて外方に曲り、中脈の下にて更に内方に曲り、後縁に達す、中央に近く灰白帯ありて、これは廣くなりて後縁に達し、その内に半卵形の灰褐紋を裝ふ。後翅は淡灰色、中帯は暗色、判然せず。開張一寸三分。これは埔里にて捕獲せられたり。  
分布—臺灣。

シタキドクガ.....(四〇九)

*Dasychira etrinella* Mats.

カギキシタドクガに酷似すれども、その異なる所は、前翅は暗褐、緑色部少なく、前横線は一双、廣く分離し、外方のもは第六、七脈の處にて甚だしく突出し、亞外縁は暗



色、細く、波状を呈し、第七室にて内方に甚だしく突出す、縁毛は基部にて暗色線を貫通す。後翅にては後帯一層太し。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せられたるも少なし。  
分布—臺灣。

スズキドクガ

*Dasychira conjuncta* Wilem.

前翅は暗色、紋線は黒色、一対の前横線間に灰白の細線あり、波状線は灰色、横脈内方に弦月形の内紋あり、前縁及び第一室の中央に白鱗多く、外縁は灰黄と暗色の斑をなす。後翅は暗色、縁毛は灰色、少しく暗色毛を混ず。觸角暗褐、羽状葉褐。頭及び胸は灰褐。後胸暗褐、灰白鱗を混ず。腹部暗色。開張一寸四分内外。これは京都地方に産すれども少なし。



分布—本州。

テウセンドクガ

*Dasychira coreana* Mats.

前翅は灰緑色、腎状紋大、其兩側及び中央の縦線は暗色、前横線及び中横線は濃色、亜外縁線は甚だ高き犬牙状をなす、外縁線は黒色、高きスカラブを列ぬ。後翅は橙黄色、横脈紋及び亜外縁線上の列紋は黒色、縁毛は黄色と暗色の斑をなす。下唇鬚、頭及び前胸背は黄色。中後胸背は灰緑色。腹部は後翅と同色。開張二寸内外。これは京都にて捕獲せられたるも少なし。  
分布—本州。



ヒラヤマドクガ

*Dasychira hawayanae* Mats.

雌、前翅暗灰色、翅底及び前縁は白色、中室の基部に黒紋を具へ、中横線は一対、外方のものは高き波状、後縁にて廣く分離す、腎状紋は長く、中央は白色、横脈紋の内側は白色、後横線は一対、波状、外方のものは後角の處にて白線

前翅灰色、少しく黄緑を帯び、翅底の三分の一は少しく褐色を呈す、亜底線及び前横線は黒色、何れも一対、後者は前縁下にて膝状を呈し、その外側に白紋あり、横脈紋及びその兩側の短線は黒色、後横線は一対、外縁線は黒紋より成る、後横線と亜外縁との中間に波状の白線ありて、第二、三及び第四室には黒紋を裝ふ。後翅は灰色、横脈紋及び帯は暗色。開張一寸五分。これは朝鮮水原にて捕獲せられたり。

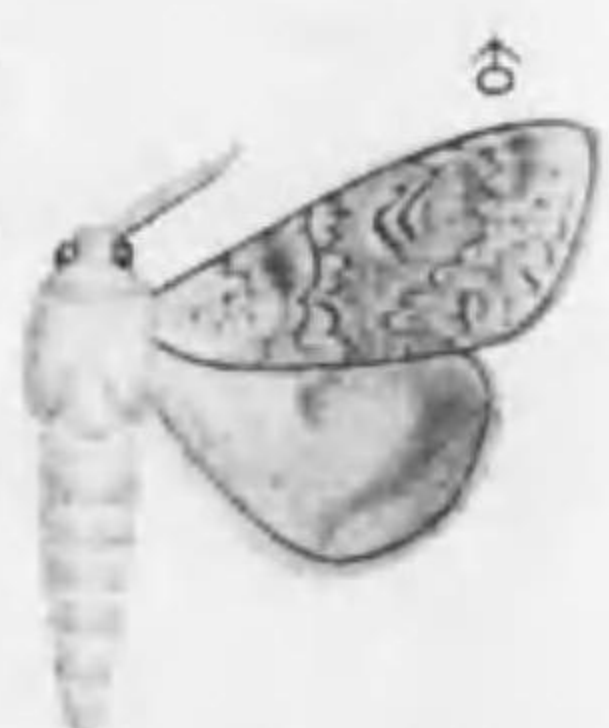


分布—朝鮮。

アヲドクガ

*Dasychira cyanea* Mats.

雄、前翅暗褐、緑色を帯ぶ、亜底線は緑色、内側は黒線にて縁取らる、前横線は緑色、波状、前縁の近くにて切れ、外縁は暗色線にて縁取



分布—本州、東京。

ホリシヤヒメドクガ

*Dasychira horishanohu* Mats.

雌、前翅は暗灰色、翅底の三分の一は灰白、三條の中帯ありて、内方のものは中央にて不明、外方のものは波状、断続す、腎状紋は長く、末端尖る、後横線は一対、波状、その外側に断続せる白帯ありて、波状をなす、後横線の外側に當り前縁に大なる白紋を裝ふ。後翅は暗灰色、脈は暗色。開張一寸二分。これは埔里にて捕獲せられたり。  
分布—臺灣。

られ、前横線の外側に當り、前縁に一線紋を具へ、腎状紋は暗色、後横線は暗色、一対、波状、外方のものは縦脈の處にて突出す、後横線の外側に當り、前縁に卵形の大暗色紋あり、亜外縁は黒色、一対、内方のものは点紋となり、外方のものは弦月形紋より成る、縁毛に暗色の斑あり。後翅は暗色。開張一寸二分—一寸五分。これは埔里にて捕獲せられたり。稀ならず。  
分布—臺灣。

カラフトドクガ

*Dasychira fasciata* Ir.

雄、翅は暗色。前翅の前横線及び後横線は黒色、何れも前半部にて判然と、全面に渡りて黒色鱗を散在し、前線には白鱗多し、外縁は黒色、後横線の外方に當り、前縁に一黒紋あり。後翅は絹様の光澤を帯ぶ。前後翅共に光線の工合により、少しく赤味を帯ぶ。開張一寸五分。これは北樺太に産するも少なきが如し。  
分布—樺太、西比利亞、歐洲。



カギキシタドクガ

*Dasychira kengina* Mats.

雌、前翅は暗緑、亜底線は暗色、波状、前横線は廣く、波状、後横線は一対、細く、波状、外方のものは縦脈の處にて高く突出す、腎状紋は黒色、中央に緑色鱗あり、前縁に灰白紋を列ぬ、亜外縁は黒色、波状、稍々弦月紋の連続なり。後翅は橙黄色、横脈紋と亜外縁帯は暗色、縁毛は橙黄色。開張一寸八分。これは嘉義にて捕獲せられたるが稀なり。  
分布—臺灣。

キバラドクガ

*Dasychira kalarae* Mats.

これはホリシヤヒメドクガに酷似すれども、その異なる所は、雄前翅は廣く、少しく紫色を帯び、中室の基部に暗色紋を具へ、前横線は一対、波状、中室の處にて切斷せられ、中横線は





高き波状、縫線の處にて折れ、腎状紋は長く暗色、横脈の下方に白点あり、後横線は波状、一、二室にて切斷せられ、白線にて縁取らる。後翅は橙黄色、横脈點、翅端及び外縁は暗色。開張一寸三分一寸九分。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布—臺灣。

キクチドクガ

*Dasychira kikuchii* Mats.



雌、前翅灰色、黒紋を具へ、前縁には約十個の小紋を装ひ、亞底線は點紋となり、中室の基部に二紋あり、前縁は波状、横脈紋は白色、兩側に黒線あり、後横線は一、二、内方のもは太し、亞外縁線は高き波状、下方にて點紋とな

り、縁毛は白色、黒點を列ぬ。後翅は暗灰色、外縁は暗色、縁毛は白色、黒點を列ぬ。開張一寸七分。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布—臺灣。

アカヒゲドクガ

*Dasychira lanulata* Butl.



雄、前翅暗灰色にして、縁色を帯び、横線餘りの楕圓形紋は餘り判然せず。開張一寸六分内外。これは燈火に飛來するも少なし。

分布—樺太、北海道、本州、滿洲。

ナチキシタドクガ

*Dasychira nachiensis* Mar.

雌、前翅暗灰色にして、縁色を帯び、横線餘り判然せず、前横線及び後横線は波状、前縁にて

その外側に白紋あり、亞外縁線は犬牙状を呈し、外縁線は直線となり、横脈紋は腎臓形、縁毛に暗色紋を列ぬ。後翅は黒褐、縁毛は黄褐。雌、キシタミドリドクガに酷似すれども、その



異なる所は、前翅の前縁の上方は稍々端直、後縁角は狭く、外縁線は端直にして、第六室に於てのみ深く内方に彎曲す(キシタミドリドクガにては各室にて何れも内方に彎曲す)、後翅の外縁に近き暗色紋の内、中央にあるものは肛角紋と分離し、外縁に近き縦脈は黒色ならず。開張一寸三分一寸八分。これは本州に産するも少なし。

分布—本州。

シタグロドクガ

*Dasychira postfusca* Swinh.



雌、前翅は灰色、紋條は暗色、横脈紋は黒色、前縁の基部に近く半圓形紋を具へ、中横線は波状、後半にて判然す、後横線は一、二、大牙状を呈し、外側のもは前縁に於てのみ判然す前縁の外側には二、白紋を具へ、亞外縁線は第四脈迄波状、以下紋點となる。後翅は暗色、横脈紋、後横線及び外縁線は黒色、縁毛は灰白。雌にては前翅の半圓形紋は二紋となり、横脈紋は灰色、弦月形、内側は細く黒色。開張一寸五分一寸二分。これは埔里に稀なら

分布—臺灣、印度。

スキドクガ

*Dasychira pseudo-albictis* Butl.

雄、前翅は灰褐若くは黒褐、翅底は中脈上にて廣く、く字形に兩回屈折す、前横線黒色、その外側に當り前縁に一暗色紋を具へ、中横線黒色、弓状に彎曲し、横脈紋は黒色、その外側に白點あり、後横線は細く、波状、後縁にて中横線に



近接す、亞外縁線は灰白、その内側は暗色線にて縁取らる、外縁は黒色、縁毛は暗灰色、暗色紋を列ぬるも判然せず。後翅は暗色、横脈紋は少しく濃色、縁毛は縦脈端にて少しく淡色。雌は灰色、紋條は暗色。開張一寸四分一二

す。幼蟲は杉の害蟲なり。分布—北海道、本州。



雌、前翅灰白、全

リンゴドクガ

*Dasychira pudibunda* L.



面に小黒點を密布す、紋條黒色。後翅白色、時に暗色を呈するものあり。雄の前翅灰白、斑紋及び帶條は暗色、中央の一圓暗色なるものあり。開張一寸七分内外。幼蟲は率樹の害蟲なり。

分布—北海道、本州、支那、西比利亞、歐洲。

カラフトマツドクガ

*Dasychira sachalinensis* Mats.

雌、前翅は灰白、紋條は黒色、翅底線は波状を呈し、判然す、前横線は外方に彎曲し、後縁に



て二本となり、その内側にe字形紋あり、横脈紋は新月形、後横線は波状、亜外縁線はスカラフ状を呈し、第一室のものは太く、其外側は灰白、縁毛に黒紋を列ぬ。後翅は暗色、縁毛の黒紋列は判然せず。雌にては灰色、亜底線は中脈上にて判然し、外方に斜走す、前横線は副前縁の處にて外方に屈折す、横線はく字形、二線より成り、下方は黒色。後横線は一、内方のものは細く、外方のものは太く、何れも外側は灰白線にて縁取らる、亜外縁線は暗色、縁毛に黒紋を列ぬ。後翅は灰白、縁毛に暗色紋を缺き、横脈紋は判然せず。開張一寸四分—一寸八分。これは樟太に稀ならず。

分布—樟太(一の澤)。

サイトウヒメドクガ……………(四二六)

*Dasyleira satouella* Mats.



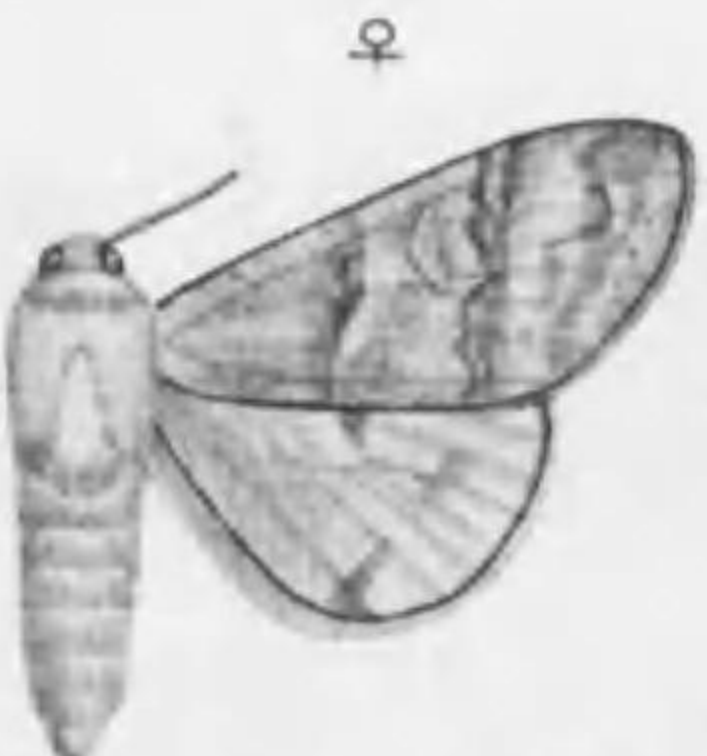
雄、前翅灰色、外縁の内方暗灰色、横線は暗色、相平行し、内方に少しく曲る、前横線の内側に當り前縁に暗色紋ありて、中脈下に當り外方に大なる暗色紋

を装ふ、横脈紋は暗灰色、周囲は黒色、後横線の外側は白線にて縁取らる、外縁線は黒點より成る、縁毛は灰色と暗色の斑をなす。後翅は暗灰色、縁毛は淡灰色。開張一寸四分。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布—臺灣。

サイトウドクガ……………(四二七)

*Dasyleira zatonis* Mats.



雌、前翅灰色、横線は暗色、前横線は亜前縁の處にて膝状に折れ、縫線の處にて内方に曲り、後縁に達す、横脈紋は淡色、内側は暗色線にて界せられ、後横線は一、波状、前縁にて廣く、亜外縁線は紋列となり、外側は白線にて縁取られ、外縁は廣く暗色。後翅は白色、横脈紋、後帯及び外縁線は黒色。開張二寸八分。これは埔里にて捕獲せられたる珍種なり。

分布—臺灣。

シタキドクガ……………(四二八)

*Dasyleira sasakii* Mats.



前翅は暗灰色、翅底及び外縁の三分の一は淡色、紋線は暗色、中室にては前横線の外方一圓及び前縁に白鱗多く、縁毛は灰黄と暗灰色との斑をなす。後翅は暗褐、翅底及び内縁は廣く黄褐、横脈は暗色、縁毛は灰白。觸角黄褐。下唇黒色、其末端及び下面灰白。頭、胸及び腹部は灰白。腹部は少しく黄色を帯び、第一節に暗色毛塊あり。附節に黒紋を列ぬ。開張一寸六分内外。これは京都地方に産するもその數少ない。

分布—本州(京都、吉野)。

タイワンツマジロドクガ……………(四二九)

*Dasyleira taiwanensis* Mats.

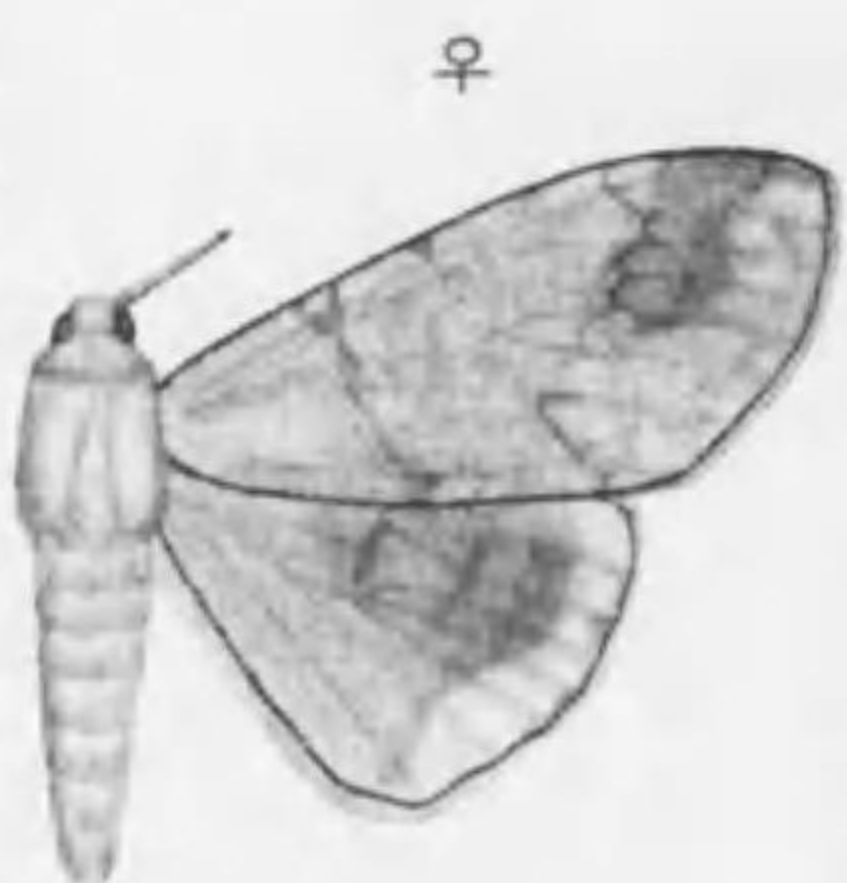


雄、前翅は灰白、亜底線は大牙状を呈し、暗色、前横線は前縁にて大なる暗色紋に終る、横脈の内側に黒色の弦月紋ありて、その外側は白色、後横線は一、波状、亜外縁は甚だしく波状を呈す。後翅は暗灰色、後横線及び横脈紋は暗色、雌にては横線は判然せず、但し後横線は多少判然せり。開張一寸四分—二寸二分。これは埔里地方に稀ならず。



タカムクオホドクガ……………(四三〇)

*Dasyleira takamukuanu* Mats.



雌、前翅は灰白、横線は暗色、前横線は傾斜し、前縁及び後縁にて一、波状となり、横脈の上方に一黒點を具へ、後横線は波状、中央にて紋列となり、後角前の後縁に開口す、後横線の外側に暗黄の大紋を具へ、

第六 鱗翅目(蝶亞目)

ウスジロドクガ……………(四三一)

*Dasyleira virginia Oberth.*



前翅の末端に一暗色點あり。後翅は暗灰色、前縁、外縁及び縁毛は白色。開張二寸二分。これは埔里にて捕獲せられたれども稀なり。

分布—本州、浦鹽。

ムラサキドクガ……………(四三二)

*Dokuga purpurascens* Mats.

雌、前翅の三分の一は灰色にして、少しく紫色を帯ぶ、翅底三分の二に黄色、黒色、青色及び灰



アリカンマイマイ……………(四三三)

*Dura alba* Moor.



兩翅は白色、光線の工合に依り少しく紫色を帯ぶ。前翅前縁の外半及び外縁にある點紋は黒色。後翅の外縁に近く一暗色帯あり。下唇黄白色、外側黒色。觸角黄褐。體白色。開張一寸八分内外。これは臺灣阿里山にて捕獲せるが稀なるが如し。

分布—臺灣、印度。

カドキドクガ

*Euproctis angulata* Mats. (四三四)

これはクロボシキドクガに酷似すれども、その異なる所は次の如し。



前翅は一層長く、暗色の中横線を具へ、その両側は淡色線にて縁取られ、後横線は暗色、不明、縫線の處にて切れ、亜外線の處に五黒紋を列ぬ。後翅は橙黄色、外縁の方向に向つて淡色となる。開張一寸一分。これは新高トンボにて捕獲せられたるも稀なり。

分布—臺灣。

バイバラキドクガ

*Euproctis baharana* Mats. (四三五)



これは埔里にて発見せられたるが稀なり。

雄、前翅灰黄、少しく紫色を帯び、前縁、翅端、外縁、後角を除ける一面に黒鱗を散在す、後縁にある有柄の鱗毛は暗色を帯ぶ。後翅は灰白、少しく紫色を帯ぶ。開張七分五厘。



外縁は白色。開張七分五厘。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布—臺灣。

チビキドクガ

*Euproctis albatana* Mats. (四四〇)

これはフタオビドクガに酷似するも、其異なる所は、前翅に淡横線を缺き、裏面に前縁の基部に細き暗色線を具へ、後翅の第三、四脈は長柄を有するにあり。開張六分五厘。これは函子嶺にて捕獲せられたるが稀なるが如し。



分布—臺灣。

チャドクガ

*Euproctis conspersa* Butl. (四四一)

前翅は黒褐、不明なる黄帯を具へ、前縁及び外縁は黄色、前縁角に近き二紋は黒色。後翅は暗

分布—臺灣。

フタモンドクガ

*Euproctis bimaculata* Wk. (四三六)



ルーツェンス形。雌。體翅白色。前翅の横脈上に黒點を具へ、尾端に橙黄色の毛塊を簇生す。この變形には頭、胸及び前翅に少しく黄色を帯びたるものあり。開張一寸五分内外。臺灣に産すれども、餘り多からず。

分布—臺灣、印度。

ダンダラキドクガ

*Euproctis bipunctipex* Hamp. (四三七)



雌。体翅は暗褐。前翅の前縁、前角並に後角上方の一紋は橙黄色、前角に二、三の黒點を裝ひ、前後の兩横線は濃色、縁毛は橙黄色、暗色部にあるものは暗色。後翅は前翅よりも濃色、縁毛は橙黄色。觸角、頭及び胸背は橙黄色、縁毛は多少黄色。前胸背は黄色。中後胸背及び腹背に黒毛を有す。腹面及び脚は黄色。

雄の前翅橙黄色、中央部に多数の黒褐鱗を散布し、前後兩横線黄白。後翅は前翅よりも少しく濃色、縁毛淡色。開張一寸内外。これは北海道に産せざるも、東京地方には普通なり。幼蟲は茶の害虫として知らる。



分布—本州、九州、臺灣。

テウセンキドクガ

*Euproctis covana* Mats. (四四二)

雄、前翅は褐黄、第二室の基部に暗色の鱗毛を散在す。後翅は前翅と同色、後縁にて白色となる。開張八分半。これは朝鮮釋玉寺にて発見せられたり。



分布—臺灣、印度。

色。腹部暗色、基部は少しく黄色を帯ぶ。雌。暗色、前翅兩角は廣く黄色、前角の二點黒色。後翅暗色、外縁は廣く黄色。頭胸黄色。尾端黄褐。開張一寸内外。これは臺灣に稀ならず。幼蟲は茶及び柑橘の害虫なり。

ナカオビキドクガ

*Euproctis entrolascea* Mats. (四三八)



雌。體翅は淡き橙黄色、前翅の前横線は黒鱗より成る不明瞭帯によつて代表せられ、後横線は前横線と稍々同様なれども一層判然し、前縁三分の二の處より後縁の中央に向ふ、尙、第五、七室に黒紋あり。觸角は灰黄。腹部は少しく褐色を帯ぶ。開張九分内外。埔里に産すれども稀なり。

分布—臺灣。

ナカウスキドクガ

*Euproctis entropallida* Mats. (四三九)

雄。前翅は暗黄、暗色鱗を散在す、縦脈は主として黄色、中室外の同紋、前縁端に近き點及び

クロボシキドクガ

*Euproctis croceola* Zandt (四四三)



前翅は鮮黄色、中横線は暗褐、其兩側は淡色線にて縁取られ、内側の後縁に接したる所に一褐色紋を具へ、

分布—臺灣。

ナミドクガ(ドクガ)

*Euproctis flava* Isem. (四四四)

雌。體翅は黄色。雄にては前翅の中央に弓狀の白帯を具へ、其内側に褐色の小點より成れる太き一帯あり。後翅は前翅よりも淡色。雌にては白帯を缺き、外縁に近く二褐色を裝ふ。開張一寸二分—一寸五分。これは有名なる



毒蛾にして、その鱗毛皮肌に接觸すれば疼痛を生ず。幼蟲は種々の果樹及び林木の葉を食す。  
分布—本州、四國、九州、朝鮮、西比利亞、ウズリ。

キオビドクガ (ホシドクガ)……………(四四五)

*Euproctis flavivata* Wlk.



體翅黄色。前翅前後の兩横線は褐色。後翅は黄白。觸角は白色、羽狀枝は灰色。尾端の毛塊は橙黄色。開張一寸内外。これは京都地方に産するも少なし。  
分布—本州。

シロモンウスグロドクガ……………(四四六)

*Euproctis inornata* Wilem.

雌、體翅暗灰色。前翅の横脈紋は暗色、その下方に暗色帯ありて、淡色の縦脈により遮断せらる、外縁に沿ひ黄白紋を列ね、第三室にこれを缺く、縁毛黄、白の斑をなし、全面に黒褐の鱗紋を散在す。後翅の外縁(廣く)及び縁毛は黄白横脈紋は暗色なれども、前翅の如く判然せず。

♀



(恒春)

ヘリホシキドクガ……………(四四七)

*Euproctis insulata* Wilem.

前翅は灰黄褐、少しく紫色を帯び、暗褐鱗を密布す、横脈紋は黄色、其周圍に黒鱗多く、外縁は黄色、五乃至七個の黒紋を横列す、外縁の三分の一の處に紫褐色の一條あり。後翅は黄白、中央部に少しく暗色を帯ぶ。頭淡褐、胸背赤褐。腹部淡色、尾端の毛塊黄色。雌、前翅の外縁は濃色、尾端の毛塊は黄褐。開張一寸八分内外。これは函子嶺にて捕獲せられたるが少な

からず。  
分布—臺灣。

カンシキドクガ……………(四四八)

*Euproctis kanshireia* Wilem.



♀

前翅は淡黄、暗褐鱗を散布(外縁を除き)し、前縁の部分は灰色を帯び、前後の兩横線は黄色、前横線の前方に暗褐鱗を有する灰色帯を具へ、後横線の外側に灰色帯を裝ひ、翅端の一紋は黑色、其上下に更に一黒點あり。後翅は暗色、外縁白色。頭、胸及び腹部淡黄、尾端の毛塊橙黄色、其前二節は暗褐。開張一寸二分内外。これは臺灣には稀ならず。  
分布—臺灣。

コウシユンキドクガ……………(四四九)

*Euproctis kosshimensis* Mats.



♂

チャドクガに酷似すれども、前翅前横線の内方は翅底を除き黒鱗を密生し、後横線の兩側にも黒鱗多く、

*Ea. roctis nigricauda* Mats.



♀

ハラグロシロドクガ……………(四五二)

*Euproctis nigricauda* Mats.

雌、前翅は白色、翅底の後縁にて少しく灰黄色を帯び、中央には灰黄線あれども判然せず。後翅は白色、縁毛は純白にして、網様の光澤を帯ぶ。腹部は基部の二節を除き暗色、兩側にて灰色を帯ぶ。開張一寸二分。これは臺灣埔里にて捕獲せられたり。  
分布—臺灣(埔里)。



♀

ヤグロキドクガ……………(四五三)



♀

體翅淡黄色。雄前翅の後縁に暗色の半月紋ありて其内に淡黄の小横紋を散在す。雌にては黒褐鱗毛を散在し、中室の一紋は黑色。雄の後翅は灰白、斑紋黒褐、外縁黄色。開張一寸内外。これは臺灣埔里にて捕獲せられたるが稀ならず。  
分布—臺灣。

此兩線の間は中脈下にありて、遙かに狭く、中脈上に黒鱗を缺く、外縁は廣く橙黄色、第二、五及び七室に黒點を裝ふ。後翅は前翅よりも濃色、縁毛淡色。觸角灰黄。開張八分五厘内外。これは恒春地方に捕獲せられたるも稀なるが如し。  
分布—臺灣。

ヒロオビキドクガ……………(四五一)

*Ea. roctis latifascia* Wlk.

スイシャリヨウニス形。♂ 體翅は黄白。前翅の中央に近き廣帯は黄色、其兩側は白色。頭及び胸部は黄色。腹部は暗色、尾端の毛塊は橙黄色、基部は稍々白色を帯ぶ。觸角の羽狀枝は黄褐。開張一寸内外。臺灣にては餘り多からず。



分布—臺灣、印度。

ウスグロドクガ……………(四五二)

*Euproctis magna* Swinh.

雌、體翅暗灰色。前翅の外縁は黄白、第五及び第七室の末端に各一黒紋あり、縁毛黄白、黒褐の

微科植物の害蟲なり。

分布 本州、朝鮮、支那。

オキナハキドクガ

*Euproctis okinawana* Mats.



前翅は黄色、翅底の四分の三は前縁を除き暗灰色、黒鱗を散在す。後翅は前翅よりも少しく淡色。觸角黄白、羽状枝灰黄。頭胸は前翅と、腹部は後翅と同色。開張九分内外。これは那覇にて發見せられたるも稀なるが如し。

分布 沖縄。

キドクガ

*Euproctis pulveria* Oberth.



體翅黄色。前翅の中央に近く暗色の大紋を裝ひ、その内に黒紋を散在し、外縁に近く二、三の黒鱗を具ふ。後翅は淡黄色、翅底の大半は暗灰色。開張一寸乃至一寸三分。これは燈火に飛來すれども前より多からず。

カドキドクガに酷似するも、その異なる所は次の如し。雌、翅の中横線は廣き黒色、これは前縁にて消失し、後横線は第五脈下にて判然し、第一室にて一室となる、第五及び第七室に一黒紋あり、後翅は前翅よりも淡色、外縁の方に向つて淡色ならず。開張一寸三分。これは沖縄にて發見せられたり。

ウスオビキドクガ

*Euproctis pygmaea* Wlk.



體翅は黄色。前翅、中室外側の一圓、前縁の基部及び帯状の中紋等は濃色。後翅は淡色。開張一寸内外。臺北地方に産すれども稀なり。

分布 臺灣、印度。

ゴマフキドクガ

*Euproctis pulvera* Leach



前翅は橙黄色、前縁及び外縁を除き褐色の鱗毛を散在し、後縁角に近く少しく鉛色の鱗毛あり。後翅は淡黄色。觸角橙黄色、羽状枝は灰黄。頭胸部は前翅と、腹部は後翅と同色。開張一寸内外。これは四國、九州には稀ならず。

分布 本州、四國、九州、朝鮮。

サカグチキドクガ

*Euproctis sakaguchii* Mats.

シラキキドクガ

*Euproctis shirakii* Mats.



雌、體翅は黄色。前翅の各種線及び外縁線は黄白。後翅は黄白。觸角は白色、羽状枝は灰色、尾端の毛塊は橙黄色。開張九分内外。臺灣に稀ならざる種類にして、幼蟲は茶、柑橘等の害蟲なり。

分布 臺灣、支那、印度。

分布 臺灣。

フタバシキドクガ

*Euproctis standingeri* Leach



兩翅黄色。前翅基部の大紋及び外縁に近き波状帯褐色（此部に黒鱗を散在す）、横脈紋は暗色。觸角灰黄。頭、胸及び腹部は黄褐。腹部の最終三節は紫褐色、尾端に橙黄色の毛塊を裝ふ。開張一寸五分内外。これは京都地方に産するも餘り多からず。

分布 本州。

タイワンキドクガ

*Euproctis taiwanensis* Shir.



雌、前翅は黄色、斑紋を欠く。後翅は黄白、觸角、頭、胸及び腹部は黄白。裏面及び體下は稍々白色。雌は前翅黄白、前縁濃色。開張九分内外。幼蟲は柑橘、茶、茶の害蟲なり。

分布 臺灣。

タマホキドクガ

*Euproctis tamahonae* Mats.



雌、兩翅は絹様の白色。腹部は白色。觸角は黄褐、基部は白色。下唇體の中央に黒紋あり。前腹節の内側に黒縦線を裝ふ。開張一寸三分。これは新高タマホにて捕獲せられたるが稀なり。

分布 臺灣。

ヒトオビキドクガ

*Euproctis nufusca* Wlsm.



體翅は黄色。前翅の後横線は褐色、其兩側は白線にて縁取らる。後翅は淡色、時に暗色を帯びたるものあり。開張七分内外。埔里に於ては四月頃捕獲し得べしと雖も稀なり。

分布 臺灣。

フタオビキドクガ

*Euproctis varians* Wlk.

キアシドクガ

*Ivela auripis* Partl.



體翅は淡き灰白。前翅端は灰白、天鰐絨様の光澤を有す。後翅外縁の一部は少しく灰色を帯ぶ。觸角は白色、羽状の小枝は黒色。脚は白色。前肢の脛節、跗節並に中後の兩跗節は橙黄色。開張一寸二分—一寸六分。これは餘り稀ならず。燈火に飛來す。幼蟲はミヅキの葉を食す。

分布 北海道、本州。

ダイセツドクガ.....(四六七)

*Konohareha daisetsuzana* Mite.

雌、前翅は灰色、紋線は暗色、翅底の一枚は判然  
す。前横線は中央太く、後縁にて細く、後縁は  
広く暗色、後横線は中  
室外にて廣く彎曲し、  
その外側は灰白、その  
外側の前縁に一暗色紋  
ありて、これより後縁  
に判然せざる亞外縁線  
を送る、横脈紋は弦月  
形、後縁角の内側にも暗色紋を装ふ。後翅は灰  
色、外縁は廣く暗色、開張一寸三分。これは大  
雪山北嶺岳にて發見せられたり。  
分布—北海道。



附言—これは枯葉蛾として發表せられたるも、  
毒蛾なればここに編入す。

ステドクガ.....(四六八)

*Laelia coccinea* Hb.

雄、體翅は灰褐。前翅の外縁に近く三四個の黒  
紋を横列す。後翅は灰白。腹部に灰白毛を装  
ふ。肢は黄色。觸角は羽狀、各枝に灰色の微毛  
を有す。雌灰白、光澤を缺き、觸角は白色、羽



色。脚灰色、前脛節の下  
面黒色。開張一寸内外。  
これは埔里にて捕獲せ  
られたるが稀なり。  
分布—臺灣。

ヤマトステドクガ.....(四七二)

*Laelia japonibia* Strand



體翅は灰褐。雄、前翅  
の横脈點は黒色、雌に  
ては横脈上に四黒紋を  
横列す、縁毛は縦脈の  
末端にて暗色。開張一  
寸二分—一寸四分。こ  
れは本州に産するも稀  
なり。  
分布—本州。

アカツステドクガ.....(四七三)

*Laelia striata* Wilem.

雄前翅は灰褐、脈、中室並に各室の縦線は白  
色、外縁に近き點列は黒色、縁毛白色、少しく  
紫色を帯ぶ。後翅及び腹部は汚白色。頭及び胸  
は白色、少しく紫褐色を帯び、觸角間に赤色の

パウシブシクダガ

*L. paucipuncta* Strand



狀枝は黒色。開張一寸  
一分—一寸三分。これ  
は牧草に寄生す。時に  
大害を加ふることあ  
り、これには變化多  
し。  
分布—北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐  
洲。

ギガンテア形 〇 *L. gigantea* Burt.

これは大形にして、  
前翅に斑紋を缺き、  
觸角の羽狀枝は長  
し。



キガシラスゲドクガ.....(四六九)

*Laelia devexita* Wk.

前翅は淡黄白、前縁は少しく  
濃色、外縁に近き點列は黒  
色。後翅は前翅より淡色。頭  
及び頸板黄色。胸及び腹は淡  
黄白。脚黄色。開張一寸内



部分あり、下脛節  
の上面淡褐、黒色  
の部分あり、下面  
赤褐。雌の體翅は  
暗灰色。開張一寸  
三分内外。これは  
臺灣兩子嶺にて捕  
獲せるが稀なり。  
分布—臺灣。

スズキウスイロドクガ.....(四七四)

*Laelia suzuki* Mats.



前翅は淡灰黄、後翅は灰  
白、兩翅共斑紋を缺き、  
光澤を有せず。觸角灰  
黄。頭及び胸背は淡灰  
黄。腹部灰白。開張一寸  
三分内外。これは京都に  
て捕獲せられたるが稀なり。  
分布—本州。

チチブシロドクガ.....(四七五)

*Leucoana chichibense* Mats.

體翅は白色。兩翅は絹様の光澤を帯び、光線の

外。これは臺灣埔里地方にて捕獲せるが餘り多  
からず。  
分布—臺灣、印度。

ホリシヤウスグロドクガ.....(四七〇)

*Laelia exclamatoris* Kohl.



體翅暗褐。前翅の  
横脈は灰黄、其兩  
側は黒線にて堺せら  
れ、第一乃至第七室に  
各一黒點ありて、第二、  
四室のものは内方に、  
第三、五、六、七室に  
あるものは外方にあり  
て、何れも一直線上に位す。後翅は前翅よりも  
一層暗色。これは埔里に稀ならず。  
分布—臺灣、支那、印度。

タイワンスチドクガ.....(四七一)

*Laelia formosana* Mats.

體翅は灰黄。前翅の横脈紋は暗色、外縁に近く  
七黒紋あり。後翅は前翅よりも少しく淡色。  
觸角は白色、羽狀枝の基部は黒色、基部に黄毛  
あり。下脛節の基部は黒色。腹部は後翅と同



正合に依り紅様の色彩  
を放つ、半透明。觸角  
白色、羽狀枝灰黄。頭  
及び下脛節の上面は淡  
黄白、後者の下面白  
色。脚白色、前基節の外側に一黒紋を装ふ。開  
張一寸一分内外。これは秩父にて捕獲せられた  
るが稀なり。  
分布—本州。

マヘキシロドクガ.....(四七六)

*Leucoana flavescens* Mats.



雄、前翅は絹様の白色、少しく紫色を帯び、前  
縁にて細く橙黄色、  
脈は多くは緑色、横  
脈點は黒色、縁毛は  
翅端に近く暗色を帯  
ぶ。後翅は前翅と同  
色、翅端の縁毛は暗

スカシドクガ.....(四七七)

色を帯びず。開張一寸。これは埔里にて發見せ  
られたるが稀なるが如し。  
分布—臺灣。

*Leucoma eyna* Moor.

雌雄、體翅白色。絹様の光澤を帯ぶ。前翅の横脈紋は黒色、これは雌にては一層判然せり、前縁の外半は少しく灰黄を帯ぶ。下唇鬚は褐色、



前翅の二紋及び觸角間は褐色。脚に黒紋を散在す。これは何れの地方にも少なからず。

分布 本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

ドキドクガ……………(四七八)



*Leucoma*  
*hoii* Mats.

雌、前翅黄褐色、絹様の光澤を帯び、前縁及び後縁にて濃色。後翅

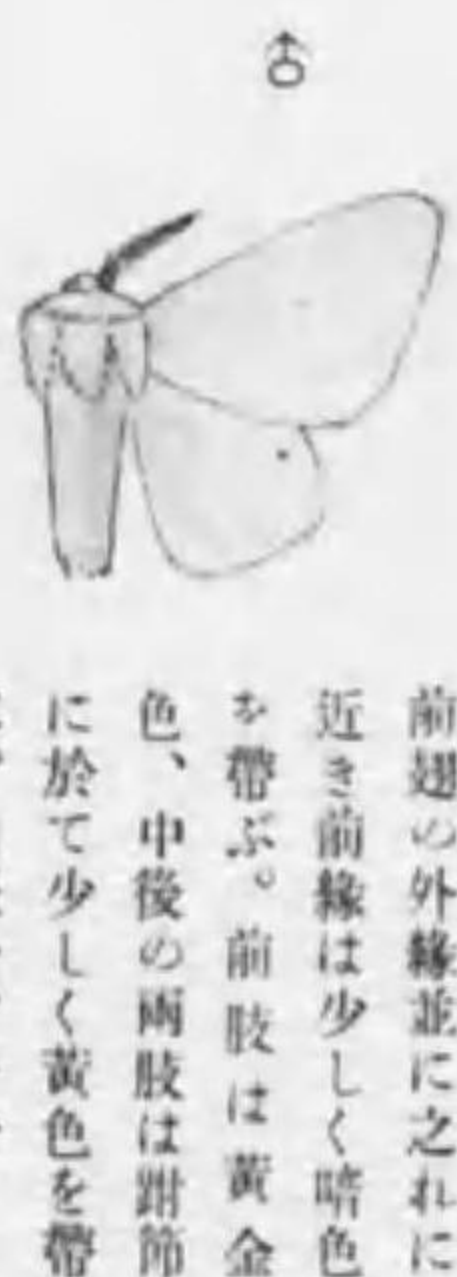
は白色、絹様の光澤を帯ぶ。開張一寸四分。これは北海道利尻島にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

分布 北海道(利尻)。

附言—これはヤナギドクガに酷似すれども、その異なる所は、觸角は灰色、その枝は細く、末端は次第に尖り、前方に向つて狭き鋭角をなし、後翅の六、七脈は一層長き共有脈より出づるにあり。

ヒメキアシドクガ……………(四七九)

*Leucoma ochropoda* Evors.



翅は光澤ある雪白色。前翅の外縁並に之れに近き前縁は少しく暗色を帯ぶ。前肢は黄褐色、中後の兩肢は附節に於て少しく黄色を帯ぶ。開張一寸一分。これも燈火に飛來する普通種なり。

分布 北海道、島須利、西比利亞。

ヤナギドクガ……………(四八〇)

*Zalophina salixis* T.

七二二

カンチダ形 雌 *L. candida* Zigr.



體翅白色、絹様の光澤を有し、腹部は多少黒味を帯ぶ。脛節及び附節に黒環あり。雄の觸角は黒褐、雌にては灰褐。下唇鬚は黒色。開張一寸四分—一寸七分。これは燈火に飛來する普通種にして、幼蟲は柳、白楊の害蟲なり。

分布 樺太、北海道、本州、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。



ガラスドクガ……………(四八一)

*Leucoma*  
*subvirens* Wk.

前翅白色、殆んど鱗毛を缺き、其代りに毛狀鱗を具へ、翅膜

キハラマイマイ……………(四八五)

*Lymantaria eucolor* Wk.

雌、前翅は灰白、少しく赤味を帯び、紋條は黒色。後翅は赤味を帯びず、紋條は暗色、外縁の紋列は黒色。胸背は灰黄褐、斑紋は黒色。腹部は黄色、黒紋の



三列あり。開張二寸六分。これは埔里にて捕獲せるも少なし。

分布 臺灣。

マイマイガ……………(四八六)

*Lymantaria dispar* T.

雌は灰黄白。前翅のく字形紋及び其内方の圓紋は黒褐、波狀線は暗色。兩翅の外縁の紋列は黒褐。雄は暗灰色、斑紋は濃色。開張二寸四分内外。幼蟲はプランコケムシ若くはハンノケム

スキゲンドクガ……………(四八二)

*Leucoma sutigense* Mats.

これはチチブドクガに似たれども、その異なる所は、下唇鬚及び頭頂は橙黄色、前者は下方、後者は前方にて白色、脚は白色、前、中の附節は橙黄輪を有し、前脛節は内方にて同じく橙黄色、距の末端は黒色を帯びず。開張九分内外。これは朝鮮水原にて捕獲せるが少なし。

分布 朝鮮。

アヲモリマイマイ……………(四八三)

*Lymantaria aomoriensis* Mats.

雄、前翅は灰白、紋條は暗褐、横脈上のく字形紋



第六 鱗翅目(蛾亞目)

ヤボニカ形 ♀ *L. japonica* Motsch.



シと稱し、殆んど總ての果樹を食害す。雄は施轉して飛翔するを以てマイマイガの名あり。何れの地方にも普通なれども、餘り燈火に飛來せず。  
分布—世界共通。



ハラアカ  
マイマイ  
……(四八七)  
*Lynantria furva furvula* Butler.  
體翅灰色。  
前翅に約三

條の波狀線ありて、一は三分の一の處を斜走し、その外側は灰白、中央にあるものは横脈の處にて判然し、その外方の一圓は灰白、外縁に接する斜線は判然し、外縁に七個の黒紋を列ぬ。後翅は暗黄、外縁に近く暗色帯あり。腹部暗黄、尾端の二節は淡紅色。開張二寸二分。これは東京地方に普通なり。幼蟲は杉の害蟲なり。  
分布—本州(東京)、四國、九州。

ウチジロマイマイ……(四八八)

*Lynantria (Oenaria) furva* Leech

體翅は暗色。前翅第四及び五室の濃色紋は判然せず、後縁は少しく白色を帯び、黒紋を有すれども、判然せず、雌にては前翅の底線、中横線、後横線等は判然せず、第四乃至六室の弦月形紋は暗色。後翅暗色、雌にては少しく淡色。開張一寸内外。これは京都地方にて捕獲せられたるが、少なし。幼蟲はビヤクシンの葉を食す。  
分布—本州、四國、支那。



生することあり。幼蟲は松杉科の害蟲にして、札幌地方にありては落葉松に大害あり。  
分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、西比利亞、歐洲。



あり。幼蟲は榊斗科植物の害蟲なり。  
分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、滿洲、印度。  
ノンノマイマイ……(四九一)  
*Lynantria nonoela* L.

前翅白色、黒色の紋條を具へ、犬牙狀の四帯ありて、第三帯は最も太し。後翅は灰色、外縁は暗色。前後兩翅の縁毛は白色と黒色の斑をなす。開張一寸六分—一寸八分。これは時に大發



タイワンマイマイ……(四九三)  
*Lynantria nebulosa* Wilem.

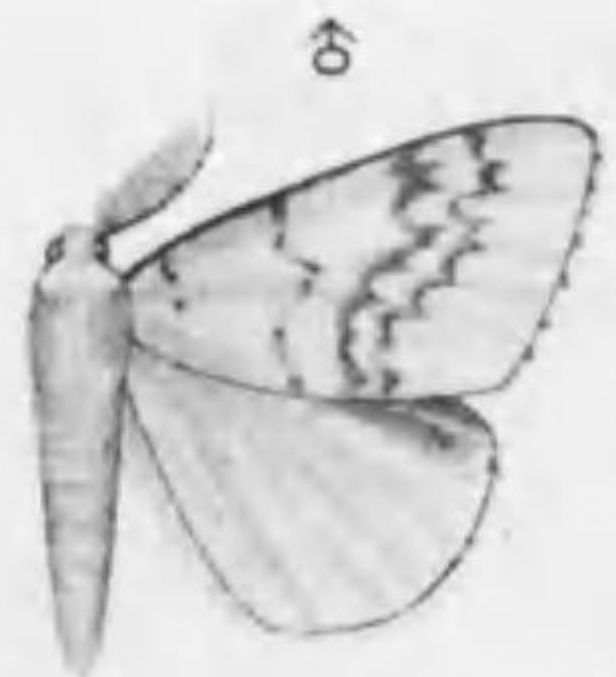
體翅は灰白、斑紋は暗色。前翅の横脈紋は弦月形にして、



黒色、中央灰白、外縁の紋列は黒色。後翅は灰色、外縁は濃色。前頭の一紋は暗色。眼の後方に紅色毛あり。開張二寸内外。これは埔里に産するも稀なり。  
分布—臺灣。

ホリシヤマイマイ……(四八九)

*Lynantria horishanella* Mats.



これはサカゲチマイマイに酷似すれども、其異なる所は、前翅前縁の基部に紅色紋を具へ、前横線は紋列となり、前縁は黒紋にて終り、後横線は一雙、遙に廣く、中横線及び亞外縁を缺き、後翅は白色、後縁の外、黄色を帯びず。開張一寸五分。これは埔里にて捕獲せられたるが稀なるが如し。  
分布—臺灣。

カシハマイマイ……(四九〇)

*Lynantria nathura* Moor.

雌の前翅は灰白、翅底の二帯、前縁の四紋、中央にある一二の波狀線、外縁にある一帯並に外縁の紋列は暗褐。後翅は淡紅、外縁に近く暗色の一帯を具へ、中室點は暗色、雄の前翅は暗灰色、暗色の紋條多し。後翅は暗黄、中室に暗色紋と外縁に暗色帯を裝ふ。開張九分—二寸。これは北海道に普通にして、時に大發生すること



ノブナガマイマイ……(四九三)  
*Lynantria nobunagai* Nag.

雌雄、體翅は淡灰褐、前翅中央の斜帯は暗褐、横脈紋は暗色、縁毛は暗色と淡灰褐の斑をなす。後翅に斑紋を缺く。頭板は紅色。腹部の基部は淡紅色、尾端は暗褐。脚黒色。開張二寸六分内外。これは岐阜地方に産するも少なし。幼蟲はサカキの葉を食す。  
分布—本州。

ウスアカマイマイ……(四九四)

*Lynantria rosella* Mats.

雌、前翅は暗灰色、紋條は暗色、約六條の波狀線ありて、外縁室にあるものは紋狀となり、横脈上に三紋ありて、三角形に排列す、尙中室に





も一紋あり、外縁は少しく赤味を帯び、縁毛に黒紋を列ぬ。後翅は淡き桃色、外縁に近く一暗色帯あり。開張一寸四分。これは花蓮港にて捕獲せられたるも稀なり。

分布—臺灣(花蓮港)。

サカグチマイマイ *Lynantria sakaguchii* Mats. (四九五)

*Lynantria sakaguchii* Mats.



前翅は灰白、横線は暗色、底部に二黒點を具へ、その一紋は前縁にあり、前横線は波状、前縁にて廣まる、中横線は最も太く、外縁の紋は黒色、横脈紋は暗色。後翅は灰白、少しく灰黄を帯び、前縁は廣く暗色。開張九分一寸五分。これは沖縄にて捕獲せるが、少なきが如し。分布—沖縄。

ヒバラマイマイ *Lynantria serva* K. (Coloclela Wlk.) (四九六)

*Lynantria serva* K. (Coloclela Wlk.)

前翅は灰色、紋は黒色、黒鱗を散在す、横線は波状にして、前横線の内方に五紋を列ぬ、翅底にも三紋あり、中横線は太く、後半にて判然す、後横線は二條より成り、細く、犬牙状を呈イリス形。分布—臺灣。



し、外方縁の外側は淡色、亜外縁線は太し、但し雌にありては中横線を缺く。後翅は灰色、外縁は廣く暗灰色。雌にては腹部紅色、背線及び腹面は黒色。開張一寸七分—二寸三分。これは臺灣に産するも餘り多からず。

分布—臺灣、支那、印度。

ネグロマイマイ *Lynantria umbrifera* Wilm. (四九七)

*Lynantria umbrifera* Wilm.

前翅は灰色、翅底及び中央より少しく内方の部分は暗色、横線、横脈紋及び中室點は黒色、外縁の脈間に黒點を連ぬ。後翅は暗色、外縁は一層濃色にして、黒紋を裝ふ。頭、胸及び腹部は灰色。後者の兩側に紅色毛を裝ふ。開張一寸三分内外。これは臺北地方に産するも少なし。分布—臺灣。



マヘグロマイマイ *Lynantria xylina* Swinh. (四九八)

*Lynantria xylina* Swinh.

前翅は灰白。前翅底の二點は黒色、前縁三分の

シロオビトクガ *Numenius disparilis* Stgr. (五〇一)

*Numenius disparilis* Stgr.

雌、體翅は黒褐。前翅横帯は黄白、外縁に近き又狀帶黄色、後翅は橙黄色、黒褐の三紋を裝ふ、腹部は橙黄色、前肢は黒褐、中後の兩肢は黄色。雄にては全部黒色、前翅に一白帯を斜走す。開張一寸七分—二寸五分内外。これ



ハヤシイ形 *L. hayashii* Mats.

*L. hayashii* Mats.

開張一寸七分—二寸五分内外。これ



ニゲリロスタ形 *L. nigricosta* Mats. (四九九)

分布—臺灣。

メダマイマイ *Medama lasimentatum* Mats. (四九九)

*Medama lasimentatum* Mats.

前翅暗灰色、翅底に大なる同形の黒紋あり、その周圍は灰白、前横線は暗色、細く、前縁にて三角形紋となる、横脈紋は灰白、その中央に暗色紋あり、後横線は斜走し、波状、その外側は灰黄線にて縁取らる、第六、七室に跨りて黒色の六紋あり、亜外縁線は灰黄、その内



第六 鱗翅目(蛾亞目)



分布—臺灣。

トンボキトクガ *Metoprocotis tonponis* Mats. (五〇〇)

*Metoprocotis tonponis* Mats.

雌、前翅は淡黄、少しく暗色鱗を散在す。後翅も同様の暗色鱗あれども、殊に肛角の近くに多し。開張九分。これは新高タマホにて捕獲せられたるが稀なるが如し。



は関東にて捕獲せられたるが稀なるが如し。  
分布—本州(静岡、鹽原)。

マタオビドクガ.....(五〇二)

*Numenes jatrana* Moore.



雄、前翅は白色、斑紋は赤褐、翅底に一紋を具へ、その外方の前縁に一紋を装ひ、中室にY字形帯ありて、その前縁にある帯の基部より外縁の中央に向つて一斜線を送る。後翅淡黄色、前角に近き大紋は暗褐、頭及び胸は赤褐、腹部黄色。雌の前翅は淡紫褐色、紋は暗色の中央に黒紋を缺き、前横線及び後横線は灰白、後翅は二黒紋あり。後翅

の肛角に近く三黒紋を横列す。開張一寸六分—二寸一分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。  
分布—臺灣、印度。

タカムクキシタドクガ.....(五〇三)

*Numenes takamukui* Mats.



雌、前翅黄白、六黒紋ありて、第一は翅底、第二は後縁にて四角形をなして膨大し、第三、四はその外方にありて、第三は外方に斜傾し、第五紋は前縁の翅端に近く位し、他は外縁にありて紡錘状をなす。後翅は橙黄、中央の下方に一黒紋を装ふ。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せられたり。  
分布—臺灣。

モンキウスグロドクガ.....(五〇四)

*Olene (Dasycheira) inelusa* Wk.

前翅は暗褐、紋は濃色なれども、餘り判然せず、腎状紋は灰黄、亞外縁線は黒紋より成り、タロワンドクガ.....(五〇六)  
*Olene (Dasycheira) tarowanensis* Mats.



雌、前翅灰色、褐色を帯ぶ、副前縁脈は暗色を帯び、中脈の基部に黒紋ありて、その内に褐鱗を具へ、その外圍は白色、前横線は暗色、細く、波状、外側は白線にて縁取らる、後横線は

分布—臺灣。

カバモンドクガ.....(五〇七)

*Orgyia antiqua* Lr.

前翅は黄褐、前翅の前後両横線は暗色、後縁角



各紋の外側は淡色、縁毛は暗色と灰黄の斑をなす。後翅は前翅よりも少しく淡色、外縁に近く濃色帯あれども、餘り判然せず、縁毛の基線は灰黄。



雌、前翅は赤褐、斑紋黄色及び白色。後縁角に黄色部あり。後翅黒褐。雌は暗黒、翅は退化し、腹部大なり。札幌地方に普通なり。開張一寸二分内外。幼蟲は俗にツノケムシと稱し、苹樹、梨、櫻、梅、李其他種々の果樹を害す。

分布—臺灣、支那、印度。

ミカンドクガ.....(五〇五)

*Olene (Dasycheira) mendosa* Hb.

雄、體翅褐色。前翅の前半は灰白、少しく青味を帯び、前縁紋は暗色、後縁の基部に近く褐色の地色は列られ、第二室の處に灰白點あり、外縁に近き紋列は暗褐。後翅は灰色、外縁は暗色。雌にては前翅細長、翅底の四分の一は中脈



に近き半月形紋は白色、其外側は暗色線にて縁取られ、横脈上のく字形紋は褐色、縁毛は少しく濃色、脈の終點に淡色鱗あり。後翅の縁毛は淡色。觸角及び體は灰褐。開張九分内外。これは樺太に産するも、その數少なし。幼蟲は柳の葉を食す。

分布—樺太、滿洲、歐洲。

アカモンドクガ.....(五〇八)

*Orgyia konosigma* K.

雄の前翅は赤褐、斑紋黄色及び白色。後縁角に黄色部あり。後翅黒褐。雌は暗黒、翅は退化し、腹部大なり。札幌地方に普通なり。開張一寸二分内外。幼蟲は俗にツノケムシと稱し、苹樹、梨、櫻、梅、李其他種々の果樹を害す。

分布—北海道、本州、朝鮮、西比利亞、歐洲。

コシロモンドクガ.....(五〇九)

*Orgyia postica* Wk.

分布—臺灣、支那、印度。



は多からず。  
分布—臺灣(臺北)。



下にて暗色、前縁の三分の二の處にある二短線及び第五脈上の一縦條、翅底よりの一縦條并に外縁線は黒褐。開張一寸三分—一寸七分内外。これには變化多し。幼蟲は柑橘、桑、茄の葉を食す。

分布—臺灣、支那、印度。

フォルモサーナ形 ♂ *L. formosana* Mats.

前翅は褐色、翅底に黒褐の圓形紋ありて、前縁にて開口し、中央は赤褐、中央及び外縁にも赤褐の部分あり、翅端の點紋は黒褐。これは多からず。

兩翅は黄褐乃至暗褐。前翅の紋條は暗色、中横線の外側に灰白帯あり。後縁の翅端には灰白紋



を具へ、縁毛は灰黄と暗色の斑をなす。後翅は前翅より濃色。開張九分内外。これは臺灣に普通なり。幼蟲は茶、柑橘の害虫にして、時に禾本科植物をも害す。

分布—臺灣、支那、印度。

ヒメシロモンドクガ.....(五二〇)

*Orgyia thyolina* Butler



雄暗褐。前翅後縁及び翅底黄褐、前縁角に近く黒褐紋あり、後縁角の眼状紋は黒褐、周圍白色外縁の波状線黒褐、其内側及び縁毛は黄褐。雌の體翅灰黄、前縁近くの長楕圓紋黒褐、翅底及び後縁角に帯藍小褐紋を散在す。翅の退化せるものは胸骨に暗黒毛多し。開張一寸四分内外。幼蟲は



色、頭胸汚橙色。頭板は少しく暗色を帯ぶ。腹部灰白、尾端の三分の一は暗色。開張一寸六分内外。これは恒春、新竹、兩子嶺に發見せられたるも餘り多からず。

分布—臺灣。

スキバドクガ.....(五二五)

*Perina nuda* F.

雄、前翅は透明、第一室の基部は黒色、脈は灰色。後翅は黒色、翅端は透明。觸角暗灰色。頭、胸下、前肢の腿節並に尾端は橙黄。體黒色。前胸背灰白。脚灰黄。雌、黄白、前翅に褐色鱗を散在す。觸角灰黄。頭、胸下及び前肢の腿節淡黄。體灰黄。前胸背灰色。脚灰黄。開張



♀



第六 鱗翅目(蛾亞目)

萃樹、梨、其他の果樹を食害す。

分布—北海道、本州。

シロアシアトジロドクガ.....(五二一)

*Pantana albipes* Mats.



前翅は暗灰色、半透明、横脈紋は灰白、第二、三及び四室の基部に各一暗色紋を裝ふ。後翅は白色、半透明。後肢の跗節は白色。觸角灰色、羽狀枝暗色。下唇鬚橙黄色。頭胸灰色、後者の基部は灰白。後肢の脛節及び跗節白色。開張一寸一分内外。これは埔里にて捕獲せられたるも稀なり。

分布—臺灣。

ウスバウスグロドクガ.....(五二二)

*Pantana infusata* Mats.



兩翅は暗灰色、半透明。前翅中脈下方の紋列は濃色。後翅は前翅よりも稍々淡色なり。下唇鬚黄色。頭、胸及び腹部は暗灰色。觸角灰色、羽狀枝暗褐。開張一寸一分。これは臺灣に稀ならず。幼蟲は一寸六分内外。これは臺灣に稀ならず。幼蟲は榕樹の害虫なり。

分布—臺灣、支那、印度。

ツマジロドクガ.....(五二六)

*Pida apicalis* Wlk.



雄、前翅は暗褐、少しく營色を帯ぶ、翅端は黄白、横脈紋は灰色、新月形、兩側は暗色、前横線は灰白、く字形に外方に折る、後横線は淡色、波狀、後縁に近く灰白、後縁角は淡色、後横線の外側に暗色の圓紋あり。後翅は淡黄、内側に暗色の大紋あり。體は褐色。腹部は暗色、尾端は黄色。開張一寸五分。これは三月埔里に捕獲せらる。

分布—臺灣、印度。

オホシンドクガ.....(五二七)

*Pida decolorata* Wlk.

體翅は灰白。前翅の三紋は灰褐、横脈紋は暗

の標本は埔里にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

分布—臺灣。

モンアトジロドクガ.....(五二三)

*Pantana seritopunctata* Mats.



アトジロドクガに酷似すれども、前翅は灰色、褐色を帯びず、中脈直下に當り第一乃至第四室の基部に暗色紋を具へ、後縁及び翅底は淡色、少しく黄色を帯ぶ。後翅は白色、少しく灰色を帯び、翅脈は細し。下唇鬚は一層長くして黄色。開張一寸三分内外。これは臺灣埔里にて發見せられたるも、稀なるが如し。

分布—臺灣。

ヨツモンアトジロドクガ.....(五二四)

*Pantana simplex* Leech

前翅は淡き灰黄、後縁は黄色を帯び、中室の下方に暗色紋列あり。後翅は白色、外縁に黄色鱗を散在し、縁毛は少しく黄色を帯び、其縁は黄



マツクロイサ形 ♀ *E. maculosa* Mats.

色、其下方に小黄褐斑を密在し、前縁角に黒褐紋を裝ふ。後翅は白色。腹部は少しく黄色を帯ぶ。開張二寸三分内外。これは臺灣に産するも稀なり。

分布—臺灣。

ツマジロドクガ.....(五二八)

*Pida postalis* Wlk.



♀

雌、前翅は灰褐、黒鱗を散在し、前角の大紋は淡黄白、中室外側の半圓紋は白色。後翅は白色、内縁に暗色毛あり。頭、胸は赤褐。下唇鬚は黒色。下面黄褐。腹部黒色、各節後縁は白色、尾端の

毛塊黄色。開張一寸七分。これは埔里地方に産するも少なし。

分布—臺灣。

キシモフリドクガ *Pida strigipennis* Moor. (五二九)

雌雄、前翅黄白、前横線及び後横線は灰白、その内側に暗色のく



字形線ありて、點紋より成る、横脈紋上に二黒點あり、翅底(中脈下)は白色、これは白色の縫線に連続す、黒紋は細線より成り、脈は黄色なる爲め網目状をなす。後翅は黄色、肛角の近くに二個の暗色紋あり。開張一寸二分—一寸八分。これは埔里に産するも少なし。

分布—臺灣、印度。

アトモンキドクガ *Porthesia endoplaga* Hamp. (五三〇)

雄、體翅黄白。前翅第一室(1a)に暗褐色の短かき二横線ありて、その外側に同色の一點を裝ひ、

開張九分内外。これは新社地方に稀ならず。分布—臺灣、印度。

モンシロドクガ *Porthesia similis* Fuess. (五三五)

體翅白色。前翅に後翅と相接する所に相隔離して二個の暗色紋を有することあり。雌は尾端に橙黄色の毛塊を有す。開張一寸一分—一寸六分。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はヤンケムシと稱し、薔薇科植物の害蟲にして、時に桑にも大害を加ふることあり。



分布—北海道、本州。

トラサントクガ *Porthesia torasana* Holl. (五三六)

前翅は橙黄色、雄にては中室外に褐色鱗を圓形に排列す、尙、その下方に判然せざる褐色帯あり、



但しこれ等の紋の判然せざるものあり。後翅は



分布—臺灣。

ウスベニシロドクガ *Porthesia formosicola* Mats. (五三一)

雌、前翅は白色、少しく灰黄を帯び、暗色鱗を散在す。後翅は白色、少しく紅色を帯ぶ。觸角は灰黄、基節は白色。開張一寸—一寸一分。これは埔里、花蓮港にて捕獲せられたるが稀ならず。

分布—臺灣。

ムラサキオビドクガ *Porthesia purpurea* fasciata Wilm. (五三二)



雄、前翅は橙黄色、紋條は紫褐色、黒褐の鱗紋を散在す、中帯は前縁にて廣く、

暗褐、外縁及び縁毛は前翅と同色。體は後翅よりも少しく淡色。開張九分内外。これは伯耆大山に稀ならず。分布—本州。

ウチダドクガ *Porthesia uchidai* Mats. (五三七)

雌、タイワンキドクガに酷似すれども、その異なる所は次の如し。前翅は少しく淡色、暗色及び褐色の鱗毛を混じ、後縁に暗色の紡錘状をなせる鱗毛を裝ふ。後翅は白色、少しく黄色を帯ぶ。開張一寸。これは新高イバホにて捕獲せられたり。分布—臺灣(新高)。



分布—臺灣(新高)。

カンシヨドクガ *Pasalis (Dasyclitra) pennatula* F. (五三八)

前翅は灰黄、中脈以下は暗灰色、中室より翅端に達する劍狀線は黄白、縁毛は暗灰色、末端は灰黄。後翅は白色。觸角及び頭胸は灰黄。肩板及び後胸背の毛塊は暗灰色。腹部白色。雌は前

中央にて弧形に溢る、亞外縁線の處に紋列ありて、第二及び第五室にこれを缺く、尙翅底にも二紋あり。後翅は黄白。開張一寸内外。これは埔里にて捕獲せるが稀ならず。分布—臺灣。

リウキウドクガ *Porthesia pinkiana* Mats. (五三三)

雄、前翅は黄色、橙赤色の鱗毛を散在し、横脈の處に紅色鱗を裝ふ。後翅は淡黄、少しく紫色を帯ぶ。裏面は白色、前翅の前縁は黄色。開張五分五厘。これは沖繩にて捕獲せられたり。分布—沖繩。



分布—沖繩。

ヘリミツモンドクガ *Porthesia scintillans* Wk. (五三四)

リンパテラ形 雌 兩翅は褐色。前翅には暗褐鱗毛を散在し、外縁の三紋は橙黄色。後翅は暗色、外縁は黄色。觸角淡灰黄。體褐色、尾端の毛塊橙黄色。體下及び脚は黄白。



分布—臺灣、支那、印度、澳洲。



翅第一室に暗色の二紋を縦列し、後縁は灰黄、内縁に近く暗色の一縦紋あり。開張一寸四分内外。これは臺灣に普通なる種類にして、幼蟲は甘蔗の害蟲なり。分布—臺灣、支那、印度、澳洲。

モモドクガ *Pseudotyrna dasyclitroides* Strand (五三九)

雄、體翅暗褐、紋條は暗色、翅底に二黒條を具へ、その外側に黄褐の圓紋ありて黒圈を有す、



その外側は暗色を帯び、前横線は波狀、後横線

は大牙状、何れも一対にして、判然せず、横脈紋は新月形、灰黄、その外側及び第二室に淡色紋あり。後翅は暗褐。雌にては灰色、紋條は黒色、翅底に楕圓の黒紋ありて、その周囲にも少しく離れて楕圓環あり、後横線は一対、甚だしく大牙状をなす。後翅は灰白。開張一寸二分―一寸七分。この幼蟲は桃の葉を食す。臺灣には少なからず。

分布—臺灣。

ホソシロドクガ

*Pterodes hololeuca* Hamp.

(五三〇)



雌  
體翅は白色、絹様の光澤あり。前翅の前縁及び基部は少しく汚黄色を帯ぶ。肩板は黄色。腹部白色。肢は汚白色、跗節は黒色、前中兩肢の脛節には黒鱗を混ず。開張一寸一分内外。これは阿里山にて捕獲せるが少なきが如し。

分布—臺灣、印度。

アトジロドクガ

*Stoma yamata* Hb.

(五三一)



♂  
分布—本州、支那。

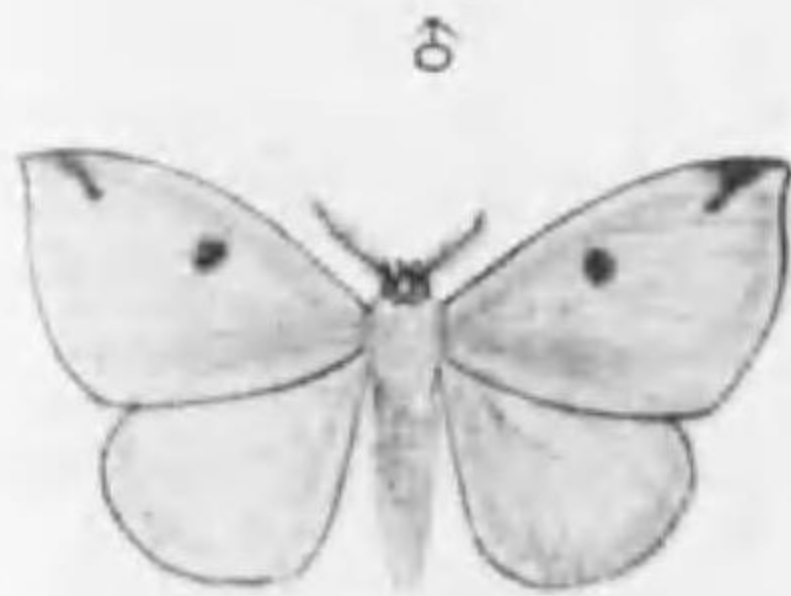
アンブラ形 *Anpura* Wk.

體翅は厚弱。前翅の前半は淡褐、翅端の一圓は稍暗色、後半及び後翅は白色、半透明。體は暗褐。脚は淡褐。開張一寸二分内外。これは燈火に飛來するも少なし。北海道には産せざるが如し。

ニハトコドクガ

*Topomesoides jonasii* Butl.

(五三二)



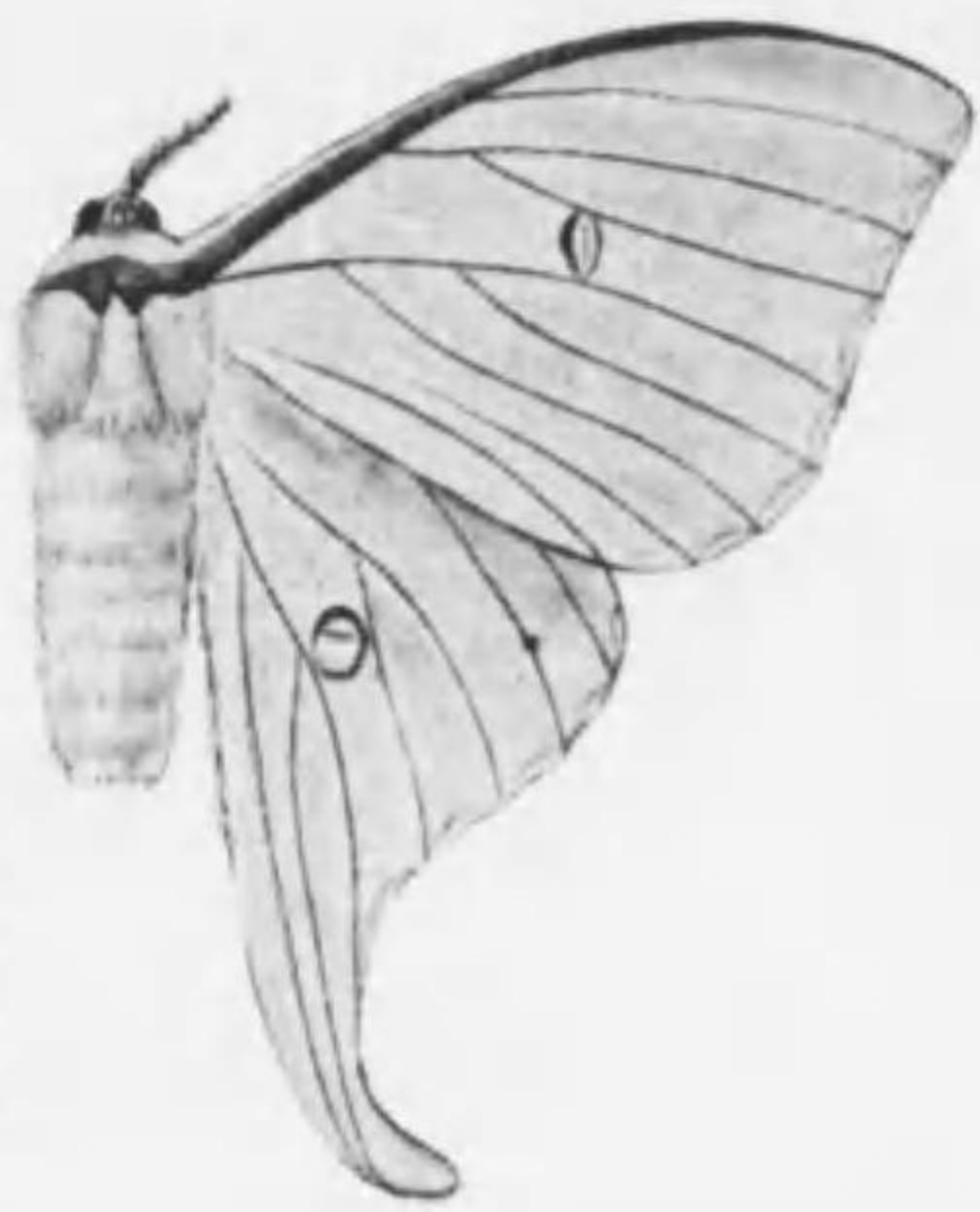
♂  
體翅は淡黄、前翅中央の圓紋及び前縁の翅端に近き管線紋は褐色。頭、體下及び脚は少しく褐色を帯ぶ。開張一寸二分内外。これは地方的に多き種類なるも北海道には産せず。幼

七 天燈蛾科 *Y. autumniferae*

口吻を缺く。下唇鬚は小。觸角は羽状、雌にてはその枝短小。脚に軟毛を密生し、距を缺く。前翅には一内縁脈を具へ、基部にて分支す、中室を缺くものあり、第五脈は第六脈より分支して出て、第十乃至第十一脈を缺き、翅端は突出し、時に鎌状に曲る。後翅に抱刺を缺く。大形の種類にして、幼蟲は堅牢なる繭を造り、その内に蛹化する。本邦に産するもの十六種あり。

オホミヅアヲ (ユウガホベウタン) (五三三)

♀



第六鱗翅目(蛾亞目)

*Actias artemis* Breun.  
翅は綠白乃至淡綠。前翅の外縁は黄色、前縁は紫褐乃至暗紅色、中室紋は黄色、その中央透明内側は黒色。後翅の中室紋は大なり。體は白色、前胸及び中胸背の前縁は紫褐色。開張三寸五分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はサクラ、リンゴ、ナシ、ハンノキ等の葉を食す。

分布—北海道、本州、西比利亞。

ヲナガミヅアヲ (五三四)

*Actias selene* Hb.

これはオホミヅアヲに酷似すれども、その異なる所は第一、體翅の大なること(開張四寸―五寸)、第二、前翅前縁の前半は白色、中室紋と外



雌、前翅は少しく綠色を帯びたる黄色、紋條は赤褐、前縁は紅褐、後半は灰白、眼状紋の内側は青白、中央線は紅褐、前横線は稍々端直、後横線は高き波状を呈し、これは後翅に延長す。後翅の外縁は赤褐、肛角の部分最も濃色。雌に

タイワンヲナガミヅアヲ (五三五)

*Actias sinensis* Wk.



七二五

蟲はニハトコの葉を食す。  
分布—本州、九州、朝鮮。

♀



ては緑白、翅廣く、後横線の波は高からず。開張四寸一四寸六分。これは臺灣埔里地方に産すれども餘り多からず。

分布—臺灣、支那。

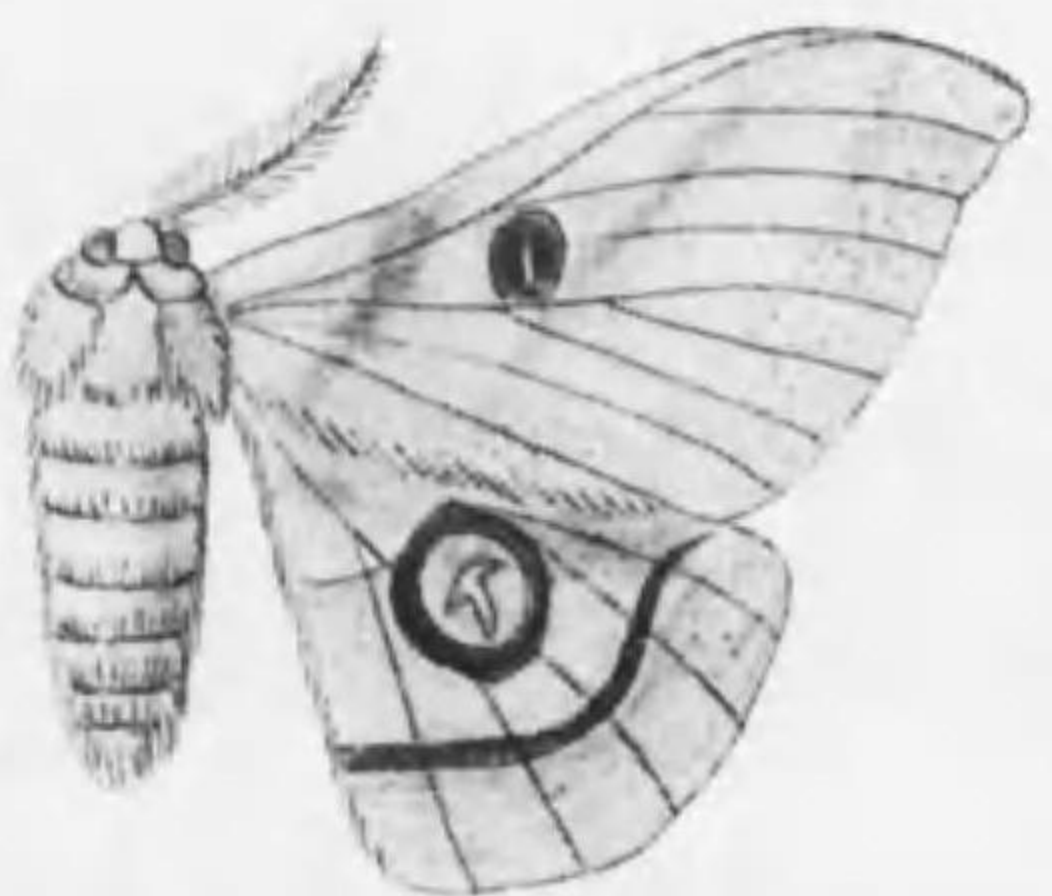
エゾヨツメ

*Apha tau Ia.*

(五五六)

體翅黄褐。前翅の中室紋は黒色、その中央に白色の弦月形紋を具へ、その内側に濃色の一斜線を裝ひ、更にその内側は灰白、中室紋の外側に濃色の斜線あれども雌にてはこれを缺く、外縁に近く一帯ありて、その外側は灰白、翅端に三角形の灰白紋を具へ、外縁の一圓は小褐點を散在す。後翅の眼状紋は大、その中央部にては紫色色、雌にては黒紫色、更にその中央に丁字形

ヤツボニカ形 ♀ *f. japonica Loewi*



の白紋あり。開張二寸六分—三寸八分。これは餘り多からず。幼蟲は槲斗科植物の葉を食す。

分布—北

海道、本州、朝鮮、アムール、西比利亞、歐洲。

アツサムヤマユ

*Antheraea assamensis Helt.*

(五三七)

ヤマユに似れども、その異なる所は、雄、前翅は暗褐、外縁は廣く灰褐、第六室の前半及び第七室は赤褐、横脈紋は橙黄色。雌外縁線は暗褐の地色の爲め餘り判然せず、後翅は前翅より淡色、横脈紋の外半は橙黄色、内半は黒色、中央に半透明の横線を有す。雌にては黄褐、前翅

♂



端は灰白、少しく桃色を帯び、これより一雙の紅褐線を後縁に送り、その外側は何れも白線にて縁取る。後翅の後横線は横脈紋の外側にて外方に曲る。開張五寸二分内外。これは埔里に稀ならず。

分布—臺灣、印度。

サクサン(杵蠶)

*Antheraea pernyi Guér.*

(五三八)

體翅は黄褐。前翅中央に透明の一紋を具へ、其内側に二白線を裝ひ、外側に黒輪あり、翅底に近く暗紅色の一弧線を横走し、中室に同色の短

♀



線を横走し、何れもその外側は白色、外縁に近く暗褐の太き一帯ありて、その外側は白色。後翅の斑紋は前翅と同様なれども、眼状紋は大、黒輪は太く、内側に一弧線を有す。開張四寸三分内外。これは支那の原産にして、目下廣く飼育せらる。幼蟲はクマギ、カシハ、ナラ等の葉を食す。

分布—日本全土、支那。

ヤマユ(山繭、天蠶)

*Antheraea yamamai Guér.*

(五三九)

第六 鱗翅目(蛾亞目)

♂



これはサクサンに酷似すれども、その異なる所は、第一、雌にては橙黄色、雄にては赤褐、前翅の前縁及び翅底に黄色部あること、第二、雄にては前翅の中央を斜走する一線は判然し、多少波状をなすこと、第三、雌にては外縁にある紋列の判然せざること、これは日本固有の種類にして、廣く世界各國の養蠶家に飼育せらる。その繭は緑色にして、堅牢なり。幼蟲は槲斗科植物の葉を食す。この絲は粗なるも蠶絲よりも強し。

分布—日本全土。

附言—この蛾の色には變化多し。飼育せるものは稍々一定せり。

ヨナクニサン(奥那國蠶)

*Athys anas Ia.*

(五四〇)

體翅赤褐。前翅の前縁及び翅底は暗褐、翅底に近く丁字形の白帯ありて、その内側は赤色、その外側は黒色、中室の中央に半透明の大紋を具へ、その周圍は黒色、尙、その外側に小形の同様紋あり、翅端は黄色、鎌狀に曲り、蛇の頭狀



を呈す。後翅は前翅と稍々同様紋を有す。開張七寸—八寸。これは世界最大の蛾にして、沖縄及び臺灣に稀ならず。幼蟲はベンジロウの葉を食す。

分布—沖縄、臺灣、馬來、瓜哇、印度。

ヒメヤマムユ *Caligula boisdavali* Ev. (五四一)

體翅は黄褐乃至赤褐。前翅の中央に眼状の一紋ありて、その中央及び周縁は黒褐、その内方には赤色及び白色の部分あり、褐色の二條あり

て、一は前縁の三分の一の處より發し、眼状紋の下を過ぎて内縁角に近く出で、他は翅底に近く稍々弧狀線となる、前縁は灰色、外方にある斜條の下方は綠褐、その外側は波狀をなし、前縁角に黒紋及び白紋ありて、少しく紅色を帯ぶ。後翅は前翅と略同様。開張三寸内外。この幼蟲はイタヤ、モミチその他種々の潤葉樹の葉を害す。

分布—北海道、本州、西比利亞。



♀



♂

クスサン(樟蠶) *Dietyoploca japonica* Moor. (五四二)

體翅の色に二様ありて、一は暗黄綠、他は赤褐。前翅に濃色の二帶ありて、一は翅底に近く、他は中央を斜走、この二帶の間は灰色、その中央に半月形の一紋ありて、更にその中央は透明、周圍は少しく赤味を帯ぶ。外縁角に桃色の部分ありて、これに白鱗を混す。後翅は前翅

は黒色、横脈の部分透明、その外側に波狀の二紋を具へ、外縁に近く暗色の太き斜條あり、その外側は桃色を帯びたる灰白、第七室に二黒紋を具へ、第六、七室には紅色紋あり。後翅の眼狀紋は小、波狀線は餘り判然せず。開張三寸三分。この幼蟲より有名なる魚線を製造す。目下臺灣にて飼養せらる。元來は支那山東省の産なり。

♀



より少しく濃色、中央に黒紫色の眼狀紋を有し、その内に弧形の透明部あり。雌は黄褐、紋條は少しく淡色、雄の如く桃色を帯びたる部分なし。開張三寸八分—四寸五分。これは燈火に飛來する普通種なり。幼蟲はクス、リンゴ、タリ、ドロノキ、タルミ、ウルシ等の葉を食す。

分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣、西比利亞。

マノニス形 *E. manonitis* Mats.



第六鱗翅目(蛾亞目)

これはクスサンの一種なるが、その異なる所は前翅の眼狀紋大にして、卵形、寧ろヒメヤマムユのそれに似たり。ヒメヤマムユとクスサンとの雜種なるやも知れず。

分布—九州(福岡)。

フウサン(風蠶) *Eriogyna pyretorum* West. (五四三)

體翅は灰白、褐色の鱗毛を密布す。前翅底及び其外側にある一斜條は暗褐、眼狀紋は大、圓形、中央は暗色、其内側に青白の半圓紋あり、外圍

は黒色、横脈の部分透明、その外側に波狀の二紋を具へ、外縁に近く暗色の太き斜條あり、その外側は桃色を帯びたる灰白、第七室に二黒紋を具へ、第六、七室には紅色紋あり。後翅の眼狀紋は小、波狀線は餘り判然せず。開張三寸三分。この幼蟲より有名なる魚線を製造す。目下臺灣にて飼養せらる。元來は支那山東省の産なり。

♂



ハグルヤマヤマム *Leopla katinka* West. (五四四)

體翅は橙黄色、前翅の前縁は灰褐、翅底に近き波狀線は褐色、其後半は紅色、中室の眼狀紋は黄褐、周縁は黒色、弓狀線は白色、中央に黒褐の楕圓環紋を具へ、中央の凹凸ある線及び其外側にある齒車狀の横線は黒褐、波狀線は白色、第六室の楕圓紋は黒色、第七室のもの灰黄。後翅の内縁に接する處は少しく紅色を帯び、眼狀紋の中央に黒褐の新月紋を藏す。開張三寸四分内外。これは臺灣に稀ならず。幼蟲はブダウカツラ、ヤブカツラの葉を食す。

分布—臺灣、印度、瓜哇。



♀

ウスタヒガ(ヤマビシヤク)……………(五四五)

*Rhodnia fugax* Butler.

體翅は橙黄色。前後兩翅の中央に透明の各一圓紋を具へ、前翅にあるものは大、二條の暗色帯を具へ、外縁に近く凹凸ある一帯あり、前縁角に近く半圓形の透明紋ありて、その前方は暗褐。後翅の斑紋は前翅の延長にして、少々同じ。開張三寸四分内外。これは北海道に産せざるが如し。幼蟲は蘭科植物の葉を食す。



♂

本州、四國、九州。

クロウスタヒガ……………(五四六)

*Rhodnia jankowskii* Oberth.

兩翅は暗灰色、少しく紫色を帯ぶ。前翅の前縁を除ける基部、外縁の波状帯並に翅端は橙黄色、前横線は暗褐、少しく紫色を帯び、内側は桃色線にて縁取られ、前縁の内側に灰白紋を装ひ、後横線は桃色、少しく白色を混ぜず、横脈紋は灰白、半透明。後翅の前横線は白色、其内側は桃色線にて縁取られ、半圓形紋は透明、其周



♀

七三〇

圍は灰白、外縁の一圓は暗黄。頭、胸及び腹は橙黄色、頸板の後縁暗色。觸角黄褐。開張三寸二分内外。これは札幌地方に産すれどもその數多からず。幼蟲はキハダの葉を食す。  
分布—北海道 本州、西比利亞。

シンジュサン……………(五四七)

*Samia cynthia* Drury

體翅は綠褐。前翅底に近くく字形の白帯ありて、その外側は暗色、中央に弦月形の白紋あり

埔里にて捕獲せられたるが稀なり。

分布—臺灣。



♂

タイワンシンジュサン……………(五四八)

*Samia formosana* Mats.

て、その前縁は黒色、後縁は黄色、その外方に少しく桃色を帯びたる廣白帯を具へ、前縁角に黒紋、内側に白紋を装ふ。後翅は前翅に少々似たり。開張四寸三分内外。これは何れの地方にも産すれども餘り多からず。幼蟲はシンジュの葉を食す。その繭は絹綢を織るに利用せらる。  
分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣、支那、印度、瓜哇。



♀



### 八 水蠟蛾科

Brahmaeidae

口吻を具ふ。下唇鬚は大にして、圓く、上方を向く。觸角は羽狀。中脛節に一双の距を裝ふ。前翅に一内縁脈を具へ、その基部は分支す、第五脈は中室の中央若くは六脈に近く出で、翅端は圓し。後翅の七脈は八脈と相接せり、抱刺を缺く。前後翅何れも短かき中室を有す。幼蟲は幼時絲狀の長き附屬物を有す。本邦學名を有するもの三種あり。

クロイボタ(方).....(五四九)

*Brahmaea carpenteri* Inat.

兩翅は天鵝絨様の黒色、外縁の三分の一は緑褐。前翅の黒色部に約七條の灰黄波狀線を具へ、前縁の五紋は鶯色、第五、六室の長楕圓紋は赤褐、第六室にあるもの中央は灰黄、外縁の縁褐色に黒色の七波狀線ありて、外側は白線にて縁取られ、第三乃至第六室は少しく赤味を帯び、外縁の六分の一は鶯色、亞外縁線は赤褐、第九、十室に黒紋を裝ふ。後翅外縁の縁褐色に黒色の九波狀線ありて、初めの三線は灰白線にて縁取らる。兩翅共黒色部は灰白線にて縁



♂

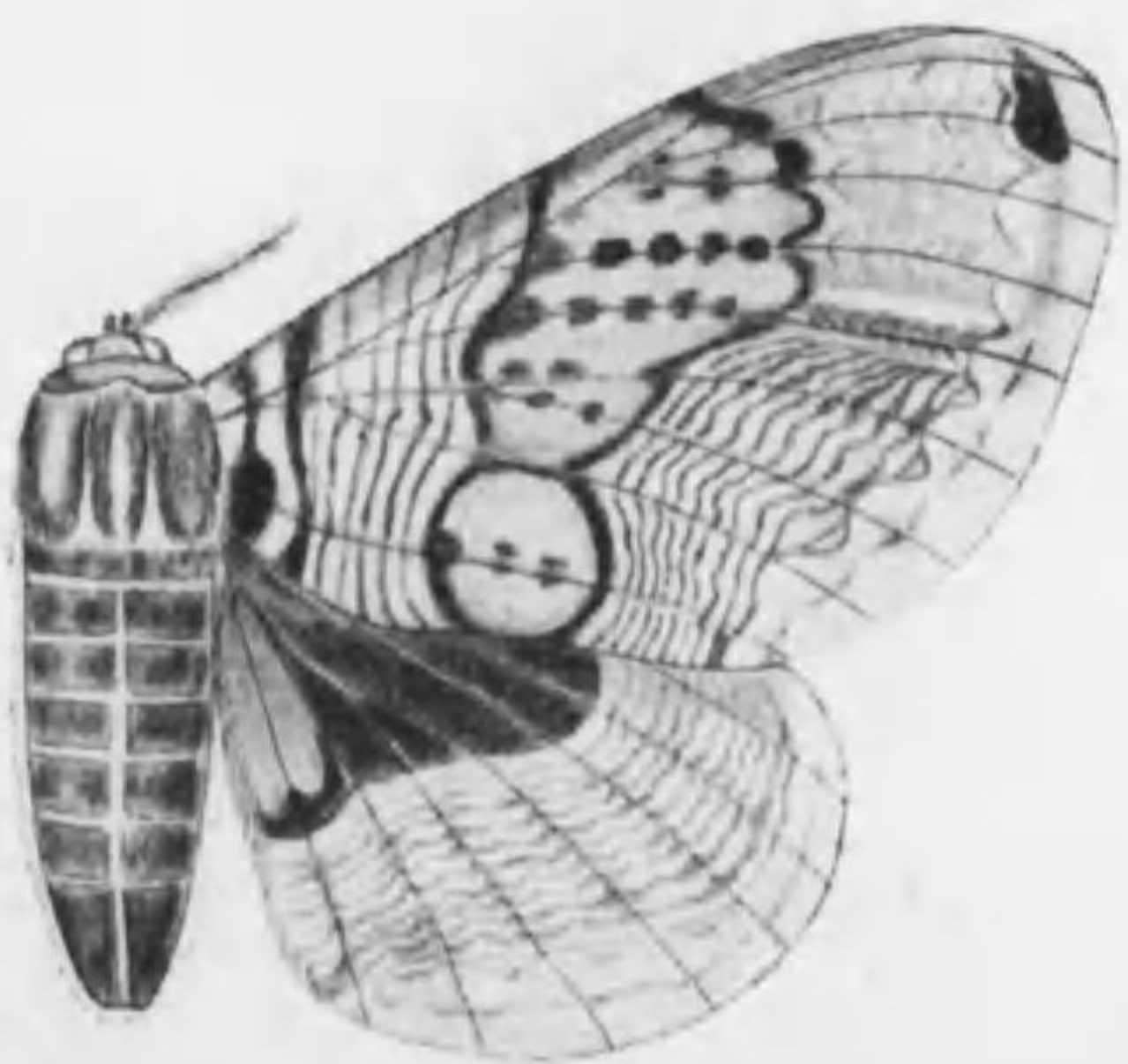
取られ、縁褐色の脈は紫、白の斑をなす。開張四寸五分内外。朝鮮に産すれども少なし。

分布—朝鮮。附言—これは新千島に臺灣産とあれども、朝鮮産の誤りなれば訂正す。

タイワンイボタ.....(五五〇)

*Brahmaea certhia* F.

これはイボタガに酷似するも、其異なる所は、第一、體翅大なること(開張五寸)、第二、體は



♀

黒色、各腹部の接合部及び背條は黄色、頭及び胸下は黒色、腹面黄色、五黒條を縱走すること、第三、前翅に白色部を缺き、翅底の波狀線は相合して漸く後縁の三分の一を占め、外縁に近き波狀線は九條より成り、翅端にある矢筈様の白紋は集合せざるにあり。これは臺灣に産すれども稀なるが如し。

分布—臺灣、支那、印度

### 九 家蠶蛾科

Bombycoidea

イボタガ.....(五五一)

*Brahmaea japonica* Inat.

體は黒色、灰黄の條紋あり。前翅三分の一の處に約七條の黒帯を具へ、これ等は多少波狀をなし、その外側の下方に圓形の大紋ありて、暗褐色を呈し、その周圍は黒色、黒紋を散在し、各紋

♀

十條の暗色波狀線を横走し、脈は黒と白の斑をなす。開張三寸五分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はイボタ、トネリコ、ヤナギ等の葉を食す。

分布—北海道、本州、四國、九州、支那。

フタテンカギバモドキ.....(五五二)

タイエ形 ♀

*Andruva bipunctata* Wlk.

*clata* Wlk.



體翅は褐色。前翅前縁角よりの斜條は黒褐、其外側は濃色、横脈紋は黒色、其内外の各條は暗色、翅端に近き前縁に暗色L字形紋あり。後翅の前縁は淡黄、中央に近き小點は黒色、横條は黒褐、内縁に灰白毛を混ず。開



の中央は白色、その外側の下方に暗色の波狀線八條ありて、稍々平行し、その上方に矢筈様の白紋あり。後翅底の二分の一は暗色、殘部に約

第六 鱗翅目(蛾亞目)

七三三

七三二



張一寸五分内  
外。これは臺灣にては普通なり幼蟲は茶の害虫なり。  
分布—臺灣、支那、印度。

カギバモドキ

*Andraea gracilis* Butl.

體翅は黄褐乃至暗褐。前翅の横線は濃色、横脈



點は黒色、外縁の中央に近く大なる三角形の濃色紋あり。後翅の前半は淡色、中央に近く濃色の三線を具へ、肛角及び内縁は紫褐色、これに白毛を混す。後胸及び腹部は紫褐色。開張一寸五分内外。これは本邦には餘り多からず。  
分布—本州。

ミトリカギバモドキ

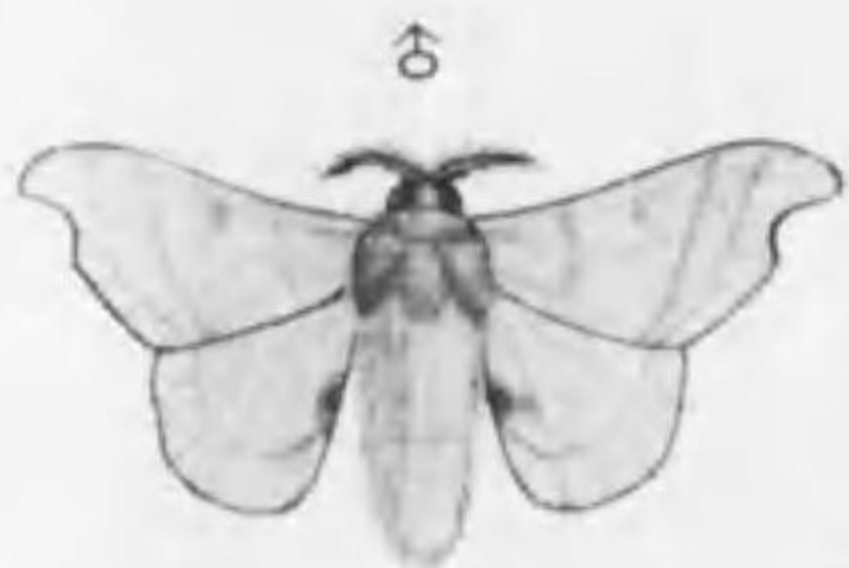
*Andraea olivacea* Mats.

雄、翅は緑灰色、紋は暗色。前翅の前横線は中脈下にて判然し、横脈點は黒色、後横線及び



亞外縁線は波状にして細く、後者は前縁にて黒點に終り、その外側は白線にて縁付けらる、第一、二、三の各室に一個の灰黄紋を具へ、中央は稍々三角形をなして灰白。後翅に二帯ありて、初めの三室に灰黄紋を列ぬ。開張六分五厘。これは埔里にて捕獲せられたるも少なし。

分布—臺灣。



カサン

*Bombyx mori* L.

體翅は白色。後翅内縁の中央に灰色の半圓紋を裝ふ。雄は少しく暗色を帯び、前翅に判然せざる灰色の三線ありて、中室外側の半月形紋は灰色。後

ナミカタクハゴモドキ

*Oberthiria caeca* Oberth.

前翅は黄褐、翅底線、前横線及び後横線は暗色にして、波状を呈し亞外縁線は黒色、第六室にて外方に折れ、その外側に一黒點あり。後翅は前翅と同色、黒色の二波状線ありて、外方のものは一対にして、切断せらる。開張一寸四分。これは朝鮮に稀ならず。  
分布—朝鮮、滿洲。



オホクハゴモ

*Oberthiria*

前翅は暗褐、光線の工合により少し

第六鱗翅目(蛾亞目)

ハカタクハゴモ

*Oberthiria formosolia* Mats.

く紫色を帯ぶ、中室紋は暗色、その外側帯は太く暗黒、更に其外側に暗色帯を具へ、その内側は灰色。後翅には前翅同様の二帯ありて、中室紋は小なり。開張一寸五分—一寸九分。これは餘り多からず。  
分布—北海道、本州。



雄、前翅は灰褐、前横線は暗色、波状、内側は灰黄線にて縁取られ横脈紋は暗色、中横線は暗色、波状、少々鋸状を呈す、後横線は灰色、紫色を帯ぶ、翅端は灰黄、外縁は鋸状に列らる。後翅は橙褐、前縁は灰色、横脈紋及び鋸状線は暗色、後横線は灰黄、その外側に三黒紋あり。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せられたるも稀なり。  
分布—臺灣。

ドヒモンカサン

(五六〇)

翅の二帯は灰色、内縁は白色、其中央に暗色の半圓紋あり。開張一寸三分内外。これは有名な家蠶なり。俗にこれをカイコ(蠶兒)と云ふ。  
分布—世界共有。

スズメモドキ

*Mustilia sphingiformis* Moor.

雌、前翅は灰褐、外縁は暗褐、その内側は灰白、前縁は黄褐、亞外縁線は暗色、前縁下にて外方に曲る、



後横線は暗色、中室の外側に外方に彎曲す、横脈點は黒色。後翅は灰黄、後半は暗褐、暗褐の二帯あれども、餘り判然せず、内縁は黒色、白毛を混す。雄にては翅細く、横線は判然せず。開張一寸八分—一寸二分。これは埔里に稀ならず。  
分布—臺灣、印度。

*Ocinara burmanica* Wilm.

體翅灰褐、紋は暗色。前翅は少しく紫色を帯び、眞珠様の光澤を放つ、前縁及び中脈下の一回は暗色、中横線、後横線及び亞外縁線あれども判然せず、横脈紋の中央は淡色、前縁の外半に四紋あり、これは何れも横線の終る所なり、外縁の中央にも大紋あり。後翅に淡色の二帯ありて、内縁にて判然す、内縁は褐色。開張一寸一分内外。これは餘り多からず。  
分布—臺灣(埔里)。



イチジクカサン

*Ocinara varians* Wk.

體翅灰色にして、少しく紫色を帯び、紋は暗褐、前翅外縁の三角紋は暗色、横脈紋の中央は淡色、前縁は灰黄。後翅の内縁には暗色と灰白の斑紋あり。開張九分。これは臺灣には稀ならず。幼蟲は無花果の害虫なり。  
分布—臺灣、支那、印度。



七三五

ウスバクハゴ

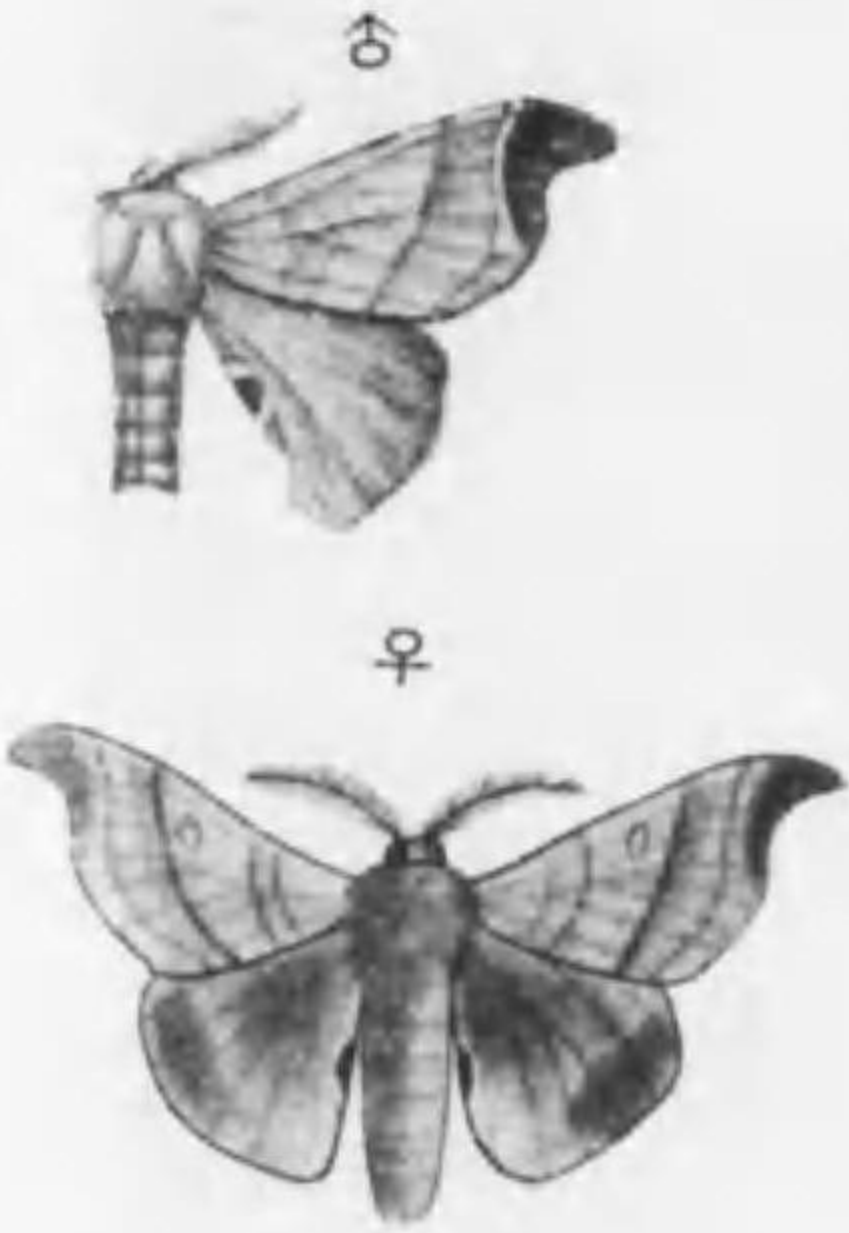
*Randiola menelama* Moor.



體翅は黄色、紋條は暗色、前横線、後横線并に横脈上の弦月紋は判然し、翅端に近き外縁は深く刻らる。後翅の横脈紋は稍々弦月形なれども、短かく、内縁に二紋を具へ、後角に近く刻られたる部分あり。開張一寸内外。これは朝鮮に稀ならず。幼蟲は桑の害蟲なり。  
分布—朝鮮。

クハゴ

*Theophrasta mandarina* Moor.



外縁は(廣く)暗色、内縁は黒褐。開張一寸二分。これはパイバラにて捕獲せるが少なし。  
分布—臺灣、印度。

スカシオビガ

*Alpa hyalinata* Burtl.



體翅暗褐。前翅に近く二透明紋ありて、外側にあるものは小、中央は黄色、中室は黒褐、これを貫きての一帯并にその外側にある一帯は黒褐。後翅は外縁を除き前縁の大半及び内縁角(廣く)は黄色、後者には黒褐の二帯ありて、横脈は暗褐。開張九分内外。これは稀なり。  
分布—本州、九州。



オビガ  
Alpa tycho-ona Burtl.

10 帶蛾科 Eupteriidae

體翅は暗色、前翅中央の横帯、外縁角の大紋は暗黒、後者の内側は灰白、其内側の弓狀線は暗色。後翅の外縁は少しく濃色、内縁中央の半圓紋は暗黒、其周縁は白色。開張一寸四分内外。これは家蠶の祖先形と想像せられ、習慣も酷似す。幼蟲は桑葉を食害す。  
分布—北海道、本州、九州、朝鮮。  
フォルモサーナ形 f. *formosana* Mats.



原種と異なる所は體翅細く、前翅の翅端一層線狀に細く曲り、その斑紋の細きにより。  
分布—臺灣(埔里)。

オホスカシオビガ

*Alpa fenestrata* Wlk.



前翅は褐色、紋條は暗褐、横線は何れも前縁下方にて外方に曲り、縦線の處にて内方に曲る、横脈紋は楕圓形、周圍は淡色、亞外縁線は太く、弓狀をなして内方に曲り、翅端に短帯ありて、其中間に三角形の白紋を帯ぶ。後翅黄褐、横脈紋、二帯及び

體翅は黄褐。體下及び翅の裏面は橙黄色。翅の斑紋は暗褐、斜條は黄色、其外側は廣く暗褐。後翅外縁の暗線部は少しく前翅よりも淡色、之れに赤褐の齒形紋及び横帯を具ふ。開張一寸七分内外。これは札幌地方に多し。幼蟲はウツギ、ウグイスカツラの葉を食す。  
分布—日本全土、支那。  
附言—これに二形あり。

ハグルマオビガ  
*Brevlyera aequalis* Feld.



體翅は灰黄、紋條は暗色。前翅の亞底線、前横線及び横線は相平行し、前二者は中脈の處にて、後者は中室の外方にて屈折す、横脈點は判然す、後横線は一双にして斜走し、その間室は淡色、亞外縁線は波狀、その内側は淡色。後翅には初めの三帯を缺き、亞外縁線は鋸齒狀を呈し、その前縁に黒紋を列ぬ。開張一寸六分。これは本州に産するも稀なり。  
分布—本州。

アヲオビガ  
*Ganisa postica* Wlk.

雄、體翅灰色、少しく縁味を帯ぶ。前翅底に暗

フォルモシコラ形 ♂  
*f. formosicola* Mats.



色の太紋あ  
れども、そ  
の限界判然  
せず、後横  
線は暗色に  
して、三本  
の波状線よ  
り成り、中  
室外にて外  
方に彎曲  
す、亞外縁

フォルモサーナ形 ♀  
*f. formosana* Mats.



其の外側に濃色の八個の半圓紋ありて、その第一室にあるものは判然せず、第五乃至第八室にあるものは楕圓形、脈は少しく濃色。後翅は前翅より少しく淡色、三帯ありて、外縁にあるものは波状をなす。開張三寸七分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。  
分布—臺灣。

一 鈎蛾科 Drepanidae

蛾は小なれども天蠶蛾に類似す。體は細く、翅大。前翅の第五脈は第六脈よりも第四脈に近く出づ、一個の内縁脈を具へ、その基部にて分枝す。後翅は一個若くは二個の内縁脈を有し、外方にあるものは短かし。幼蟲は尾脚を缺き、往々尾端に長附屬物を裝ふ。本邦に産するもの約四十種あり。

ホリシヤカギバ ..... (五七〇)

*Albata erisotincta* Wilem.



體翅は紫灰色。前翅の鈎狀部より暗褐色の後横線を後縁に送る。亞外縁線は暗褐色、前縁に近く判然せざる暗色の三短線ありて、總て後角に向けて斜走す。後翅の後縁に近く判然せざる暗色の波状線あり。頭、下唇鬚及び觸角は暗褐色。腹面灰白。開張一寸一分内外。これは埔里にて捕獲せるものなるが餘り多からず。  
分布—臺灣。

タイワンオヒガ ..... (五七九)

*Palpina oerhina* Moor.

體翅暗黄褐色。前翅の中央に近く褐色の二斜線を具へ、その間室は濃色、第二條の内側は黄色

ヤマトカギバ ..... (五七一)

*Albata japonica* Moor.



體翅は灰黄。前翅の紋は褐色、横脈上の二點は黒色、翅端は暗色、翅底及び外縁の一回に褐色鱗を散在す。後翅に三、四帯ありて、外縁に近きものは波状をなし、横脈上の黒點は餘り判然せず。頭暗褐色。觸角灰黄。尾端白。雌にては體翅淡黄褐色、横線黒褐色。開張一寸内外。これは中國地方には少なからず。幼蟲はコナラの葉を食す。  
分布—本州。

ヲガサハラカギバ ..... (五七二)

*Albata ogisawarae* Mats.



雄、前翅は灰黄、褐鱗を散在す、紋は褐色、前横線は細く、甚だしく内方に彎曲し、横脈上に二點ありて、後横線は第六脈の處にて膝狀を呈し、亞外縁線は第六脈の處にて後横線に接す、翅端は少しく暗色

カラフトカギバ ..... (五七三)

*Albata sachalinensis* Mats.



を帯ぶ。後翅に三帯ありて、中帯は最も廣し、雌にては白色、前翅中室の外方は褐色を帯ぶ。これは東北地方に産するもその數少なし。  
分布—本州。

マヘキカギバ ..... (五七四)

*Albata scabiosa* Hatt.

體翅は灰色、眞珠様の光澤を帯ぶ。前翅の前縁は橙黄色、外縁に近き横線は暗灰色、中央の屈折せる點列は褐色、其周圍は灰白。後翅中室の一點は淡色、外縁の灰色線は判然せず、縁毛は褐色。頸毛は黄色。開張一寸一分内外。これは



餘り多からず。北海道に産せざるが如し。  
分布—本州、九州、朝鮮、滿洲、支那。

フタツメカギバ ..... (五七五)

*Anzaha superba*



體翅白色、少しく灰色を帯ぶ。前翅の前縁及び外縁に淡き暗色紋を裝ひ、中室の外方に當り、第二、三及び四脈に跨りて暗色の楕圓紋



體翅白色、少しく灰色を帯ぶ。前翅の前縁及び外縁に淡き暗色紋を裝ひ、中室の外方に當り、第二、三及び四脈に跨りて暗色の楕圓紋